

MODEL X

2021+

オーナーズマニュアル



ソフトウェア バージョン: 2024.44.25.3

Japan

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリランチャーにタッチして、マニュアルアプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のもので、これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアルアプリで「リリースノート」タブを選択するか、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることがTeslaの目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけれられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様のModel Xのオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様のModel Xに関する詳細情報を確認するには、お客様の地域のTeslaウェブサイトアクセスして、Teslaアカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

Model Xに関して質問や疑問がある場合は、Teslaまでお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号については、www.tesla.comにアクセスし、ページ最下部でお住いの地域を選択してから、連絡先情報をご確認ください。

© 2012-2025 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc.およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3

MODEL S

TESLA

TESLA ROADSTER

MODEL Y

MODEL X

TESLA MOTORS

T E S L A



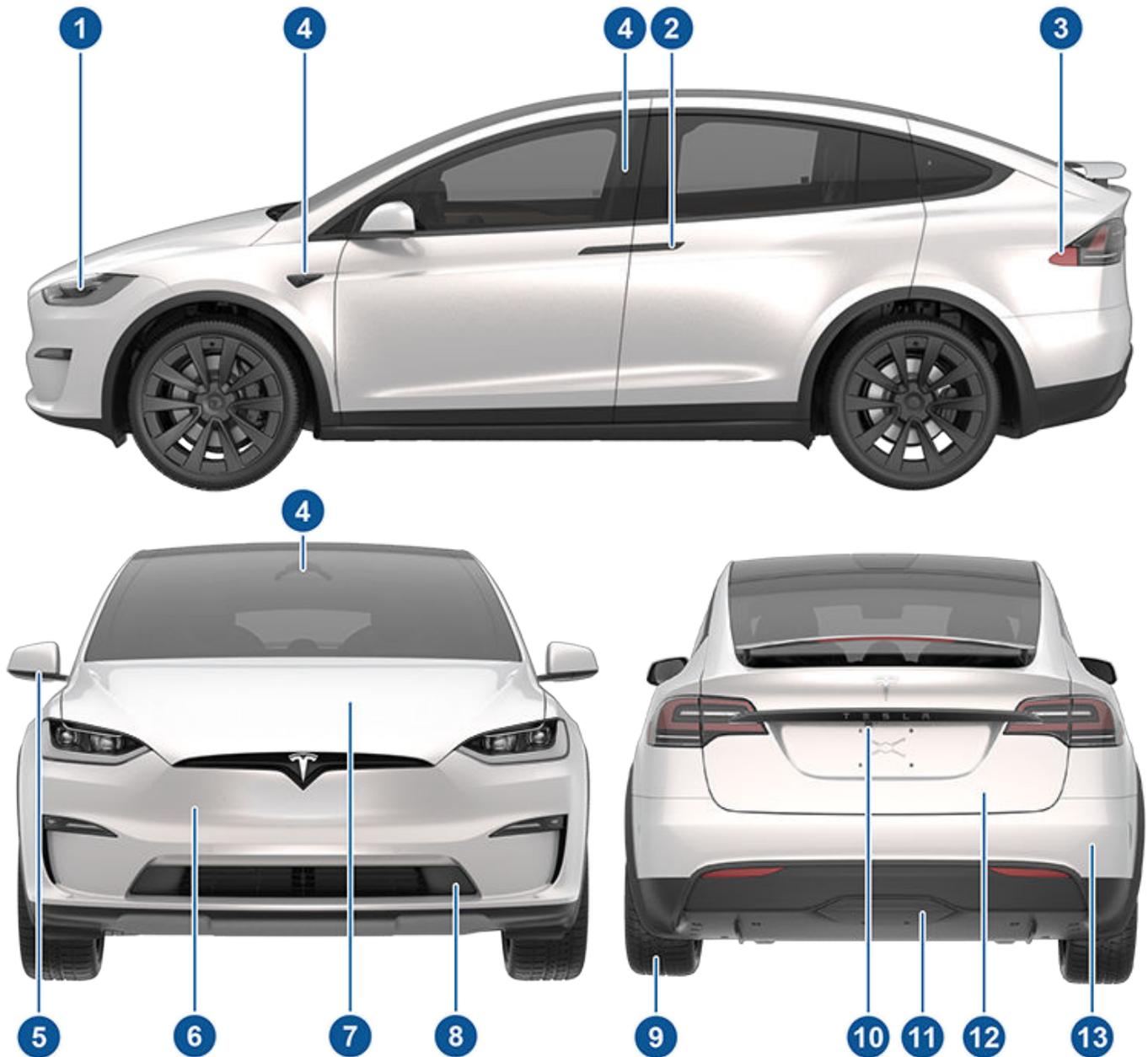
概要.....	3	オートパイロットについて.....	121
外装.....	3	オートパイロット機能.....	123
インテリア.....	5	オートパーキング.....	131
タッチスクリーン.....	7	サモン.....	133
車内の電子装備品.....	12	スマート サモン.....	135
インストゥルメントパネル.....	15	制限と警告.....	137
音声コマンド.....	21		
カメラ.....	23	アクティブセーフティ 機能.....	142
開閉.....	25	レーンアシスト.....	142
キー.....	25	衝突回避アシスト.....	145
ドア.....	31	スピードアシスト.....	148
ウィンドウ.....	35	キャビン用カメラ.....	149
サンバイザー.....	36		
収納エリア.....	37	ダッシュカム、セントリー、セキュリティ. 150	
リアトランク.....	37	安全とセキュリティ 設定.....	150
フロントトランク.....	40	ダッシュカム.....	152
車内の収納.....	42	セントリーモード.....	154
		ビデオ録画のための USB ドライブの要件.....	156
座席と安全拘束具.....	43	空調.....	157
フロントおよびリアシート.....	43	空調を操作する.....	157
シートベルト.....	48	フロント通気口およびリア通気口の調整.....	162
チャイルドシート.....	51	寒冷環境におけるベストプラクティス.....	164
エアバッグ.....	68	暑熱環境におけるベストプラクティス.....	166
接続性.....	75	ナビゲーションとエンターテイメント.....	167
モバイルアプリ.....	75	マップとナビゲーション.....	167
Wi-Fi.....	78	メディア.....	173
Bluetooth.....	79	シアター、アーケード、おもちゃ箱.....	175
電話、カレンダー、ウェブ会議.....	81		
運転モード.....	83	充電とエネルギー消費.....	178
始動と電源オフ.....	83	電気自動車のコンポーネント.....	178
ヨーク（またはハンドル）.....	85	高電圧バッテリーに関する情報.....	180
ミラー.....	88	充電方法.....	182
ギアシフト.....	89	プレコンディショニングと充電の予約.....	188
ライト.....	92	航続距離を最大限に伸ばす.....	189
ワイパーとウォッシャー.....	95		
ブレーキと停車.....	96	メンテナンス.....	191
エア サスペンション.....	99	ソフトウェアアップデート.....	191
パーキングアシスト.....	101	メンテナンスサービスの間隔.....	193
オートブレーキ ホールド.....	103	タイヤのお手入れとメンテナンス.....	195
トラクションコントロール.....	104	洗車.....	201
加速モード.....	105	フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液.....	205
ドライバープロフィール.....	106	ジャッキ アップと引き上げ.....	207
アクティブボンネット.....	109	部品とアクセサリ.....	208
走行情報.....	110	自主メンテナンス.....	209
リアビュー カメラ.....	111		
歩行者警告システム.....	112	仕様.....	210
牽引とアクセサリ.....	113	識別ラベル.....	210
		車両総重量.....	211
オートパイロット.....	121	寸法.....	212
		サブシステム.....	215



目次

ホイールとタイヤ.....	217
車両輸送者向け注意事項.....	220
車両輸送者向け注意事項.....	220
非常時.....	224
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....	224
電力切れ.....	225
電源がない状態でフードを開ける.....	226
ジャンプスタート.....	227
電力がない状態でドアを開く.....	229
水没車両に関するガイダンス.....	230
トラブルシューティング.....	231
トラブルシューティングのアラート.....	231
消費者情報.....	282
オーナー情報について.....	282
機能の使用可否に関する声明.....	284
免責事項.....	285
安全上の不具合を報告する.....	288
認証適合性.....	289
索引	292

注: 販売地域、車両構成および購入オプションによっては、車両が説明とは若干異なるように見える可能性があります。



1. エクステリア ライト (ライト ページ 92)
2. ドア ハンドル (ドア ページ 31)
3. 充電ポート (充電方法 ページ 182)
4. オートパイロットカメラ (カメラ ページ 23)
5. 外部ミラー (ミラー ページ 88)
6. フロントバンパー
7. フード / フロントトランク (フロントトランク ページ 40)
8. フロント / リアけん引ボルト カバー (車両輸送者向け注意事項 ページ 220)
9. ホイールおよびタイヤ (ホイールとタイヤ ページ 217)
10. リアビューカメラ (リアビューカメラ ページ 111)
11. けん引ヒッチカバー (牽引とアクセサリ ページ 113)

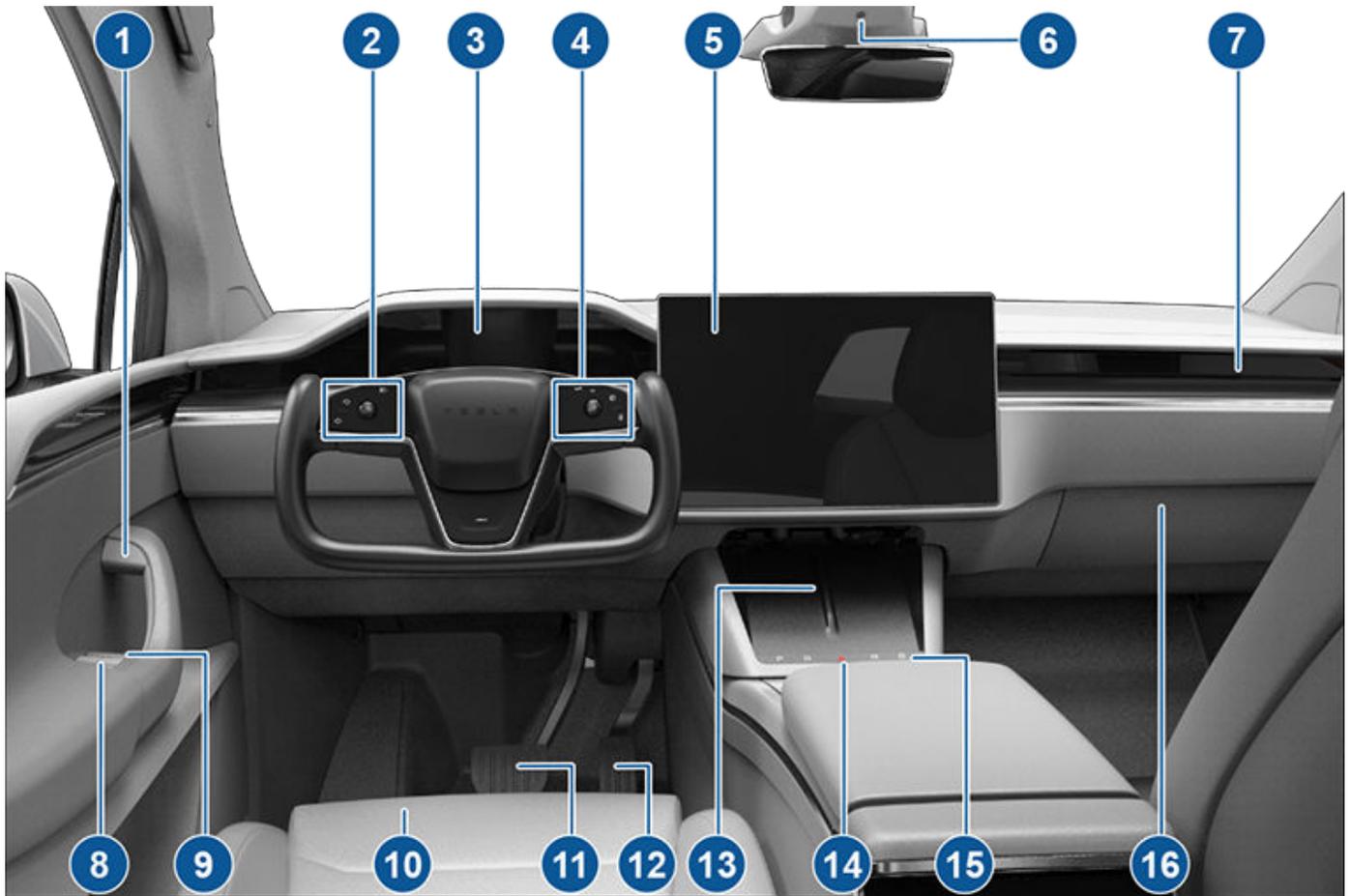


外装

12. リアトランク/リフトゲート (リアトランク ページ 37)
13. 超音波センサー (装備されている場合、パーキングアシスト ページ 101 およびカメラ ページ 23)

注: 右ハンドル (RHD) 車では、オーナーズ マニュアル上に図示されたコントロール類が車両右側に左右反転した形で配置されています。

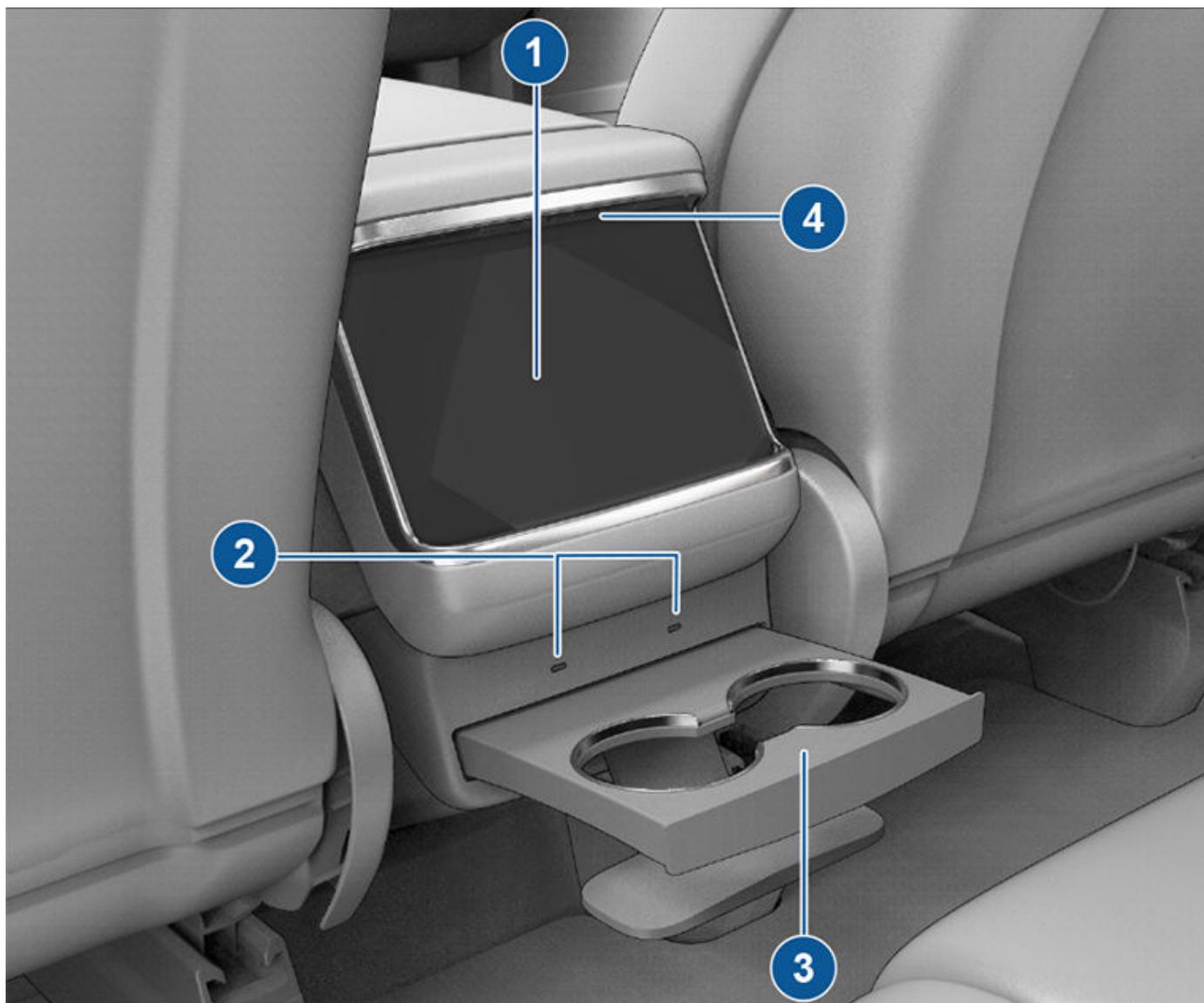
注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。購入した車両オプションおよび販売地域によっては、そのデザインが異なる場合がありますが、機能は同じです。



1. インテリアドアハンドル (ドア ページ 31)
2. 左ヨーク (またはハンドル) ボタン
 - 左スクロール ボタン (左スクロール ボタン ページ 85)
 - ハイビーム ヘッドライト (ライト ページ 92)
 - ウィンカー (ライト ページ 92)
3. インストゥルメントパネル (インストゥルメントパネル ページ 15)
4. 右ヨーク (またはハンドル) ボタン
 - オートパイロット機能を制御する右スクロール ボタン (右スクロール ボタン ページ 86)
 - クラクション(クラクション ページ 86)
 - ワイパー (ワイパーとウォッシャー ページ 95)
 - 音声コマンド (音声コマンド ページ 21)
5. タッチスクリーン (タッチスクリーン ページ 7)
6. カメラ (キャビン用カメラ ページ 149)
7. キャビン環境コントロール (空調を操作する ページ 157)
8. パワー ウィンドウ スイッチ (開閉 ページ 35)
9. 手動ドア リリース (ドア ページ 31)
10. シート (フロントおよびリアシート ページ 43)

インテリア

11. ブレーキペダル (ブレーキと停車 ページ 96)
12. アクセルペダル (加速モード ページ 105)
13. ワイヤレス電話充電器 (ワイヤレス電話充電器 ページ 12)
14. ハザードランプ (ハザードランプの点滅 ページ 94)
15. セカンダリードライブモードセレクター (ギアシフト ページ 89)
16. グローブボックス (グローブボックス ページ 42)



1. リアタッチスクリーン (リアタッチスクリーン ページ 10)
2. USBポート (USBポート ページ 12)
3. リアカップホルダー (車内の電子装備品 ページ 12)
4. 調整可能な空調通気口 (空調を操作する ページ 157)



Model X はインストゥルメント パネルのほかにも、フロントおよびリアにタッチスクリーンを搭載しています。

注: オーナーズ マニュアル全体にわたって、フロントのタッチスクリーンは単に「タッチスクリーン」、リアのタッチスクリーンは「リア タッチスクリーン」と呼びます。

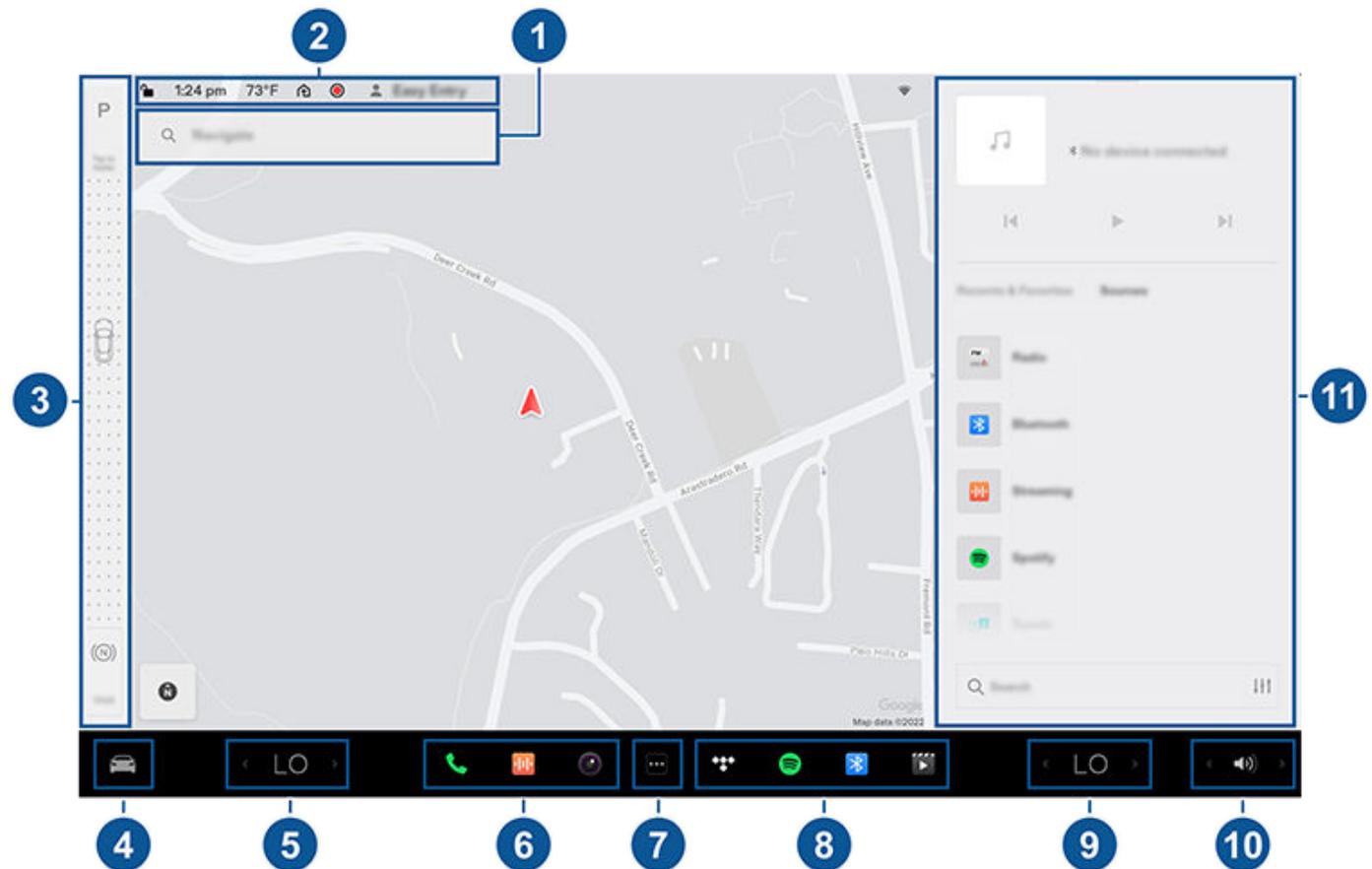
警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテイメント機能の使用、選択設定による Model X のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します (音声コマンド ページ 21 参照)

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください (タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照)。

注意: タッチスクリーンに画面保護フィルムを貼らないでください。そうした場合、タッチスクリーンに意図しない入力 (偽の入力)、応答遅延、タッチに対する無反応、静電放電によるタッチスクリーンへの損傷などが生じるおそれがあります。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。



1. **ナビゲーション:** 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。(マップとナビゲーション ページ 167 参照)。
2. **ステータスバー:** トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します (トップステータスバー アイコン ページ 8 を参照)。
3. **ドライブモードストリップ:** パーキング、リバース、ニュートラル、またはドライブにシフトするために使用されます。「コントロール」にタッチすると、タッチスクリーン上にドライブモードストリップが常に表示されます。(ギアシフト ページ 89 を参照)

T タッチスクリーン

4. **コントロール**: さまざまな機能を制御し、Model X をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある**検索**にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注: タッチスクリーンの運転席側の任意の場所をタッチしてスワイプして「コントロール」にアクセスすることもできます。

注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（[音声コマンド ページ 21](#) を参照）。

注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを Tesla に送信することができます。

5. **空調（運転席）**: 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの「**スプリット**」にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（[空調を操作する ページ 157](#) 参照）。温度コントロールが「**スプリット**」のときは、助手席空調が表示されて、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
6. **マイ アプリ**: よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。[マイ アプリをカスタマイズ ページ 8](#) を参照してください。
7. **アプリ ランチャー**: アプリ ランチャーにタッチするとアプリトレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
- 注**: メディア プレイヤーは完全には終了できません。メディア プレイヤーを下にドラッグすると、ミニプレイヤーが表示され、再生中の楽曲表示、一時停止/再生、スキップ、リバース、早送りなどができるようになります。
8. **最近使用したアプリ**: 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、**マイ アプリ**に追加したアプリの数によって変わります。**マイ アプリ**に最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されます。
9. **空調（助手席）**: 温度コントロールが「**スプリット**」のときは、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されません。
10. **音量調節**: メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（[音量調節 ページ 173](#) 参照）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（[マップとナビゲーション ページ 167](#) 参照）。
11. **メディア プレイヤー**: [メディア ページ 173](#) を参照してください。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにある**マイ アプリ**エリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. **マイ アプリ**エリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入ります。このエリアが空白の場合、アプリ ランチャーにタッチします。
 2. アプリまたはコントロールをアプリトレイから下部バーの**マイ アプリ**エリアにドラッグします。
- 注**: アプリトレイで選択したシートヒーターが、マイ アプリエリアではなく温度の隣に表示されます。

注: **マイ アプリ**に最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチして**マイ アプリ**エリアから削除します。

トップステータスバー アイコン



タッチしてすべてのドアやトランクをロック/アンロックします。



地域または目的地の天候を表示します。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが必要です。

72°F

現在の温度を表示します。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている場合、タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報も表示されます。



地域の空気質指数 (AQI) の値が低いことを Model X が検知した場合のみ、タッチスクリーンのステータスバーに表示されます。AQI が低い場合は、黄色、オレンジ色、赤色、紫色、またはマルーン色の数字が表示されます。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが必要です。

4:20 pm

車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび GPS への接続性を持っていることを確認します。



Model X がパーキングにシフトしているときに限ってタッチスクリーンにステータスバーが表示されます。ドライバープロフィールを追加、設定 (パレーモードおよびイージーエントリーを含む) するかすばやく切り替えます。ドライバープロフィールはコントロール画面の上部からもアクセスできます。[ドライバープロフィール ページ 106](#) を参照してください。



Model X がパーキングにシフトしているときに使用可能であり、タッチすると現在の走行サイクルに対して手動でセントリーモードを有効または無効にします。車両を離れるたびにセントリーモードを自動でオン (またはオフ) するには、「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」の順に移動し、設定を有効にします。詳細情報については、[セントリーモード ページ 154](#) を参照してください。

注: 「コントロール」 > 「セントリーモード」でセントリーモードをオンまたはオフにした場合、車両のタッチスクリーン上のショートカットおよびモバイルアプリは現在の走行サイクルに限り作動します。



Model X が Wi-Fi ネットワークに接続している場合に表示されます。



Model X がセルラー ネットワークに接続している場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。



Model X の携帯電話接続が使用不能である場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできません。



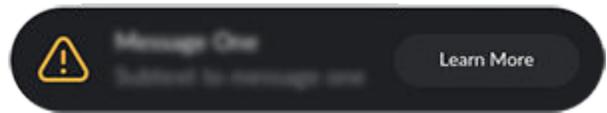
助手席エアバッグのステータス (#unique_46 ページ エアバッグ ページ 68 を参照)。



所有者、追加されたドライバー、または使用している第三者アプリによって、Tesla アプリで車両の GPS 位置情報がアクティブにアクセスされている場合に表示されます。アイコンをタップすると詳細が表示されます。無効にするには、タッチスクリーンで「安全」 > 「モバイルアクセスを許可」の順に移動します。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

ポップアップメッセージが、タッチスクリーン最下部中央に表示されます。例えば、シートベルトリマインダ (人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合)、アラート通知 (電話着信があった場合)、テキストメッセージ (該当する場合)、音声コマンド (使用している場合) が表示されます。装備車の場合は、ポップアップメッセージのオプション (電話対応の可否、ヘッドライトメニューのオプション選択など) にタッチします。ポップアップメッセージを無視するには、下にスワイプします。



車両のタッチスクリーンにアラートが表示された場合、「[詳細はこちら](#)」にタッチするとアラートおよびその解決方法に関する詳細情報を知ることができます。「コントロール」の上にあるベルアイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

注: 現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。

タッチスクリーンの再起動

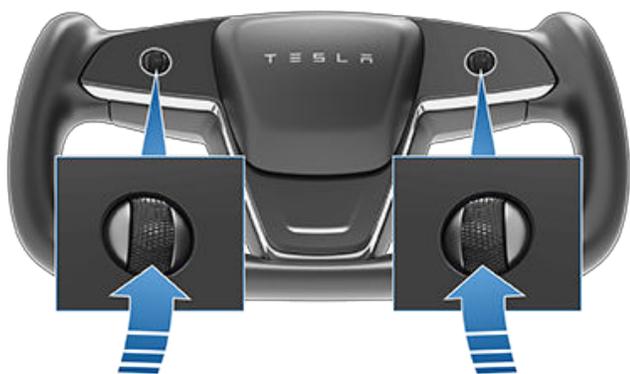
タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。

注: 乗員やその他の道路利用者の安全を確保するため、タッチスクリーンの再起動は車両をパーキングに入れてから行ってください。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ヨーク (またはハンドル) の両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキペダルを踏む動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。



タッチスクリーン



3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、(可能であれば) パワーサイクリングを試みます。車両でパワーサイクリングを行う ページ 83 を参照してください。

注: タッチスクリーンを再起動すると、センター コンソールのドライブ モード セクターもオンになります。

注: スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することではなく、Model X の電源のオンオフも行いません。

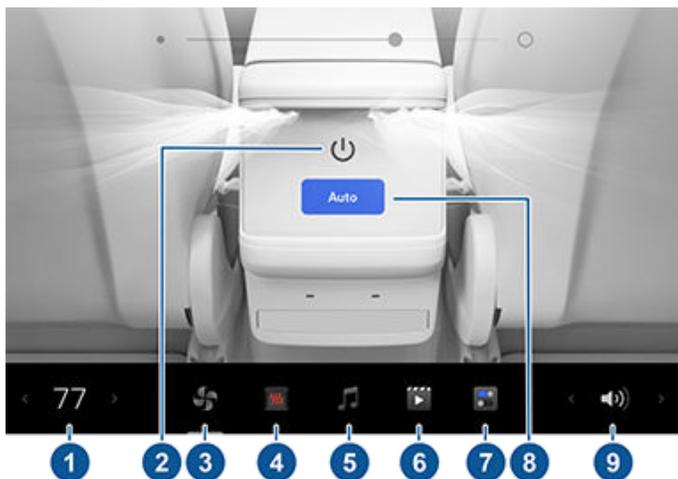
タッチスクリーンを傾斜させる (装備されている場合)

タッチスクリーンを傾斜させるには「コントロール」に移動してからディスプレイ アイコンにタッチして希望するポジションを選択します。

警告: センターディスプレイが傾斜しているときは画面とインストゥルメントパネルの間に物体 (指や装身具など) がないことを確認して、負傷や損傷の危険を減らしてください。

リア タッチスクリーン

リア タッチスクリーンを使用すると、後部座席の乗客は以下の機能を利用できます。



1. **温度:** 矢印にタッチしてキャビン温度を上げ下げします。
2. **電源:** タッチすると、リア空調システムのオンオフを切り替えることができます。
3. **リア ファン:** タッチすると、リアファンのオンオフ切り替え、ファン速度の調整、後部座席通気口からのエアフローの向きの制御ができます (フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 162 参照)。
4. **シート:** リアシートヒーターを操作し、矢印を使用して助手席を前後に動かします。
5. **メディア:** 再生、一時停止、スキップ、現在再生中の楽曲の巻き戻しができます (メディア ページ 173 参照)。
6. **ビデオ:** ビデオ ストリーミング サービスにアクセスできます。
7. **設定** タッチして、最大 2 セットの Bluetooth ヘッドフォンをペアリングして、明るさを変更し、ディスプレイをきれいにします。

注: ヘッドホンを接続してリア タッチスクリーンからの音楽を聴きます。お客様の車両は一度に 2 台までの Bluetooth デバイスに対応することが可能です (例えば、または 1 台の携帯電話と 1 つのヘッドセット)。

注: 2021 年 9 月ごろ以前に製造された車両の一部では、ワイヤレス ヘッドホンとの互換性を確保するためにハードウェアを追加する必要があります。タッチスクリーンにこのメッセージが表示された場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

8. **オート:** 「オート」が有効であり、乗員が検知されると、リアキャビンに対して設定温度が維持されます。
9. **音量:** タッチすると音量を調整できます。

注: またフロント タッチスクリーンを使用してもリアキャビンの空調設定を調節することができます (空調設定の調整 ページ 157 を参照)。

注: メディアおよび音量コントロールを調整すると、フロントキャビンの設定も調整されます。

フロントからリアスクリーンを操作する



フロントディスプレイからリア タッチスクリーンを操作するには、フロント タッチスクリーンの下部バーでリアスクリーン リモートコントロール アプリを開きます。オーディオ、動画、エアコンの他にも、このアプリを使用して、または「コントロール」>「ディスプレイ」>「リアスクリーンをロック」の順にタッチして、リアディスプレイをロックすることができます。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、「コントロール」>「表示」の順にタッチします。



- **表示モード:** 表示として、「暗い」と「明るい」のいずれかでカスタマイズします。「オート」に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- **ブルーライトを軽減:** 有効にすると、ディスプレイが夜間に自動的により温かみのある色に調整されます。
- **明るさ:** スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルを制御します。「表示モード」を「オート」に設定すると、周囲の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行いません。Model X 選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- **画面クリーニングモード:** 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- **タッチスクリーン言語:** タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

注: Model X 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model X がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。
- **音声認識言語:** 音声コマンドに使用する言語を選びます。
- **音声ナビ言語:** ナビゲーションシステムが使用する音声ガイダンスの言語を使用します。

注: 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウンリストで言語を選択してダウンロードを開始します (Wi-Fi 接続が必要です)。
- **リアスクリーンをロック:** リア タッチスクリーンへのアクセスをロックします。
- **時間:** 時間の表示フォーマットを 12 時間と 24 時間のいずれかから選択します。
- **エネルギー表示:** 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。[電力消費量に影響する要因 ページ 189](#) を参照してください。
- **距離:** 測定値をメートル単位 (キロメートル、センチメートルなど) またはインチ単位 (マイル、インチなど) で表示するかを選択します。
- **温度:** 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧:** タイヤ空気圧表示として、BAR か PSI のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、Joe Mode を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの音量を低くすることができます。「コントロール」>「安全」>「Joe Mode」の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある Model X の画像の下の「コントロール」>「ソフトウェア」>「車に名前を付ける」をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「保存」をタッチします。Tesla モバイルアプリにも、Model X の名前が表示されます。

工場リセットによる個人データの消去

Model X の所有権を譲渡する場合は、セキュリティ上の理由から、お客様のアカウントから車両を削除する前に、「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」の順にタッチして工場リセットを実行してください。データの消去を実行する前に、Model X がドライバーの認証情報を確認するため、Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

注: 工場リセットの実行は、車両がお客様のアカウントに登録されている場合にのみ可能です。車両がお客様のアカウントから削除されると、カスタマイズした設定を工場出荷時のデフォルトにリセットし、すべての個人データを消去するためのアクセス権が失われます。



車内の電子装備品

Model X の車内には、収納コンパートメントやカップホルダー（車内の収納 ページ 42 を参照）に加えて、USB ポート、ワイヤレス電話充電器、および低電圧電源ソケットといったさまざまな電子装備品があります。

USB ポート

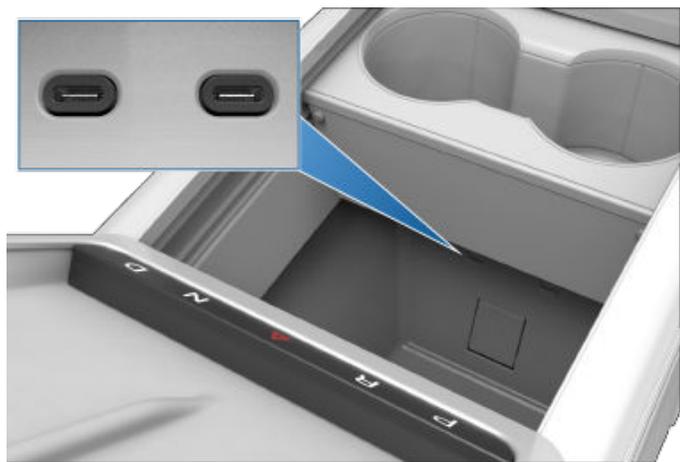
Model X 5 つの USB ポートを搭載：

- センターコンソールのフロントコンパートメントに USB 2.0 ポートを 2 か所装備しています。この USB ポートは USB デバイスの充電に使用できるほかに、電話や USB デバイスのオーディオファイルの再生も可能です（デバイスからメディアを再生 ページ 174 参照）。
- リアタッチスクリーンの下にも USB ポートが 2 か所装備されており、USB デバイスの充電に使用できます。
- グローブボックス内部にも、USB ポートが 1 か所装備されています。このポートには、USB フラッシュドライブが搭載されています。この USB ポートのセキュアな設置場所は、セントリーモードやダッシュカムのビデオ映像の保存には理想的です。

USB ポートは最大で約 27W の電力を出力できます（車両の製造日によって異なる可能性があります）。

USB フラッシュドライブのフォーマットについては、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 156](#) を参照してください。

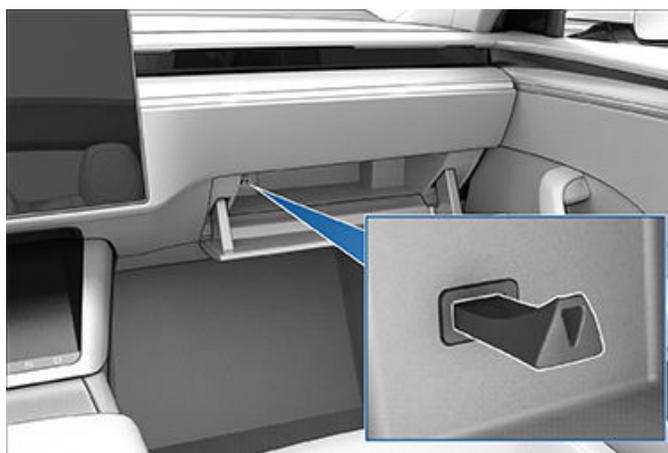
フロント USB ポートを使用するには、センターコンソールのフロントコンパートメントを開きます。フロント USB ポートは、コンパートメントのリア側の側面にあります。



リア USB ポートは、リアタッチスクリーンの下にあります。



グローブボックス USB ポート：



注：車両が使用中、またはユーザーの存在を検知すると、電源が供給されます。運転席に人がいる、またはタッチスクリーンが操作されている場合、ユーザーは存在すると見なされます。アクセサリを接続したままにしていても、低電圧バッテリーは消耗しません。

注：USB 3.0 互換ケーブルを使用して、デバイスを USB ポートに接続します。非標準ケーブルを使用すると充電に時間がかかり、接続上の問題や、パフォーマンスの低下が生じるおそれがあります。

注：USB ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数のデバイスを接続すると、接続されているデバイスが充電されなかったり、メディアプレイヤー、セントリーモード、ダッシュカムなどに認識されないことがあります。

ワイヤレス電話充電器

ワイヤレス電話充電器はフロントコンソールに統合されており、Qi 対応の電話を最大 15W の電力で充電できます。電話機を充電するためには、2 つある充電パッドのどちらかの上に電話機を置きます。電話はワイヤレス充電器と直接接続する必要があります。充電中のスマートフォンは暖かく感じるがありますが、これはインダクティブ方式充電で通常起きる現象です。



注意: 充電する前に、電話と充電器の間にあるもの（コイン、鍵、金属製の物体など）を取り除き、一体型携帯電話ケースなどを使用している場合は、電話の上や裏に収納されている NFC カード（車両キーカード、クレジットカード、ホテルの鍵など）を取り出してください。NFC カードを取り出さずに電話を充電すると、カードが破損することがあります。



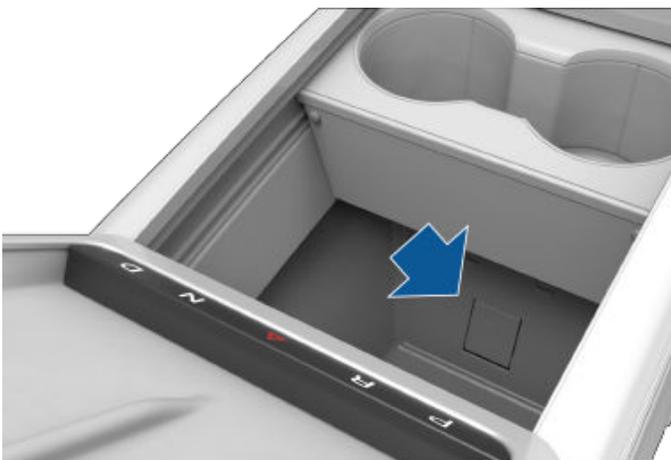
車両の電源が入っているとき（タッチスクリーンが有効で車内にいるとき）にお使いのスマートフォンをワイヤレス充電器に置くと、電話が充電されます。「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効になっていない限り、車から降りても電話機は充電されません。

注: 電話ケースが厚すぎる場合や金属製の場合、ワイヤレス電話充電器は動作しません。電話をケースから取り出し、充電器の上に置いてください。

注: 車両の高電圧バッテリーが放電されていると、ワイヤレス電話充電器は充電されません。

低電圧電源ソケット

お使いの Model X には、センターコンソールのコンパートメントに電源ソケットが搭載されています。低電圧ソケットを使用するには、センターコンソールのフロントコンパートメントを開きます。



電源ソケットは 12A までの連続通電（最大 16A）が必要なアクセサリーに適合します。

注: 車両が使用中、またはユーザーの存在を検知すると、電源が供給されます。運転席に人がいる、またはタッチスクリーンが操作されている場合、ユーザーは存在すると見なされます。電源はキャンプモード中も利用可能です。アクセサリーを接続したままにしておいても、低電圧バッテリーは消耗しません。

警告: 電源ソケットやアクセサリー端子は熱くなることがあります。

警告: 車両の電気システムに対する過剰な干渉を回避するために、パワーインバーターを含む、Tesla の純正品以外のアクセサリーを低電圧電源ソケットに接続しないようにすることをお勧めします。ただし、Tesla の純正品以外のアクセサリーを使用した場合に、インジケータのライトが点灯したり、警告メッセージが表示されたりアクセサリーが極端に熱くなったりするなどの誤動作や予期しない動作に遭遇した場合は、アクセサリーを低電圧電源ソケットから直ちに取り外してください。

注: 低電圧電源ソケットに差し込まれたパワーインバーターは、機能するために DC 16 V 入力をサポートしている必要があります。

注意: 低電圧電源ソケットを使用して Model X のジャンプスタートを試みないでください。故障の原因となることがあります。

アクティブロードノイズリダクション

Model X 荒れた路面を走行する際に低周波ロードノイズを減少させるアクティブロードノイズリダクションを装備しています。そのために、車両はシートマイクを使用してキャビン内のノイズを測定し、スピーカーからアンチノイズを発生させることで、前席の乗員の周囲にインテリジェントに静かなゾーンを作ります。





車内の電子装備品

アクティブ ロード ノイズ リダクションをオンまたはオフにするには、メディアプレーヤーを開き、「オーディオ設定」アイコン > 「オプション」 > 「アクティブ ロード ノイズ リダクション」の順にタッチします（オーディオ設定アイコンに3本の縦線のイコライザが表示されます）。有効にする前に、キャリブレーションを実施するためには、数分間の運転が必要になる場合があります。

注: アクティブ ノイズ リダクションを効果的に作動させるため、マイクを（シートカバーなどで）覆わないようにしてください。窓が開いている、ドアが開いている、またはファンが作動している場合、アクティブ ロード ノイズ リダクションは無効になる可能性があります。車両の後席に人が乗っている場合もアクティブ ロード ノイズ リダクションは無効になります。

! **注意:** 清掃時にマイクが損傷するのを防ぐには、マイクが取り付けられているシート周辺を過度に濡らさないでください。

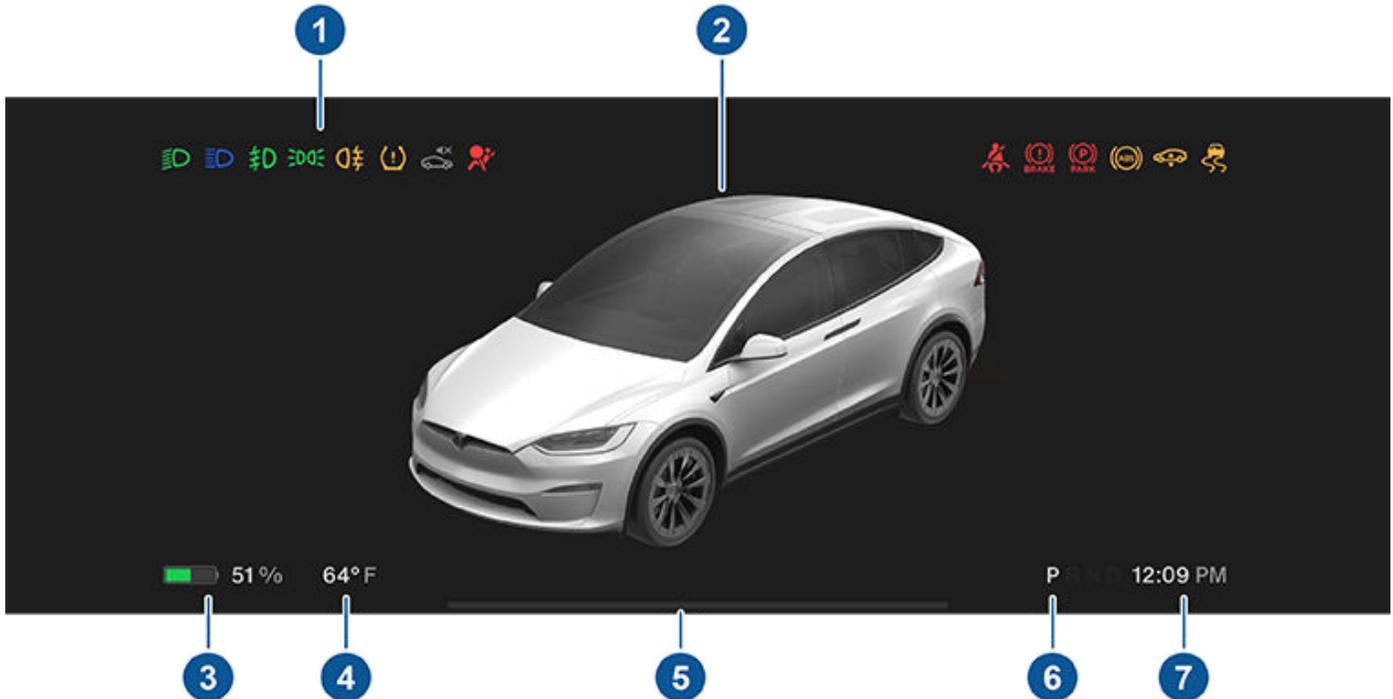


インストゥルメントパネルについて

インストゥルメントパネルは以下のように Model X の状況によって変わります。

- オフまたはパーキング中（以下を参照）
- 運転中（[インストゥルメントパネルについて - 運転中 ページ 16](#) を参照）。
- 充電中（[充電方法 ページ 182](#) を参照）。

Model X がオフまたはパーキング状態の場合、インストゥルメントパネルには残りの予測航続距離、車両のステータス、外気温が表示されます。

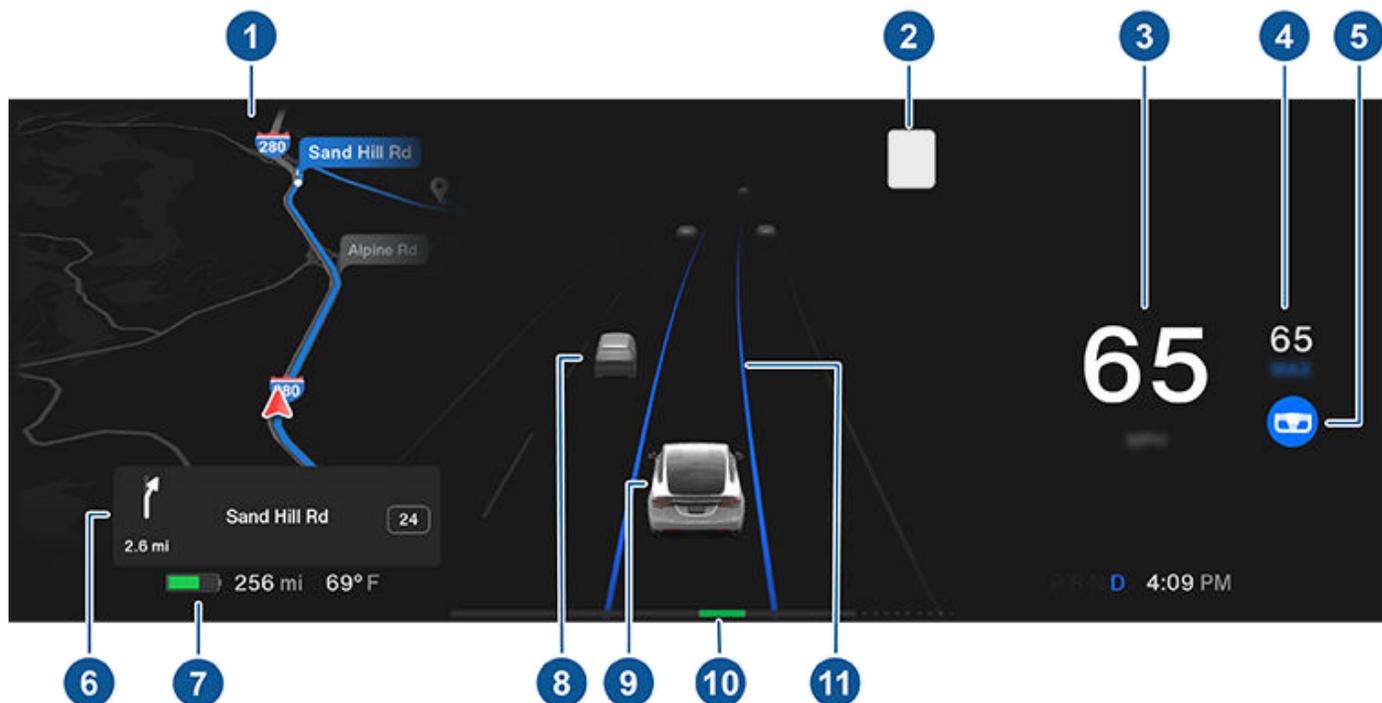


1. 車両がオフのときに最初にブレーキを踏むと、インストゥルメントパネル最上部のインジケータライトが短く点灯します。現状に該当するインジケータがない限り、その後インジケータは消灯します。インジケータが点灯または消灯しない場合は、[インジケータライト ページ 17](#) を参照してください。
2. 車両の画像と車内の各種ステータス（ライトの点灯、ドアの開閉など）。
3. 推定航続可能距離（エネルギー）。航続距離の代わりに、バッテリー残量（%）を表示することもできます。これを行うには、「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「エネルギー表示」の順にタッチします。
注: 充電の必要性が迫っている場合は、予測航続距離は大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。
4. 予測外気温。
5. ここに表示される重要なメッセージに注意してください。何らかのアラート設定がオンになっている場合にその詳細情報を表示するには、「コントロール」にタッチしてから、スクリーン最上部にあるベルアイコンにタッチします。
6. 現在選択しているドライブモード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。「オートシフト・アウトオブパーク」がオンになっていると、ドライブまたはリバースが（センサーからの入力に基づいて）自動選択され、運転席のドアが閉じられてシートベルトが着用されたときにインストゥルメントパネルに表示されます（[シートベルト ページ 48](#) 参照）。
7. 現在時刻。

車両のタッチスクリーンに表示されるアラートポップアップについては、[ポップアップメッセージおよび車両のアラート ページ 9](#) を参照してください。

インストゥルメントパネルについて - 運転中

Model X の運転中（または運転可能なとき）は、インストゥルメントパネルに現在の運転状況とオートパイロット コンポーネントが検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます。可視化された画像は、検出された路面タイプに基づいて自動的にズーム インとズーム アウトを行います。



注: 「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「フルセルフドライビングの表示プレビュー」（搭載車の場合）にタッチして、路面標示、一時停止標識灯、物体（ゴミ箱、柱ほか）など、車道やその周辺の詳細情報を表示します。これを有効にするには完全自動運転対応機能パッケージをインストールしておく必要があります。

1. インストゥルメントパネルには、地図上の車両の位置、ワイパーメニュー、「オートシフト・アウトオブパーク」の指示などが表示されます。ナビゲーションルートが有効な場合は、今後の走行ルートが表示されます。

2. スピードアシストが検出している速度制限（設定されている場合）（[スピードアシスト ページ 148](#) を参照）。

注: 検出された速度制限に関するアイコンは、該当する市場地域で使用される速度制限標識のスタイルを反映したものになります。

注: 速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、あなたが速度制限を超えていることを知らせています。

3. 現在の走行速度。

4. 現在設定巡航速度。トラフィックアウェアクルーズコントロールの搭載車で、トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはオートステアリングを操作して巡航速度を設定していない場合は、アイコンは灰色です（[オートパイロット機能 ページ 123](#) 参照）。

5. オートステアリングが Model X のハンドル操作をしている。オートステアリングは利用可能だが、有効化はしていない場合、アイコンは灰色です（[オートステアリング ページ 124](#) を参照）。

6. ナビを使用している場合、そのナビルートでの今後の指示が順次ここに表示されます。

7. 推定航続可能距離（エネルギー）。航続距離の代わりに、バッテリー残量（%）を表示することもできます（「コントロール」 > 「表示」 > 「エネルギー表示」にタッチします）。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予測航続距離は大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

8. 周囲の道路使用者は該当する場所に表示されます。

警告: インストゥルメントパネルは周囲のある車両を表示しますが、すべての車両を表示している訳ではありません。自分の周囲に他の車両がいるかどうかを確認するためにインストゥルメントパネルのみに頼らないでください（例、ブラインドスポット）。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。



9. お客様の Model X。
10. パワーメーターにはリアルタイムの電力使用量が表示されます。加速中には、バーが右に延びていき、使用されているパワーを表示します。減速中（Model X が走行中にドライバーがアクセルペダルから足を離した場合）、このバーは緑色で左に延びていき、回生ブレーキによってバッテリーに戻されている電力を表示します（[回生ブレーキ ページ 97](#) を参照）。
11. オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、青色にハイライト表示されます（[オートパイロット機能 ページ 123](#) を参照。）現在のドライビングシナリオに応じて周囲の走行車線を表示することができます。

注: オートステアリングが車線マーカを検知できない場合、車線区分は追従する車両を元に決定されます。

注: 「ナビゲートオンオートパイロット」がオンになっていると、Model X の前方に走行車線が青色のラインで表示されます（[ナビゲートオンオートパイロット ページ 125](#) を参照）。

インジケータライト

インジケータライトはインストゥルメントパネル最上部にステータスを表示し、具体的な車両の状況について通知します。

インジケータ	詳細
	ブレーキシステムの不具合が検出されたか、ブレーキ液量が低下しています。 ブレーキと停車 ページ 96 を参照してください。ただちに Tesla にご連絡ください。
	ブレーキブースターの不具合が検出されています。 ブレーキと停車 ページ 96 を参照してください。
	ABS（アンチロックブレーキシステム）の不具合が検出されています。 ブレーキと停車 ページ 96 を参照してください。ただちに Tesla にご連絡ください。
	パーキングブレーキの不具合が検出されています。Tesla にご連絡ください。 パーキングブレーキ ページ 97 を参照してください。
	パーキングブレーキが手動で適用されています。 パーキングブレーキ ページ 97 を参照してください。
	タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の不具合が検出されると、インジケータが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。 タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195 を参照してください。
	乗員のいる席のシートベルトが締められていません。 シートベルト ページ 48 を参照してください。

インストゥルメントパネル

インジケーター	詳細
	エアバックの安全性。すぐに Model X を運転できる状態の際にこの赤いインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、直ちに Tesla に連絡してください。 エアバッグ ページ 68 を参照してください。
	フロント フォグランプがオン状態 (搭載車の場合)。 ライト ページ 92 を参照してください。
	パーキング ライト (サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレートライト) が点灯しています。 ライト ページ 92 を参照してください。
	ロービーム ヘッドライトがオンになっています。
	ハイビーム ヘッドライトがオンになっています。ハイビームが点灯しているけれども「オートハイビーム」(装備されている場合) 設定がオフになっているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。 ライト ページ 92 を参照してください。
	ハイビーム ヘッドライトが現在点灯していて、Model X の前方にライトを検知した場合は、オートハイビーム (装備されている場合) をオフにする準備ができています。 ライト ページ 92 を参照してください。
	オートハイビーム (装備されている場合) がオンで Model X の前方にライトが検出されているので、ハイビーム ヘッドライトが一時的にオフになっています。ライトが検出されていないので、ハイビームが自動的にオンに戻ります。 ライト ページ 92 を参照してください。
	アダプティブ フロント ライティングの不具合が検出されると、装備されている場合、このインジケータが表示されます。 ライト ページ 92 を参照してください。
	横滑り防止装置がブレーキ圧およびモーター出力を制御しホイールのスピンを最低限に抑えている際には、このインジケーター ライトが黄色に点滅します。 トラクションコントロール ページ 104 を参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので直ちに Tesla へ問い合わせる必要があります。
	エアサスペンションシステムのパフォーマンスを低下させる不具合が検出された場合、この黄色のインジケーターライトが表示されます (エア サスペンション ページ 99 を参照)。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



インジケーター	詳細
	<p>エアサスペンションシステムのパフォーマンスを低下させる不具合が検出された場合、この赤いインジケーターライトが表示されます（エアサスペンション ページ 99 を参照）。Tesla にご連絡ください。</p>
	<p>車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。オートブレーキ ホールド ページ 103 を参照してください。</p>
	<p>前席助手席のエアバッグがオフになっています。エアバッグ ページ 68 を参照してください。</p>
	<p>横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。トラクションコントロール ページ 104 を参照してください。</p>
	<p>Model X 輸送モードで勝手に車両が動く状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。輸送モードの有効化 ページ 221 を参照してください。</p>
	<p>けん引モード（搭載されている場合）が有効になっています。牽引とアクセサリ ページ 113 を参照してください。</p>
	<p>寒冷な気候条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに、青い雪の結晶アイコンが表示されます。このような寒冷な気候条件下では、充電速度が低下することがあります。Model X が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにしてバッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。</p>
	<p>回生ブレーキが制限されると、緑色のアイコンが表示されます。詳細情報については、回生ブレーキ ページ 97 を参照してください。</p>
	<p>バッテリーの電力残量が少ないか、車両システムが加熱/冷却されているか、またはドライブインバーターがエラーを検出したことにより、車両電源の利用が現在制限されています。</p>
	<p>左側への自動車線変更が利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。自動車線変更 ページ 125 を参照してください。</p>
	<p>右側への自動車線変更が利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。自動車線変更 ページ 125 を参照してください。</p>



インストゥルメントパネル

インジケーター	詳細
	自動車線変更が左右どちら側にも利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。 自動車線変更 ページ 125 を参照してください。
	自動車線変更は利用できません。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。 自動車線変更 ページ 125 を参照してください。

注: お客様の利便性を図るため、Tesla では音声コマンドに使用する言語をさまざまな言語からお客様が選択できるようにしています。別の言語を選択するには、「コントロール」 > 「表示」 > 「音声認識の言語」の順にタッチします。

音声コマンドを使用することで、タッチスクリーンを使用せずに設定や好みを簡単に操作することができます。音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。以下に音声コマンドで実行可能なアクションの例を挙げます（これらに限定されません）。

- 空調の好みを調整する
- フロントガラスワイパーの速さおよび作動間隔を調整する
- 車両の各種機能を制御する
- 目的地までナビを実行する
- 連絡先に電話をかける
- アプリや設定とやりとりする

音声コマンドを開始するには、ヨーク（またはハンドル）の右側のマイク ボタンを一杯まで押します。チャイムが鳴ったら、要望を言ってください。



音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグモードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

空調

空調の好みを調整します。

- 「温度を下げて」
- 「温度を上げて」
- 「運転席のシートヒーターを入れて/切って」
- 「助手席を涼しくして」

- 「顔に気流を直接当てて」
- 「空調を同期して」
- 「ファン速度を上げて/下げて」
- 「リア デフロスターをつけて/消して」
- 「温度/ファンを設定して...」
- 「循環をオンにして」

フロント ガラス ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- 「ワイパーを速く」
- 「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- 「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

車両の各種コントロールを修正します。

- 「セントリーモードオン/オフ」
- 「車を安全に保って」
- 「ドアをロックして/ロック解除して」
- 「ドッグモードをオンにして」
- 「ミラーを閉じて/開いて」
- 「充電ポートを開いて/閉じて」
- 「充電を始めて/止めて」
- 「サービス設定を開いて」
- 「グローブボックスを開いて」

ナビゲーション

場所を検索してその場所まで誘導します。

- 「[場所] ってどこ？」
- 「[場所] までドライブ」
- 「[場所] まで行って」
- 「近くのスーパーチャージャーを表示」
- 「おなががすいた/楽しいな」（マップとナビゲーション ページ 167 参照）。
- 「ナビを止めて」
- 「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 81 を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- 「[連絡先名/電話番号] に電話して」
- 「[連絡先名/電話番号] にテキスト送信」

メディア

メディアを聞き、再生の設定を調整します。

- 「[曲名] が聴きたい」
- 「音量を下げて/上げて」
- 「スキップして次へ」
- 「曲を止めて/再生して」
- 「ソースを [メディアソース] に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーティストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

アプリや設定により簡単にナビゲーションができます。

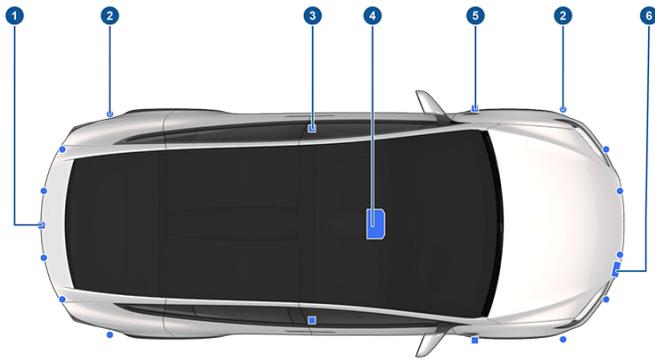
- 「[おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機] を開いて」
- 「...を検索」
- 「画面が明るすぎる」
- 「オーナーズ マニュアルを見せて」

「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、<https://www.tesla.com/support/voice-commands> を参照してください。

注: 品質を引き続き向上できるように、Tesla では、音声コマンドのトランスクリプション（「温度を設定して...」など）を取得して処理します。音声の録音は収集されず、トランスクリプションはお客様の Tesla アカウントや車両 ID に関連付けられることはありません。お客様のプライバシー保護をより強力に保護できるように、個人データを含む音声コマンド（「...に移動して」や「...に電話をかけて」など）は取得しません。

お使いの Model X には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。

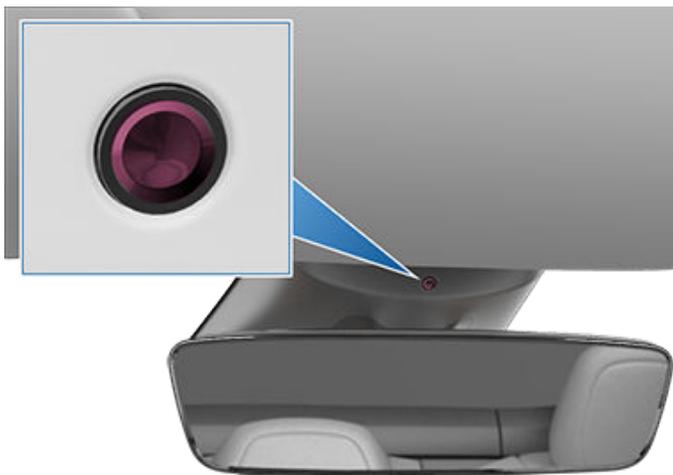


1. カメラは、リアナンバープレートの上方に搭載されています。
2. 超音波センサー（装備されていれば）は、フロント/リアバンパー内にあります。
3. 各ドアピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスのリアビューミラーの上方にはカメラが2台取り付けられています。
5. 各フロントフェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダー（装備されていれば）は、フロントバンパーの裏側に取り付けられています。

Model X には、高精度電動アシストブレーキおよびステアリングシステムも装備されています。

キャビン用カメラ

Model X は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。詳細な情報は、[キャビン用カメラ ページ 149](#) を参照してください。



走行中のカメラキャリブレーション

Model X オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、車線逸脱防止および自動緊急ブレーキなどの一部の機能を初めて使用する前、または一部の種類のサービス修理後に、カメラはセルフキャリブレーションプロセスを完了する必要があります。わかりやすくするために、インストゥルメントパネルに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、アクティブセーフティ機能だけでなく、オートパイロット機能も利用可能になります。キャリブレーションは通常、32~40 km の距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件において Model X を 160 km で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロントガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、「コントロール」>「サービス」>「カメラキャリブレーション」>「キャリブレーションをクリア」の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、Model X はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、「キャリブレーションをクリア」はすべてのカメラやセンサーの問題を解決しない場合があります。

注: キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の2車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には5車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を走行します。

注: キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、インストゥルメントパネルにはメッセージが表示されます。

注: Model X は、Tesla がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。インストゥルメントクラスターには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物を取り払われるまでオートパイロットの機能の一部/全体が一時的に制限されているというアラート



カメラ

が表示されます。積極的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウィンドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します (モバイルアプリ ページ 75 参照)。

キーの種類

Model X は、次の種類のキーをサポートしています。

- **「電話キー」** - お客様個人の電話は、Bluetooth を使用して Model X と通信できる「電話キー」として設定できます。電話キーでは、自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしています。
- **キーカード** - Tesla では Model X に短距離 RFID (radio frequency identifier) の信号を使用して通信するキーカードを 2 枚提供しています。電話キーおよびキーフォブとは異なり、キーカードでは自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしていません。電話キーのバッテリー切れ、紛失、盗難が発生した場合には、キーカードを使用して Model X をロック解除、運転、ロックしてください。
- **キーフォブ** - キーフォブ (装備されている場合) により、ボタンを押して、Model X のフロントおよびリアのトランクを開くことやロック/ロック解除、および運転することができます。お客様の販売地域で利用可能であれば、キーフォブも自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしているため、電話キーのバックアップとして使用できます ([降車後オートロック機能 ページ 34](#) 参照)。

Model X は、認証された電話キー、キーカード、キーフォブ (4 個まで) を含む最大 19 個のキーを登録できます ([キーの管理 ページ 28](#) を参照)。

注意: 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも Model X を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

電話キー

注: 電話キー機能がお客様の地域で利用できない場合があります。

注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください (ハイキングやビーチに出かけたときなど)。車内に電話機を置いたままにしなければならぬ場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話をキーとして使用すると、Model X へのアクセスには便利です。車両に近づくと、電話機の Bluetooth 信号が検出され、ドアハンドルを押したときにドアのロックが解除されます。同様に、電話キーをもって降車し離れると、ドアは自動ロックされます ([「降車後オートロック」機能がオンになっている場合 \(降車後オートロック機能 ページ 34 参照\)](#))。

電話機がいったん認証されると、Model X の電話キーとして使用するためにはインターネット接続は不要になります。ただし、電話機をハンズフリーで使用したり、お使いの電話の連絡先にアクセスしたり、電話機でメディアを再生したりするには、Bluetooth デバイスとしてペアリングする必要があります ([Bluetooth ページ 79](#) 参照)。

注: Apple Watch をキーとして使用するよう設定することもできます。

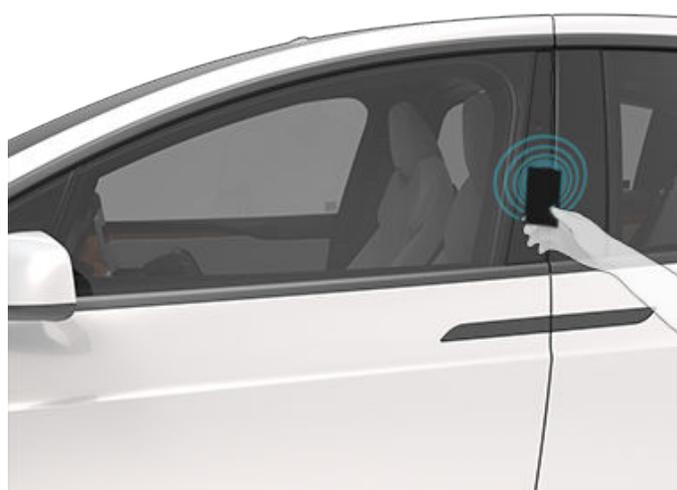
NFC 機能のある一部のスマートフォンを使用して、キーカードを使用する場合と同様に、車両をロック/ロック解除することができます。Tesla モバイル アプリをが車両に正しくペアリングされていることを確認してから、電話機の NFC 機能を有効にします。有効になったら、電話機を運転席側ドアのピラーに置くだけで、ドアがロック/ロック解除します。このための特別な情報についてはスマートフォンの説明書を参照してください。

キーカード

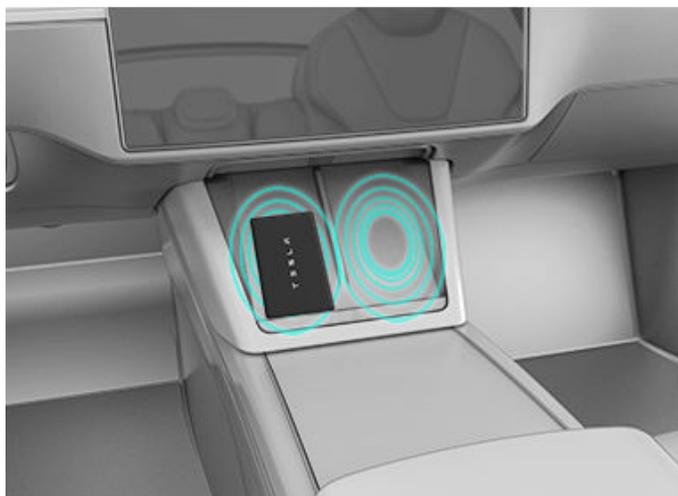
Tesla は、財布に収まるデザインの Model X キーカードを 2 枚付属しています。

キーカードを使用して Model X のロック/ロック解除を行うには、図示されている通りの位置にカードを配置し、運転席側のドアピラーの上側およそ 1/3 の位置にあるカードリーダーにかざします。Model X がキーカードを検出すると、エクステリアライトが点滅し、ミラーが広げられたり折りたたまれたりして (プレミアム パッケージが搭載されていて「折りたたみ式ミラー」がオンになっている場合)、ホーンが鳴り (ロック確認音がオンの場合)、ドアがロック解除/ロックされます。

注: ワイヤレス電話充電器または運転席側のドアピラーにキーカードを物理的に接触させ、キーカードをトランスミッターにかざしたままで 1~2 秒待つ必要があります。



乗車したら、キーカードをスキャンして 2 分以内にブレーキペダルを踏んで Model X の電源を入れてください ([始動と電源オフ ページ 83](#) を参照)。2 分以上そのままの状態で待った場合、キーカードをセンターコンソールのワイヤレス充電器にあるカードリーダーの近くに置いて、再認証を行う必要があります。キーカードが検出されると、2 分間認証が再開します。

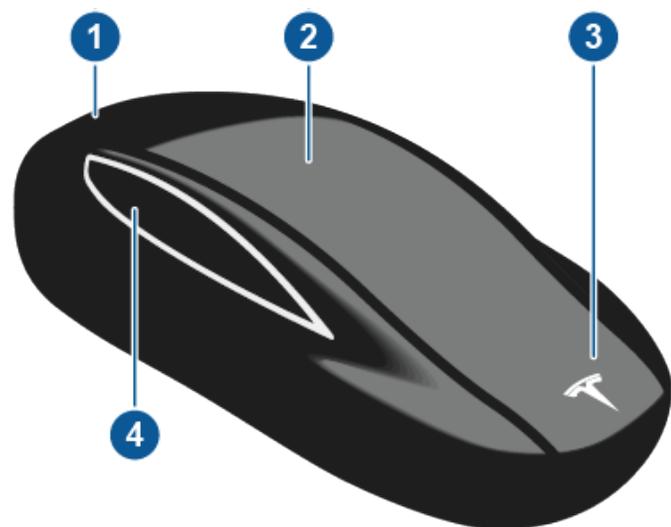


注: 降車後オートロック（降車後オートロック機能 ページ 34 参照）が有効になっていると、電話キーまたはパッシブキーフォブを持って降車した場合に限って作動します。キーカードを持って降車した場合、Model X は自動的にロック解除/ロックされません。

キーフォブ

注: 販売地域、車両構成、または製造日によっては、車両にキーフォブが付属していない場合があります。詳細については、<http://shop.tesla.com> を参照してください。

キーフォブを Model X のミニチュア版と考えると、すぐに使いこなせるようになります。（Tesla のエンブレムのある側が前面です）。キーには他のエリアと比べて柔らかい触り心地のボタンがあります。



1. トランク

- リアトランクを開閉するには、ダブルクリックします。
- パワーリフトゲート搭載車で、リアトランクのラッチを外すには、ダブルクリックします。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。

- 充電ポートドアを開くには、ボタンを1～2秒間押し続けます。

2. すべてロック/ロック解除

- シングルクリックすることで、すべてのドアとリアトランクがロックされます。ハザードライトが1回点滅します。

注: ドアまたはリアトランクが開いている場合は、ハザードランプが3回点滅してドアはロックされません。ただし、「キーフォブで全て閉じる」設定をオンにすると（「コントロール」>「ロック」>「キーフォブで全て閉じる」の順にタッチします）、すべてのドア（およびリアトランク）を閉じることとロックすることをシングルクリックで行えるようになります。デフォルトでは、この設定はオフとなり、すべてのドアを閉じてロックするにはトリプルクリックする必要があります。

- アンロックするにはダブルクリックします。ハザードライトが2回点滅します。

注: 自動ドアがオンになっている場合（「コントロール」>「ロック」>「自動ドア」にタッチします）、Model X に近づくだけでドアがロック解除されて、運転席のドアが開きます。続いてダブルクリックすると、助手席側のフロントドアが開きます。

3. フロントトランク

- フロントトランクのラッチを外すには、ダブルクリックします。

4. ファルコンウィングドア

- ダブルクリックすると、対応するファルコンウィングドアが開閉されます。
- シングルクリックすると、対応するファルコンウィングドアの動きが止まります。続いてダブルクリックすると、ファルコンウィングドアの動きが逆になります。たとえば、ドアを開いていたときは閉じ、閉じていたときは開きます。

注: ファルコンウィングドアは、事前に障害物を検出し、障害物が検出されたときはドアが動かないように設計されています。

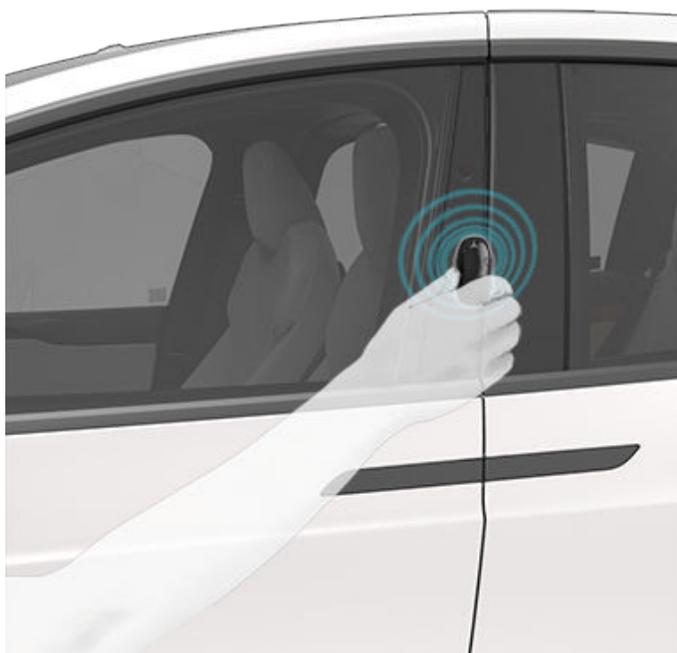
⚠ 警告: Model X ファルコンウィングドアには、ドアの動線にある物体の存在を検出するセンサーが複数取り付けられています。大半の場合、物体が検出されるとドアの動きは止まります。ただし、センサーはどんな場合でも、特にドアが閉まりかけている場合に、あらゆるエリアで何でも検出できるわけではありません。そのため、ドライバーは常に、ドアの動線に障害物がないようファルコンウィングドアを見守り、いかなるときもドアが何か（人を含む）に接触することを事前に防止できるようそばにいてください。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

車内に入ったら、キーフォブを押してから2分以内にブレーキペダルを踏んで Model X の電源を入れます（**始動と電源オフ** ページ 83 を参照）。2分以上そのままの状態で行った場合、ロック解除ボタンを再度押すか、またはキーフォブを、左ワイヤレス電話充電器の下側にあるカードリーダーの近くに、センターコンソール上で下向きにして置く必要があります。キーフォブが検出されると、2分間の認証が再開します。

キー フォブを携帯して Model X に近づいたり離れたりした場合、操作範囲内であれば Model X に向けてキー フォブのボタンを押す必要はありません。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器（携帯電話、ノートパソコンなど）から 30 cm 以上離してください。

キー フォブは電池がなくなっても、使用することができます。車両のロックを解除するには、（キーカードと同様に）運転席側ドアピラーにあるカードリーダーでキー フォブをスキャンします。



車両を運転するには、電話充電器でキー フォブをスキャンします。

1. 左側電話充電器の上で**センター デバイダー**に当たるように置きます。
2. キー フォブの前面を左に向けます。
3. 下側にスワイプします。



バッテリーの交換手順はキー フォブのバッテリーを交換する [ページ 29](#) に記載しています。

 **注意:** キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

パッシブ ロック/ロック解除

お使いのキー フォブを使用してハンズフリーで便利に Model X をロック/ロック解除できます。ペアリングしたキー フォブを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model X には、約 2 m の範囲内でキー フォブの存在を認識できるセンサーが車両周辺に装備されています。そのため、キー フォブをポケットまたはお財布に入れたまま、ドアハンドルを引くとロックが解除され、ハンドルがせり出します。キー フォブを携帯すると、キーを使用せずにリフトゲートの外部スイッチを押してトランクを開けることもできます。「**降車後オートロック**」を有効にすると、キー フォブを持っている人が降車してキー フォブが作動範囲内でない状態になると、Model X は自動的にロックされます（[降車後オートロック機能 ページ 34](#) 参照）。キー フォブを Model X にペアリングすると、パッシブ ロック/ロック解除が自動的に有効になります。

注: セキュリティを強化するため、車両が使用されていないときにキー フォブが車両の範囲内にあっても（例えば車両の外に運転者が立っているなどしても）、車両が停止してから 5 分経過すると、パッシブ ロック/ロック解除は無効になります。この場合、キー フォブを振るか、ボタンを押してパッシブ ロック/ロック解除を再度有効にする必要があります。

ストラップを取り付ける

ストラップを付けるときは、上記の要領で底面のカバーを外します。キー フォブの幅広い側にあるスロットの間にあるピンの上にストラップを置きます。カバーを合わせて、パチンと押し込みます。

キーの管理

Model X にアクセスできるすべてのキーのリストを表示するには、「コントロール」>「ロック」の順にタッチします。それぞれのキーの横に表示されるアイコンは、そのキーが電話キー、キーカード、キーフォブのいずれかを表します。このリストを使用して Model X へアクセスできるキーを管理します。

Model X は一度に最大 19 個のキーをサポートします。そのうち 4 個のキーはキーフォブにすることができます。この制限に達した場合は、新しいキーを登録する前に既存のキーを削除する必要があります。

キーカードまたはキーフォブは、複数の Tesla 車両にペアリングできます。これにより、複数の車両を使用していたとしてもキーを何個も持つ必要がなくなりました。キーカードとキーフォブは、一度に多くの車両とペアリングして使用することができます。車両とペアリングすることで、その車両にアクセスして運転できるようになります。

注: キーフォブを車両とペアリングすると、そのキーフォブでパッシブエントリーが可能になるほか、遠隔操作でドアをロック解除したり、トランクやフロントトランクを開けたりすることができます。キーフォブを複数の Tesla 車両とペアリングした場合、パッシブエントリーと遠隔操作によるロック解除および開放は一度に 1 台にしか使用できません。キーフォブの平らな面を運転席側のドアピラーにあるカードリーダーにタッチさせて、パッシブエントリーまたは遠隔操作によるロック解除または開放を利用したい車両を選択します。

注: 1 台の車両にペアリングされたキーカードまたはキーフォブの名前を（ペンシルアイコンをタッチして）カスタマイズすると、そのキーカードまたはキーフォブがペアリングされた他の車両でもその変更された名前が表示されます。

注: 車両をリースしている場合、リース会社に連絡してキーを追加または削除してください。

電話キーを追加

電話機を電話キーとして追加した後は、その電話機を使用して Model X にアクセスすることができます。電話キーのペアリングを開始する前に、以下を確認してください。

- 電話機の一般 Bluetooth 設定が有効になっていること。
- Tesla モバイル アプリの電話機設定で Bluetooth が有効になっていること。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、Bluetooth 設定がオンになっていることを確認します。
- あなたの所在地へのアクセスが有効であること。電話機の設定で Tesla モバイル アプリを開いて、「ロケーション」>「常時」の順に選択します。モバイル アプリをバックグラウンドで実行し続けていると、快適にサービスをご利用いただけます。
- 車両のタッチスクリーンで「モバイルアクセスを許可」を有効にします（「コントロール」>「安全」>「モバイルアクセスを許可」）。

注: Model X は、Bluetooth を使用して電話機と通信します。多くの携帯電話では、バッテリー残量が少なくなると Bluetooth が無効になります。電話キーを設定する前に、お使いの携帯電話に Bluetooth を使用するための十分なバッテリー残量があることを確認してください。

電話キーを追加するには次の手順で行います。

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントのユーザー名とパスワードを使用して Tesla モバイル アプリにログインします。

注: 電話機を使用して Model X にアクセスするには、Tesla アカウントにログインした状態のままにする必要があります。

注: ハンズフリー トランクなど、車両にアクセスするための多くの便利な機能は、モバイル アプリで現在選択されている車両でのみ使用できます。お客様の Tesla アカウントに複数の車両が関連付けられている場合は、そのような便利な機能を使用したい車両がモバイル アプリで現在選択されていることを確認する必要があります。

3. 車内またはその近くで、Tesla モバイル アプリを開いて、メイン画面で「電話キーを設定」にタッチするか、「セキュリティ」>「電話キーを設定」に進みます。

Apple Watch をキーとして使用することもできます。車内または車両の近くにいるときに、Apple Watch で Tesla モバイル アプリを開いて「ウォッチキーを設定する」にタッチします（Apple Watch 用モバイル アプリ ページ 75 を参照）。

4. モバイル アプリおよび車両タッチスクリーンのプロンプトに従って電話キーを設定します。

Model X は、同時に 3 つの電話キーに接続できます。このため、3 つ以上の電話キーが検出されていて別の電話機を認証またはペアリングしたい場合は、接続されている他の電話キーを範囲外に移動させるか、その Bluetooth 設定をオフにします。

タッチスクリーンからのキーの追加

キーカードまたはキーフォブがすでに車両とペアリングされている場合は、タッチスクリーンを使用して新しいキーをペアリングできます。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「ロック」>「キー」>「キーを追加」の順にタッチします。
2. 無線電話充電器にあるカードリーダーで新しいキーカードまたはキーフォブをスキャンします。キーフォブをスキャンする：
 - 左側電話充電器の上でセンター デバイダーに当たるように置きます。
 - キーフォブの前面を左に向けます。
 - 下側にスワイプします（図示のとおり）。

チャイムが鳴って新しいキーが認証されたら、キーをカードリーダーから離します。



3. 車両にペアリング済みのキーカードまたはキーフォブをスキャンして、新しいキーペアリングを確認します。
4. 完了すると、キーリストに新しいキーが表示されます。該当するペンシルアイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

モバイルアプリからのキーの追加

あなたがその車両の所有者であれば、Tesla モバイルアプリを使用して新しいキーをペアリングできます。Tesla モバイルアプリからキーを追加すると、キーカードやキーフォブが使えない場合に役立ちます。

注: キーとモバイルアプリのペアリングは、ソフトウェアバージョン 2022.40 以降を装備する車両で、Tesla モバイルアプリのバージョン 4.29.0 でサポートされています。

1. 車内または車両の近くで、スマートフォンで Tesla モバイルアプリを開きます。
2. モバイルアプリで「セキュリティとドライバー」にタッチしてから「キーカードを追加」にタッチします。
3. 無線電話充電器にあるカードリーダーで新しいキーカードまたはキーフォブをスキャンします。キーフォブをスキャンする：
 - 左側電話充電器の上でセンター デバイダーに当たるように置きます。
 - キーフォブの前面を左に向けます。
 - 下側にスワイプします（図示のとおり）。



4. キーが正常にペアリングされると、モバイルアプリに確認メッセージが表示されます。モバイルアプリで「完了」にタッチし、カードリーダーからキーカードまたはキーフォブを取り出します。

完了すると、車両のタッチスクリーンにあるキーリストに新しいキーが含まれます。該当するペンシルアイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

キーの削除

Model X にアクセスするためのキーを使用しなくなった場合（例えば、電話またはキーカードを失くした場合）、次の手順でキーを削除できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ロック」の順にタッチします。
2. キーリストで削除したいキーを見つけたら、該当するごみ箱アイコンにタッチします。
3. 指示が表示されたら、認証済みのキーカードまたはキーフォブをカードリーダーでスキャンして、削除されていることを確認します。完了すると、キーリストに削除したキーが表示されなくなります。

注: Model X では少なくとも 1 つの認証されたキーカードまたはキーフォブが常に必要です。キーリストに 1 つのキーカードしかない場合は、キーを削除できません。

キーフォブのバッテリーを交換する

キーフォブには電池が内蔵されており、キーフォブのバージョンや選択した車両設定に応じて、通常使用で最大 1 年持ちます。バッテリー残量が低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

キーフォブのバッテリーを交換する:

1. 柔らかい面の上にキーフォブのボタン側を下側にして置き、小さいマイナスドライバーを使用して底部のカバーを外します。



注: キーにストラップが付いているときは、底面のカバーの「X」の文字のところを指で押して（カバーを押してロックを外す）ストラップを引くと、底面のカバーを外すことができます。また、キーとカバーの間に小さなマイナスドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを差し込んでカバーをこじ開けることができます。

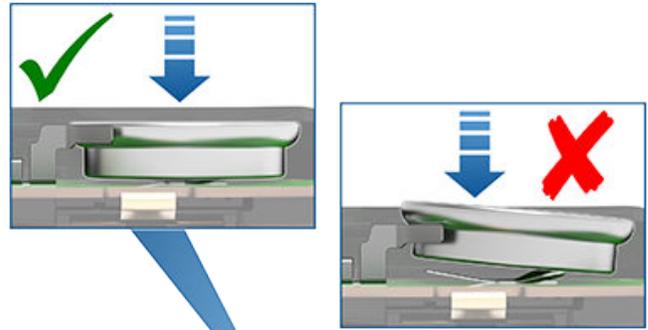
2. 保持クリップからバッテリーを持ち上げて取り外します。



3. 電池の平らな面に触れないようにしながら新しい電池（CR2354 タイプ）を「+」側の面を上にして入れます。

注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

! 注意: バッテリーは+の接触面に対してスプリングで押さえられていなければなりません。バッテリーを接触面の上に置いて無理に押さえつけることはしないでください。接触面を損傷する恐れがあります。



注: CR2354 電池は、電池を販売している小売店から購入できます。

4. 底のカバーを斜めにしながら、カバー上のつまみをキーフォブ上にある対応する溝に合わせます。それから、カバーをしっかりとキーフォブに押し付け、しっかりと閉めます。
5. Model X のロック解除/ロックを実施して、キーフォブが動作するかテストします。

! 警告: キーフォブの電池は化学火傷を起こす可能性がありますので誤飲しないでください。キーフォブにはコイン電池が使用されています。コイン電池を誤飲した場合は、2時間以内に深刻な体内の火傷が生じる可能性があり、死に至るおそれもあります。新品および使用済みの電池はお子さまの手の届かない場所で保管してください。電池コンパートメントがしっかりと閉まらない場合は、電池の使用を中止して、お子さまの手の届かない場所で保管してください。電池を誤飲したり、体内のどこかにあると思われる場合は、すみやかに治療を受けてください。

キーカードおよびキーフォブの交換

キーカードまたはキーフォブを紛失した場合、Tesla ショップで交換品をご購入いただけます。ペアリングの準備ができたら、[キーの管理 ページ 28](#) の手順に従ってください。セキュリティ上の理由から、「コントロール」>「ロック」>「キー」の順に移動して古いキーカードを忘れずに削除してください。

フロント ドアを車外から開閉する

Model X のドアは電動です。キーを携帯して Model X に近づくと、すべてのドアが自動的にロック解除されます。ドアハンドルを押すとフロント ドアが開きます。

また、運転席のドアは、車両に近づくと自動的に開き、車両から離れると自動的に閉じるように設定することもできます。検出された障害物に応じて、ドアが 20°~45°（半開き）の間で部分的に開きます。

「コントロール」 > 「ロック」 > 「自動ドア」の順にタッチします。この設定がオンの場合、キーフォブのロック/ロック解除ボタンをダブルクリックして運転席側のドアを開くこともできます。その後、ダブルクリックすることによってフロントの助手席ドアが開きます。「自宅で自動ドアを開くを除外する」を選択すると、ドアは自動で閉まりますが自動で開くことを無効にします（自宅住所を設定するには「ナビの実行」 > 「自宅を設定」の順にタッチします）。

「コントロール」 > 「ロック」 > 「運転席ドア アンロックモード」の順にタッチすると、運転席ドアだけをロック解除するように指定することもできます。運転席ドアロック解除モード ページ 34 を参照してください。

注: 寒冷時にドアを開ける際の情報は寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164 を参照してください。

⚠ 注意: 急な坂道に駐車している場合は、フロント ドアが自動で完全に開かない、または閉じない場合があります。急な坂道に駐車している場合は、ドアの開閉を Model X に完全に頼らないでください。

次の方法で、車両の外側からドアを閉めることができます。

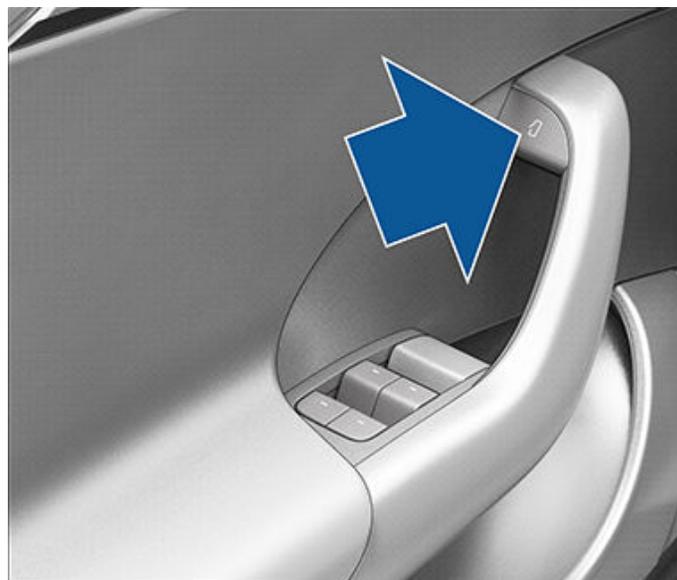
- 手動でドアを押して閉めます。
- キーフォブのロック/ロック解除ボタンをシングルクリックまたはトリプルクリックします（「キーフォブで全て閉じる」設定がオンの場合は、シングルクリックのみですべてのドアとトランクを閉めることができます。トリプルクリックする必要があるのは、この設定がオフの場合です）。
- モバイルアプリを使用します（モバイルアプリ ページ 75 を参照）。

注: 電動式のドアは、障害物が検出されると動作を停止します。

⚠ 警告: フロント ドアを自動で開閉する（手動で開閉する代わりに）ときは、まずドアの周囲に障害物（人や物など）がないか確認してください。人や物と接触しないようにドアの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

フロント ドアを車内から開閉する

車内で座った状態でフロント ドアを開けるには、インテリア ドアハンドルの上部にあるボタンを押し、ドアを押して開けます。



車両がパーキングにシフトしているときに Model X の車内にいる場合に、タッチスクリーンのポップアップを使用して、または「コントロール」 > 「ロック」の順にタッチして、ドアを開閉することもできます。

運転席ドアに座ってブレーキペダルを踏むと、運転席ドアが自動で閉まります。また、ハンドルを手前に引くことでもドアを閉めることができます。

⚠ 警告: ブレーキペダルを踏んで運転席のドアが自動で閉まる前に、手や足などの体の一部が閉まるドアを塞いでいないことを確認してください。

ファルコンウィングドアの開閉

Model X にはファルコンウィングドアがあり、ボタンを押す、キーフォブを使用する、モバイルアプリを使用する、またはタッチスクリーンで該当するアイコンにタッチすることで簡単に開閉します。ファルコンウィングドアには、人や物を検知するセンサーが複数装備されており、何かを検知した場合はドアの動きが止まります。検知した物体に応じて、ドアはそれに接触しないように外側および上方向の動きを調整します。たとえば、物体が Model X の上方に検知された場合、ドアはさらに外側には動くものの低めになり、一方、物体（または人物）がドアのそばに検知された場合には、ドアが外に出る動きはずっと少なくなります。

⚠ 警告: いかなる時でも、ファルコンウィングドア フレームには手を置かないでください。ドアを閉じる前はドアフレーム周辺を確認し、閉じ始めたらドアの動きを注視し人や物が挟まらないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

ドア

警告: ファルコンウィングドアの開け閉めをする前に、ドア周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。ドアには多くのセンサーがついていますが、いつでもすべての物体を検知できるとは限らず、特にドアが動いているときにはその傾向が高まります。ある時点において、ドア近くに検出できないゾーンが生じる場合があります。そのため、ファルコンウィングドアを開閉する場合、ドライバーおよびその他のパッセンジャーは、ドアの動きを意識し、いつでも対応できるようにしながら、動いているドアから離れてください。ドアを動かさないようにするには、キーフォブにあるファルコンウィングドアボタンをシングルクリックするか、ドアまたはドアピラーにあるスイッチを押すか、またはタッチスクリーンにあるボタンをタッチしてください。

ファルコンウィングドアを Model X の外から開けるには、ドアハンドルを押すかまたはキーフォブのファルコンウィングドアボタンを2回押します（[キー ページ 25](#)を参照）。

Model X の車内からファルコンウィングドアを開くには、運転席側のドアピラーにあるスイッチを押すか、タッチスクリーンで該当するドアアイコンをタッチします（「[コントロール](#)」 > 「[ロック](#)」）。

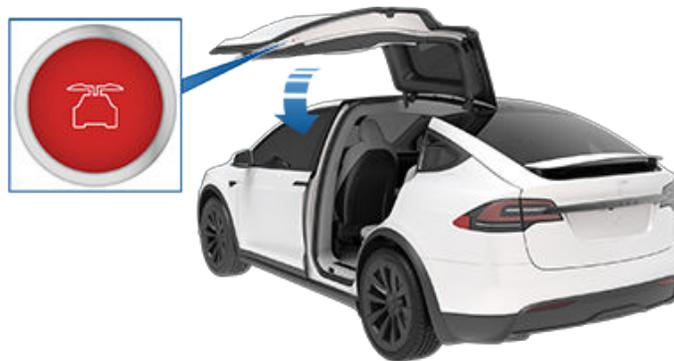
注: ファルコンウィングドアは、Model X が停止しているときにしか開きません。



注: Model X がロックされている場合は、一度スイッチ（上図参照）を使用して対応するドアのロックを解除します。これをもう一度行なうとドアが開きます。

注意: ドアに積雪や氷がある場合は、ファルコンウィングドアを開ける前に取り払ってください。雪が Model X 内部に入り、ドアが開かなくなる恐れがあります。ファルコンウィングドアの上部のガラスに水または雪がたまる状況では、Tesla はタッチスクリーンまたは（外部ドアハンドルまたはキーフォブではなく）ドアピラーのスイッチを使用してファルコンウィングドアをゆっくりと数 cm 開くことが推奨されます。ファルコンウィングドアを最初の数センチをゆっくり開くことで、水や雪が車内に入ることを減らします。

ファルコンウィングドアを閉じるには、ドアの内側にあるボタンを押してください。キーフォブを利用することもできますが（[キーフォブ ページ 26](#)を参照）、ドアピラーにあるスイッチ（上図参照）を使用するか、タッチスクリーンで対応するドアアイコンをタッチすることもできます（「[コントロール](#)」 > 「[閉じる](#)」）。



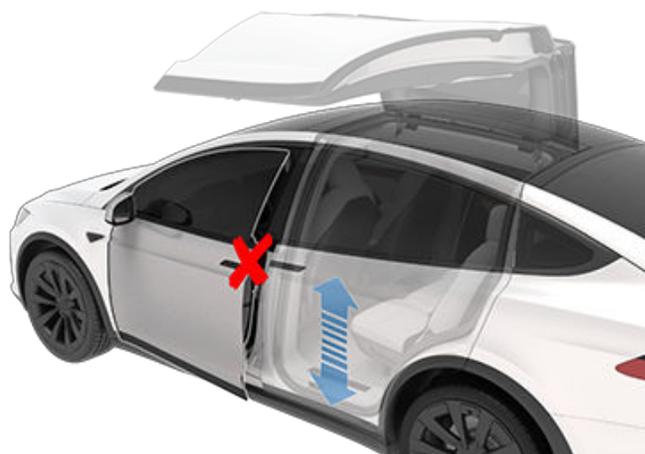
ファルコンウィングドアまたはフロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、タッチスクリーン上に運転する意を確認する通知が表示されます。走行速度が 16 km/h に達するとファルコンウィングドアは自動で閉じます。さらに、運転中にフロントトランクを開いたままにすることを選択した場合、車速は制限されます。運転する前にドアとトランクが確実に閉じられていることを確認するのはお客様の責任です。

注: お子さまが車内のスイッチを押してファルコンウィングドアを開けてしまわないようにするには、タッチスクリーンでチャイルドロックをオンにします（「[コントロール](#)」 > 「[ロック](#)」 > 「[チャイルドロック](#)」）。[チャイルドロック ページ 34](#)を参照してください。

注: タッチスクリーンを使用して、Model X のファルコンウィングドアを低い高さ設定で開くように設定することができます（「[コントロール](#)」 > 「[ロック](#)」 > 「[ファルコンドアの高さ](#)」）。

注: ファルコンウィングドアが閉じる時に障害物を検出すると、数センチ戻って動きを止めます。

警告: 対応するファルコンウィングドアを開閉しようとしているときにフロントドアが開いている場合は常に、フロントドアの開口部から手（あるいは物）を離してください。ファルコンウィングドアが開きかけているフロントドアを通過する際、両ドアの間隔は非常に狭くなります。その部分に置いた手や指などはセンサーに検出されず、ドアとドアの間に挟まれることがあります。ファルコンウィングドアの開閉時には、負傷事故の発生を防止するために、手はフロントドアから常に離しておく習慣をつけてください。



注意: 雨天時には、リフトゲートを開く際にファルコンウィングドアを開けたままにしていると、雨水がリフトゲートからリアシート部に侵入します。

警告: ファルコンウィングドアの開閉時には、ドアが人や物に触れることがないようにドアの動きを意識することが重要です。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

注: 万が一、Model X に低電圧電力がない場合、タッチスクリーンを使用したり、運転席側のドアピラーにあるスイッチを押したりしても、ファルコンウィングドアを開くことはできません。詳細情報については、[電力がない状態でドアを開く ページ 229](#) を参照してください。

障害物検出

ファルコンウィングドアは、それがもつ多くのセンサーが物体を検知したとき、あるいはドアが何かに接触したことにより抵抗を感じたときに動きを止めます。タッチスクリーンに警告が表示されます。このような場合は、ファルコンウィングドアの開閉を続行することが適切であれば、ドアピラーにあるスイッチを押したままにしたり、タッチパネル上のドアアイコンをタッチしたままにして、障害検出を無効にすることができます。

Model X が天井の低さを検知すると（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもファルコンウィングドア（およびトランク）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンで対応するドアアイコンにタッチすれば、この高さを無視してドアが開く高さを上げることができます（「コントロール」）。タッチスクリーンが、開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ねるメッセージを表示し、その設定を保存します。次回この位置でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

警告: デフォルト設定されているファルコンウィングドアの開く高さを変更する前に、ドアの開閉範囲でドアと障害物との間に十分なクリアランスがあることを目視で確認してください。

警告: ファルコンウィングドアの外側にラップやステッカー、ラバーコーティングなどの粘着性物質を付けると、センサーが物体を認識する性能に悪影響を与えることがあります。

キャリブレーション

ファルコンウィングドアのキャリブレーションが失われると、タッチスクリーンのメインコントロールウィンドウにメッセージ「**キャリブレーションが必要**」が表示されます。ドアのキャリブレーションを行うには、まず両方のドアの周囲に十分な空間があり乗員や物がないことを確認します。「コントロール」>「サービス」>「**ドアのキャリブレーション**」の順にタッチし、タッチスクリーンの指示に従います。キャリブレーション中、下のドアが完全に開き（Model X の側面に十分な空間が必要です）、上のドアが完全に下がり、下のドアが閉まります。

フロントドアのリセット

Model X には外側から引っ張ることのできる従来のドアハンドルが装備されていないため、車両にはポップアクチュエーター（アイスブレイカーとも呼ばれます）が装備され、寒冷時にハンドルが凍結した場合などにフロントドアを開けるのをアシストします。ポップアクチュエーターはフロントドアラッチの上にあります。必要に応じて引き出してフロントドアを開きます。フロントドアがわずかに開くと、ポップアクチュエーターはゆっくりとドアに格納されます。



ポップアクチュエーターが何かに引っかかり格納できなくなった場合、以下の手順でポップアクチュエーターを手動で引き出して引っかかったものを取り除くことができます。

1. ペン、スクリュードライバー、または同等のツールなど（指や体の一部などは入れない）を使って、塗装を傷めないようにドアラッチを慎重に閉じると、Model X はドアが閉じられたものと検知します。



2. Model X がロックされていることを確認したら、エクステリアハンドルを押す、またはインテリアハンドルを引いてラッチをリセットしポップアクチュエーターを引き出します。
3. ドアからポップアクチュエーターが引き出されたら、素早く引っ掛かっている物体を取り除きます。

警告: ポップ アクチュエーターは、ドアハンドルが押される、または引かれるとすぐに元に戻ろうとします。ポップ アクチュエーターはゆっくりと戻りますが、何かが挟まっていたりすると自動ではリリースされません。

警告: 車両の機械的な可動部分には体の一部が触れないよう十分に注意してください。ドアの開閉を行うときは、お子さまが挟まれないようご注意ください。ポップ アクチュエーターを含み、可動部分での作業する際は、大怪我をする恐れがあります。

内部からのロックとアンロック

Model X の車内に着席した状態で、「コントロール」のロックアイコンにタッチすると、すべてのドアおよびトランクをロック/アンロック解除できます。



アイコンの表示は、ドアがロックされているかアンロック解除されているかを示すように変化します。

降車後オートロック機能

ドアとトランクは、電話キーまたはペアリングしたキー フォブを携帯して車両から遠ざかると自動的にロックできます。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ロック」>「降車後オートロック」の順にタッチします。

注: Apple Watch をキーとして認証している場合、Apple Watch も降車後オートロックに使用できます。

ドアがロックされると、エクステリアライトが1回点滅してミラーが折りたたまれます（「ミラー折りたたみ」がオンになっている場合）。Model X がロックされているときの確認音を聞くには、「コントロール」>「ロック」>「ロック確認音」の順にタッチします。

注: 「おもちゃ箱」>「ブームボックス」>「施錠音」の順にタッチして、車両を外部からロックするときの施錠音をカスタマイズします（歩行者警告システムが必要です）。

Model X 次の場合、自動的にロックされません。

- 自宅を除くチェックボックスにチェックを入れ、Model X を自宅として設定した場所に駐車します。場所を自宅として設定する方法の詳細については、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169](#) を参照してください。
- Model X 内で電話キーやペアリングしたキー フォブが検出されている場合。
- ドアまたはトランクが完全に閉まっていない場合。
- 電話キーの Bluetooth 設定がオフになっています。
- ドライバーが運転席ドアを使用しないで降車した場合。

注: 降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

走行後オートロック

Model X 走行速度が時速 5 mi. (時速 8 km) を超えると、すべてのドア（トランクを含む）は自動的にロックされます。

運転席ドアロック解除モード

最初に Model X をロック解除するときは、「コントロール」>「ロック」>「運転席ドアロック解除モード」の順で有効化した場合に限り運転席ドアのロックが解除されます。キーが車両の運転席側にはあって助手席側にはない場合、運転席ドアのロックだけが解除されます。残りのドアをロック解除するためには、タッチスクリーンまたはモバイルアプリを使用するか、またはキー フォブをもう一度押します。

車両閉め忘れ通知

ドア、トランク、窓が開いたままになっているか、Model X が誤ってロック解除されたままになっている場合に、モバイル通知を受けるためには、「コントロール」>「ロック」>「車両閉め忘れ通知」の順にタッチします。

チャイルドロック

Model X はリア ドアにチャイルドロックを搭載しており、インテリア リリース ボタンでドアが開かないようにすることができます。タッチスクリーンで、「コントロール」>「ロック」>「チャイルドロック」の順にタッチします。「両方」を選択して後部ドアの両方にチャイルドロックをかけるか、「左」または「右」を選択して、特定のドアだけをオンにすることができます。

警告: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックをオンにすることを推奨します。

パーキング時にロック解除

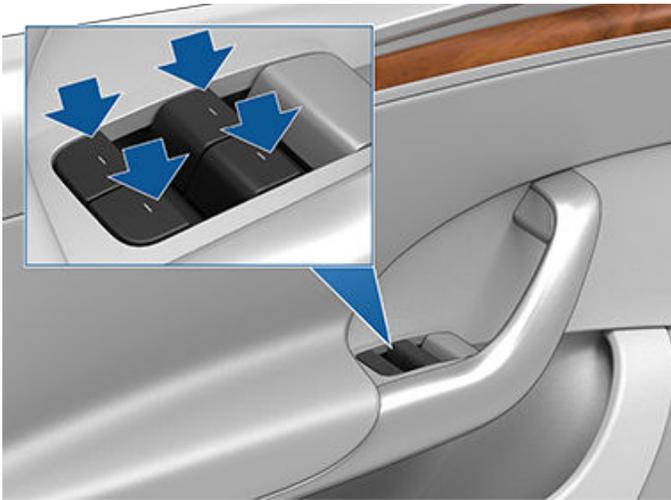
Model X を停止してパーキングにシフトすると、すべてのドアをロック解除することを選択できます。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ロック」>「パーキング時にロック解除」の順にタッチします。

開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には2段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、Model X がモバイルアプリに通知を送信できるように設定できます（「コントロール」 > 「ロック」 > 「開放ドア放置通知」の順にタッチして、「ドアとウィンドウ」を選択します）。

また、ロックしてウィンドウを閉めますを有効にするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ロックしてウィンドウを閉めます」の順にタッチします。有効にすると、Model X をロックした時に自動的にウィンドウを閉じます。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#) を参照してください。

! **注意:** ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。

! **警告:** ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

リアウィンドウスイッチを使用できないようにするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ウィンドウロック」にタッチします。リアウィンドウのロックを解除するには、「ウィンドウロック」を再度タッチします。

! **警告:** 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをお勧めします。

! **警告:** お子さまを付き添いなしで Model X 内に放置しないでください。

UV インデックス評価

Model X のルーフ、フロントガラスおよび窓は、人を UV 光線（紫外線）から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は2未満の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。

サンバイザー

Model Xのサンバイザーはマグネットで固定されています。フロントガラスから入り込む日差しを遮るには、ピラーからサンバイザーを外しマグネットで固定される位置までバックミラーに向けて回転させます。マグネットで所定の位置に固定されたら、サンバイザー下側のエクステンダーを張り出し日よけを最大にします。



バニティ ミラーを使用するには、バイザー エクステンダーを下げてミラーカバーを下げます。カバーを下げると、ミラーが現れライトが点灯します。



前席にいる人が横の窓から入り込む日差しを遮りたい場合は、ピラーからサンバイザーを下げてバイザー エクステンダーを下げます。

開く

リアトランクを開くには、Model X がパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- 電話キーを前ポケットに入れてトランクに近づきます (**ハンズフリー トランク ページ 37** を参照)。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「トランク」の順にタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのリアトランク ボタンをタッチします。
- リフトゲートのエクステリア ハンドルの下にあるスイッチを押します (有効なキーが検出されている必要があります)。

! **注意:** 閉鎖されたエリア (ガレージなど) でリフトゲートを開く前にリフトゲートを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかることがないことを確認してください (**リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 38** を参照)。

Model X このスイッチを使用してリフトゲートを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。



ドアまたはトランクが開いていると、インストゥルメントパネルに通知が表示されます。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーフォブのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、再び動作しますが方向は逆になります (止めた時にほぼ全開または全閉でない場合)。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

注: 緊急時には、リフトゲートを手でつかんでその場で停止させることで、「開く」または「閉じる」コマンドを無効にすることができます。

Model X が天井の低さを検知した場合 (例:ガレージ内)、他に障害物が無くてリフトゲート (およびファルコンウィングドア) を低めの高さで開きます。この高さは無視して、手動で持ち上げることができます。このときに、この場所で常にこの高さまでトランクを開けたいか選択して、保存するようにタッチスクリーンが求めてきます。保存を選択すると、次回以降はこの場所でリフトゲートを開ける際には、保存された高さまで Model X が開きます。

! **警告:** リフトゲートを開閉する前に、(人や物がないか) 周囲を確認してください。リフトゲートで障害物を検知することができますが、必ずすべてのものを検出することができるわけではありません。リフトゲートを開閉するときは、障害物の確認をセンサーだけに頼らないでください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

ハンズフリー トランク

ボタンを押さずにトランクを開けることができます。

注: iPhone 11 以降と Tesla モバイル アプリ 4.29.5 以降が必要です。電話の設定で、「近くの機器との関係」が Tesla モバイルアプリに対して許可されていることを確認します。電話キーがすでにペアリングされている場合は、Tesla モバイルアプリを開き、「電話キー」 > 「アップグレード」に進みます。

1. 有効にするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ハンズフリー トランク」の順にタッチします。設定した自宅住所で自動ハンズフリー トランクを無効にするには、「自宅を除く」を選択します (自宅住所を設定するには**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169** を参照)。
2. 電話キーを前ポケットに入れて、トランクに近づいて**静止します**。電話キーが検出されると、Model X からチャイムが鳴り、トランクが開きます。リクエストをキャンセルするには、車から離れてください。



リアトランク



⚠ 注意: トランク内に電話機を置いたままにしないでください。トランクが勝手に開くおそれがあります。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetoothを無効にするか、電話機の電源をオフにし、車両のロック/ロック解除を行うことができる別の方法を用意してください（キーページ 25 を参照）。

⚠ 警告: トランクを(手動による操作を行わず)自動で開くときは、まずトランクの周囲に障害物(人や物など)がないか確認してください。人や物と接触しないようにトランクの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

リフトゲートを開いたときの高さを調節

リフトゲートの開いたときの高さを調節して、楽に手が届くようにしたり、低い天井や物（ガレージドアやライトなど）に当たらないようにすることができます。

1. トランクを開いてから、手動でリフトゲートを任意の高さまで上下させてください。
2. 確認のチャイム音が聞こえるまで、リフトゲートの底面にあるボタンを3秒間長押しします。

3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さがお好みの高さであることを確認します。

⚠ 注意: 構成（車高またはホイール選択）に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 2.5 m まで開くことができます。リフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

- 「コントロール」 > 「トランク」の順にタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- 下側にあるスイッチを押します リフトゲート

リフトゲートを閉じているときに障害物が検出されると、動作が止まり、チャイムが2回鳴ります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。

貨物エリアへのアクセス

Model X を走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの上部に置くようにしてください。

リアトランク内の貨物エリアにアクセスするには、カーゴカバーハンドルの膨らんだ部分を押し下げてから引き上げてください。これで、カーゴカバーの位置を調整したり、カーゴカバーを完全に取り外したりすることが可能になります。



リアトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

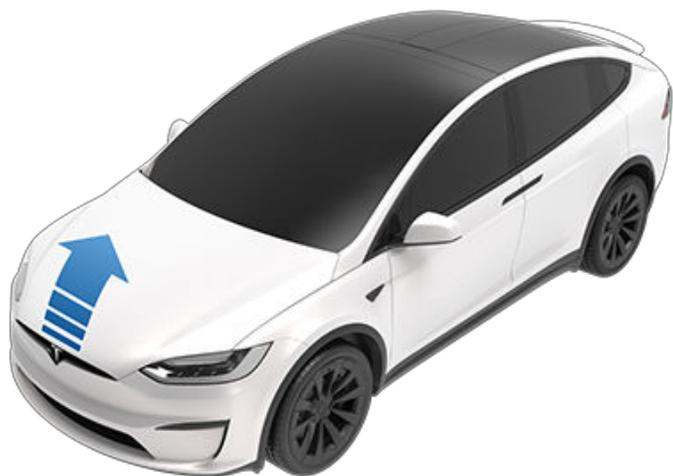
-  **注意:** リアトランクの下部コンパートメントに重量 40 kg を超える荷物を載せたり、上部コンパートメント（下部コンパートメントカバーの上）に重量 130 kg を超える荷物を載せたりしないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。
-  **警告:** 荷物を載せるときは、必ず車両の技術的に許容される最大積載質量 (TPMLM) を考慮してください（仕様ページ 210 を参照）。TPMLM は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

フロントランク

開く

フロントトランクを開くには、Model X を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- 電話キーを前ポケットに入れて、フランクに近づきます（ハンズフリー フランク ページ 40 を参照）。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「フロントトランク」にタッチします。
- キーフォブのフロントトランク ボタンをダブルクリックします。
- モバイル アプリのフロント トランク ボタンにタッチします。



ドア、トランクまたはリフトゲートが開いている場合インストゥルメントパネルに表示されます。

警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物 (人や物) がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

ハンズフリー フランク

ボタンを押さずにフランクを開けることができます。

注: iPhone 11 以降と Tesla モバイル アプリ 4.31.0 以降が必要です。電話の設定で、「近くの機器との関係」が Tesla モバイル アプリに対して許可されていることを確認します。電話キーがすでにペアリングされている場合は、Tesla モバイル アプリを開き、「電話キー」 > 「アップグレード」に進みます。

1. 有効にするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ハンズフリー フロントトランクとトランク」の順にタッチします。
2. 電話キーを前ポケットに入れて、フランクに近づいて**静止**します。電話キーが検出されると、Model X からチャイムが鳴り、フランクが開きます。リクエストをキャンセルするには、車から離れてください。



注意: フランク内に電話機を置いたままにしないでください。フランクが勝手に開くおそれがあります。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにし、車両のロック/ロック解除を行うことができる別の方法を用意してください（キー ページ 25 を参照）。

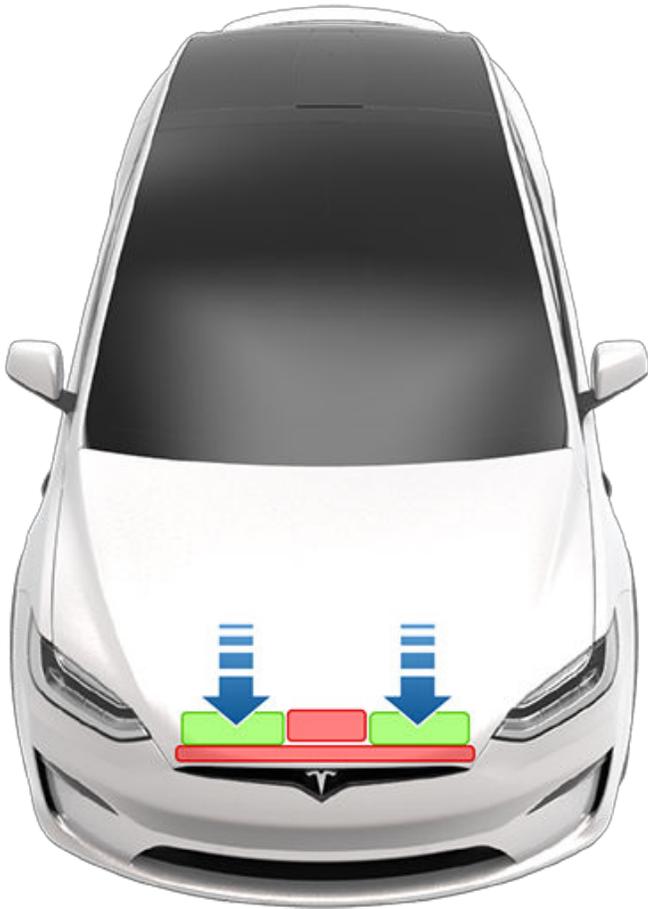
警告: フランクを（手動による操作を行わず）自動で開くときは、まずフランクの周囲に障害物（人や物など）がないか確認してください。人や物と接触しないようにフランクの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model X ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
2. ここで示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



⚠️ 注意: 認証済みの携帯電話をフロントトランク内に残したままにしないでください。

⚠️ 注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください (キー)。宝飾品もスクラッチの原因になります。

⚠️ 警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。

ファルコンウィング ドアまたはフロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、タッチスクリーン上に運転する意思を確認する通知が表示されません。加速を開始すると、ファルコンウィング ドアのドアが自動的に閉じる場合があります。さらに、運転中にフロントトランクを開いたままにすることを選択した場合、車速は制限されません。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイル アプリを使用して Model X をロックした場合。
- キーを携帯して Model X から離れた場合 (降車後オートロック機能 ページ 34 はオン状態)。
- バレーモードが有効な場合 (バレーモード ページ 107 を参照)。

フロントトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクのできる限り均等に配分されるようにしてください。

⚠️ 注意: フロントトランクには絶対に 50 kg を超える荷物を積まないでください。この重量を超過して荷物を積むと、車に損傷を与える恐れがあります。

⚠️ 警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の技術的に許容される最大積載質量 (TPMLM) を考慮してください (仕様 ページ 210 を参照)。TPMLM は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。



内部解除ボタンを押して、フロントトランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリース ボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

⚠️ 警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。

⚠️ 警告: フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。

センター コンソール

センター コンソールにはキー フォブおよびキー カード（[キー ページ 25](#) を参照）を読み取る RFID 送信機が収納されているに加え、カップホルダー、2つの収納コンパートメント、さまざまな充電器（[車内の電子装備品 ページ 12](#) を参照）、およびリアタッチスクリーンが含まれています。

メイン収納コンパートメントを開くには、フロントリップの下にあるラッチをひねります。カバーを前方にスライドさせて、フロント収納コンパートメントを開きます。



Model X には、リアタッチスクリーンの下にスライド式で引き出せるカップホルダーが2個装備されています。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、「コントロール」>「グローブボックス」にタッチします。グローブボックスが自動的に開き、ライトが点灯します。



注: 右ハンドル (RHD) 車では、上に図示されたグローブボックスが車両左側に左右反転した形で配置されています。

グローブボックスを閉じるには、ラッチが閉じる位置まで上に押します。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」にタッチして4桁のPINを設定します（[グローブボックス PIN ページ 151](#) 参照）。

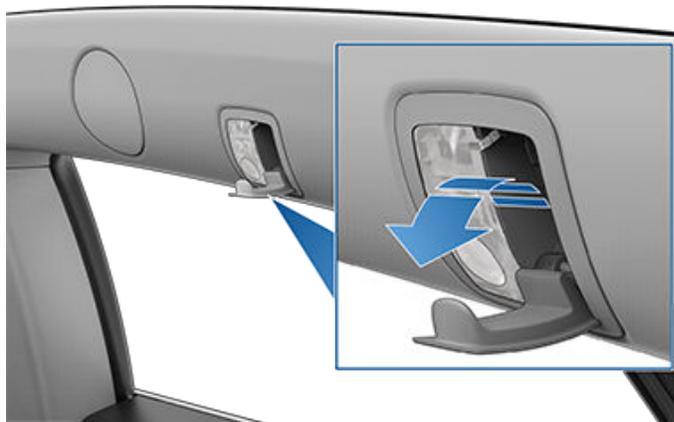
注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

注: グローブボックスは、閉じられているときや、Model X をモバイルアプリ、キーカードを使用してロックしたとき、Model X から電話キーを持って離れるとき（降車後オートロックがオンの場合）またはバレーモードが有効となっているときは常にロックされています（[バレーモード ページ 107](#) を参照）。タッチスクリーンのロックアイコンをタッチすることによって Model X がロックされているときは、グローブボックスはロックされません。

警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

コートハンガー

あなたの Model X には、車両の両側の2列目シートのリアウィンドウの上の、読書灯の横にコートハンガーが装備されています。コートハンガーを押すとリリースされます。再び押すと格納されます。





正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。

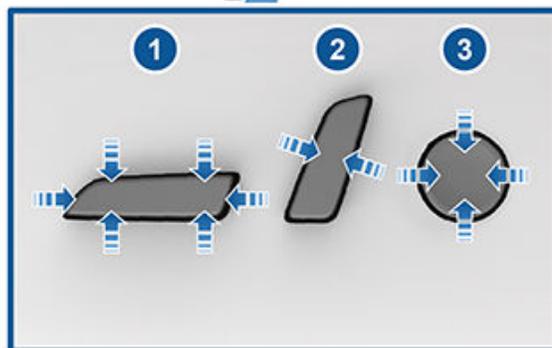


シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。
2. ペダルに足が十分に届き、ヨーク（またはハンドル）を握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から25cm以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model X シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しできません。

フロントシートの調整



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバーサポートを調整します。

タッチスクリーンを使用して助手席を調整する場合、「コントロール」>「シート」にタッチし、助手席イラストの隣にある矢印を使用して座席を前後に移動します。

- ⚠ 警告:** フロントシートを調整する前に、シートの周りに何も無いことを確認してください（人や荷物など）。
- ⚠ 警告:** 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

T フロントおよびリアシート

⚠ 警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30°未満にしてください。

シートのキャリブレーション

(装備されている場合) 運転席のキャリブレーションを実行できます。この機能は、シートの可動範囲が制限された場合や、ドライバーのプロフィールによる専用シート調整の自動実行がされていない場合に役立ちます。「コントロール」>「サービス」>「運転席、ハンドルおよびミラーのキャリブレーション」の順に移動し、タッチスクリーン上の指示に従ってください。

⚠ 警告: キャリブレーション中は、運転席の後部や下に何も無いことを確認してください。これらを怠ると、重傷を負うおそれがあります。

2 列目シート (ベンチ) の調整

2 列目ベンチシートには最大で 3 名が座ることができます。各シート外側にある機械式調整レバーを使用して、シートバックを調整します。ベンチシートは 6 対 4 に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げている間に背もたれを任意の位置に動かしたらレバーを離します。シートを直立の状態に戻した時は、シートを前方または後方に動かしてラッチがかかっていることを確認します。



⚠ 警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを 30°未満にしてください。

2 列目シート (ベンチ) の折りたたみ

2 列目シートのベンチシートのシートバックを前方に完全に折りたたんでフラットにすれば積載スペースを最大にすることができます。各シート外側にある機械式調整レバー (シートをリクライニングする時と同じ上記のレバー) を引き上げ、シートを前方に引き出します。ベンチシートは 6 対 4 に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートバックをたたみます。右側のレバーは右側のシートバックのみをたたみます。



注: シートを完全に折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。シートバックを前に折りたたんでフラットにするには、フロントシートの前方への移動が必要になる場合があります。

⚠ 注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

2 列目シート (ベンチ) の移動

注: 7 シーター仕様車に使用されるベンチシートのみ前後に動かすことができます。5 シーター仕様車のベンチシートは動かすことはできません。

各シート外側にある機械式調整レバーを使用して 2 列目シートを前後に動かします。ベンチシートは 6 対 4 に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げたまま、シートを前後させます。シートが任意の位置に来たらレバーを離します。レバーが所定位置でロックされていることを確認したうえで運転してください。

3列目シートへのアクセス（装備されている場合）

ベンチシート

車両にベンチシートが装備されている場合、2列目ベンチシートの窓側のバックレストにボタンがあります。このボタンを押すと、楽に3列目シートに乗り降りできます。左外側シートのイーゼントリーボタンを押して離すと、左側シートと中央のシートが前方に傾き移動します。右外側シートのイーゼントリーボタンを押して離すと、右側シートが前方に傾き移動します。



注: ベンチシートの位置は機械式レバーのみで調整することができます。タッチスクリーンでベンチシートを調整することはできません。

2列目シート（モノポスト）の調整

モノポストシートが装備された Model X では、2名が2列目に座ることができます。これらのシートの位置を調整するには、手動調整を使用します。



座席上部近くにあるボタンを使用するとシートバックを前後に移動することができます。

シートの一番下にあるL字のボタンを使用すると、シートを前後に移動することができ、L字ボタンの上部を前後に傾けると、バックレストを調整できます。

注: バックレストは、レバーを離したときの位置にロックされます。ドライブモードにシフトしたときにバックレストがロックされていないと、インストゥルメントパネルが警報を表示します。バックレストを調整し直して、ロックされていることを確認します。

警告: 運転前に、座席が正しい位置にロックされていることを確認してください。座席を前/後ろに引いて、しっかりカチッと留める必要があります。



警告: 3列目のある車両では、お子さまを2列目に乗せているときに、2列目の窓際のベンチシートのバックレストにあるイーゼントリーボタンを使用しないでください。ボタンを使用すると、左側/中央一体型シートが前方に動いて傾き、乗員が圧迫されてしまう可能性があります。このボタンは、2列目シートに乗員がいないときのみ使用してください。運転前に、シートやシート背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。

傾斜地に駐車したときや、シートトリムがベンチシートの動きに影響を与えるときなど、イーゼントリーボタンを押してもベンチシートが完全に前まで動かないことがあります。その場合は、トラックの端に達するまでゆっくりとシートを押してください。

警告: 3列目エントリーボタンを使用して3列目シートに乗車した後、ベンチシートを座席位置に戻したら、シートを前後にゆずってラッチがしっかりかかっていることを確認します。運転前に、所定の位置で座席を完全に留めてください。「カチッ」と所定の位置に座席が留まるまで、座席を押し引きしてください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

T フロントおよびリアシート

モノポストシート

車両にモノポストシートが装備されている場合、2列目窓側のモノポストシートのバックレストにイージー エントリー ボタンがあります。このボタンにより、3列目シートの乗り降りがしやすくなります。「コントロール」 > 「安全」 > 「3列目イージーエントリー」をタッチして、このボタンの機能を選択することができます。

- **ON** - イージーエントリー ボタンを一回押して、窓際シートを完全に前傾、中央シートは部分的に前傾させます。
- **OFF** - オフになっているときにチャイルドシートを2列目に取り付けている場合、2列目シートを動かすときにイージーエントリーボタンを押し続ける必要があります。



このボタンを使用して3列目に乗車したら、ボタンをもう一度押して2列目シートを元の位置に戻します。

⚠ 警告: お子さまが2列目に座っているときに、2列目の窓側シートのバックレストにある3列目イージーエントリーボタンを使用しないでください。このボタンは、2列目シートに乗員がいないときのみ使用してください。このボタンを使用すると、シートが前方に動いて傾き、乗員が圧迫されてしまう可能性があります。このボタンを使用しているときは、Model X による着座の確認や着座している乗客の対応を信用しないでください。

3列目のイージーエントリーボタン用ガイドライン:

- イージーエントリーの作動中、2列目シートにぶつかる位置にフロントシートがある場合、フロントシートは自動的に、2列目シートを前方に移動させるのに十分なだけ前方に移動します。
- 窓側のシートをイージーエントリーのために前に傾けたとき、そのバックレストは中立位置にリセットされますので、快適な位置まで再度調整する必要があります。
- 2列目モノポストシートが前方へ移動しているときに、乗員が調整しようとする、その動きが止まります。

⚠ 警告: 走行前に、必ずシートが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

3列目シートの折りたたみ (装備されている場合)

3列目シートを折りたたむには、シートの外側上部のかどにあるボタンを押します。ボタンには2つの戻り止めがついています。



1. ヘッド拘束装置を前にたたみます。
2. シートバックを前方にたたみます。

注: 3列目シートを折りたたむ前に、シートや足元スペースから物を取り除いてください。シートバックをフラットにするには、2列目シートを前方へ移動させる必要がある場合があります。

注: 3列目シートを前に折りたたんで走行すると、雑音や振動が車両後部（トランク、サスペンションなど）から発生する場合があります。

注: シートの位置を高くするには、シートの外側上隅にあるボタンを押したまま、シートが固定される位置までシートバックを上引きします。シートバックを前側に引っ張り、所定位置でロックされていることを確認します。

⚠ 注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

⚠ 警告: 走行前に、必ずシートバックが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

シートヒーター

すべての座席には加熱パッドがあります。さらにフロントシートの2つの座席には換気装置があります。すべての座席で、タッチスクリーンの空調を使用してシートヒーターを制御することができます。



- ⚠ 警告:** 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

- ⚠ 警告:** シート搭載式エアバッグを装備した座席にシートカバーを使用しないでください（[エアバッグの位置 ページ 68](#)を参照）。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席フロントエアバッグのステータスを判断するために使用される乗員検知システムが搭載されている場合に、シートカバーを使用すると検知システムの障害になってしまいます。

T シートベルト

シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、3点式イナーシャリールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるように自動的に張力がかかるようになっています。

シートベルトリールは、Model Xが急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的に締め付けられてロックします。

シートベルト リマインダー



インストゥルメントパネル上のシートベルトリマインダーは、運転席または助手席に座る人のシートベルトが外された場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物(書類かばんなど)を移動してください。リマインダーライトが点灯したままになっている場合は、サービスを予約し、問題が解決するまでシートの使用を控えてください。

警告: シートベルトは、座席にいるすべての大人の乗員が着用する必要があります。

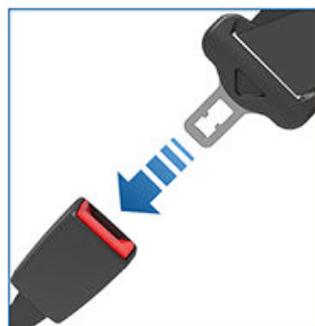
注: 法令で後部座席にシートベルトリマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。運転席シートの正しい位置の詳細については、(正しい運転位置 ページ 43 を参照)を参照してください。
2. シートベルトをスムーズに引き出して、シートベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。シートベルトが正しく取り回され、ねじれていないことを確認します。シートベルトまたはシートベルトコンポーネントの上には絶対に座らないでください。

警告: シートベルトがねじれていたり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

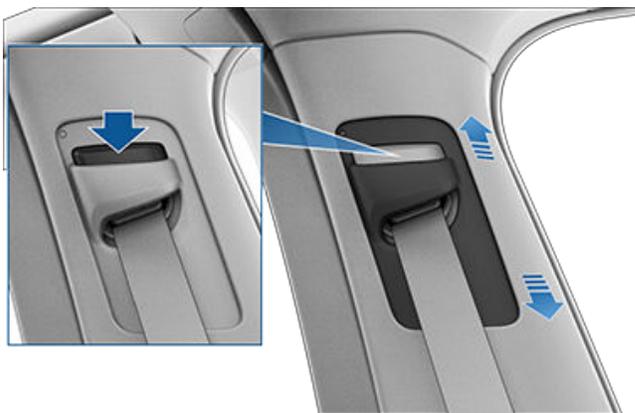


4. シートベルトを引いて、安全に固定されたことを確認します。
5. シートベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model Xには各フロントシートに調節可能なショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置(正しい運転位置 ページ 43 参照)にあるときは鎖骨の中間点を横切って平らになるように作られています。シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダーアンカーの高さを調整します。

1. ショルダーアンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押したまま、必要に応じてショルダーアンカーを上下に動かして、シートベルトを正しく配置します。



3. ショルダーアンカーのボタンを放して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトのベルト部分を引っ張り、ショルダーアンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

⚠ 警告: 運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダアンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダアンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを外すには

シートベルトが急に巻き込まれないようにバックル近くのシートベルトを持ち、バックルのボタンを押すとシートベルトが自動的に巻き込まれます。シートベルトが完全に巻き込まれるのを妨げる障害物がないことを確認します。シートベルトが緩んでぶら下がった状態にならないようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



⚠ 警告: シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。

⚠ 警告: 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロントシートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアッパーショルダウエビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったことを意味します。

2列目の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダプリテンショナーが装備されています。

⚠ 警告: プリテンショナーアセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルトシステムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで以下の点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きまします。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きまします。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
3. シートベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗や損傷がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。

シートベルト

4. ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きまわります。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルト ページ 203](#) を参照してください。

シートベルトに関する警告

-  **警告:** シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付けの際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
-  **警告:** すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。
-  **警告:** シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。
-  **警告:** ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
-  **警告:** ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
-  **警告:** シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
-  **警告:** 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla または認定修理施設に点検または交換を依頼してください。
-  **警告:** シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。
-  **警告:** シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗剤等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。
-  **警告:** シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。
-  **警告:** シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
-  **警告:** シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。

 **警告:** シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

 **警告:** シートベルト システムにはユーザーが整備することができる部品はなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。



助手席フロントエアバッグを OFF にする必要があります。

Model X は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグの状態をコントロールしています(エアバッグ ページ 68 参照)。

警告: 助手席にお子さまを座らせることが法律で許されている販売地域でも、助手席フロント エアバッグを有効にしたまま、お子さまを前席助手席には座らせないでください。必ずエアバッグが OFF になっていることを確認してください (エアバッグ ページ 68 参照)。

サンバイザーに貼付されているラベルを参照してください。



助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーンの隅に表示されます。



お子さまを助手席に乗せて運転する場合 (許可されていれば)、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。



次に助手席に乗る大人の安全を守るために、忘れずにフロント助手席のエアバッグをオンに戻してください。

警告: お子さまが助手席に乗車するとき、フロント エアバッグがオフになっていることを確認することはドライバーの責任です。チャイルドシートを所定位置に設置した状態で助手席フロントエアバッグを非作動にすることができなかった場合は、お子さまおよびチャイルドシートをリアシートに配置し、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

チャイルドシートの適合性および取り付けについて

Model X に装備されているシートベルトは大人用です。乳児や小児のお子さまを乗車させる場合は、以下が必要です。

- お子さまの年齢、体重、または体のサイズに適したチャイルドシートを使用してください (推奨されるチャイルドシート ページ 52 を参照)。
- Model X の座席に合ったチャイルドシートを使用してください。各座席に使用できるチャイルドシートのタイプについては、助手席 ページ 55、2 列目の窓際座席 (ベンチシート) ページ 57、または 2 列目の窓際座席 (モノポストシート) ページ 59、2 列目の中央座席 ページ 61 および 3 列目シート ページ 62 を参照してください。
- 製造元の指示に従って、チャイルドシートを正しく設置してください (一般的なガイドラインはベルトベースのチャイルドシートの取り付け ページ 63 と ISOFIX チャイルドシートの取り付け ページ 63 を参照します)。

注: チャイルドシートを取り付けている場合も、シートベルト警告チャイムを鳴らさないようにするにはシートベルトをバックルに挿入する必要があります。

警告: 2 列目モノポストシート装備の Model X で、2 列目シートにチャイルドシートを取り付けている場合は、必ず **イージーエントリー** を無効にしてください (3 列目シートへのアクセス (装備されている場合) ページ 45 参照)。

警告: ベンチシートが装備されている Model X で、2 列目にチャイルドシートを取り付けているときには、必ず運転席/助手の **イージーエントリー** を無効にしてください。(3 列目シートへのアクセス (装備されている場合) ページ 45 参照)。

チャイルドシート

警告: 2 列目にチャイルドシートを取り付けて運転する前には、インストゥルメントパネルやタッチスクリーン上に「シートロック解除」の警告が表示されないことを確認してください。この警告は、シートが安全にロックされる位置まで戻っていないため、シートに安全に乗車できない状態であることを示しています。タッチスクリーンやインストゥルメントパネルに警告メッセージが表示される場合、しっかりとシートがロックされ、メッセージが表示されなくなるまで、シートやバックレストをわずかに前方/後方へ動かします。

推奨されるチャイルドシート

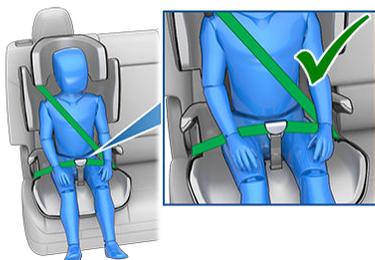
以下の表では、お子さまの体重グループ (ECE R44 「子供用拘束装置に関する統一規定」に定義) に基づいた推奨チャイルドシートを示しています。Model X の座席、助手席に重量制限はありませんが、各座席に使用できるチャイルドシートのタイプは異なります。例えば、シートベルトで取り付けるチャイルドシート (2 つの取り付け方法 ページ 53 で定めるもの) は後列の中央座席で使用することができます。

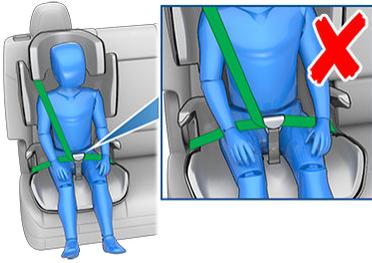
ステータス*	体重グループ**	お子さまの体重	Tesla 推奨
-	グループ 0 +	13 kg 以下	Maxi-Cosi CabrioFix Easybase2、FamilyFix、または EasyFix
45~105 cm	-	-	Maxi-Cosi Pearl 360 (Familyfix 360 付き)
-	グループ I	9~18 kg	Britax Römer DUO PLUS
-	グループ II	15~25 kg	Britax Römer KIDFIX ² R
100-150 cm	-	-	Britax Römer KIDFIX I-Size
-	グループ III	22~36 kg	Britax KIDFIX ² R, Peg Perego Viaggio 2-3 Shuttle ベース

* R129 CRS メーカー評価による
** R44 CRS による

Britax Römer Kidfix i-Size

Britax Römer Kidfix i-Size チャイルドシートを Tesla の推奨に従って身長 100~150 cm のお子さまに使用する場合、Britax SecureGuard も使用する必要があります。Britax SecureGuard を使用する場合、膝ベルトをお子さまの腰に平らになるように掛けてください。SecureGuard の下にサッシュベルトを置かないでください。詳しくは Britax の説明書を参照してください。





より大きなお子さまを乗せるとき



お子さまの体格が大きくてチャイルドシートに収まらない、しかし車両のシートベルトで安全に固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合ったブースターシートを使用してください。ブースターシートを取り付けるときは、製造元の説明書に従ってください。

2つの取り付け方法

注: 必ずチャイルドシート製造元の説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

たくさんバリエーションがありますが、一般的にチャイルドシートには座席への固定方法により2種類あります。

- ベルト式 - 車両のシートベルトでチャイルドシートを固定（ベルトベースのチャイルドシートの取り付け ページ 63 を参照）。
- ISOFIX/i-Size 使用 - 車両の座席に組み込まれたアンカーバーに固定（ISOFIX チャイルドシートの取り付け ページ 63 参照）。

一部のチャイルドシートは、どちらの方法でも取り付けられます。チャイルドシートの製造元が提供する説明書を参照して、取り付け方法とその詳細を確認してください。

Model X の座席には、シートベルトで固定するチャイルドシートを取り付けることができます。また、ISOFIX/i-Size のシートを2列目の一方の窓際座席に取り付けることができます。各座席に使用できるチャイルドシートのタイプに関する詳細情報は次に記載しています。

注: ISOFIX および i-サイズは、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法に関する国際標準規格です。



チャイルドシート

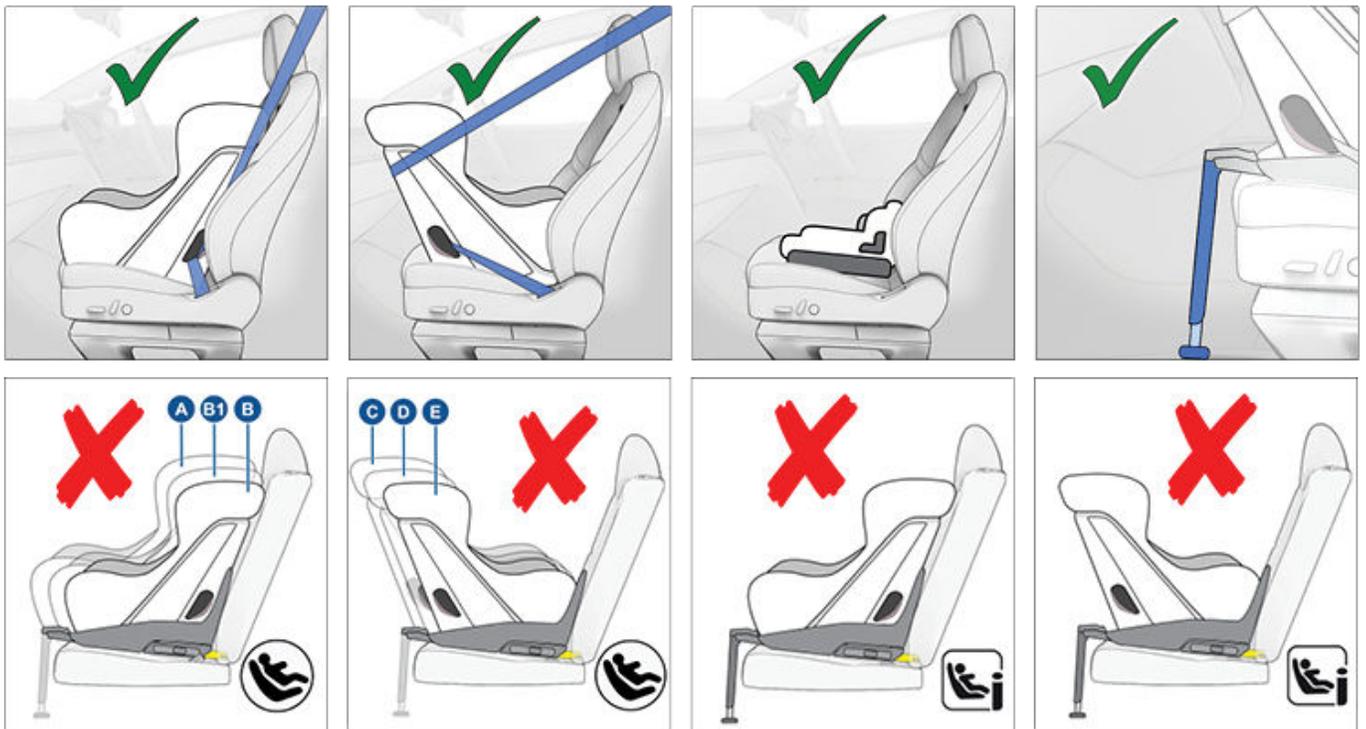
⚠ 警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超えるような状況で、ISOFIX/i-サイズのアンカーをチャイルドシートやシートベルト内蔵のブースターシートに使用しないでください。

助手席

警告: エアバッグを有効にした助手席にお子さまを座らせないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

警告: シートベルトで取り付けるチャイルドシートを助手席に取り付けるときは、シートの高さを中高位置（～3 cm）まで上げる必要があります。

注: 助手席には、ISOFIX チャイルドシートの取り付けに対応する低位置のアンカーバーがありません。助手席には、トップテザーアンカーも備わっていません。



助手席フロントエアバッグが無効に、そしてシートが昇降高さの半分以上に上げられている場合、乳児および小児のお子さまは、以下に示すベルトベースのチャイルドシートを使用すれば助手席に座ることができます。

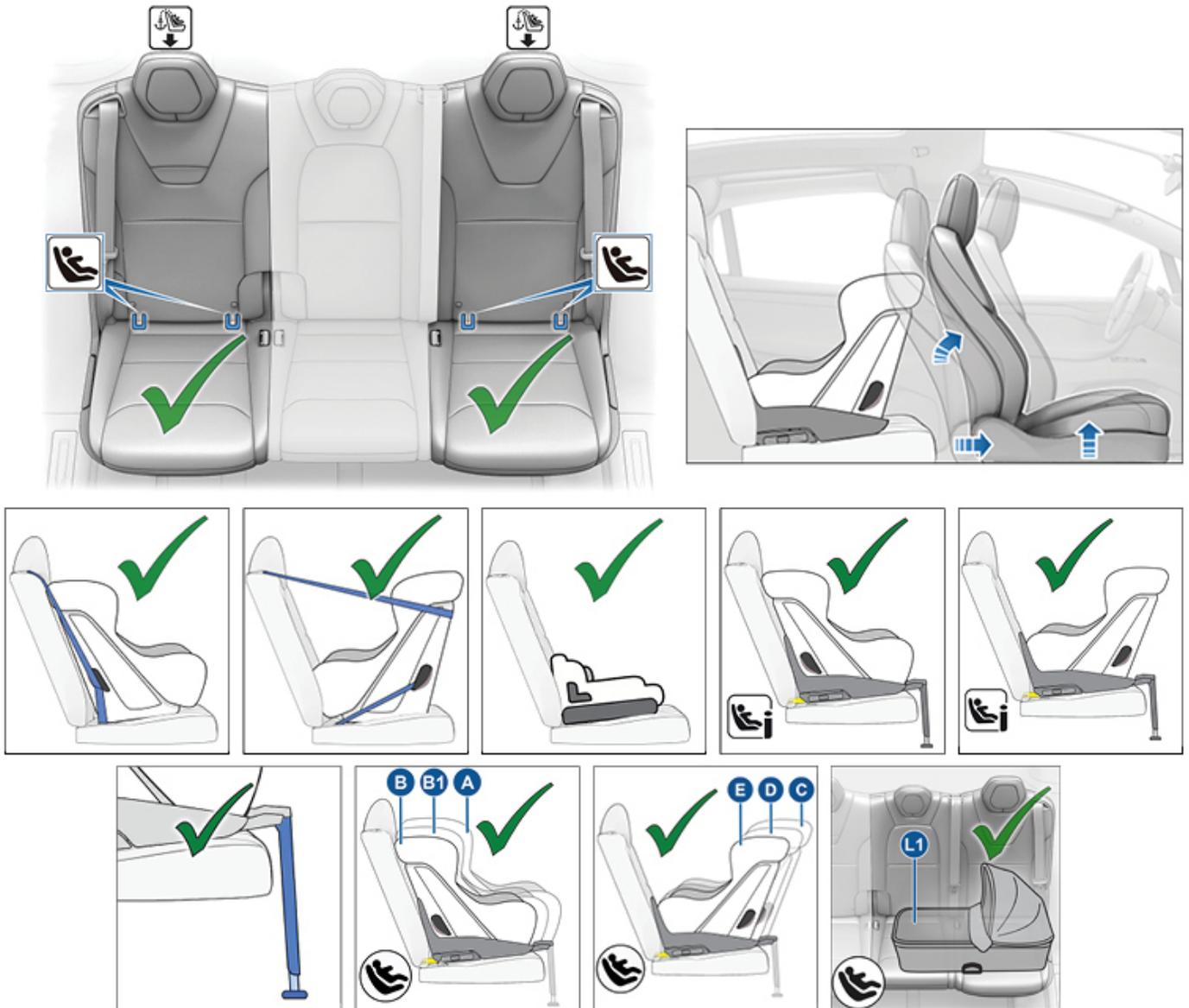


チャイルドシート

- 前向き、多目的。
- 後ろ向き、多目的。

体重グループ	お子さまの体重	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0	10 kg 以下	使用禁止	許可
グループ 0+	13 kg 以下	使用禁止	許可
グループ I	9～18 kg	使用禁止	許可
グループ II	15～25 kg	使用禁止	許可
グループ III	22～36 kg	使用禁止	許可

2列目の窓際座席（ベンチシート）



シートベルト取り付け式のチャイルドシートや ISOFIX (IU)、i-Size (i-U) チャイルドシートを固定して、乳幼児やお子さまを2列目の窓際座席に乗せることができます。以下の ISOFIX サイズクラスのもの、は、2列目の窓際座席で使用できます。

- サイズ分類 A*、B、および B1 前向き
- サイズ分類 C*、D、および E 後向き
- サイズ分類 L1 の左向きチャイルドシート。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書に記載のとおり適切に設置した B2 タイプまたは B3 タイプのブースターシートを使用して、大きめお子さまを後列の窓際座席に乗車させることができます。

注: 大きな後ろ向きの ISOFIX チャイルドシート (サイズクラス C) を取り付けるには、取り付けるシートを最後方位置に動かして、対応するフロント座席を前の位置から中央の位置 (最後方の位置から最大 13 cm 前方) に動かし、座席を上 (一番低い位置から 3 cm) 上げ、座席角度を後方へ 15 度 (または、一番前方に倒した位置から前方へ 10 度) 傾ける必要があります。

注: 2列目の窓際座席は、トップテザーストラップの使用に対応しています (トップテザーストラップを取り付ける ページ 65 参照)。

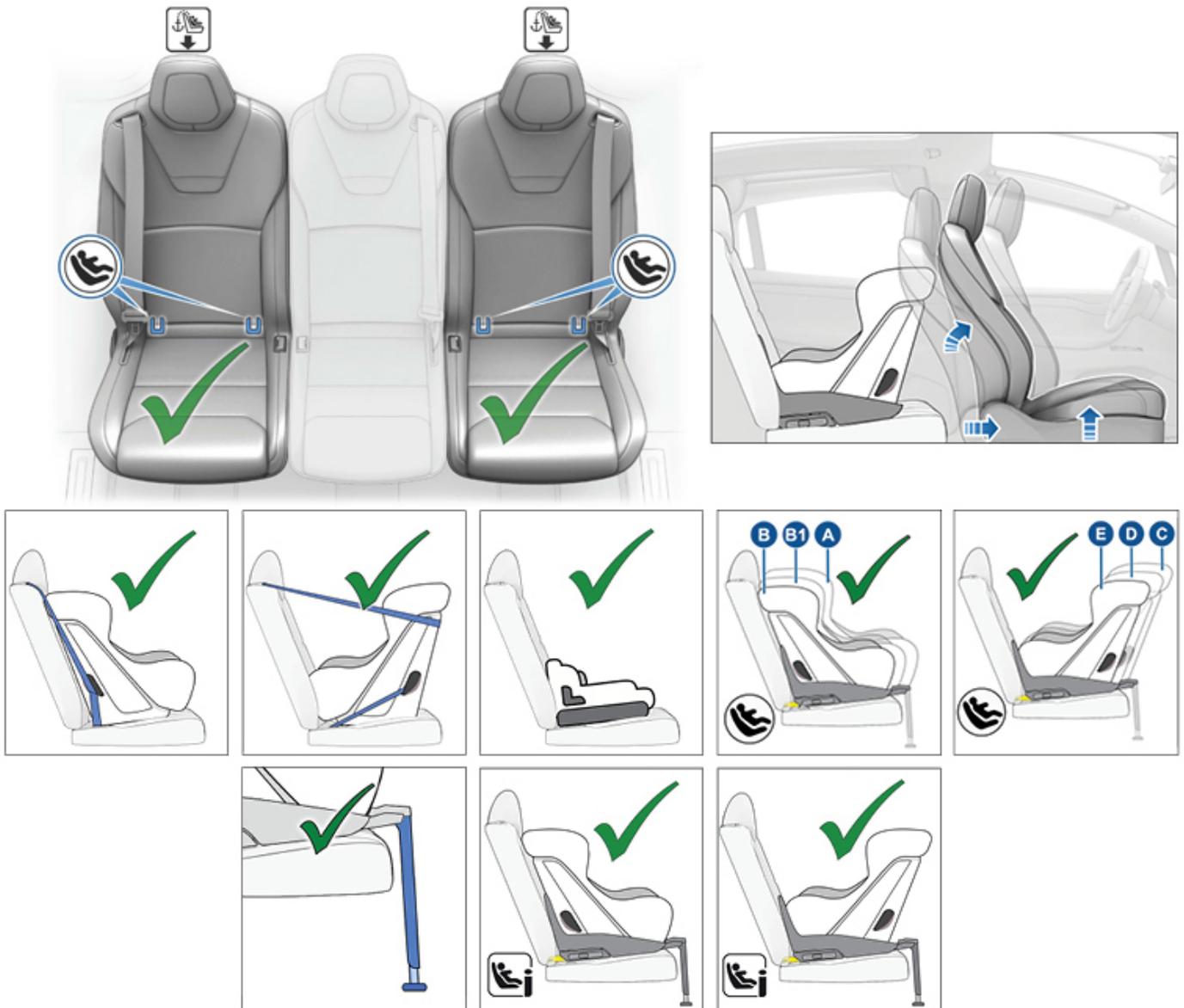


チャイルドシート

注: 重量制限はありません。

-  **警告:** 運転席の後ろのシートにチャイルドシートを取り付けている場合、運転席を自動で最後位置に動かすような設定で「イージーエントリー」(ドライバープロフィール ページ 106 に記載の通り) を使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。
-  **警告:** 2 列目にチャイルドシートを取り付けて運転する前には、タッチスクリーンやインストゥルメントパネル上に「シートロック解除」の警告が表示されないことを確認してください。この警告は、シートが安全にロックされる位置まで戻っていないため、シートに安全に乗車できない状態であることを示しています。タッチスクリーンやインストゥルメントパネルに警告メッセージが表示される場合、しっかりとシートがロックされメッセージが表示されなくなるまで、シートやバックレストをわずかに前方/後方へ動かします。

2列目の窓際座席（モノポストシート）



シートベルト取り付け式チャイルドシートや ISOFIX のチャイルドシートを固定して、乳幼児やお子さまを 2 列目の窓際座席に乗せることができます。シートベルトで前向き/後ろ向きに取り付ける ISOFIX、または i-Size (I-U) チャイルドシートは 2 列目の窓際座席で使用可能です。以下の ISOFIX サイズクラスのもの、2 列目の窓際座席で使用できます。

- サイズ分類 A*、B、および B1 前向き
- サイズ分類 C*、D、および E 後向き

チャイルドシートメーカーの取扱説明書に記載のとおり適切に設置した B2 タイプまたは B3 タイプのブースターシートを使用して、体の大きなお子さまを 2 列目の窓際座席に乗車させることもできます。

注: 大きな後ろ向きの ISOFIX チャイルドシート（サイズクラス C）を取り付けるには、取り付けるシートを最後方位置に動かして、対応するフロント座席を前の位置から中央の位置（最後方の位置から最大 13 cm 前方）に動かし、座席を上（一番低い位置から 3 cm）上げ、座席角度を後方へ 15 度（または、一番前方に倒した位置から前方へ 10 度）傾ける必要があります。

注: 2 列目の窓際座席は、トップテザーストラップの使用に対応しています（[トップテザーストラップを取り付ける ページ 65 参照](#)）。

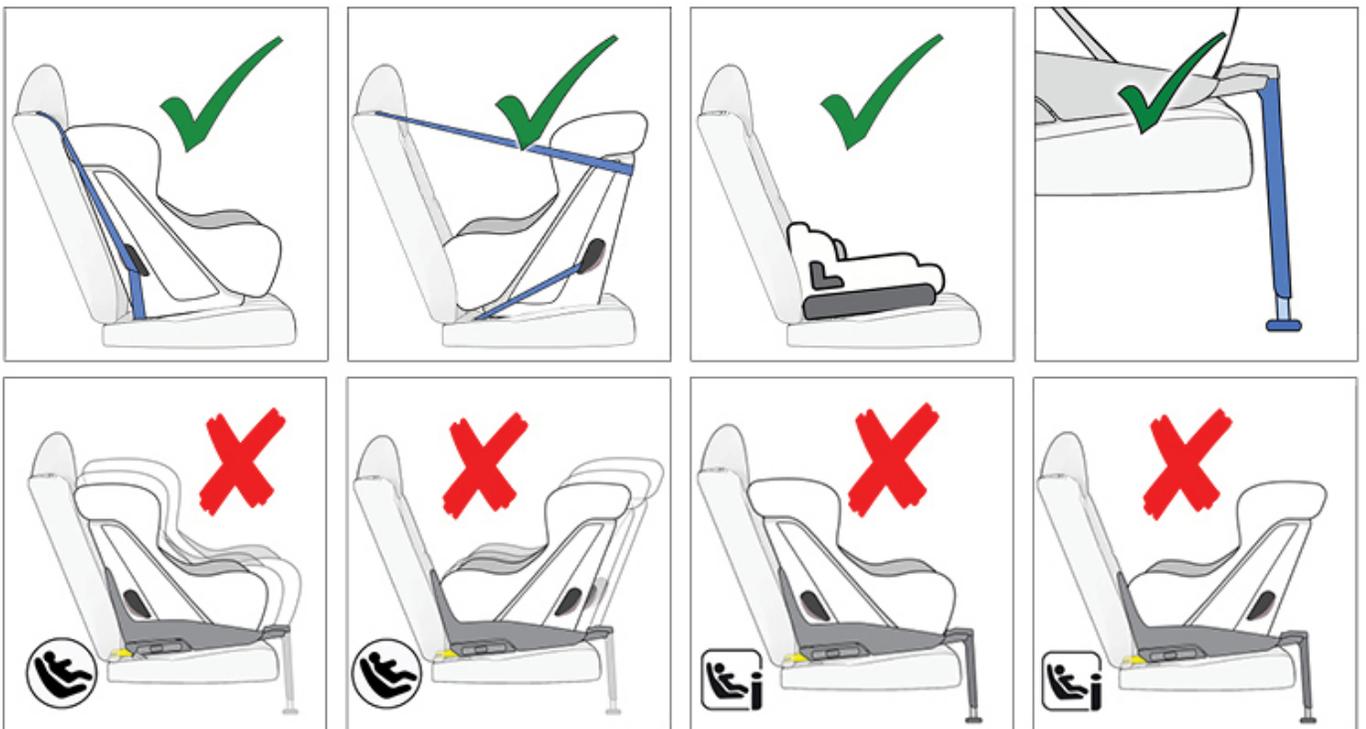
注: 重量制限はありません。



チャイルドシート

-  **警告:** 運転席の後ろのシートにチャイルドシートを取り付けている場合、運転席を自動で最後位置に動かすような設定で「**イージーエントリー**」(ドライバープロフィール ページ 106 に記載の通り)を使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。
-  **警告:** 3列目シートのある車両で、お子さまが2列目のモノポストシートに座っているときには、3列目に楽に乗り降りするために2列目の窓際シートを前に動かすボタンの設定を「**オフ**」にする必要があります(「**コントロール**」 > 「**シート**」 > 「**イージーエントリー**」の順にタッチ)。このため、2列目の座席に座っているお子さまがその前の座席に押されるのを防ぎながら、必ず手動でボタンを長押ししてシートを動かす必要があります。[3列目シートへのアクセス \(装備されている場合\) ページ 45](#)を参照してください。
-  **警告:** 2列目にチャイルドシートを取り付けて運転する前には、タッチスクリーンやインストゥルメントパネル上に「**シートロック解除**」の警告が表示されないことを確認してください。この警告は、シートが安全にロックされる位置まで戻っていないため、シートに安全に乗車できない状態であることを示しています。タッチスクリーンやインストゥルメントパネルに警告メッセージが表示される場合、しっかりとシートがロックされ、メッセージが表示されなくなるまで、シートやバックレストをわずかに前方/後方へ動かします。

2列目の中央座席



シートベルトベースの後向きのチャイルドシートを使用して、乳幼児を後列の中央座席に乗車させることができます。シートベルトベースの後向き/前向きのチャイルドシートを使用して、お子さまを後列の中央座席に乗車させることができます。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書に記載のとおり適切に設置した B2 タイプまたは B3 タイプのブースターシートを使用して、大きなお子さまを2列目の中央座席に乗車させることができます。

注: 2列目の中央座席には、ISOFIX チャイルドシートの取り付けに対応する下部のアンカーバーが装備されていません。

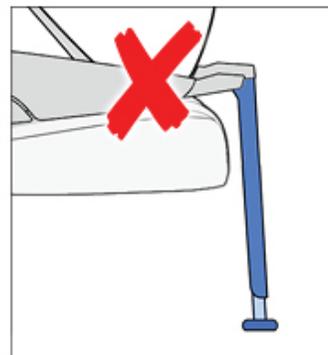
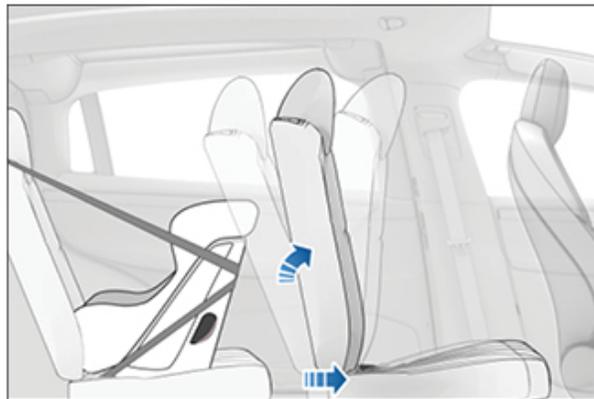
注: 重量制限はありません。

⚠ 警告: 3列目のある車両では、お子さまが2列目に座っているときに、2列目の窓際のベンチシートのバックレストにあるボタンを使用しないでください。ボタンを使用すると、2列目の左側/中央一体型シートが前方に動いて傾き、乗員が圧迫されてしまう可能性があります。このボタンを使用するときは、空席の確認を Model X に任せきりにしないでください。このボタンは、2列目シートに乗員がないときのみ使用してください。参照 (3列目シートへのアクセス (装備されている場合) ページ 45 参照)。

⚠ 警告: 2列目にチャイルドシートを取り付けて運転する前には、タッチスクリーンやインストルメントパネル上に「シートロック解除」の警告が表示されないことを確認してください。この警告は、シートが安全にロックされる位置まで戻っていないため、シートに安全に乗車できない状態であることを示しています。タッチスクリーンやインストルメントパネルに警告メッセージが表示される場合、しっかりとシートがロックされメッセージが表示されなくなるまで、シートやバックレストをわずかに前方/後方へ動かします。

T チャイルドシート

3 列目シート



シートベルト取り付け式チャイルドシートを固定して、乳幼児やお子さまを 3 列目座席に乗せることができます。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書に記載のとおり適切に設置した B2 タイプのブースターシートを使用して、大きなお子さまを 3 列目座席に乗車させることもできます。

注: 大きな後ろ向きのチャイルドシートを取り付けるには、対応する 2 列目シートを前方に動かして、座席角度を後方へ 15 度（または、一番前方に倒した角度から後方へ 10 度）傾ける必要があります。

注: 3 列目座席には、ISOFIX チャイルドシートの取り付けに対応する下部のアンカーバーが装備されていません。

注: 重量制限はありません。

ベルトベースのチャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを使用する際は、チャイルドシートの製造元が提供する取扱説明書に必ず従ってください。ベルトベースのチャイルドシートの一般的なガイドラインに従ってください。

- チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。
 - お子さまを厚着させて座らせないでください。
 - お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。
 - お子さまに合わせて毎回チャイルドシートのハーネスを調整します。
1. チャイルドシートを適した座席に置き、シートベルトを全部引き出します。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



2. シートベルトを巻き取り、チャイルドシートを車両の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの弛みを取り除きます。
3. チャイルドシート製造元の指示通りに上部テザーストラップを取り付けます（[トップテザーストラップを取り付けるページ 65](#) 参照）。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

2列目の窓際座席には、ISOFIX/i-Size 用アンカーバーが装備されています。このアンカーバーは座席のクッションと背もたれの間にあります。各アンカーバーの正確な位置は、直接、関連アンカーバーの上についている座席の後ろ側のマーク（下の例示）で分かるようになっています。

モノポスト シート:



2列目は窓際座席の位置にだけ ISOFIX/iSize チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

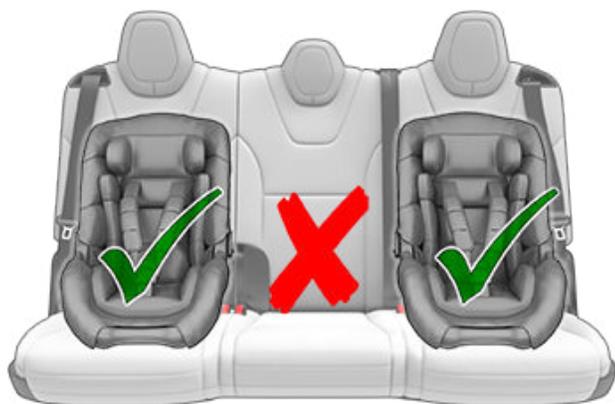


ベンチシート:

チャイルドシート



2列目は窓際座席の位置にだけ ISOFIX/iSize チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。



チャイルドシート製造元の説明書をよく読み指示に従って、ISOFIX/i-サイズのチャイルドシートを取り付けてください。取り扱い説明書には、「カチッ」と所定の位置までチャイルドシートを座席アンカーバーにスライドさせる方法が記載されています。チャイルドシートをシートの背もたれにしっかりと押し付け、ぴったりと収まるようにする必要があります。



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。片手でチャイルドシートの前面を掴んで、次を行ってください。

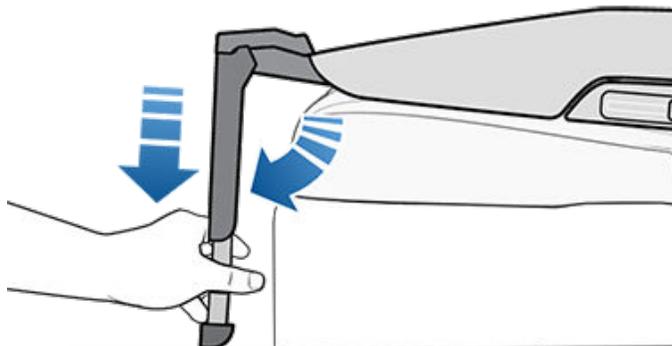
- チャイルドシートを横方向に揺らします。
- チャイルドシートを前後方向に揺らします。

チャイルドシートが回転したり座席から離れるようだと、両方のラッチがシートのアンカーバーにしっかりと取り付けられていません。再度付け直してください。チャイルドシートのあるラッチの両方が完全に取り付けられていることを必ず確認してください。

警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超える場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースターシートに ISOFIX/i-Size のアンカーを使用しないでください。

安全脚

運転席以外の 2 列目までの座席がすべて、Model X 安全脚付きチャイルドシートの使用に対応しています。チャイルドシートに脚がついている場合は、チャイルドシートの製造元が提供する説明書に従って脚を伸ばしてください。





トップテザーストラップを取り付ける

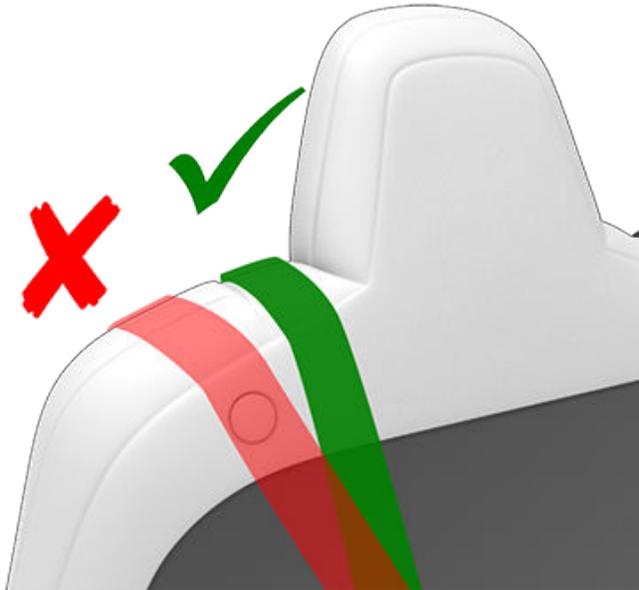
2列目および3列目座席は、上部テザーストラップが使用できるようになっています。チャイルドシート製造元の説明書にトップテザーストラップ取り付けについて記載がある時には、そのフックを関連座席の後ろにあるアンカーポイントに取り付けます。

注: チャイルドシートの製造元の説明書に従い、上部テザーストラップを締め付けてください。

テザーストラップのアンカーポイントは、後列座席の後側にあります。

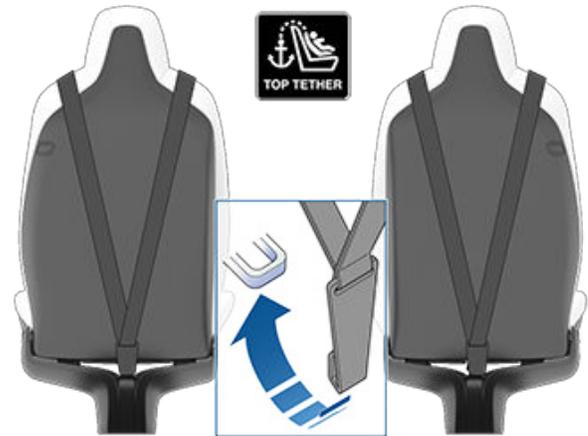
デュアルストラップテザーでは、ヘッド拘束装置の両脇にストラップを通します。

⚠ 警告: テザーストラップを巻き付けるとき、以下の図のようにヘッドレストにストラップをきつく巻き付けてください。3列目シートのある Model X では、テザーストラップでシートの後方肩部にある3列目用イージーエントリーボタンが隠れないようにしてください。

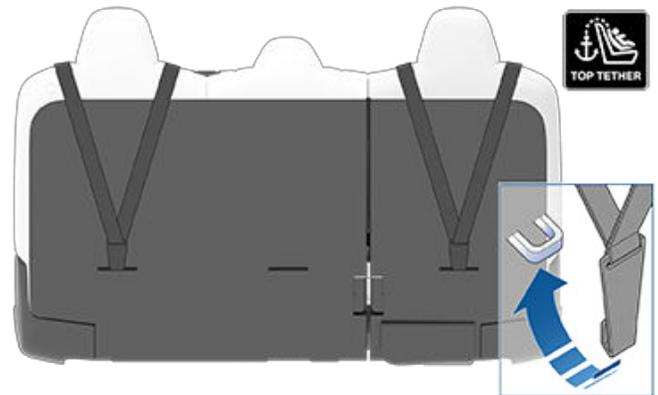


⚠ 警告: シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

デュアルストラップ - 2列目モノポストシート:



デュアルストラップ - 2列目ベンチシート:



デュアルストラップ - 3列目シート

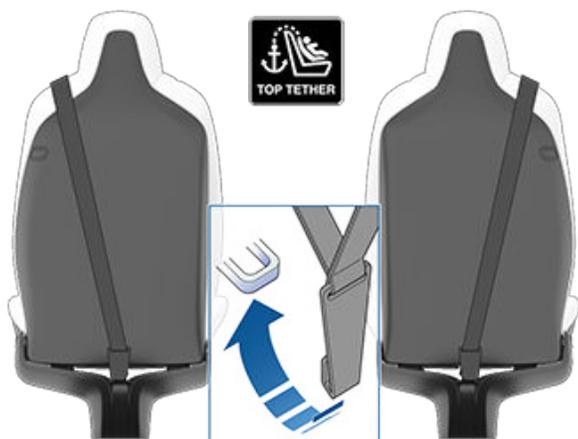


シングルストラップ - 2列目モノポストシート:

シングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドレストの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）から着座位置の外側に通します。



チャイルドシート



シングルストラップ-2列目ベンチシート:

シングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドレストの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）から着座位置の外側に通します。中央の着座位置で（装着されている場合）、ストラップはヘッドレスト上部の上から中央に置きます。





チャイルドシート警告

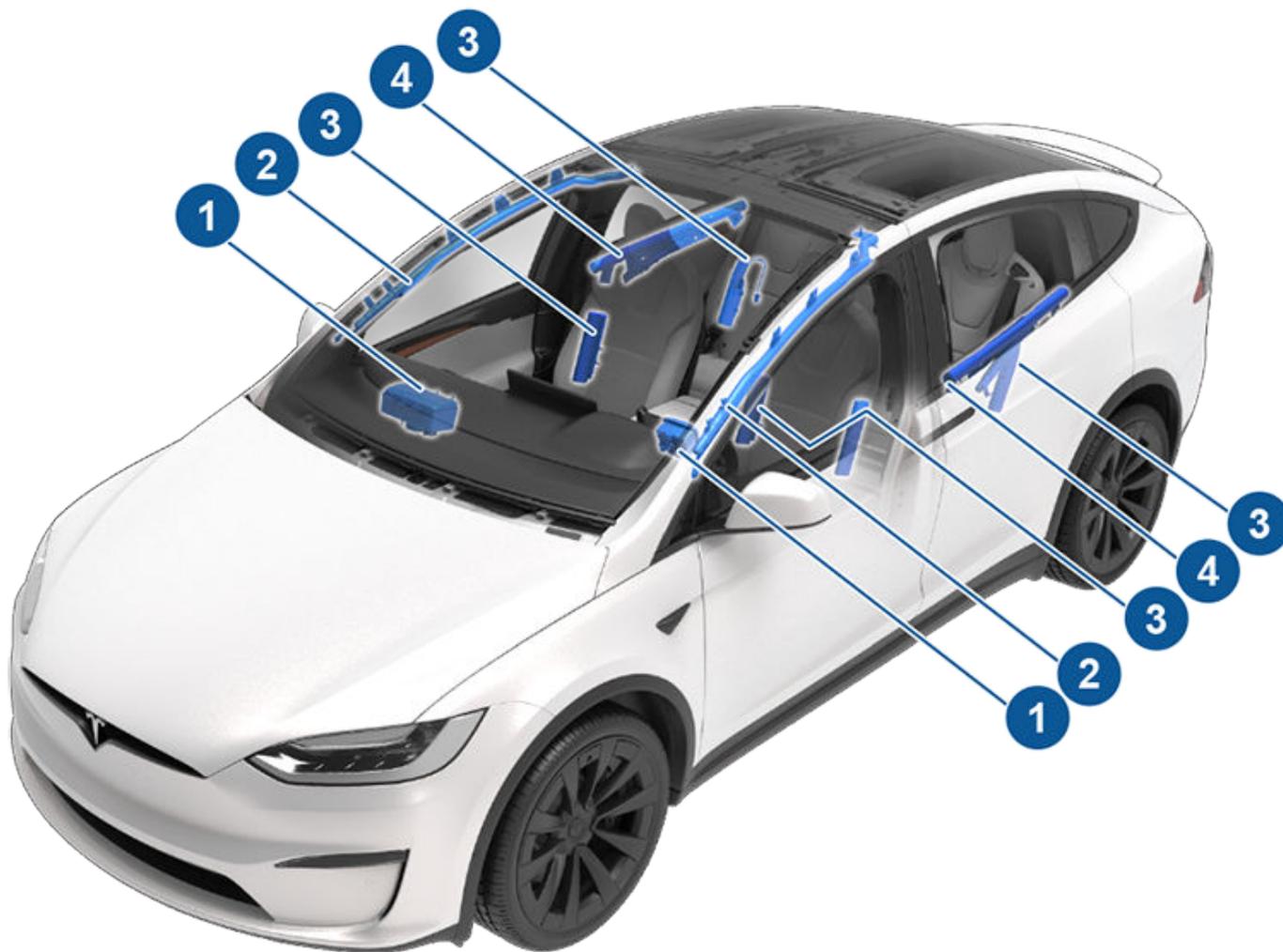
-  **警告:** 助手席のエアバッグがオンの状態で安全が守られている座席に、後ろ向きのチャイルドシートを使用しないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。サンバイザーにある警告ラベルをお読みください。
-  **警告:** ひざの上で締めるシートベルトやショルダーベルトの一部などシートベルトで車両座席を固定するように設計されているチャイルドシートもあります。チャイルドシートが車両内で適切に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険に晒される可能性があります。
-  **警告:** お子さまの体重が9 kg (20 ポンド) を超えて自分で座ることができるまで、前向きでチャイルドシートを使用しないでください。2歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
-  **警告:** 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。必ずお子さまをチャイルドシートの中で動かないように固定してください。
-  **警告:** 本ドキュメントの指示およびチャイルドシート製造元の説明書に従い、お子さまを安全に乗せるようにしてください。
-  **警告:** タッチスクリーン上のシートベルトリマインダーは身体の小さな乗員やチャイルドシートが正しく固定されていることを確認するための代わりにはなりません。乗員センサーは、身体の小さな乗員やチャイルドシートを識別できないことがあります。
-  **警告:** 後ろ向きのチャイルドシート向けの最大身長または最大重量になるまで、出来る限り座席内蔵の5点装具を使い後ろ向きチャイルドシートにお子さまを乗せてください。
-  **警告:** より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
-  **警告:** 1つのアンカーポイントに2つのチャイルドシートを取り付けしないでください。万一衝突事故が発生した場合、1つのアンカーポイントでは2つのシートを支えきれない可能性があります。
-  **警告:** 幼児抑制用のアンカーバーは、ぴったりと合うチャイルドシートに限り荷重に耐えうるよう設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
-  **警告:** ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
-  **警告:** お子さまがチャイルドシートで固定されている場合でも、絶対にお子さまを誰もいない車内に置いていかないでください。
-  **警告:** 衝突に巻き込まれたことのあるチャイルドシートを使用しないでください。チャイルドシート製造元の説明書に記載されているとおり、そのチャイルドシートは捨てて新しいものに交換してください。

エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model X は、両方の指定された前席位置に、エアバッグと肩および腰ベルト（シートベルト アセンブリとも呼ばれます）を装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. フロントエアバッグ
2. カーテンエアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. ドア搭載エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

⚠ 警告: 障害者に対応するために、エアバッグシステムに影響が及ぶ可能性があるように Model X を改造する場合、事前にモバイルアプリを使用してサービス予約してください。

エアバッグの種類

Model X は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- **フロントエアバッグ:** フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。
- **シート搭載エアバッグ:** 前席に取り付けられたサイドエアバッグは、骨盤と胴の胸部を守るのに役立ちます。運転席の内側にあるシート搭載式エアバッグは、頭部と胴体を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方のシート搭載式エアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- **カーテンエアバッグ:** Model X のフロントルーフレールのそれぞれの側に搭載されるカーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテンエアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、重大なオフセット正面衝突を受けた場合、または横転した場合のみに膨らみます。
- **ドア搭載エアバッグ:** Model X のファルコンウィングドア両方のトリムにエアバッグが設置されています。これらはカーテンエアバッグと同じで頭部を保護し、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときに展開します。ドア搭載エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。

助手席乗員感知

Model X 助手席のフロントエアバッグのステータスを制御する乗員識別システム（OCS）が搭載されています。

注: 乗員識別システム（OCS）は、必要のない、または危険となり得る助手席のエアバッグ展開を自動的に検出します。

⚠ 警告: エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児を座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

エアバッグ ステータス インジケータ

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーンに表示されます。



助手席フロントエアバッグが OFF の場合、助手席エアバッグ OFF インジケータがタッチスクリーンに表示されます。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケータは、座席に乗員がいないときでも表示されます。チャイルドシートを助手席に取り付けて運転する場合（地域で許可されていれば）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。



助手席に大人が座る場合は、必ず助手席フロントエアバッグを有効にしてください。助手席側のエアバッグが ON の場合、衝突が起るとエアバッグが展開します。



エアバッグシステムが故障している際は、計器クラスターのエアバッグインジケータが点灯したままになります。このインジケータが点灯するのは本来 Model X を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままになる場合、モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をし、運転をしないでください。



⚠ 警告: お子さまを助手席に座らせることが現地の法で許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが OFF になっていることを確認してください。チャイルドシートやブースターシートを使用する場合でも、エアバッグが作動する状態の助手席にお子さまを座らさないでください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。

対象の識別	OCSの助手席エアバッグステータス*	インジケーターステータス	注記
表示しない	OFF	助手席エアバッグ OFF	
対象	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	材質/内容により異なります
1歳までのお子様向け設計の後ろ向きのチャイルドシート	OFF	助手席エアバッグ OFF	9 kg 以下
前向きのチャイルドシート	OFF	助手席エアバッグ OFF	16 kg 以下
ブースターシートに座るお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	9~45 kg*
大きなお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	
体重において最軽量のうちの5パーセント以上以上に該当する女性	ON	助手席エアバッグ ON	約 45 kg 以上

*助手席エアバッグのステータスインジケータが状況と合致しない場合、該当の座席に人を乗せないでください。乗員を別の座席に乗せてください。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。

注: Model X の電源を入れてから乗員識別システム (OCS) が助手席エアバッグの正確なステータスを報告するのに約 6 秒かかります。そのため、Model X を最初に起動させたとき、エアバッグが OFF になっていたとしても (乗員の重量が 9 kg 以下の場合)、タッチスクリーンが「助手席エアバッグ OFF」の状態を表示するまでに約 6 秒かかります。そうならない場合はモバイル アプリを使用してサービス予約をとり、お子さまを助手席に乗せないようにしてください。

感知システムが乗員の状態を正しく検出できるよう、次のことは行わないでください。

- ・シート下に物を置くこと。
- ・シートに重い物 (書類鞆や大きなハンドバッグ) を乗せること。
- ・シート背もたれとシートクッションの間に物をはさむこと。
- ・積み荷がシートに干渉すること。
- ・カバー、マット、毛布等に問わず、シートと乗員の間に市販品を取り付ける、または置くこと。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

-  **警告:** 助手席側エアバッグが前述の重量しきい値に基づいて予測される通りに ON/OFF 動作しない場合は、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。
-  **警告:** 助手席にはお子さまを絶対に座らせないでください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。
-  **警告:** 乗員感知システムの精度を確保するために、前列助手席を改造しないでください。
-  **警告:** Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度およびノイズ キャンセル マイクの精度が低下する恐れもあります。

正確な乗員感知を確認する

正確に助手席の乗員を識別するために、乗員は次のことを行う必要があります:

- ・シートベルトを着用する。
- ・シートクッション中央に真っすぐに座り、背もたれに肩を付け、正面のフロアに足を快適に伸ばします。**適切な座位置と不適切な座位置の例 ページ 72** を参照してください。**適切な座位置と不適切な座位置の例 ページ 71** を参照してください。

- ・シートクッションの座位置を維持し、体重をシートから浮かせるようなことはしません (例: フロアを足で押ししたり、センターコンソールやアームレストを押して持ち上げたりすること)。
- ・厚く湿った衣類やかさばる衣類 (スキーウエアやパッド入りの衣類) を着用しないでください。

上記事項に加えて、以下のような状況では乗員識別システムの精度に悪影響を及ぼす可能性があります:

- 助手席にラジオ送信器（例:狩猟用ラジオまたはトランシーバー）を置くこと。
- 助手席のクッションに AC/DC インバータまたはインバータから電源を取るデバイス（例:携帯電話、タブレット、パソコン）を置くこと。
- チャイルドシートを取り付けているときに座席に液体（ペットボトル飲料など）や食品の容器を置くこと。
- 不適切にチャイルドシートを取り付け、チャイルドシートの下の部分全体がシートクッションにきちんと乗っていない状態になること。
- シート下に格納されている物、または背もたれとクッションの間に挟まっている物。
- シートに重い物（書類鞆や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- 積み荷がシートに干渉すること。
- カバー、マット、毛布など、シートと乗員の間に取り付けられている、または置かれている市販品。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイルアプリを使用してサービス予約をしてください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

-  **警告:** 上記の指示に従わないと、乗員識別システム (OCS) に悪影響を及ぼし、重傷や死亡を招く恐れがあります。
-  **警告:** 助手席のエアバッグが思うようにオン/オフに変わらない場合、助手席に人を乗せないでください。モバイルアプリを使用してサービス予約をする。
-  **警告:** 乗員感知システムの精度を確保するために、前列助手席を改造しないでください。
-  **警告:** Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、乗員識別システムの精度が低下する可能性があります。

適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置:



不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに置いていないとダメ:



不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない:



エアバッグ



不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに着いていなければならない:

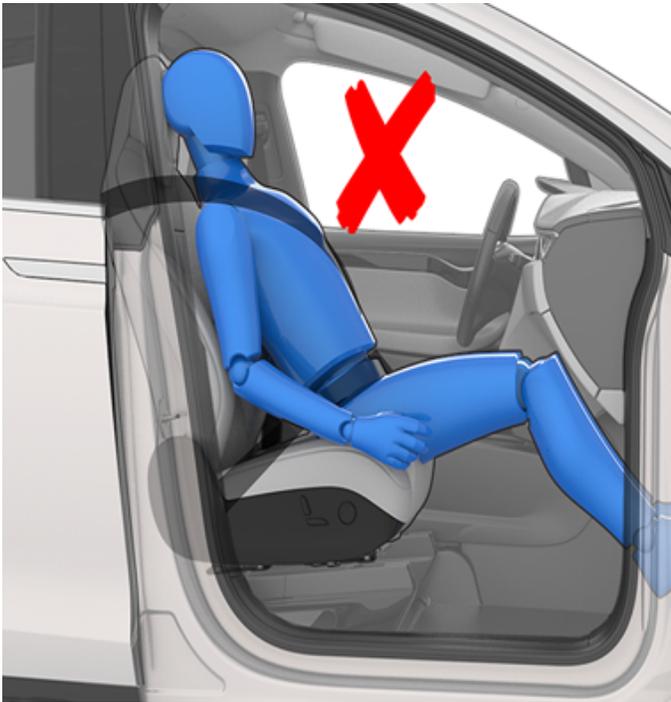


適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置:



不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない:



不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



エアバッグ展開の影響

警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が衝突したときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナー、その他関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- ドアとリフトゲートのロックが解除されます。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧が無効化されています（高電圧電力を回復させるために、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください）
- 窓が換気位置になります。
- 車両はブレーキがかかって停止します。

注: かった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法（他のドアから脱出する、窓を破るなど）を用いる必要があります。

エアバッグについてのご注意

- 警告:** 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。
- 警告:** フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。
- 警告:** Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。
- 警告:** エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。
- 警告:** 前方でエアバッグが作動するシートでは後ろ向きのチャイルドシートの使用を控えてください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。
- 警告:** サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model X の側面の間のすきまをふさがらないでください。
- 警告:** 助手席に座る人はドアに頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。
- 警告:** 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。



エアバッグ

- 警告:** ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。これらには、ハンドルカバー、デカール、シートクッション、枕などが含まれます。車両がエアバッグが展開する原因となるほど激しく衝突をした場合、物体が重傷の原因となる可能性があります。
- 警告:** 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。

Tesla モバイル アプリにより、Model XiPhone®または Android™携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで Model X との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカунトの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」の順にタッチして、Model X へのモバイル アクセスを有効にします。

モバイルアプリが車両と通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスまたは Wi-Fi に接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

注: Tesla は、Model X との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

Apple Watch 用モバイル アプリ

お持ちの Apple Watch でモバイル アプリを使用することもできます。

Apple Watch 用の Tesla モバイル アプリの使用条件:

- Apple Watch Series 6、Apple Watch SE 2、Apple Watch Ultra 1、またはこれ以降の Apple Watch で watchOS 11.0 以降を有するもの。
- 車両ファームウェア バージョン 2024.44.25 以降。
- Tesla モバイル アプリ バージョン 4.39.5 以降。

お持ちの Apple Watch で Tesla モバイル アプリを使用する前に、お持ちの iPhone および Apple Watch が利用可能な最新のソフトウェアバージョンに更新されているをご確認ください。Tesla モバイル アプリをお持ちの Apple Watch に追加するには、お持ちの iPhone で Watch アプリを使用してください。

Tesla Apple Watch アプリを使用すると、Model X のロック/ロック解除、トランクの開閉、およびフロントトランクを開くことができます。

さらには、携帯電話をキーとして使用する場合と同様にして、お持ちの Apple Watch をキーとして使うことができます。詳細な情報は、[キー ページ 25](#) を参照してください。

概要

電話機と車両の両方でインターネット サービスが使用できる場合、Tesla モバイル アプリのホーム画面で以下のことができます。

- 車両をロック/ロック解除する。
- 暖房または空調を有効または無効にし、キャビンの空調を監視します。
- 車両の充電情報を確認します。充電ケーブルを差し込んでも、充電の詳細情報が表示されます。
- 充電ポートの開閉。

注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します (充電中や充電準備中を含む)。

- 車両の位置を確認します。
- 車両の推計航続距離を表示。
- フロントトランクを開きます。
- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。「オーディオ設定」 > 「オプション」 > 「モバイル制御を許可」の順にタッチしてメディア設定を有効にする必要がある場合があります。

サポート対象の動画ソースは、モバイルアプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、Model X が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

プロフィール

最上部の角部にある「プロフィール」タブでは以下のことが可能です。

- Tesla アカウントを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。
- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

コントロール

「コントロール」タブでは次のことが行えます。

- フロントまたはリアのトランクを開く。
- 遠隔からの Model X のロック、アンロック。
注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。
- 充電ポートの開閉。
- Model X の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
- キーレスドライブを有効にする。
注: キーを忘れてしまったり、ドライブ用 PIN を忘れ PIN をバイパスする必要がある場合や、タッチスクリーンが反応しなくなった場合などに、キーレスドライブを使用することができます(ドライブ用 PIN ページ 151 参照)。
- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に（車庫にある場合でも）キャabinを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロントガラスの霜取りを行なうことができます。

- 「車の霜取り」を有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。
- 「ドックモード」または「キャンプモード」を有効または無効にします。
- 「キャビン過熱保護」を有効にすると、高外気温状態でキャビンが極端に高温になるのを防げます。キャビン内の温度が 40°C または選択した温度（使用可能な場合）を超えた場合に、エアコンを起動させるかファンだけを起動させるかを選択することができます。詳細情報については、[空調を操作する ページ 157](#) を参照してください。
- 窓を開け閉めします。
- キャビンを希望の温度に予め調節し、ヨーク（またはハンドル）およびシートヒーター（装備されている場合）をオンまたはオフにします。

モバイル アプリで Model X の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイル アプリを使用して約 30~45 分間「車の霜取り」を有効にします。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

場所

マップ上で Model X の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

サモン

を使用して Model X を駐車したり、呼び出すことができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照してください。予約充電または出発予定時刻は設定した場所に基づいて保存することができます。

将来のためにライトショーを計画することもできます。ライトショーの詳細については、[シアター、アーケード、おもちゃ箱 ページ 175](#) を参照してください。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- 電話機を車両にペアリングする（[電話キー ページ 25](#) を参照）。
- セントリーモードを有効/無効に設定する（[セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 154](#) を参照）。
- バレーモードを有効/無効に設定する（[バレーモード ページ 107](#) を参照）。
- 速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 5 km/h に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します（[速度制限モード ページ 151](#) を参照）。
- モバイル アプリからダッシュカムおよびセントリーモードのクリップを視聴および共有してください。詳細情報については、[ダッシュカム ページ 152](#) を参照してください。
注: プレミアムコネクティビティとモバイル アプリバージョン 4.39.5 以降が必要です。iOS においてのみ利用可能です。

アップグレード

完全なセルフドライブなど、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイル アプリでサービスを予約する方法については、[整備の予約 ページ 193](#) を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、（該当すれば）ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 224](#) を参照してください。

2 人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイル アプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイル アプリ バージョン 4.3.1 以降が必要です。
追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウ
ントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウ
ントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイル アプリで車両のホ
ーム画面から「**セントリー**」 > 「**ドライバーの追加**」に進み、
画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべ
てのアプリ機能にアクセスできます。

アクセスを削除するには、モバイル アプリを使用して「**セント
リー**」 > 「**ドライバーの管理**」の順に進み、画面の指示に従い
ます。



データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実にを行うには、可能な限り Model X を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば自宅で駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. 「**コントロール**」 > 「**Wi-Fi**」の順にタッチします。Model X 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

注: リストに、既知の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合、アクセスポイントに Model X を近づけるか、レンジエクステンダーで感度を上げてください。

注: (使用可能な場合に) 5GHz ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

サポートされている 5GHz ネットワークチャンネル

36~48	52~64	100~140	149~165
		✓	

2. 「**Wi-Fi ネットワークを検索中**」で使用する Wi-Fi ネットワークを検索してタップするか、「**Wi-Fi ネットワークを追加**」で手入力により追加し、パスワードを入力（必要な場合）してから「**確定**」にタッチします。接続すると、その Wi-Fi ネットワークには「**既知の Wi-Fi ネットワーク**」と緑色のチェックマークが表示されます。ネットワークの圏内にいるときは、Model X を自動的に接続します。

注: Model X は現在、キャプティブ Wi-Fi ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ Wi-Fi は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

注: 過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model X は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: Tesla サービスセンターでは、Model X は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。

診断

診断は、Wi-Fi 接続に関するより詳しい情報や、接続改善のヒントを提供します。アクセスするには、「**Wi-Fi**」 > 「**診断**」に移動するか、ソフトウェアアップデートのダウンロードまたはインストール中に、プログレスバーの下に表示されます。

ホットスポット

Wi-Fi ネットワークを使用する代わりに、モバイルホットスポットを使用することもできます（料金がかかり、通信会社の制限があります）。運転中も接続を有効なままにしたい場合は、ホットスポットに接続した後に「**運転中に接続を維持**」を選択します。

トラブルシューティングのヒント

車両の Wi-Fi 接続が遅い、または接続に失敗する場合は、以下のヒントを試してください。

- タッチスクリーンで、Wi-Fi アイコンバーの本数（信号強度）を確認します。信号強度が低い場合は、Wi-Fi アクセスポイントを車両の近くに追加して信号を改善することを検討してください。
- タッチスクリーンを再起動します（[タッチスクリーンの再起動ページ 9](#)を参照）。
- Wi-Fi 接続を一旦削除してから、再び接続します。「**コントロール**」 > 「**Wi-Fi**」の順にタッチし、お使いのネットワークを選択して「**ネットワークを登録解除**」を実行し、それから「**既知のネットワーク**」でネットワークを再び選択します。
- 別の Wi-Fi ネットワークを試します。

Bluetooth® 互換性



Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、Model X でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで使用することができます。Model X は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを Model X で使用する場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、Model X はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を**優先デバイス**に指定していない場合、または**優先デバイス**に指定されている電話機が通信範囲内でない場合、Model X は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合は**ペアリングされたデバイス間の切り替え ページ 80**を参照してください。

注: キーとして使用するために電話機を認証しても（**キー ページ 25**を参照）、電話機をハンズフリーで使用したり、電話機でメディアを再生したりはできません。電話機を以下のようにペアリングする必要があります。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

注: Model X は一度に最大 20 台の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、同時に接続できるのは 2 台のデバイス（電話機 1 台とコントローラ 1 台、またはコントローラ 2 台）のみで、それぞれフロント タッチスクリーンとリヤ タッチスクリーン（装備されていれば）に接続できます。

注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならぬ場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話機または Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内であれば、Model X はその電話機にいつでも接続できます。

1. 電話または Bluetooth デバイスをペアリングするには、Model X の車内に座り、タッチスクリーンがオンになっていることを確認します。
2. 電話機のロックを解除し、Bluetooth を有効にします（通常は電話機の [設定] で行います）。

注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定に進み残りの手順を行う必要があります。

3. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「Bluetooth」の順にタッチすると、新しいデバイスの Bluetooth スキャンが自動的に開始されます。
4. 電話機が表示されるのを待ってから「接続」にタッチします。
5. 電話に表示される数字がタッチスクリーンの数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングすることを確定します。
6. 電話にプロンプトが表示されたら、Model X がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報にアクセスすることを許可するかどうかを指定します（**連絡先と通話履歴のインポート ページ 79**を参照）。ペアリングされると、Model X によって「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」の下に電話機が表示されます。

ペアリングされたデバイスの設定を変更するには、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」と進み、デバイス名の横にあるドロップダウンを開きます。

インポートまたは Bluetooth への接続に問題がある場合、詳細について **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 80**を参照してください。

「通話中にファン速度を下げる」に切り替えると、通話中にファン速度を自動的に下げることができます。空調コントロールで「自動」が有効になっている必要があります（**空調を操作する ページ 157**を参照）。

連絡先と通話履歴のインポート

電話がペアリングされたら、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」に移動し、デバイス名の横にあるドロップダウンを開いて、電話機の連絡先、最近の通話、テキストメッセージへのアクセスを許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（**電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 81**参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

連絡先のインポートまたは Bluetooth を使用したペアリングに問題がある場合、詳細については **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 80**を参照してください。

Bluetooth デバイスの切断またはペアリング解除

電話または Bluetooth デバイスを切断してもペアリングしたままにする場合は、タッチスクリーンの Bluetooth 設定ドロップダウンで「切断」にタッチします（「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」 > 「あなたの電話機」）。デバイスを Model X で再び使うことがない場合は、「デバイスの消去」をタッチし、その後の指示に従います。登録を



Bluetooth

解除したデバイスを Model X で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 79](#) を参照）。

注: Model X から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

注: 電話のペアリングを解除すると、電話をキーとして使用しても効果はありません。認証された電話機を解除するには、[キーの管理 ページ 28](#) を参照してください。

ペアリングされたデバイス間の切り替え

Model X は、「優先デバイス」に指定した電話機に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、Model X は、前回接続した電話につながります（ただし、その電話が作動範囲にあり、Bluetooth がオンである必要があります）。最後の電話が動作範囲内でない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」の順にタッチします。接続したい電話を選択し、「接続」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 79](#) を参照してください。

接続している場合、Bluetooth 設定画面では電話機名の隣に Bluetooth のロゴが表示され、Model X がその電話機に接続していることを示します。

Bluetooth のトラブルシューティング

車両は Bluetooth および BLE (Bluetooth Low Energy) を使用してスマートフォンを Model X にシームレスに接続します。いくつかの可能性のある要因により、ペアリングプロセスにおいて Bluetooth または BLE が切断され、問題が生じることがしばしばあります。Bluetooth に接続することで、車両は、オーディオ、通話、カレンダーなどの電話機能を使用することが可能になります。

BLE は電話キーなど受動的機能に使用されます。

注: 近くに有効なキーカードがない時に車両と電話機のペアリングを解除したり、電話キーとしての電話機を取り外したりしないでください。

Bluetooth のトラブルシューティングをするには、まずスマートホンを使用して、以下を試してみてください。

スマートホンのトラブルシューティング

スマートホンの設定およびアップデートのせいで、Bluetooth が接続できない。

- 電話機で Bluetooth を有効にします。既に有効になっている場合は、Bluetooth を一旦無効にしてから再び有効にします。
- 機内モードがオフになっていることを確認します。
- 電話機を充電します。電話機のバッテリー レベルが低すぎると、Bluetooth 機能をサポートできない場合があります。

- デバイスを適切にペアリングします。既にペアリングしている場合は、いったんペアリングを解除して再びペアリングを試みます。
- 電話機をメーカーが提供している最新のソフトウェアにアップデートします。
- デバイスの音声システムが、オーディオ出力ソースとして選択されていることを確認します。
- 電話機の設定で Bluetooth が許可されていることを確認します（例: データをオンにするか、Wi-Fi に接続している）。
- 電話機の電源をオフにしてから再びオンにします。
- モバイル アプリで位置の許可が「常にオン」に設定されていることを確認します。

Tesla モバイル アプリのトラブルシューティング

Tesla モバイル アプリを以下のとおり点検します。

- Tesla モバイル アプリのソフトウェアが最新であることを確認します。
- 電話キーを使用しているときに Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
- バックグラウンドで Tesla アプリが実行中であることを確認します。
- モバイル アプリでプロフィールを最後まで設定済みであり、設定を適切に構成していることをダブルチェックします。

車両のトラブルシューティング

車両の設定が、スマートホンとのペアリング機能に影響を与える可能性があります。

- Model X を充電します。車両のバッテリー レベルが低すぎる場合、Bluetooth 機能が使用不可になる可能性があります。
- 車両ソフトウェアをアップデートし、ソフトウェアが常に最新のものであることを確認します。「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順に移動して、新しいソフトウェアのアップデートがないか確認します。
- タッチスクリーンを再起動します。[タッチスクリーン ページ 7](#) を参照してください。
- 車両を再起動します。

依然 Bluetooth が機能していない場合、車両とスマートホンのペアリングを解除します。次に両者を再びペアリングします。

BLE の電話キーに問題がある場合、車両の中で、「コントロール」 > 「ロック」の順に移動して、「キーとしての電話機」として設定されている電話機を削除します。次に再度、設定を戻します。ただしこれは車内にいて、信頼できるバックアップキー（キーカードなど）を持っている場合に限り行ってください。



電話アプリを使用する



Bluetooth を使用して電話機が Model X に接続され (Bluetooth ページ 79 を参照)、電話の連絡先にアクセスが許可されると (連絡先と通話履歴のインポート ページ 79 を参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話:** 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ:** メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ヨーク (またはハンドル) の右側にあるマイク ボタンにタッチして音声入力します。

警告: ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。

- **「連絡先」:** 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り:** お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー:** 電話からのカレンダー エントリーを表示します (カレンダー ページ 81 参照)。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンド ページ 21 を参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで Model X のオンスクリーン ダイアラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、タッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model X がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に「応答」するか、または「無視」するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。

警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。

警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中は、タッチスクリーンにその通話が表示されます。通話音量を調節するには、通話中に左スクロール ボタンを回します。左スクロール ボタンを左に倒すとミュート/ミュート解除になり、右に倒すと通話を終了します。

カレンダー



カレンダーには、スマートフォン (iPhone® または Android™) のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダーの予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーションシステムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話が Model X とペアリングされていることを確認します。
2. Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. Tesla モバイル アプリで、「プロフィール」 > 「設定」 > 「カレンダー同期」の順にタッチします。

注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。

4. 電話機かで、「設定」に移動し、Tesla モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model X へ定期的 (かつ自動的に) に送られるようになります。

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。



電話、カレンダー、ウェブ会議

イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから2時間以内にイベントが始まる場合、Model Xは自動でイベントの住所に経路を指定します（オートナビゲーションページ169参照）。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに1つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには1番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます（これは特に電話会議の通話に便利です）。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブブラウザで開くことができます。

ズーム



車両のタッチスクリーンからシームレスにミーティングを開催し通話します。設定するには Zoom アプリにタッチしてサインインするか、ミーティングの ID を入力します。カレンダーに表示されているミーティングにアクセスすることや、Zoom のリンクにタッチしてテキストメッセージでアクセスすることもできます。Model X がパーキングにシフトしているときに限れば、車両のキャビンカメラを使用して通話することもできます。Zoom で通話中にパーキング以外に車両をシフトさせると、キャビンカメラはオフになり、音声だけの通話に切り替わります。タッチスクリーンを使用して、映像のオン/オフ、ミュート/ミュート解除を切り替え、ミーティングのさまざまな設定をカスタマイズすることができます。

-  **警告:** 車両を公道上で「一時的に駐車」している（車両を縁石にそって、または駐車スポットに指定されていないところに、駐車しているなど）場合は、動画機能を使用しないでください。
-  **警告:** 周囲に注意を払い、ハンズフリー操作の義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。



運転を開始

Model X に乗車するためにドアを開くと、タッチスクリーンの電源がオンになり、すべてのコントロールを操作できます。Model X をシフトさせるには、ブレーキペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブモードストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトします（[ギアシフト ページ 89](#) を参照）。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効な場合、Model X は検出された周囲の状況に応じてドライブまたはリバースを選択します。ブレーキペダルを踏むと、（運転席ドアが閉じられていて、運転席シートベルトが締められていると）車両はインストゥルメントパネルに表示されている選択したドライブモードにシフトし、アクセルペダルを踏むと、車両はその方向に移動します。

注: 「オートシフト・アウトオブパーク」をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「オートシフト・アウトオブパーク」にタッチします。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効なときに加速を行う前に、インストゥルメントパネルを見て、Model X が希望するドライブモード（ドライブまたはリバース）にシフトしていることを確認します。選択が正しくない場合や、「オートシフト・アウトオブパーク」が有効ではない場合、タッチスクリーンのドライブモードストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトして、新しいドライブモードを選択します。[ギアシフト ページ 89](#) を参照してください。

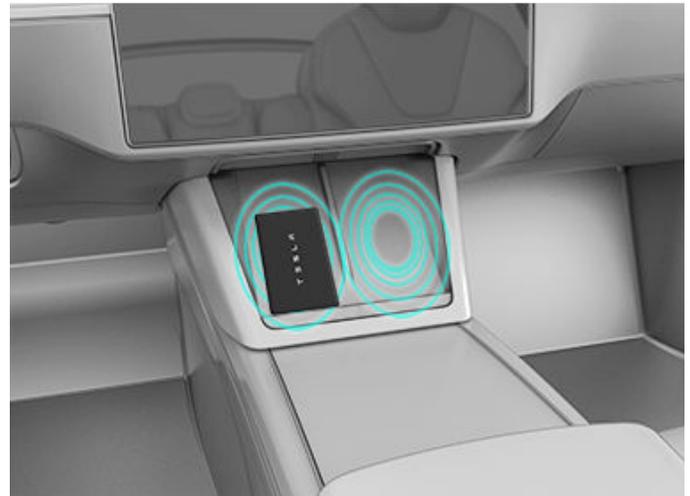
注: 「ドライブ用 PIN」の機能が有効になっている場合（[ドライブ用 PIN ページ 151](#) を参照）、Model X を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model X の運転に必要な事項はすべてインストゥルメントパネルに表示されます。

ドライブが無効 - 認証が必要です

ブレーキを踏んだときに Model X がキーを検出しない場合（電話キーが検出されないか、またはキーカードを使用してから 2 分が経過した場合）は、運転するには認証が必要であることを知らせるメッセージがタッチスクリーンに表示されます。

このメッセージが表示されたら、RFID トランスミッターが読み取りやすいように、いずれかの電話ドックにキーカードを置いてください。2 分間の認証期間が再開され、ブレーキペダルを踏むことで Model X を開始できます。



Model X が電話キーを検出できるかどうかは、さまざまな要因（デバイスのバッテリー残量の低下、バッテリー切れ、Bluetooth 通信不可など）に影響されます。

電話キーまたはキーカードは常に携帯してください。運転後は、Model X を再起動するためにキーが必要になります。また、降車後、Model X を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

運転を終了してパーキングにシフトしたら、単に車両から降ります。電話キーおよびキーフォブを持って Model X から離れると、自動的に電源がオフになり、インストゥルメントパネルおよびタッチスクリーンもオフになります。

Model X また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model X の電源をオフにすることもできます。「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順にタッチします。Model X ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、しばらくして電源が自動的にオンに戻ります。

注: Model X 乗客が車両から降りたこと（例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している）を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りるとはパーキングにシフトします。車両をニュートラルのままにするには、[車両輸送者向け注意事項 ページ 220](#) を参照してください。

車両でパワーサイクリングを行う

異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、Model X の電源を入れ直すことができます。

注: タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください（[タッチスクリーンの再起動 ページ 9](#) を参照）。

1. パーキングにシフトします。



始動と電源オフ

2. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「安全」 > 「電源オフ」の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低2分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. 2分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けると、車両を起動します。

ヨーク（またはハンドル）位置の調整

購入したオプションに応じて、ヨーク ステアリングまたはハンドルのどちらかになります。デザインは異なる可能性がありますが、機能は同じです。

ヨーク（またはハンドル）を調整するには、「コントロール」にタッチしてから「ステアリング」アイコンをタッチします。

ヨーク（またはハンドル）の左スクロール ボタンを使用して、ヨーク（またはハンドル）を最適な位置に調整します。

- ヨーク（またはハンドル）の高さ/傾きを調整するには、左スクロール ボタンを上下に動かします。
- ヨーク（またはハンドル）を自分に寄せたり、自分から離したりするには、左スクロール ボタンを左右に動かします。



警告: 運転中にヨーク（またはハンドル）を調整しないでください。

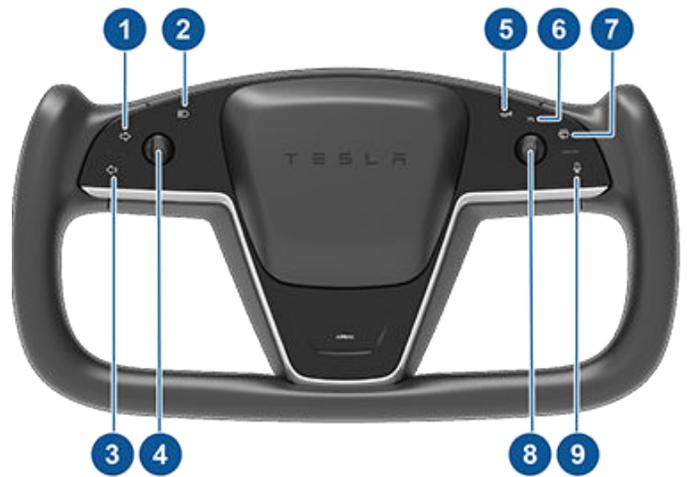
ハンドルの重みの調整

ステアリング システムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「ハンドルの重み」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - 「軽い」：ヨーク（またはハンドル）を楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model X の運転と駐車が容易になります。
 - 「標準」：ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla が推奨する設定です。
 - 「重い」：ヨーク（またはハンドル）を回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model X の応答性がよくなります。

ボタンの概要

Model X では運転中に必要なすべてのコントロールにヨーク（またはハンドル）でアクセスできるため、レバー操作なしで運転できます。



1. 右ウィンカー（ウィンカー ページ 93 参照）。
2. ハイビーム ヘッドライト*（ハイビーム ヘッドライト ページ 93 参照）。
3. 左ウィンカー（ウィンカー ページ 93 参照）。
4. 左側スクロール ボタン（左スクロール ボタン ページ 85）。
5. ホーン（クラクション ページ 86 参照）。
6. 常時点灯している識別灯であり、右スクロール ホイールがクルーズコントロールに使用可能であることを示します。
7. ワイパー*（ワイパーとウォッシャー ページ 95 を参照）。
8. 右側スクロール ボタン（右スクロール ボタン ページ 86 参照）。
9. 音声コマンド（音声コマンド ページ 21 参照）。

*ヘッドライト ハイビーム、およびワイパーのボタンに関連する拳動はボタンを短押ししたか長押ししたかによって大きく変わります。詳細についてはこのオーナーズマニュアルの該当するセクションを参照してください。

注: Model X を駐車しているときに、左右のスクロール ボタンを同時に長押しするとタッチスクリーンが再起動します（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 参照）。

注: ヨーク（またはハンドル）上のコントロールの一部は静電容量式ボタンとなっており、物理的なスイッチではなく、タッチに反応し、触覚フィードバック（振動）を提供します。意図しない限り、その上に指を置かないでください。意図せずこれらのボタンに触れると、ボタンが有効または無効になることがあります。誤ってボタンが有効になってしまった場合は、スイッチから指を数秒間離すと、正常な動作に戻ります。

左スクロール ボタン

ヨーク（またはハンドル）の左側にあるスクロール ボタンを使用して、ミラーおよびヨーク（またはハンドル）の位置を調整します。また、ワイパーやメディアプレイヤーの操作も行なえます。

ヨーク（またはハンドル）



- メディアプレイヤーを使用する場合、ボタンを左に押して前の曲に戻るか、右に押して次の曲またはステーションまでスキップします。
- サウンドシステムの音量を増す/減らすためには、このボタンをそれぞれ上/下に回します。
注: スクロールボタンは、最近の使用に基づいて、メディアおよび電話通話の音量を調整します。音量を調整すると、タッチスクリーンには音量レベルおよび音量調整対象がメディアであるか電話であるのかが表示されます。
- メディアの音量をミュートしたり、オーディオファイルを一時停止/再生したりするには、スクロールボタンを押します。
- ミラーを調整する場合、このボタンを左/右に押すと、関連するミラーが内側/外側および上/下に移動してミラーを上向きまたは下向きにします（ミラー ページ 88 参照）。
- ヨーク（またはハンドル）の位置を調整する際は、傾きや角度の調整にはこのボタンを上下に動かし、ヨーク（またはハンドル）を近くに寄せたり、遠くに離したりするにはこのボタンを左右に押します（ヨーク（またはハンドル）位置の調整 ページ 85 参照）。
- オプション（例えばワイパー）を選択可能なインストールメントパネルにメニューが表示されている場合、スクロールボタンを使用してオプション（上、下、左、右）を選択します。
- 着信の場合、このスクロールボタンを押して受話します。通話中にこのスクロールボタンをもう一度押すと通話を終了します。

左スクロールボタンのカスタマイズ

また、左スクロールボタンで制御する項目（空調やダッシュカメラの状態など）をカスタマイズすることもできます。カスタマイズするには、左スクロールボタンを押したままインストールメントクラスターのメニューに移動します。

右スクロールボタン

ヨーク（またはハンドル）の右側のスクロールボタンを使用して、オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズといったオートパイロット機能を操作できます。

- 走行中は、このボタンを押してから離すと、オートステアリングまたはトラフィックアウェアクルーズコントロールが作動します（オートステアリング ページ 124 参照）。オートパイロット起動を「ダブルクリック」にセットした場合（「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット作動」にタッチ）、1回押すとトラフィックアウェアクルーズコントロール（トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 123 参照）だけが機能し、オートステアリングを作動させるには押して解除する動作を2回行う必要があります。いったん作動したら、このボタンを押すと、オートステアリングまたはトラフィックアウェアクルーズコントロールがキャンセルされます。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動している場合、スクロールボタンを上下に動かすと設定クルージング速度を加速/減速できます。

注: 右スクロールボタンを左右に押すことに関連したアクションは現在ありません。

暖房装備 ヨーク（またはハンドル）

ヨーク（またはハンドル）を温めるにはタッチスクリーンの温度アイコンにタッチして空調を表示（温度調節の概要 ページ 157 参照）してから、ヨーク（またはハンドル）アイコンにタッチします。オンにすると、輻射熱でヨーク（またはハンドル）を快適な温度に保ちます。

クラクション

2024年1月ごろ以降に製造された車両の場合: ホーンを鳴らすには、ヨーク（またはハンドル）の中央を押します。





2024年1月ごろ以前に製造された車両の場合: ホーンを鳴らすには、ヨーク（またはハンドル）の右側にあるクラクションボタンを長押しします。



外側ミラーの調整

「コントロール」 > 「ミラー」の順にタッチして、エクステリアミラーを調整します。ヨーク（またはハンドル）の左スクロールボタンを押して「左」と「右」のどちらのミラーを調整するかを選択します。次に左スクロールボタンを以下のように使用して、選択したミラーを最適な位置に調整します。

- ミラーを上下に動かすには、左スクロールボタンを上下に動かしてください。
- ミラーを内側または外側に動かすには、左スクロールボタンを左右に押します。



車両をリバースにシフトすると、両方の外側ミラーを自動的に下向きに傾けることができます。この機能のオンまたはオフを行うには、「コントロール」 > 「ミラー」 > 「ミラー角度自動調節」の順にタッチします。オートチルト位置を調整するには、「チルト位置の調整」をタッチし、必要に応じてミラーを調整してください。チルト位置を調整し「保存」をタッチすると、リバースにシフトするたびにミラーが設定された位置に自動で傾きます。ギアをリバース以外に戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置（上方）へ戻ります。チルト位置を調整するには、「ミラー角度自動調節」を有効にする必要があります。

夜間運転の際のまぶしさを減少させるため、リアビューミラーおよびサイドミラーは自動的に減光します。この機能を有効または無効にするには、「コントロール」 > 「ミラー」 > 「ミラー自動防眩」の順にタッチします。

注: また、どちらのミラーも、リアウィンドウデフロスターとあわせてオン/オフになるヒーターを備えています。

格納式ミラー

(狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに) ドアミラーを操作して格納および展開するには「コントロール」 > 「ミラーを格納/展開」の順にタッチします。左側のスクロールボタンの多機能操作を使用して、ミラーを折りたたんだり元に戻したりすることもできます (左スクロールボタンのカスタマイズ ページ 86 を参照)。

ミラーを操作して格納した場合、走行速度が 50 km/h に達しない限り (または「コントロール」 > 「ミラーを展開」にタッチしてミラーを操作して展開しない限り) ミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が 50 km/h を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して Model X をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、「コントロール」 > 「ミラー」 > 「ミラー自動格納」の順にタッチします。Model X をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所での都度操作して格納する必要がなくなります。設定をするには、保存したい場所で停車 (または 6 km/h 未満で走行) し、ミラーを格納します。**ミラーを格納** コントロールに短時間表示された時、**ロケーションを保存する** をタッチします。

ミラーを自動で格納したくない場合は、ミラーが自動で格納する場所で「コントロール」 > 「ミラーを展開」をタッチして、「ロケーションの削除」をタッチします。

保存済みの場所から離れる場合、走行速度が 6 km/h に達するか、または、「コントロール」 > 「ミラーを展開」の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

注: 保存した場所に戻り、31 mph (50 km/h) 未満で走行している場合、ミラーを自動的に格納することができます。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも (例えば Model X に電力がない場合でも) ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

注: Model X を駐車している間に着氷することが予測される場合は「ミラー自動格納」をオフにしてください。着氷により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。寒冷時にミラーを正しく作動させる方法については、[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#) を参照してください。

インテリアミラー

バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります (夜間の走行時など)。

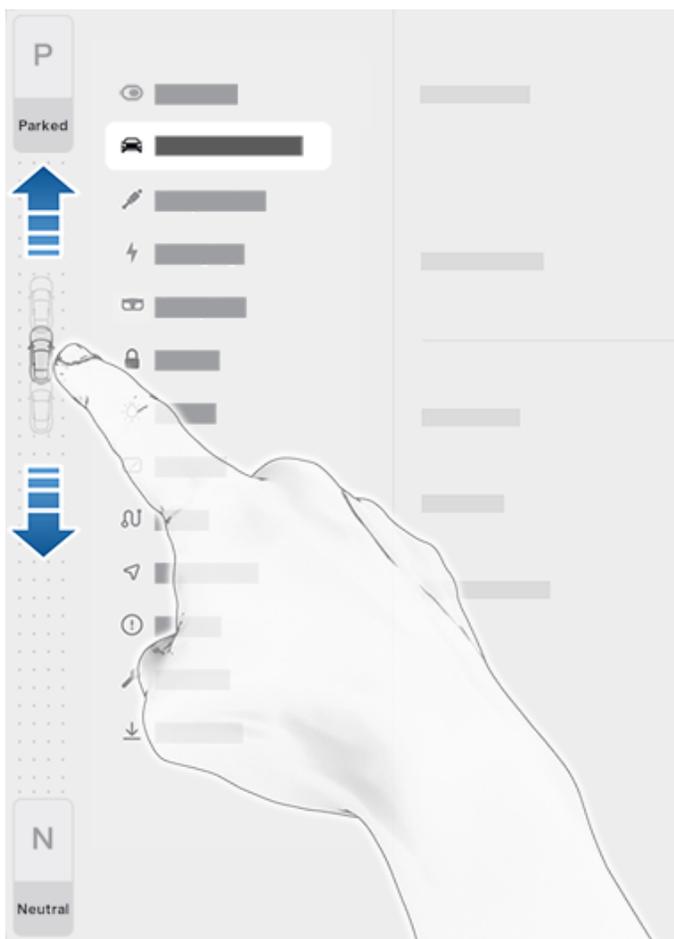
バニティミラー

バニティミラーを出す方法や点灯させる方法ついて詳しくは、[サンバイザー ページ 36](#) を参照してください。

タッチスクリーンを使用してシフトする

パーキング状態でブレーキペダルを踏み込むと、タッチスクリーンの片側にドライブモードストリップが表示されます。ドライブモードストリップを使用して Model X をシフトする場合は、ドライブにシフトするには、上にスワイプし、リバースにシフトするには、下にスワイプします。パーキングにシフトするには「P」に、ニュートラルにシフトするには「N」にタッチします。ギアシフトのたびにチャイムが鳴ります。

タッチスクリーンには Model X がシフトしているギアが常に表示されますが、高速走行しているときはドライブモードストリップは非表示になります。ドライブモードストリップを常に表示するには、タッチスクリーンの端から助手席側に向かってスワイプします。



注: ドライブからリバースにまたはその逆にシフトするには、走行速度を 8 km/h よりも低速にする必要があります。

タッチスクリーンのドライブモードストリップには、常に「パーキング」および「ニュートラル」ボタンが表示されます。8 km/h 未満で走行しているときに、ブレーキペダルを踏みながら、ドライブモードストリップの「パーキング」ボタンにタッチすると、パーキングにシフトします。緊急事態に、8 km/h を超えて走行している場合、「パーキング」ボタンを長押しすると、車両は徐々に減速して、停車します。

ニュートラルにシフトするには「コントロール」を開いてドライブモードストリップを表示し、ニュートラルになるまで「ニュートラル」を長押しします。

手動でシフトする場合、タッチスクリーンの使用が推奨されません。ただし、万が一タッチスクリーンが使用できなくなった状況では、センターコンソールのドライブモードセレクターが自動的に作動し、ギアのシフトに使用されます（センターコンソールを使用してシフトする ページ 90 を参照）。

現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、インストゥルメントパネルにアラートが表示され、チャイムが鳴り、ドライブモードは変更されません。

オートシフト（ベータ版）

注: 「オートシフト」はベータ機能で、デフォルト設定ではオフになっています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に「オートシフト」（ベータ版）が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

「オートシフト」（ベータ版）は、ドライブとリバース間のシフト操作またはパーキングからのシフト操作を自動で行い、方向転換、駐車、駐車スペースから後進で出るなどの操作を支援します。有効にするには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「オートシフト（ベータ版）」の順にタッチして、そこで「オン」または「フロムパーキング」を選択できます。

オートシフト（ベータ版）をオンに設定すると、シフト操作を、周辺環境に合わせてタッチスクリーンを使わず行えます。この機能は、複数回の切り返しを伴う方向転換、駐車スペースから後進で出る操作、縦列駐車などの運転操作を支援します。車両でシフトがサポートされる場合は、準備完了インジケータがインストゥルメントクラスターに表示されます。

「フロムパーキング」が選択されている場合、Model X はパーキングからシフトするときに（駐車スペースから出る際など）、ドライブまたはリバースを選択します。Model X は、以下の場合にドライブモードを選択します。

- 「オートシフト」（ベータ版）が有効になっている。
- Model X が、パーキング（「フロムパーキング」の場合）、またはドライブまたはリバース（「オン」の場合）に入っている。
- 運転席のシートベルトが着用済みである。
- ブレーキペダルが踏み込まれている。
- すべてのドアとトランクが閉じている。
- センターコンソールのドライブモードセレクターが作動していない。

「オートシフト」（ベータ版）は運転体験を向上させる目的で設計されており、前方および/または後方に車両または物体が存在する状況で操作を開始する必要がある場合など、特定の状況でしか表示されない場合があります。ドライブモードの選択を確認し、インストゥルメントクラスターの指示に従ったうえでアクセルを踏み込みます。

T ギアシフト

この選択を無効にするには、ブレーキペダルを踏みタッチスクリーンのドライブモードストリップを使用して、希望するドライブモードに手動でシフトします。無効にした場合、オートシフト（ベータ版）を再度表示させるには、もう一度ギアをシフトする必要があります。オートシフト（ベータ版）が利用できない場合は、インストゥルメントクラスターにメッセージが表示されます。

注: Model X は、以下に例示する（それらに限定されません）特定のモードや運転状況では、オートシフト（ベータ版）を許可しません。バレーモード、トラックモード、クリーブ、けん引モードなど。

警告: 「オートシフト」（ベータ版）に任せきりにせず、走行を開始する前には必ず選択を確認してください。常に注意を怠らず、周囲の状況を監視し、安全に操縦してください。

オートシフト・フロムパーキング

注: オートシフト・フロムパーキングはベータ機能で、デフォルト設定ではオフになっています。

オートシフト・フロムパーキングを有効にすると、Model X はドライブまたはリバースを自動選択するようになります。運転席ドアが閉じられ、シートベルトを装着すると、インストゥルメントパネルに選択しているドライブモードが表示されます。

この選択を無効にするには、ブレーキペダルを踏みタッチスクリーンのドライブモードストリップを使用して、希望するドライブモード（ドライブ、リバース、パーキング）に手動でシフトします。

ドライブモードの選択を確認し、インストゥルメントパネルの指示に従ったうえでアクセルを踏み込みます。

警告: いつもと変わらず、運転開始前には車両と周辺の人や物に注意します。Model X のドライブモード自動選択に任せきりにせず、走行を開始する前には適切なドライブモードが選択されていることを必ず確認してください。

「オートシフト・フロムパーキング」が使用できない場合は、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

Model X 以下の場合、自動的にドライブモードを選択します。

- ・「オートシフト・フロムパーキング」が有効になっている（「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「オートシフト・フロムパーキング」にタッチします）。
- ・ Model X パーキングにシフトされている。
- ・運転席のシートベルトが着用済みである。
- ・ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ・すべてのドアとトランクが閉じている。
- ・センターコンソールのドライブモードセレクターが作動していない。

注: Model X 「バレーモード」ではドライブモードは自動選択されません。

「オートシフト・フロムパーキング」は、デフォルト設定ではオフになっています。無効になっているときは、タッチスクリーンか、またはセンターコンソールを使用して手動でシフトします。「オートシフト・フロムパーキング」を有効にするには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「オートシフト・フロムパーキング」の順にタッチします。

センターコンソールを使用してシフトする

タッチスクリーン上で手動シフトする他に、センターコンソールにある「P」、「R」、「N」または「D」を押してもシフトすることができます。多くの場合、これらのボタンはどれか一つのボタンを押して作動させない限り使用できません。有効になっているときはそれぞれのボタンに該当するLEDが点灯し、「P」、「R」、「N」または「D」を選択すると該当するLEDが橙色に点灯します。

タッチスクリーンが使用できない場合（例えば、技術的な問題）、または Model X が「バレーモード」か「輸送モード」にある場合は、センターコンソールのドライブモードセレクターが自動的に作動するため、タッチする必要はありません。

注: ヨーク（またはハンドル）のスクロールボタンを両方同時に短い押ししても、センターコンソールのドライブモードセレクターをオンにできません。ただし、両方のボタンを押し続けるとドライブモードセレクターが有効になると共にタッチスクリーンが再起動します（タッチスクリーンの再起動ページ9を参照）。

注: センターコンソールを使用してシフトするには、フロントトランク、リアトランク、ドアは閉じておく必要があります。



1. パーキング
2. リバース
3. ニュートラル
4. ドライブ

注: シフトのためにタッチスクリーンを使用することができて、センターコンソールのドライブモードセレクターを手動で有効にした場合、10秒以内にシフトしないとセンターコンソールは自動的に無効になります。

駐車

手動でパーキングにシフトするには、ブレーキペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブモードストリップの「**パーキング**」ボタンにタッチします。タッチスクリーンを使用できない場合、センターコンソールにあるドライブモードセレクターで「パーキング」を押してください。

Model X 低速走行中に移動しないように自動的にパーキングにシフトします。これは、充電ケーブルを接続した場合、シートベルトを外した場合、またはドライブまたはニュートラルにシフトしているときにドアを開いた場合に発生します。充電ケーブルが取り外されていること、シートベルトを着用していること、ドアが閉まっていることを確認したうえで、パーキングからシフトしてください。

8 km/h よりも高い車速でパーキングブレーキをかけようとすると、緊急ブレーキになります（[ブレーキと停車 ページ 96](#) を参照）。

注: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、**センターコンソールまたはタッチスクリーンのドライブレバーのパーキングボタン**を長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

注: パーキングからシフトするときは、必ずブレーキペダルを踏んでください。



注意: Model X は、充電ケーブルが接続されている場合、または充電ポートを使用して充電ケーブルが差し込まれているかを判定することができない場合、パーキングからシフトすることができません。Model X がパーキングからシフトすることができない場合は、対処する方法に関する情報がないかインストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンを確認してください。



警告: ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。Model X に頼ってパーキングへ自動シフトすることは決してしないでください。

ドライブ

ドライブに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブモードストリップを上にはスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はセンターコンソールにあるドライブモードセレクターで「D」を押します。ドライブへのシフトは Model X が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 8 km/h 未満の場合にのみ行うことができます。

リバース

リバースに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブモードストリップを下にはスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はセンターコンソールにあるドライブモードセレクターで「R」を押します。リバースへのシフトは Model X が停止状態かまたは走行速度が時速 8 km/h 未満の場合にのみ行うことができます。タッチスクリーンの上隅にある X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

ニュートラル

ブレーキを踏んでいないときにニュートラルに入れると、Model X は自由に動ける状態になります。ニュートラルにシフトするには、以下のいずれかを実施してください。

- ドライブモードストリップの「**ニュートラル**」アイコンを長押しし、Model X がニュートラルにシフトしたら離します。
- センターコンソールのドライブモードセレクタから「**ニュートラル**」を選択します。

注: Model X が 8 km/h を超える速度で移動している時にタッチスクリーンのドライブモードストリップを上または下にスワイプすると、ドライブモードストリップの下部に「**ニュートラル**」アイコンが表示されます。ここからニュートラルにシフトするように選択することもできます。

注: Model X がおよそ 8 km/h より低速で走行中にニュートラルポジションからシフトするには、ブレーキペダルを踏む必要があります。

Model X 運転席ドアを開いて車両から降りると、輸送モードまたは洗車モードといったドライバー降車後も**ニュートラル**のままであることを許可するモードに車両がある場合を除いて、自動的に**パーキング**にシフトします。

車両をニュートラルのままにする（輸送モード）

降車後も Model X をニュートラルのままにしてホイールをフリーの状態にするには（平ボディトラックに載せる場合など）、輸送モードをオンにする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキペダルを踏みます。
3. 「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**けん引**」にタッチします。タッチスクリーンには、Model X の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. 「**輸送モードに入ります**」をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model X が輸送モードであることを示します。Model X はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

輸送モードに関する情報については、[輸送モードの有効化 ページ 221](#) を参照してください。

注: 輸送モードでは、Model X は運転モードにシフトできません。最初に「**輸送モードを終了**」にタッチして、輸送モードをキャンセルする必要があります。輸送モードは、タッチスクリーンを使ってパーキングにシフトした場合もキャンセルされません。

ライトの調整



ライトを操作するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ライト」にタッチします。

注: また、運転中にライト略称メニューにアクセスするには、ヨーク（またはハンドル）のハイビームボタンにタッチします。ライトメニューがタッチスクリーンに表示され、各種ヘッドライトコントロールにすばやくアクセスできます。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、Model Xには運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビエンスライトがあります。例えば、Model Xをロック解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに、ルームライト、標識灯、テールランプ、パドルランプが点灯します。これらは Model Xをシフトまたはロックしてから1~2分後、自動的に消灯します。

エクステリアライト

エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、Model Xの起動時に「自動」に設定されます。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に「自動」設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

OFF エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイトタイムランニングライトが点灯したままになる場合があります。



パーキングランプ、側面標識灯、テールランプ、ナンバープレートランプが点灯します。



ロービームヘッドライト、側面標識灯、パーキングライト、ライセンスプレートナンバーが点灯します。



注意: 視認性が良好でない条件下(例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど)では、ヘッドライトおよびリアライトを必ずオンにしてください。デイトタイムランニングライトがオンになっている間は、後部テールライトがオフになります。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

注: 2023年6月頃以前に製造された車両の場合: 左側通行地域から右側通行地域へ、および逆に移動した場合、現地交通規則に従って、ヘッドライトは調節が必要です。ヘッドライトを調節する必要がある地域を走行する場合は、モバイルアプリを使用してサービスを予約します。

注: 2023年6月頃以降に製造された車両の場合: ヘッドライトは、通行車線が異なる地域で一時的に走行している場合(例えば、右側通行地域で運転しており、次に、左側通行地域を走る場合)、調節は必要ありません。

フォグランプ

これをタッチしてリアフォグランプ（装備されている場合）をオンまたはオフにします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。



リアフォグランプ（装備されていれば）が点灯していると、必ずインストルメントパネルにリアフォグインジケータが表示されます。



オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロントフォグインジケータが表示されます。

注: 使用する地域や車両オプションにより、フロントフォグランプまたはリアフォグランプが搭載されていないことがあります。

ドームライト

ルームライト（マップ）をオンまたはオフにします。「自動」に設定すると、応援される Model X のロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、すべてのルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズをタッチすると、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。ルームライトをオンにすると、Model Xの電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに Model X の電源がオフになっていた場合、ライトは60分後に消灯します。

アンビエントライト

有効にすると、ヘッドライトを点灯しているときは常に車内のアンビエントライトが点灯します。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model X を停めて駐車すると、エクステリアライトは一時的に点灯し続けます。1分後または Model X をロックした時点のどちらか早い時点で、ヘッドライトは自動的に消灯します。

注: Tesla モバイルアプリまたはキーカードを使用して Model X をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（降車後オートロック機能 ページ 34 を参照）、ヘッドライトは1分後に自動的に消灯します。

この機能のオンオフを切り替えるには、「コントロール」>「ライト」>「降車後ヘッドライト」にタッチします。「降車後のヘッドライト」がオフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けるとヘッドライトがすぐに消灯します。

ハイビーム ヘッドライト

ヘッドライトをコントロールするにはヨーク（またはハンドル）の左側にあるハイビーム ヘッドライト ボタンを使用します。

- 押してすぐに離すと、ハイビーム ヘッドライトが点滅します。
- 長押しするとハイビーム ヘッドライトが点灯します。インストゥルメントパネルには短時間のタイマーが表示されるので、ハイビーム ヘッドライトを点灯位置のままにするにはタイマーの時間、保持したままにする必要があります。ヘッドライトが点灯したら、もう一度このボタンを押すとヘッドライトが消灯します。



ヘッドライトの状態を示すために、インストゥルメントパネルに以下のインジケータライトが表示されます。

ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。アダプティブ ヘッドライト設定がオフでハイビームが点灯しているとき、またはアダプティブ ヘッドライト設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。



ハイビームが現在オンになっており、車両の前方に光を検知した場合、アダプティブ ヘッドライトはすぐにハイビームをオフにします。



アダプティブ ヘッドライトが作動していて、車両の前方に光が検知されたため、一時的にハイビームはオフになっています。光が検知されなくなるとハイビーム ヘッドライトは自動的にオンに戻ります。



アダプティブ ヘッドライト

アダプティブ ヘッドライトを有効にすると、ヘッドライトのビームが自動的に調整され、運転中の視認性が向上します。例えば、他の車両が Model X に接近しているときに、ハイビーム ヘッドライトを点灯している場合、ハイビーム ヘッドライトの個々のピクセルが減光され、眩しさを抑えます。

同様に、ロービーム ヘッドライトを点灯した状態で高速道路を走行すると、ヘッドライトは道路をより遠くまで照らすように調整されます。

また、ヘッドライトは前方のカーブに合わせて調整され、夜間の視認性が向上します。

この機能を操作するには、「コントロール」 > 「ライト」 > 「アダプティブ ヘッドライト」の順にタッチするか、ヨーク（またはハンドル）の左側にあるハイビーム ヘッドライト ボタンを押したときにタッチスクリーンに表示されるライトのポップアップを使用します。

注: アダプティブ ヘッドライト はオートステアリングが作動すると自動的に作動します。ロービームに切り替えるには、ヨーク（またはハンドル）のハイビームボタンを押します。アダプティブ ヘッドライト は、オートステアリングが作動するたびに、再度有効になります。

⚠ 警告: アダプティブ ヘッドライト は利便性のためのもに過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

後部読書灯

Model X 後部座席両側のドアの上のコート ハンガーの隣には読書灯があります（コートハンガー ページ 42 参照）。読書灯を点灯/消灯するには、レンズを押します。読書灯を点けたままにしても、Model X の電力がオフになると自動的に消灯します。

ウィンカー

ウィンカーを作動させるには、ヨーク（またはハンドル）の左側にある対応する矢印ボタンを押します。ウィンカーはヨーク（またはハンドル）の角度に基づいて解除されます（例えば旋回を終えた場合）。ウィンカーを解除するには、もう一度ウィンカー ボタンを押します。

「コントロール」 > 「ライト」 > 「自動ウィンカー」が「自動キャンセル」に設定されている場合、Model X が、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の完了を検出したとき、ウィンカーが自動的にキャンセルされます。この自動解除機能はいつでも無効にすることができます（複数車線にわたって車線変更しているのにウィンカーを点灯したままにしたい場合など）。無効にするには、ウィンカー ボタンを少し長く押し続けることによりウィンカーを作動させます。その後、最初の動作が完了したとき、ウィンカーはオンのままになります。自動ウィンカーが「オフ」に設定されている場合は、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の後にウィンカー ボタンを押して、手動でウィンカーをキャンセルする必要があります。

ライト



ウィンカー作動中は、インストゥルメントパネルの該当するインジケータライトが点滅し、カチカチという音が鳴ります。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅するには、センターコンソール前面にあるドライブモードセレクターのボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。



注: ハザードランプはキーが近くになくても動作します。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入（洗車など）により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまる場合があります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリアレンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。



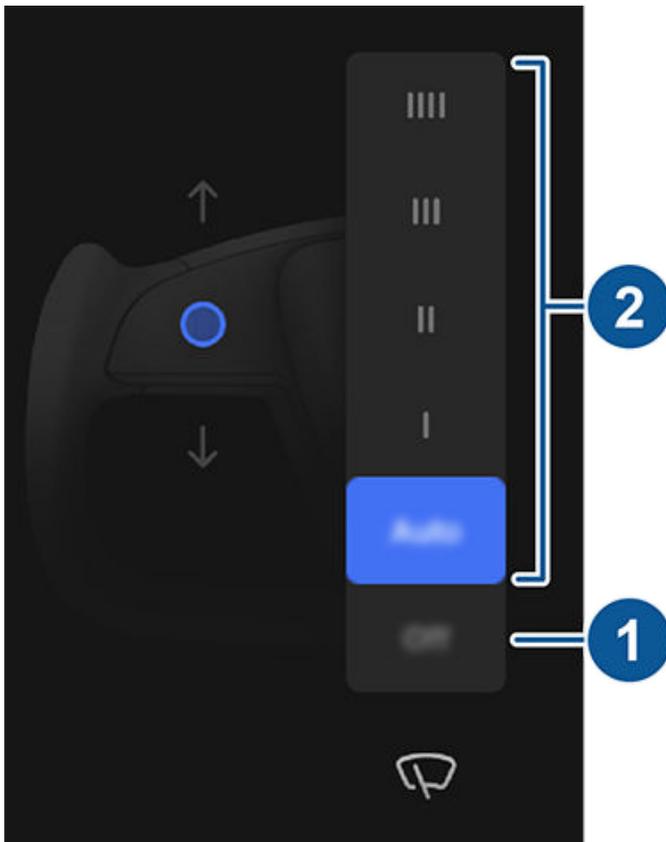
ワイパーとウォッシャー

ワイパー設定にアクセスするには、ヨーク（またはハンドル）のワイパー ボタンにタッチします。

- フロント ガラスをワイパーで拭くには、ワイパー ボタンを **押し** ます。ワイパーがすでにワイパー設定で動作しており、「自動」に設定されていない場合、ワイパー ボタンを押すと速度がサイクルで切り替わります。ワイパー速度は以下のサイクルで切り替わります。I > II > III > IIII > III > II > I。
- ワイパー ボタンを **押し続け** ると、フロント ガラスにウォッシャー液が吹き付けられます。ボタンから手を離れた後、ワイパーはさらに 2 回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから 3 回目の動作を行います。ワイパー ボタンを押し続けても、ウォッシャー液を連続して吹き付けることができます。ボタンから手を離すとワイパーが作動します。

ワイパー設定は、「コントロール」 > 「ワイパー」をタッチしてもアクセスできます。

ワイパー ボタンを押すと、インストゥルメントパネルにワイパーメニューが表示され、ワイパーの設定を調整することができます。ヨーク（またはハンドル）の左スクロール ボタンを上または下に回して希望する設定を選びます。



- ワイパーをオフにします。
- 次からワイパーの作動設定を選択します。
 - IIII - 連続、高速
 - III - 連続、低速

- II - 間欠、高速
- I - 間欠、低速
- 「自動」 - Model X は降雨を検知し、拭き取りの速度と頻度を調整します。ワイパーが「自動」に設定された状態でワイパー ボタンを押すと、一時的にワイパーの感度が上がります。

注: オートステアリングが作動している場合、ワイパーは「自動」に設定されます。オートステアリング作動時にワイパー設定を「自動」から変更することは可能ですが、次にオートステアリングを作動させるとワイパーは再び「自動」に初期設定されます。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注: 音声コマンドを使用してもフロント ガラスワイパーの速度と作動間隔を調整することができます（音声コマンド ページ 21 を参照）。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、きれいに清掃してください。ブレードが損傷している場合は、すぐに交換してください。ワイパーブレードの点検と交換についての詳細は、フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 205 を参照してください。

- 注意:** ボンネットの損傷を避けるため、ワイパーを作動させる前に、ボンネットが完全に閉じていることを確認してください。
- 注意:** フロントガラスに氷がついている場合は、氷を取り除いてからワイパーを作動させてください。氷の角が尖っていてワイパーブレードのゴムを傷める可能性があります。
- 注意:** 厳しい寒冷下では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。

ブレーキと停車

ブレーキシステム

警告: ブレーキシステムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。Model X ブレーキングシステムのブレーキペダル、ブレーキキャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model X 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。



Model X を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケーターが「インストゥルメントパネル」上で短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



Model X を最初に始動したときに短く表示される以外で、「インストゥルメントパネル」にこの赤色のブレーキインジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。



ブレーキブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、インストゥルメントパネルに黄色のブレーキインジケーターが表示されます ([回生ブレーキ ページ 97](#) を参照)。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が作動する場合があります ([油圧ブースト補正 ページ 97](#) を参照)。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、タッチスクリーンのドライブモードストリップにあるパーキングボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。「コントロール」にタッチしてドライブモードストリップを表示します。

警告: ブレーキペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロブレーキング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ (衝突回避アシスト ページ 145 参照) は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、センターコンソールまたはタッチスクリーンのパーキングボタンを長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ダイナミックブレーキライト (装備されている場合)

時速 50 km 以上で走行している時に急ブレーキをかけた場合 (または、自動緊急ブレーキが作動した場合)、ブレーキライトが短い間隔で点滅し、他のドライバーに Model X が急に減速していることを警告します。Model X が完全に停止すると、ハザードランプが点滅します。アクセルを踏むか、ハザードライトのボタンを押すまで、ライトが点滅し続けます ([ハザードランプの点滅 ページ 94](#) 参照)。

注: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、独立したブレーキ装置がトレーラーになくても、トレーラーのブレーキライトも前述のように動作します。

警告: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、必ず車間距離を十分に空けてください。急ブレーキを踏むと、横滑り、ジャックナイフ、およびコントロールの損失につながる場合があります。

ブレーキディスクワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、Model X にはブレーキディスクワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキディスク表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model X 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と ABS 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると（ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など）、異音が聞こえたり、ブレーキペダルが足から離れるような感触があったり、ブレーキ圧力が大幅に上昇したと感ずることがあります。ブレーキは通常どおりに使用します。ブレーキペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、センターコンソールまたはタッチスクリーンのパーキングボタンを長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキディスクワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

Model X ブレーキペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキブースターの故障が検出されると、ブレーキペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキペダルを踏んだときにノイズが聞こえます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキペダルの反応性の劣化があり得ます。ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。

回生ブレーキ

Model X の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

回生ブレーキによる車両の減速は、バッテリーの現在の状態に応じて異なる場合があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。

パワーメーター（インストゥルメントパネル下部の中央にある水平線）には、電力使用量がリアルタイムで表示されます。



1. パワーメーターの左側は、回生ブレーキによって発生した電力、または車両を減速するために使用された電力を示します。バッテリーに戻されている電力は緑色で表示され、通常のブレーキシステムで使用される電力は灰色で表示されません。

2. パワーメーターの右側は、バッテリーから出力される電力（車両の加速などに使用される電力）を示します。アクセルペダルを踏むと、パワーメーターは黒で（もしくは表示が暗い場合は白で）右に延びていきます。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計されており、タイヤ交換の後、直線加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。「サービス」>「ホイールとタイヤ」>「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

注: Model X が回生ブレーキで減速されると（高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど）、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: Model X は回生ブレーキを使用しているため、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、Model X のトラクションが失われる場合があります。低設定を使用することを推奨しています。低設定を使用することを推奨しています。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけるには、「コントロール」>「安全」の順にタッチし、ブレーキペダルを踏んでから「パーキングブレーキ」にタッチします。



パーキングブレーキをかけると、インストゥルメントパネルに赤色のパーキングブレーキインジケーターが表示されます。

パーキングブレーキは、他のギアにシフトすると解除されます。

また、タッチスクリーンのドライブモードストリップにあるパーキングボタンを長押しすることでも、パーキングブレーキをかけることができます。



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、「インストゥルメントパネル」に黄色のパーキングブレーキインジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

注: パーキングブレーキは後輪のみに作用し、ペダルブレーキシステムからは独立しています。

注意: 万一、Model X の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと（ジャンプスタート ページ 227 を参照）、パーキングブレーキを解除することはできません。



ブレーキと停車

警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model X がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキングブレーキが適切に作動していない場合、Model X にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model X ブレーキパッドはウェアインジケータを備えています。ウェアインジケータは、ブレーキパッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキパッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキパッドの詳細な仕様と整備期限については、[サブシステム ページ 215](#) を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 20,000 km 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

警告: 摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

注: Model X の電源を入れると、エアサスペンションのリザーバーに空気を注入するためにコンプレッサーの音が聞こえる場合があります。

Model X は、快適な乗り心地を提供し、好みに合わせてサスペンションを軟らかめまたは硬めに設定することができるアダプティブエアサスペンションを装備しています。荷物を積載する場合、エアサスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。状況に合わせて手動で車高を調整することができます（たとえば、急な車道や傾斜路、積雪のある場所、減速ランプ、駐車場などを走行するときにさらに地上高が必要な場合に Model X の車高を上げることができます）



車の性能に関わるアダプティブエアサスペンションシステムの不具合が検知されると、インストゥルメントパネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりアダプティブエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します。Tesla にご連絡ください。

車高調整

注意: サスペンションの高さを調整する際は、Model X の上下に障害物が一切ないことを確認してください。

ブレーキペダルを踏んでタッチスクリーンの「コントロール」>「サスペンション」をタッチすれば、手動で車高を調整できます利用できる車高設定は、走行速度とその他条件（ドア開放時はサスペンションは下がらないなど）によって異なります以下のオプションからはスライダをドラッグして選択します:

- **Very High** - 「Very High」に設定しておく、約 30 m 走行後、または走行速度が 24 km/h に達するとサスペンションは自動的に（、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく「Very High」設定を維持するには、「24 km/h まで維持」にタッチします。
- **High** - 「High」に設定しておく、約 30 m 走行後、または走行速度が 56 km/h に達するとサスペンションは自動的に（、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく **High** 設定を維持するには、「56 km/h まで維持」にタッチします。

注: メインコントロールウィンドウの「車高上昇」ショートカットにタッチすることでもサスペンションを「High」に上げることができます。

- **Medium** - 「Medium」に設定すると、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。走行速度が 89 km/h に達すると自動的に車高が「Low」まで下がります。
- **Low** - 車高を下げると、空力性能が向上し、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になり、ハンドリングが向上します。
- **Very Low** - この設定は、手動で選択した場合に、または高速で走行すると自動的に、有効になります。サスペンションは次回運転するとき自動的に **Low** に戻りますが、車両の速度によって適切な時に有効になります。

注意: エアサスペンションが、「高」または「最高」に設定されている時は、アグレッシブな運転（急加速、急カーブ、など）は避けてください。車高が高い時にアグレッシブな運転を行うと、振動が発生し、車両を損傷する恐れがあります。

アダプティブサスペンションダンピング

「アダプティブサスペンションダンピング」に関連する設定では、サスペンションシステムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化できます。オプション:

- **コンフォート** - 柔らかい乗り心地でゆったりと運転することができます。
- **オート** - さまざまな道路や運転スタイルに合わせて調整を行ない、滑らかな走行ながらもきちんとコントロールされた乗り心地を提供します。
- **スポーツ** - 確実にコントロールされた乗り心地を提供し、ドライバーの意思がより反映され、道路と連動しているような感覚になります。
- **Advanced** - 「乗り心地」および「ハンドリング」を調節する個々のスライダーを動かして、サスペンションを微調整することができます。

「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

注: アダプティブサスペンションダンピングが「コンフォート」または「自動」に設定されている場合、荒れた路面での乗り心地を向上させるためにサスペンションが上昇することがあります

「コンフォートダンピングをオートパイロットで使用」（装備されている場合）- デフォルトでは、オートパイロットを使用するとダンピングは自動的にコンフォートに設定され、オートパイロットを使用をやめると選択していた設定に戻ります。この設定をオフにするとこの機能は無効になります。

リアルタイムの視覚化

サスペンション画面の Model X の画像では、エアサスペンションシステムのリアルタイムのステータスを知ることができます。ここでは、視覚的に車高の変化が表示されるだけでなく、設定した設定と変化する道路条件に応じて、サスペンションシステムで各ホイールのダンパーが制御される様子を反映した圧縮ラインとリバウンドラインが表示されます。いずれも同時制御されます。「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

自動車高調整位置

サスペンションを「High」または「Very High」に上げると、その場所が自動的に保存されます。場所を保存することで、以前車高を上げたことがある場所で頻繁に車高を上げる必要がある場合に、その都度手動で車高を上げる必要がなくなります。保存した場所に戻ると、Model X はサスペンションを上げて、インストゥルメントパネルには、サスペンションが上げられていることを示すメッセージが表示されます。

場所を保存するとき、Model X は「XX km/h まで維持」設定も保存します（指定された場合）。

注: 保存された場所に戻って「High」および「Very High」サスペンション設定で走行可能な速度以上の速度で走行した場合、Model X の速度が下がるまでサスペンションは上がりません。

注: 保存した場所を離れると、サスペンションは自動的に下がります。ただし、Model X の速度と距離がしきい値に達するまで、サスペンションが低下しない場合があります。

注: 保存された場所に Model X が着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、車高は調節されません。

車高自動上昇場所を取り消す

ある場所でサスペンションを自動で上昇させたくない場合は、保存場所まで上昇したときに表示されるポップアップでタッチして、「この場所ではいつでも車高オート調整を有効にする」の選択を解除します。またはメインコントロールウィンドウの「サスペンションを上げる」ショートカットを使用し、タッチして「場所を保存」の選択を解除します。

セルフレベリング

Model X エアサスペンション装備の場合、電源がオフでも自動的にセルフレベリングが働きます。ジャッキアップやリフトアップの際に破損するのを防ぐため、「ジャッキモード」を起動して、セルフレベリングを無効にする必要があります。（ブレーキペダルを踏み、「コントロール」>「サービス」>「ジャッキモード」の順にタッチします）。詳細については、[ジャッキモード ページ 207](#) を参照してください。



この機能は、およそ 2023 年 1 月以降に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限される、または無効にされることがあります。

Model X には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ゆっくり走行しているときに（駐車時など）、Model X の近くに物体が検出されると、車両が警告を發します。ドライブ時に Model X の前方で、リバース時に Model X の後方で物体が検出されると、車両が警告を發します。

⚠ 警告: 反対方向に Model X が勝手に動き出した場合に警告されないことがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。

注: 車両が検出された場合、Model X がけん引モードの場合、パーキングアシストが無効になります。

⚠ 警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります（[制約と誤警告 ページ 102](#) を参照）。したがって、Model X が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、カメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、カメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

Tesla Vision パーキングアシスト

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、Tesla Vision パーキングアシストが搭載されていないモデルがあります。

車両は、Model X の前部、後部、側面に取り付けられたカメラを使って、インストゥルメントクラスターの周囲の物体を忠実に再現します。



ビジュアライゼーションの色は、Model X と表示されている物体との距離に対応しています。赤色は Model X に近いことを示し、黄色は Model X から遠いことを示します。

製造年月日により異なります。Tesla Vision パーキングアシスト（装備されている場合）を有効または無効にするには、「[コントロール](#)」 > 「[オートパイロット](#)」をタッチし、「[パーキングアシスト](#)」までスクロールして、「[標準](#)」と「[Tesla Vision](#)」を切り替えます。

注: Tesla Vision パーキングアシストを有効にすると、レーンアシストの視覚化が無効になります。詳細な情報は、[レーンアシスト ページ 142](#) を参照してください。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、インストゥルメントパネルの左側にパーキングアシストビューが表示され、Model X の前後の直近位置に存在する物体を表示します。このビューは、Model X の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトしたときに閉じます。この場合、パーキングアシストビューは、パーキングアシストの作動する速度より高速な速度で運転を開始すると自動的に閉じます。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます（[リアビューカメラ ページ 111](#) 参照）。X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、低速で運転している場合、カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチすることで、パーキングアシストビューに切り替えることができます。縦列駐車への援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整 ページ 102](#) を参照）、物体に近づいたときにピープ音が鳴ります。パーキングアシストビューの下隅にあるスピーカーアイコンにタッチすると、チャイムを一時的にミュートすることができます。

パーキングアシスト

注: パーキング アシストがフィードバックを提供できない場合は、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されません。

! **注意:** カメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でカメラをクリーニングしないでください。

! **注意:** カメラの近くにアクセサリやステッカーを取り付けないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「パーキングアシスト チャイム」の順にタッチします。

チャイムの音を一時的に鳴らさないようにするには、パーキングアシストビューの隅にあるスピーカーアイコンにタッチします。パーキングアシストの作動する速度より高速にシフトするか運転するまでチャイムは鳴りません。

制約と誤警告

以下の場合、パーキングアシストが正常に機能していない可能性があります。

- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。

- 物体がおよそ 20 cm 下方にある場合（縁石や低い柵など）。

! **注意:** 高さがない物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。Model X 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。

- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
- 物体が薄い場合（道路標識など）。
- パーキングアシストの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合（粉雪など）。
- 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
- Model X 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がパーキングアシストを妨害または遮蔽している場合。
- Model X が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。

その他のパーキング補助装置

パーキングアシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップカメラに Model X の周囲の映像が表示されます（リアビューカメラ ページ 111 を参照）。



Model X が停止したときに、ブレーキペダルから足を離れたあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。

車両の停止モードが「**ホールド**」に設定されている場合、車両が完全に停止すると、常に車両ホールドが自動的に有効になります。



このインジケータは、Model X のオートブレーキホールドが作動しているときは常にインストゥルメントパネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを踏むか、ブレーキペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注: 走行用のギアに入れたまま、Model X のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model X はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model X また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

説明

トラクションコントロールシステムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model X のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクションコントロールシステムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクションコントロールシステムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「インストゥルメントパネル」上のこの黄色いインジケータが常に点滅しています。トラクションコントロールシステムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

警告: トラクションコントロールシステムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは、Model X が 48 km/h 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。スリップスタートは、速度が 80 km/h を超えると自動的に無効になります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- 積雪路面や砂利道での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを空転させるには、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「スリップスタート」の順にタッチします。



インストゥルメントパネルにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model X を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注: クルーズコントロールを使用しているときは、スリップスタートを有効にすることはできません。

加速モードを選択するには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「加速」にタッチします。

- ・「コンフォート」を使用すると、加速が制限され、快適な乗り心地でゆったりと運転することができます。

注:「コンフォート」が選択されると、インストゥルメントパネルの運転速度の上に「コンフォート」が表示されます。

- ・「スポーツ」では、通常レベルの加速が提供されます。
- ・「インセイン」(パフォーマンス車両では、装備されていれば「ブレイド」)では、最大レベルの加速が直ちに得られます。

注:「インセイン」モードおよび「ブレイド」モードでトルクおよび電力を増加させると、航続距離や電力消費効率が低下することがあります。

注:「インセイン」または「ブレイド」では、バッテリーは最適な温度範囲内に維持されます。バッテリーを温めるだけでなく、本設定では必要に応じてバッテリーを冷却します(例:高速運転時、急速な加速の間、長時間の運転時など)。

注:選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

さらに、Model Xはドラッグ ストリップ モードを搭載しています。短距離走行の際に、事前にドラッグ ストリップ モードで Model X をプレコンディショニングしておく便利です。

ドラッグ ストリップ モード

ドラッグ ストリップ モードでは、タイムリーに加速できるように、バッテリーやドライブトレインが理想的な運転温度に維持されます。Model Xドラッグ ストリップ モードは、車両を離れても3時間は維持されます。3時間経過すると、不要なエネルギー消費を避けるために、機能自体がタイムアウトで解除されます(ドラッグ ストリップ モードをキャンセルせずに車両を離れたときなど)。

ドラッグ ストリップ モードの使用時は、バッテリーを最適な温度範囲内に保つために Model X の電力消費量が上がります。

ドラッグ ストリップ モードをキャンセルするには、常に「ドラッグ ストリップ モード」をオフに切り替えます。

注:ドラッグ ストリップ モードでは、スリップ スタートが有効になっている場合は自動的にオフになります。

⚠ 警告:ドラッグ ストリップ モードは、一般車両の入らないレース サーキット場の走行向けに設計されています。ドライバーは、他の道路使用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。

車両をローンチする方法

ローンチする方法は、タッチスクリーンでビジュアルに説明されます。

1. 「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「ドラッグ ストリップ モード」にタッチします。
2. インストゥルメント パネルに「ピーク パフォーマンスの準備完了」と表示されるまで待ちます。
3. Model X のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態で、ブレーキ ペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。
4. ステップ 3 が終わると、フロントのサスペンションが「チーター スタンス」の位置まで下げる動作が始まります。
5. インストゥルメント パネルにドラッグ ストリップ モードが「ローンチの準備完了」と表示されるまで待ちます。
6. インストゥルメント パネルに「チーター スタンスがオン」および「ローンチの準備完了」と表示されたら、ブレーキ ペダルから足を離して、車両をローンチします。

T ドライバープロフィール

運転席シート、ヨーク（またはハンドル）ポジション、またはドアミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバープロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、Model X をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。

プロフィール設定をクラウドに保存し、複数の Tesla 車でアクセスするには Tesla プロフィールをセットアップします (Tesla プロフィールの使用 ページ 106 参照)



新しいドライバープロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンをタッチします。「**ドライバープロフィールの設定**」 > 「**ドライバーを追加**」をタッチして、ドライバーの名前を入力し、「**プロフィールを作成**」をタッチします。画面の指示に従い、ドライバープロフィールにミラーおよびハンドル位置を保存します。

ドライバーに合わせて運転席とヨーク（またはハンドル）を自動的に調整して Model X への出入りをより便利にする**イージーエントリー**設定を保存（または既存のものを使用）する場合は、「**イージーエントリーを使用**」チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバープロフィールの保存または選択後、運転席シート、ヨーク（またはハンドル）、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を**保存**するか、または前回保存した位置へ**元に戻す**ことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバープロフィールのアイコンをタッチし、「**ドライバーのプロフィール設定**」をタッチして、削除するドライバープロフィールを選択します。選択したら、そのドライバープロフィールを「**削除**」します。

注: バレーモードは、速度制限および Model X の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです (バレーモード ページ 107 を参照)。

注: ドライバープロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある「**停止**」をタッチします。手動でシート、ミラー、ヨーク（またはハンドル）を調整すると、自動調整も停止します。

ドライバープロフィールの選択



ドライバープロフィールに従って Model X を調整するには、「**コントロール**」画面の最上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバープロフィールで保存されている設定に合わせて Model X が調整されます。複数の Tesla 車に簡単にアクセスするためにプロフィール設定をクラウドに保存する方法の詳細については、Tesla プロフィールの使用 ページ 106 を参照してください。

Tesla プロフィールの使用

(装備されている場合) シート調整、温度設定、ナビの最近の履歴やお気に入り、メディア設定およびデータ共有設定といったドライバーのプロフィール設定を Tesla プロフィールに保存し、Tesla アカウントでサポートされている車両で同期させることができます。これにより、サポートされているすべての Tesla 車で、プロフィール設定に簡単にアクセスすることができます。

Tesla プロフィールをセットアップするには「**ドライバーのプロフィール設定**」に移動して Tesla アカウント名を選択します。新しいプロフィールとしてセットアップするか、以前に使用していた既存のドライバーのプロフィールから設定をコピーすることができます。

追加のドライバーに対して Tesla プロフィールをセットアップするには、モバイルアプリから車両をドライバーたちと共有し、「**セキュリティとドライバー**」 > 「**ドライバーの管理**」 > 「**ドライバーの追加**」の順に移動します。追加ドライバーの Tesla アカウントからの招待を受け入れると、ドライバーのプロフィール設定に Tesla プロフィールが表示されます。車両へのアクセス権を削除すると、Tesla プロフィールも削除されます。モバイルアプリのアクセス権付与に関する詳細については、**2 人目のドライバーへのアクセス許可 ページ 76** を参照してください。さらに、Tesla モバイルアプリからプロフィールの写真を変更することができます。

注: 一部の車両設定は類似する車両モデルの間でしか同期しません。シート、ステアリング、ミラーの位置が、期待するようには元に戻らない場合、該当する車両で「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**シート、ステアリング、およびミラーのキャリブレーション**」の順にタッチします。オートパイロット起動の設定が元に戻らない場合は、「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**オートパイロット作動**」にタッチします (オートパイロット設定 ページ 123 を参照)。

注: Tesla プロフィールは、ソフトウェアバージョン 2022.24 以降を搭載する車両でサポートされています。

車両から Tesla プロフィールを削除するには、次のようにしてその車両を Tesla アカウントから削除します。

1. Tesla モバイルアプリで右上隅のプロフィールアイコンにタッチします。
2. **製品を追加/削除**にタッチします。
3. **削除**にタッチします。
4. 削除する車両を選択します。

保存されている設定

Model X をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバープロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバープロフィールアイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバープロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。
- オートパイロットおよびドライブの好み。



ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバープロフィールを特定のキーにリンクさせて、そのキーを持って車両に近づき運転席側ドアを開くと Model X が正しいドライバープロフィールを自動的に選択できるようにできます。ドライバーのプロフィールをキーにリンクさせるには、最初に必ずリンクを希望するドライバープロフィールを使用していることを確認してから、「コントロール」 > 「ロック」 > 「キー」の順にタッチします。ドライバー アイコンを切り替えると、キーのドライバープロフィールをリンクまたはリンク解除できます。リンクされると、キーの下にドライバー プロフィール名が表示されます。

注: Model X 最大 10 件のドライバーのプロフィールをサポートします。ドライバー プロフィールに複数のキーをリンクさせることができますが、1つのキーに複数のドライバー プロフィールをリンクさせることはできません。

イージーエントリー

イージー エントリー設定を定義すると、Model X への出入りを容易にするようにヨーク（またはハンドル）と運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージー エントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シートベルトが外されたときに、ヨーク（またはハンドル）と運転席が自動的に調整され、Model X からの降車（および次の乗込み）が楽にできるようになります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。

ドライバーのプロフィールで **イージーエントリー**を使用するには、「**イージーエントリーを使用**」ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

⚠ 警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model X がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- Model X にアクセスして運転するためには、キー カードを使用する必要があります
- 速度は 113 km/h 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーション システムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。

- テキスト メッセージは非表示になります。
- オートパイロットの便利な機能が無効になります。
- 「モバイル アクセスを許可」設定は変更できません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- Toybox や Theater などの一部のアプリは利用できません。
- Wi-Fi と Bluetooth が無効になります。Model X がバレーモードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に Bluetooth でペアリングした機器または既知の Wi-Fi ネットワークがある場合は、Model X は接続を行いません。

注: Model X 「バレーモード」では自動的にシフトしません。

バレーモードの開始

Model X をパーキングにシフトして、「コントロール」 > 「コントロール」 > 「安全」 > 「バレーモード」にタッチするか、「コントロール」画面の最上部にあるドライバーのプロフィールアイコンにタッチしてから、**バレーモード**にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 桁の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、インストゥルメントパネル上に「**バレー**」の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが「**バレーモード**」に変わります。

また、モバイル アプリを使って、バレー モードを開始またはキャンセルすることもできます（Model X のギアがパーキングに入っている必要があります）。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定が有効になっている場合（[ドライブ用 PIN ページ 151](#) を参照）、バレー PIN を定義または入力するには、ドライブ PIN を入力する必要があります。バレーモードになると、Model X は、ドライブ用 PIN の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model X 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます（バレーモードもキャンセルされます）。モバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。

⚠ 警告: トレーラーをけん引しているときにはバレーモードを使用できません。バレーモードのトルクの限界により、Model X ではトレーラーを引きながら坂道を登ることが困難になることがあります。

バレーモードのキャンセル

Model X をパーキングにして、「コントロール」画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチしてから、「**バレーモード**」にタッチして 4 桁の PIN を入力します。



ドライバープロフィール

バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバープロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: バレーモードをキャンセルするにはモバイルアプリからPINを入力する必要はありません。

アクティブボンネットの仕組み

(装備されている場合) Model X (販売地域および製造日により異なります) 正面衝突した歩行者や自転車走行者の頭部の負傷を軽減するアクティブボンネットを使用した歩行者保護システムを備えています。車両の前部にある複数のセンサーは、Model X が 23~52 km/h で走行しているときに、歩行者との衝突を検出すると、ボンネット後部を 80 mm 持ち上げるように設計されています。これにより、ボンネットとその下にあるコンポーネントとの間のスペースが広がり、負傷の可能性を減らします。

注: 歩行者保護システムは、アクティブボンネットの作動タイミングを決めるよう設計および調整された一連のセンサーとアルゴリズムを使用していますが、歩行者との衝突事故で必ず作動するとは限りません。同様に、アクティブボンネットは Model X が動物や車両あるいは物体に衝突したときに展開する場合があります。



アクティブボンネットが作動したときは、インストゥルメントパネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。直ちに最寄りの Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定ボディショップまで Model X を持ち込んでください。アクティブボンネットが作動した場合は、その都度アクティブボンネットの関連センサーおよびアクチュエーターを整備する必要があります。

⚠ 警告: アクティブボンネットが作動すると、アクティブボンネットが上昇し、ドライバーの視界を遮るため衝突を起こす原因となる恐れがあります。安全に走行できる場合は、Model X を最寄りの Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定ボディショップまで車を持ち込んでください。安全に走行できない (持ち上がったボンネットで視界が遮られたり、ボンネットのハッチが損傷していたりなど) 場合、車両を輸送する必要があります。

⚠ 警告: アクティブボンネットが作動していないときに作動したことを示す警告がインストゥルメントパネルに表示されるときは、ただちに Model X を最寄りの Tesla サービスセンターへ運んでください。

注: フロントバンパーに損傷を被った場合は、Tesla 認定ボディショップでセンサーに損傷がないか点検を受けてください。



走行情報を表示する

走行情報は、タッチスクリーンの「コントロール」>「走行データ」の順にタッチしたときに、表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

オドメーター

オドメーターを表示して走行距離を確認するには、以下のいずれかの操作を行います。

- 「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。
- 「コントロール」>「トリップ」の順にタッチします。
- モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロールダウンします。

カメラ位置

Model X 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ヨーク（またはハンドル）の位置に応じてラインが運転方向を示します。ヨーク（またはハンドル）が動いても、これらのラインは調整されます。

Model X が車両の後ろを横切ろうとする物体（他の車両や歩行者など）を検出すると、リアビューカメラの画像に重なって赤い縦棒が表示されます。詳細な情報は、[リアクロストラフィックアラート ページ 146](#) を参照してください。

Model X は、サイドカメラの画像も表示します（装備されている場合）。

注: インストルメントパネルにパーキングアシストからの視覚的フィードバックも表示されます（[パーキングアシスト ページ 101](#) を参照）。



リアビューカメラのビューを表示するには、常にアプリランチャーを開いて、カメラアプリにタッチします。

リバースにシフトしているときに、リアビューカメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リアビューカメラが使用できない状態が継続する場合、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

警告: 車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model X が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。[洗車 ページ 201](#) を参照してください。



歩行者警告システム

(装備されている場合) 歩行者警告システムは、Model X が 32 km/h (19 mph) 以下で走行しているか後進している時に音を出します。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、Model X がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

警告: 音が聞こえないと、歩行者は近づく車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者に車両を確実に気付かせるために、歩行者警告システムを頼ることはしないでください。歩行者警告システムが作動していない場合、サービス予約をしてください。



けん引パッケージを使用すると、Model X でトレーラーをけん引できるようになります。また、アクセサリー キャリアをヒッチに取り付けると、スキーやスノーボードなどの運搬ができます。

アクセサリーの積載

Model X のけん引パッケージには、アクセサリー キャリアを支持できる 50 mm ボールカップリングが含まれています。

ボールカップリングは、アクセサリー ラックに搭載した自転車など、ボールカップリングから 63 cm 以内で後方に片持ちさされている 54 kg までの垂直荷重を支持するように設計されています。

Model X のヒッチで自転車その他の物を運搬するときは、最大重量を超えていないことを必ず確認してください。重量計算では、必ずアクセサリー キャリア自体の重量も含めてください。例えば、キャリアの重量が 14 kg だとすると、それぞれ約 20 kg の自転車 2 台、またはそれぞれ約 10 kg の自転車 4 台を積載できると判断できます。

注意: Model X のヒッチは、最大 54 kg を支持できるように設計されています。この最大重量を超えると、重大な損傷を引き起こす危険があります。

注意: けん引パッケージを装備していない Model X にキャリアを取り付けようとししないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。

アクセサリー キャリアを取り付けるには、けん引ヒッチを接続する必要があります ([けん引ヒッチの接続 ページ 118](#) 参照)。作業はアクセサリー キャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリーの積載に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model X のけん引パッケージには、ライト付きアクセサリー キャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています ([電気系の接続 ページ 119](#) を参照)。また、パッケージには、けん引モード ソフトウェア ([けん引モード ページ 115](#) を参照) も含まれています。



アクセサリー キャリアのワイヤー ハーネスを接続すると、Model X はトレーラー ライトの接続を検出し、対応のインジケータがインストゥルメントパネル上で点灯します。けん引モードは無効になります。

アクセサリーを運搬するときは、アクセサリー キャリアと積載物の取り付け状態が安定していること、および可能ならば、アクセサリー キャリアのライトが正常に動作していることを定期的に確認してください。

注: Model X 用アクセサリーを購入するには、www.tesla.com にアクセスしてください。サード パーティの製品もありますが、Tesla は Tesla 認定品を推奨し、また Tesla 認定品のみをサポートします ([部品とアクセサリー ページ 208](#) を参照)。入手可能な Model X 用アクセサリー製品は販売地域によって異なります。Tesla ブランド以外のキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て互換性を確認してください。

注: 使用しない時は、ヒッチ を取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチのハウジングにダストカバーをかけ、ほこりやごみが入らないようにしてください ([けん引ヒッチの取り外し ページ 119](#) 参照)。



注意: キャリアを取り付けると、リアビュー ミラーやリアカメラからの視界が見えなくなることがあります。さらに、一部のオートパイロット機能が期待どおりに働かなくなることがあります。



警告: Tesla は、アクセサリー キャリアの取り付けおよび使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリー キャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリー キャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

けん引能力

総けん引重量 (積み荷や付加機器を含めたトレーラー重量) およびトレーラー タングの重量は以下の上限を超えないようにしてください。

ホイール/リムサイズ	最大けん引能力*	最大ヒッチ荷重**
20" または 22"	2300 kg	100 kg
20" または 22"	2250 kg (Plaid モデル)	90 kg (Plaid モデル)

*Tesla は、積載重量が 450 kg を超えるトレーラーには個別のブレーキ系を推奨しています。このブレーキ系はトレーラーの重量に適合していなければなりません。トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラー ブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。

**タンク荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。連結ポイントで技術的に許容される最大重量です (100 kg またはブラッド仕様車で 90 kg)。これはトレーラー荷重の 4% 未満でなければなりません。けん引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタンク荷重が減少することがあり、その場合は最大けん引能力も減少します。最大けん引能力は、TPMLM (Technically Permissible Laden Mass、技術的に許容される最大積載質量) を超えない前提で計算します。TPMLM は、法定プレート ([法定プレート ページ 211](#) 参照) に印字されています。



けん引時のタイヤ空気圧

トレーラーをけん引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください(この数値はタイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します)。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
255/45R20	275/45R20	46 psi (320 kPa)
265/45R20		
265/35ZR22	285/35ZR22	50 psi (345 kPa)

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1.5 km 走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

警告: Model X のタイヤに異常があるかまたはタイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーをけん引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによるけん引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーをけん引する前に

トレーラーをけん引する前に、以下を実行する必要があります。

- 「けん引時タイヤ空気圧」で指定された冷間時タイヤ空気圧になるまでタイヤに空気を入れる。
- 車高を「Low」に設定します(「コントロール」>「サスペンション」>「Low」の順にタッチ)。
- お客さまの地域でトレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きにならないよう、リアの視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- 「けん引モード」に設定します(けん引モード ページ 115 参照)。

以下を確認します。

- Model X が、取り付けられたトレーラーと水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、運搬能力に記載の最大けん引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。

- トレーラー ヒッチの部品や取付部品、および電気コネクター(もしあれば、リバース ライトやフォグランプなど)すべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください(ブレーキ灯、方向指示灯、標識灯)。
- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- 積み荷がすべて固定されている。
- 車輪輪止めを使用できます。
- トレーラー タング荷重が総けん引重量の約 4% で、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにトレーラー荷重が均等に分散されている。

警告: トレーラー タング荷重は、総けん引重量の約 4% にし、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにしなければなりません。荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

警告: トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我や死亡につながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーをけん引している時は、常にけん引モードを有効にしてください。トレーラーの電氣的接続を繋げると、Model X は自動的にけん引モードを有効にします。トレーラーの電氣的接続を切断すると、けん引モードは無効になります。手動で「けん引モード」を有効または無効にするには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「けん引モード」の順にタッチしてください。以下のいずれかがインストゥルメントパネルに表示されます。

けん引モードが有効です。



Model X はトレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリが接続されている可能性があります。



Model X は、トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、けん引モードを一度オフにして再度オンにしてください。



けん引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能およびパーキングアシストセンサー機能が使用できない場合があります。さらに、機能によっては異なる動作をすることがあります。例:

牽引とアクセサリー

- オートステアリングは使用できません。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用可能にするには、最初に「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「オートパイロット作動」 > 「ダブルクリック」の順に設定します。次に右ステアリングヨークスクロールボタンを1回押して、トラフィックアウェアクルーズコントロールを作動させます。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールは、前方にある車との車間距離を増やします。
- エアサスペンションシステムでは、「中間」から「低」へ速度に応じて調整されることはありません。
- エアサスペンションシステムは、保存済みの場所に基づいて、車高を自動的に上げることはありません。
- 側面衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト ページ 145 を参照）による制動力は大幅に制限されます。

 **警告:** Model X がトレーラーを検出して自動的にけん引モードに入るとはいえ、それに任せっきりにしてはしないでください。トレーラーを引く前に必ず、けん引モードになっていることを常に確認してください。

 **警告:** トレーラーをけん引している時には、いかなる状況でもけん引モードを終了してはなりません。大げなまは死亡事故につながる可能性があります。

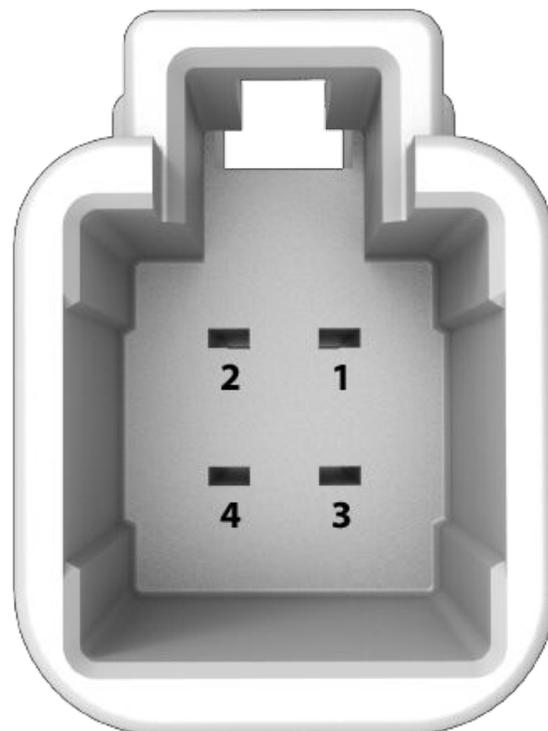
 **警告:** ヒッチの高さとトレーラーの高さを適切に合わせるために、サスペンション設定を使用しないでください。

トレーラーブレーキ

積載重量が 450 kg を超えるトレーラーをけん引する場合は、トレーラーにその重量に適した個別のブレーキ系を備えることを Tesla は推奨しています。必ず現地の法規制を順守してください。ブレーキコントローラーは別途購入する必要があります。必須の 4 ピン ピグテイル コネクタは Tesla サービスに発注します。

ブレーキコントローラーを接続するには次の手順に従ってください。

1. ブレーキコントローラーの配線を、4 ピン ピグテイル コネクタの該当する場所に接続します。



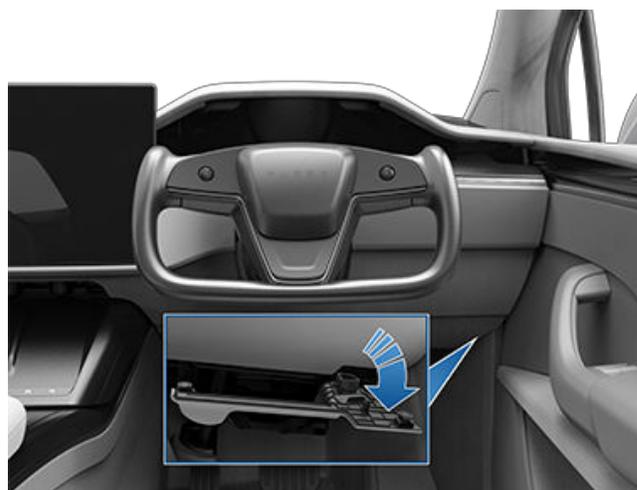
1 - トレーラーへのブレーキコントロール出力

2 - アース

3 - ブレーキオン信号

4 - 低電圧電源 (20A)

2. 運転席側足元のダッシュボード下にあるカバーを外してください。



3. カーペットをめくって Model X のワイヤーハーネスにある 4 ピン コネクタを露出させます。



4. ピッグテイル コネクタを車両の配線コネクタに接続します。

- ⚠ 警告:** けん引時には、トレーラー自信にブレーキ系が備わっていても制動距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないように留意してください。事故につながる危険があります。
- ⚠ 警告:** トレーラーのけん引およびブレーキの必要条件に関して地域または国で定められているすべての規制、法的義務を遵守してください。多くの地域で、トレーラーが車両から離れた場合にトレーラーのブレーキを作動させる、ブレーキアウェイスイッチをトレーラーのヒッチ部に装着することが求められています。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ⚠ 警告:** トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。Tesla はトレーラーのブレーキ系の取り付け不良による損害には責任を負いません。
- ⚠ 警告:** トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に直結しようとししないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがまたは死亡につながる可能性があります。

けん引ガイドライン

Model X は基本的には乗員を運ぶ車両として設計されています。トレーラーをけん引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーをけん引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラーけん引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- 前方車両から最低 2 倍の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。

- 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類、方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーをけん引する場合、トレーラーの電球が切れていても、車両の計器クラスター上のウィンカーは正常に点滅します。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- トレーラー ブレーキが作動していることを定期的に確認してください。
- 勾配のある場所に駐車しないでください（トレーラーをつけた状態での駐車 ページ 117 を参照）。
- けん引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。

- 一人がブレーキ ペダルを踏んだ状態を維持します。
 - もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪止めを置きます。
 - 車輪止めが配置されたら、ブレーキ ペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。
- 注:** 車輪止めをテストするときは、ホールド機構（オートブレーキ ホールド ページ 103 参照）が車両を支えていないようにします。ホールド が Model X にブレーキをかけているときは、インストゥルメントパネルにホールド インジケータが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。
- 車両をパーキングにシフトします。

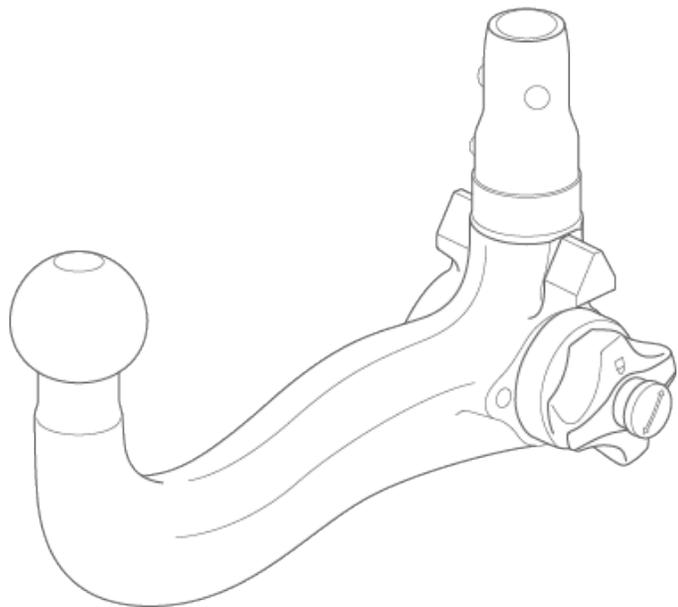
- ⚠ 警告:** 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。これを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

トレーラーのふらつき軽減

トレーラーがふらついていることが検出されると、Model X の電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキを加えてトレーラーのふらつきを最小化しようとします。インストゥルメントパネルには、トラクションコントロールシステムのインジケータが短時間表示されます。このシステムが作動してトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキングは解除されません。

けん引ヒッチの接続

Model X のけん引パッケージには、50 mm 径 ボールが付いている重量物運搬ヒッチが付属します。ヒッチ レシーバーを使用しない時は、ヒッチ を取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチ ハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止してください。



トレーラー ヒッチ アセンブリは、車両本体にナット 8 個で取り付けます。



注: 連結ポイントの最大許容リア オーバーハングは 47 インチ (1186 mm) です。

注: けん引する場合は必ず安全チェーンを取り付けてください。トレーラータンクの下でチェーンを交差させ、トレーラーの積載物がしっかり固定されるようトレーラーのアイレットを取り付けます。

警告: トレーラーをけん引する際には必ず Model X 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けないでください。

トレーラーヒッチ は次のように取り付けます。

1. ダストカバーをヒッチ ハウジングから取り外します。



注: Model X では、プッシュクリップを 2 個使用してダストカバーを車両に固定します。開くには、マイナスドライバーなど先の尖った工具で慎重にクリップを開きます。ダストカバーを外します。



2. ヒッチのロック シリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「アンロック」位置に合わせます。
3. アダプターからロック シリンダーを約 0.5 cm ほど引き出し、時計方向に回してシリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。



⚠ 警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

4. ヒッチを底からしっかりとつかみ、ヒッチ側面の三角形のガイドをヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注: ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないでください。

5. ロッキング シリンダーが約 120 度反時計方向に回転し、「閉位置」で自動的にロックされるまで、ヒッチをヒッチハウジングに押し入れます。ロッキング シリンダーの緑色部分(白い矢印の上)はヒッチの白いドットに合わせます。
6. ヒッチが完全にヒッチハウジングに差し込まれていることを目視で確認してください。ヒッチを引き下げてください。ヒッチは引いても落ちないはずですが。
- 注:** ヒッチがハウジング内でロックされていない場合は、引いた時に落ちてしまいます。
7. キーを回して矢印をロッキング シリンダーの「ロック」マークに合わせます。
8. キーを外し、安全な場所に保管します(車両内部が望ましい)。

注: キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注: Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このコードが必要になります。



9. ダストカバーを閉じ、汚れやごみがロック内に入らないようにします。プッシュクリップが使用されている後期型の場合、ダストカバーを取り付けクリップをはめたら、それを押す前にプッシュクリップを開きます。

注: ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

けん引ヒッチの取り外し

けん引後は、ヒッチを取り外します。

1. キーを挿入し、「アンロック」位置にキー上部を合わせます。
2. ヒッチを(床に落とさないように)その底をしっかりと支えながら、ロッキング シリンダーを約 0.5 cm ほど引き出し、時計方向に回してロッキング シリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でロックされ、ヒッチがヒッチハウジングから外れます。

⚠ 警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

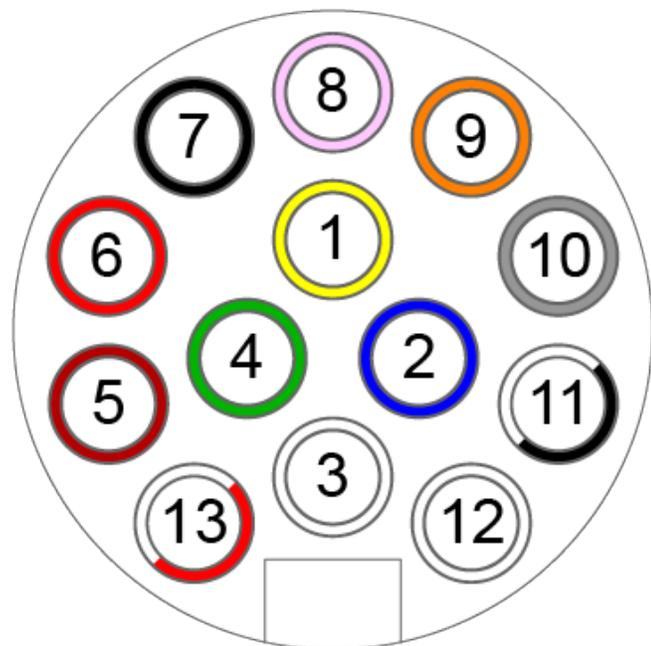
3. ハウジング内にごみがたまらないように、ヒッチハウジングにダストカバーを再取り付けします。
4. ヒッチのロッキング シリンダー上のダストカバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示器灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給のため、ヒッチをサポートしほとんどのトレーラータイプに接続できるワイヤープラグ近くに 13 ピンワイヤー接続内蔵コネクタがあります。



牽引とアクセサリ



警告: 電氣的接続は Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

航続距離への影響

トレーラーをけん引してアクセサリを運搬すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリッププランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとはしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。

1. 左折灯 (黄色)
2. リアフォグ (青)
3. アースのピン 1-8 (白)
4. 右折灯 (緑)
5. 右テールランプ (茶)
6. ストップランプ (赤)
7. 左テールランプ (黒)
8. リバースランプ (ピンク)
9. 低電圧電源 - 常設 (オレンジ)
10. 低電圧電源 - 切替/イグニッション (灰)
11. アースのピン 10 (黒/白)
12. トレーラー ブレーキ コントロール出力 (ライトグレー)
13. アースのピン 9 (赤/白)

注: すべてのピンには低電圧電源があります。

注: すべての電氣的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよびけん引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。

注: けん引中にトレーラーのライトが消えたら、トレーラーの配線不良やトレーラーの電気出力部に接続されたライトの電力過剰消費が原因である場合があります。このような場合、タッチスクリーンに赤い「牽引モード」アイコンが表示されます。配線の問題を解決するか、トレーラーの電力出力部に接続するライトの数を減らして、「けん引モード」をオフにしてからもう一度オンに切り替えます。

注: トレーラーのフォグランプが検出されると、Model X はリアフォグランプを無効にします (装備されている場合)。

トレーラーのワイヤーを Model X の電氣的コネクタに接続すると、けん引モードが自動的に有効になります (けん引モード ページ 115 を参照)。



オートパイロットは、運転をより安全でストレスの少ないものにするを目的とした高度なドライバーアシスタンス機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、Model X を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取って代わることもありません。オートパイロット機能は、すべての新型 Tesla 車両に標準装備されています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロットには、トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングが含まれています。

- **トラフィックアウェアクルーズコントロール:** 車速を維持し、先行車両がある場合、先行車両との車間距離を調整して維持します。「[トラフィックアウェアクルーズコントロール](#) ページ 123 を参照」。
- **オートステアリング:** 車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに Model X が車線を維持するようにします。「[オートステアリング](#) ページ 124 を参照」。

⚠ 警告: オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にヨーク（またはハンドル）の上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

強化型オートパイロットには追加機能が含まれています。強化型オートパイロット機能は、ドライバーの作業負担をさらに軽減し、車線変更や駐車などの一般的なアクションをより簡単にするように設計されています。

- **自動車線変更:** オートステアリングが有効なときにウィンカーを操作すると、Model X は隣接する車線に移動します（[自動車線変更](#) ページ 125 を参照）。
- **ナビゲートオンオートパイロット:** 車線変更、インターチェンジのナビゲーション、ウィンカーの自動操作、正しい出口の選択といった、高速道路への進入から退出まで、Model X を能動的にガイドします（[ナビゲートオンオートパイロット](#) ページ 125 を参照）。
- **オートパーキング:** Model X の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します（[オートパーキング](#) ページ 131 を参照）。
- **サモン:** ドライバーが車外にいるときでも、Model X を前方または後方に移動します。これは、狭い駐車場で駐車に役立ちます（[サモン](#) ページ 133 を参照）。
- **スマートサモン:** Model X を駐車スペースから出し、より複雑な周囲環境を通過し、障害物や他の車両を避けて移動して、ドライバーのいるところまたは事前設定した目的地に到達させます（[スマートサモン](#) ページ 135 を参照）。

⚠ 警告: 強化型オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

動作の仕組み

オートパイロットは、Model X のカメラを使用して、周囲を監視し、他の車両、歩行者、道路標識、障害物（障壁や縁石など）を検知します。Model X の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています（[「カメラ」 ページ 23](#) を参照）。

Model X には、ドライバーの注意力を監視するキャビンカメラがリアビューミラーに搭載されている場合があります。ご自身の責任において、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

オートパイロットが作動している場合、Model X には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

⚠ 警告: オートパイロットは、運転の快適性と利便性を高めるを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model X を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。制限、注意、警告の詳細については、「[制限と警告](#) ページ 137 を参照してください」。

オートパイロットの使用条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後には、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、[走行中のカメラキャリブレーション ページ 23](#) を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。詳細については、「[制限と警告](#)」 [ページ 137](#) を参照してください。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロット機能	使用可能な条件
トラフィックアウェアクルーズコントロール	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model X の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェアクルーズコントロールを作動させることができます。</p>
オートステアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model X の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。</p> <p>注: 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h プラスした値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると、オートステアリングは中止されるか、使用できません。オートステアリングが作動すると、「オートハイビーム」が自動的に有効になり（ハイビームヘッドライト ページ 93 を参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。
ナビゲートオンオートパイロット	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中。 <p>注: Model X の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲートオンオートパイロットを作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス管理された高速道路を離れると、ナビゲートオンオートパイロットはオートステアリングに戻ります。



このトピックでは、以下のドライバー アシスタンス機能を有効にして使用方法について説明します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール** 従来のクルーズコントロールと同様に、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定された走行速度を維持します。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、先行車両からの距離を維持するために、必要に応じて Model X を減速または加速します。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間であっても、Model X の操縦運転はドライバーの責任です（[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 123](#) を参照）。
 - オートステアリング:** オートステアリングは、トラフィックアウェア クルーズコントロールと同様に、設定速度（目の前に車両がない場合）または設定された車間距離（目の前に車両がある場合）を維持します。さらに、オートステアリングは、車線マーキング、路肩および車両や物体の存在を検出して、インテリジェントに Model X の走行車線を維持します（[オートステアリング ページ 124](#) を参照）。
- 注:** オートステアリングは、ベータ版の機能です。
- 自動車線変更:** オートステアリングが作動しているときにウィンカーを作動させると、自動車線変更によって Model X は、ウィンカーが示している方向に隣接する車線に移動します（[自動車線変更 ページ 125](#) を参照）。
 - ナビゲート オン オートパイロット:** ナビゲート オン オートパイロットは、トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングの機能の上に構築されています。オートステアリングが作動している場合、ナビゲート オン オートパイロットを使用すると、Model X が車線を提案し、設定されている場合、車線を自動的に変更して他の車両を追い越し、ナビゲーション ルートをたどることができます（[ナビゲート オン オートパイロット ページ 125](#) を参照）。
- 注:** ナビゲート オン オートパイロットはベータ版機能です。

これらの機能は、Model X のカメラからの情報を使用して車線マーキング、路肩、ならびに Model X の周囲の他の車両および道路の使用者を検出します。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えなかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

注意: オートパイロットの制限事項およびドライバーの介入が必要となる状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

オートパイロット設定

オートパイロット機能を使用する前に、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして機能をカスタマイズします。

- 設定速度:** 現在検出している速度制限と現在の走行速度のどちらかでオートパイロットを作動させるかを選択します。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「設定速度」の順にタッチし、「速度制限」または「現在の速度」を選択します。
- オフセット:** 「速度制限」を選択した場合、「速度オフセットの設定」にタッチしてオフセット量を指定できます。「固定」（すべての道路で特定量だけ巡航速度が調整されます）または「パーセント」（巡航速度は、その道路に対して検出された速度制限のパーセンテージとして調整されます）を選択できます。
- オートパイロット起動:** オートパイロットを有効にする方法を選択します。「シングルクリック」に設定している場合、右スクロール ボタンを 1 回押すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングの両方が作動します。「ダブルクリック」に設定している場合、オートステアリングを作動させるためには右スクロール ボタンを 2 回押す必要があります。

注: オートパイロット起動 トラフィックアウェア クルーズコントロールをオートステアリングから独立して使用する場合は、「ダブルクリック」に設定する必要があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールは常に有効になっています。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには:

- 右スクロール ボタンを押し、アクセル ペダルをゆるめると、トラフィックアウェア クルーズコントロールで巡航速度が維持されます。トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効になったことを示すチャイムが鳴ります。

注: オートパイロット起動を「シングルクリック」に設定している場合、右スクロール ボタンを 1 回押してもオートステアリング（トラフィックアウェア クルーズコントロールを含む）が作動します。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「オートパイロット作動」にタッチして「ダブルクリック」を選択すると、右スクロール ボタンを 1 回押したときに、オートステアリングから独立してトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用することができます。

- 設定速度を変更するには、右のスクロール ホイールを上（加速）または下（減速）に回します。いつでもアクセル ペダルを踏んで、設定された巡航速度を一時的に無効にすることができます。詳細な情報は、[オートパイロット使用時 ページ 127](#) を参照してください。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールを解除するには、右スクロール ボタンを押すか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、[オートパイロットのキャンセル ページ 127](#) を参照してください。



オートパイロット機能

40
MAX

トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、インストゥルメントクラスターに灰色で巡航速度が表示されます。表示されている数値は、トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にしたときに設定される速度を表しています。

40
MAX

トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にして、設定速度で巡航している場合、速度は青色の文字で強調表示されます。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。詳細な情報は、**制限と警告 ページ 137** を参照してください。

オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングを有効にするには:

1. 「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「オートパイロット機能」 > 「オートステアリング (ベータ版)」の順にタッチします。
2. ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、「はい」をタッチします。

オートステアリングを使用するには:

1. 右スクロール ボタンを押します。
注: オートパイロット起動の設定が「ダブルクリック」になっている場合、右スクロール ボタンを 2 回押してオートステアリングを作動させる必要があります (オートパイロット設定 ページ 123 を参照)。
2. 設定速度を変更するには、右のスクロール ホイールを上 (加速) または下 (減速) に回します。詳細な情報は、**オートパイロット使用時 ページ 127** を参照してください。
3. オートステアリングを解除するには、右スクロール ボタンを押すか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、**オートパイロットのキャンセル ページ 127** を参照してください。

オートステアリングを作動させると、Model X では、作動していることを確認するためにチャイムが鳴り、道路に注意を払い、ヨーク (またはハンドル) に両手を置いておくように注意喚起するメッセージが、インストゥルメントクラスターに短い間表示されます。

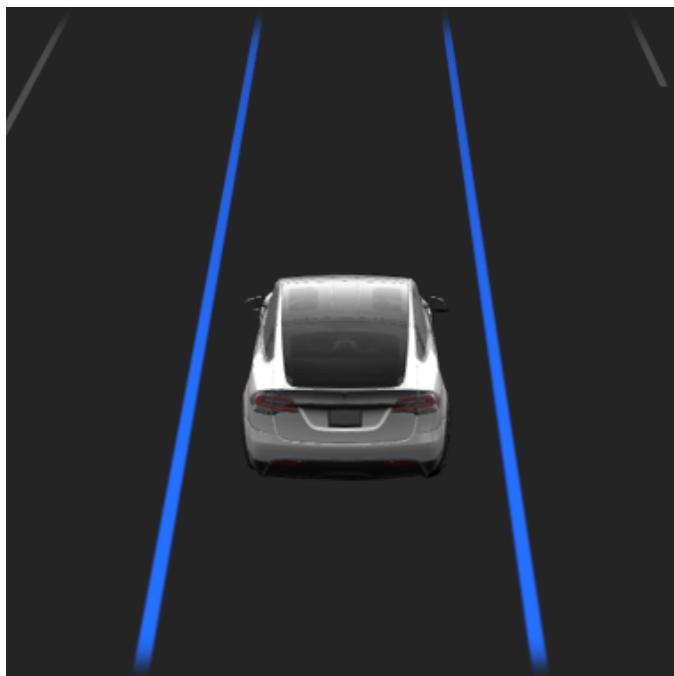


オートステアリングが利用可能である (ただし、Model X を能動的に操舵してはいない) ことを示すため、インストゥルメント パネルに灰色のオートステアリング アイコンが表示されます。オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリング アイコンが消えます。(この例としては、運転速度がオートステアリングの作動に必要な速度内にない場合などがあります。)



オートステアリングが有効であることを示すために、インストゥルメントクラスターにオートステアリング アイコンが青色で表示されます。

オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、走行車線の端がインストゥルメントクラスター上に青色で表示されます。



オートステアリングが作動しているときは常に、トラフィックアウェアクルーズコントロールも作動します。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって 70 km/h に制限されます。手動で加速して制限速度を超えることはできますが、アクセルペダルを踏んでいる間は、障害物を検知しても Model X はブレーキをかけません。アクセルペダルから足を離すと、オートステアリングはこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはヨーク (またはハンドル) を使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。



警告: オートステアリングが有効になると、ハンドル操作が制限されます。そのため、Model X は急カーブを回りきれないことがあります。いつでも車両の運転を引き継げるようにしておいてください。



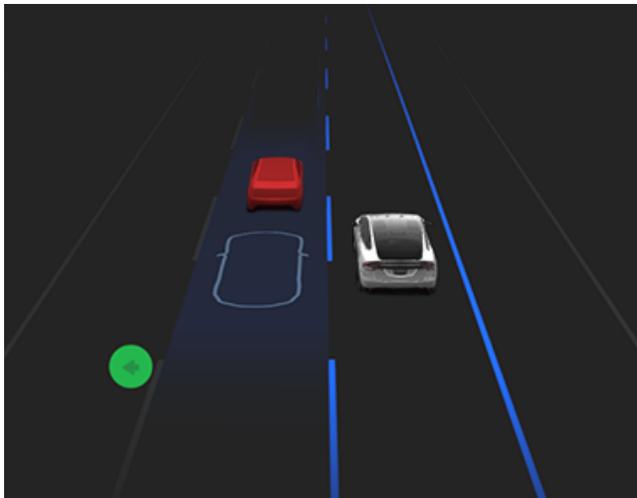
警告: オートステアリングはハンズオンのアシスタンス機能です。常にヨーク（またはハンドル）の上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。オートステアリングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

自動車線変更

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリング作動中にウィンカーを作動させると、次の条件が満たされている場合、Model X はウィンカーが示す方向にある隣の車線に移動します。

- ウィンカーを作動させている。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- 自動車線変更機能は、手がヨーク（またはハンドル）に置かれていることを検知しています。
- 車線変更の途中で、Model X は目標車線の外側車線マーカを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model X は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。
- Model X 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。車両またはその他の障害物が目標の車線に検知された場合、その障害物はインストゥルメントクラスターの視覚化において赤色で表示され、車線変更が安全になるまで、Model X は車線変更を完了しません。



自動車線変更が利用可能な方向（左、右、または両方）を示すために、インストゥルメントクラスターパネルにインジケータが表示されます。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。

自動車線変更が左右どちら側にも利用できないことを示します。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。

注: 車線変更を 5 秒以内に完了しない場合、自動車線変更はキャンセルされます。

警告: オートパイロットは、隣接する車線の車両や障害物を検知するように設計されていますが、常に目視点検を実施して、目標の車線に安全かつ適切に移動できることを確認する責任がドライバーにはあります。データが不十分なためにオートパイロットが車線変更できない場合、インストゥルメントクラスターに一連の警告が表示されます。そのため、自動車線変更機能の使用中は、常にインストゥルメントクラスターに注意を払い、Model X のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

オートパイロットが車線変更を実行する最小速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します（[追い越し加速 ページ 129](#) を参照）。

ウィンカーを作動させると、オートパイロットによって Model X は一度に 1 車線ずつ移動します。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

Model X で車線変更を行う際は、前方の運転経路と周囲の状況を注視することで、自動車線変更機能の動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、Model X が進入した車線の場所がインストゥルメントクラスターに表示されます。

ナビゲート オン オートパイロット

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロット機能

ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「ナビゲート オン オートパイロット (ベータ版)」の順にタッチします。次に、ナビゲート オン オートパイロットの操作をカスタマイズするため、「ナビゲート オン オートパイロットのカスタマイズ」にタッチします。

- ・ **毎回運転開始時に有効にする:** ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうか選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- ・ **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、設定した巡航速度を達成するために、ナビゲート オン オートパイロットでの車線変更をどの程度積極的に行うか（「マイルド」、「平均値」、または「マッドマックス」）を指定することができます。

「運転開始時に有効にする」がオンになっているとき、次の場合にナビゲート オン オートパイロットは自動的に作動します。

- ・ オートステアリングが作動している。
- ・ ドライバーが目的地に向かって移動しています。
- ・ アクセスが管理された高速道路を走行しています。

有効になると、ナビゲーションルートが有効になっていて、ルートに少なくとも1つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。

「運転開始時に有効にする」がオフになっている場合、経路案内の上にある「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチすると、有効になります。「ナビゲート オン オートパイロット」を選択すると、オートステアリングが作動するたびに作動します。

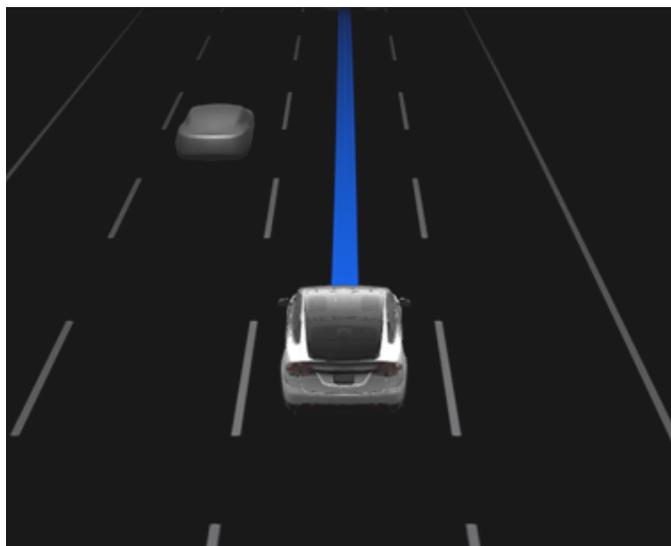


目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。



「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「運転開始時に有効にする」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンにタッチすると、「ナビゲート オン オートパイロット」がキャンセルされ、「オートステアリング」に戻ります。

「ナビゲート オン オートパイロット」が作動しているとき、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、走行車線は、Model X の前にある1本の青い線として、インストゥルメントクラスターに表示されます。



経路案内には、オートパイロットナビ走行によって誘導される地点（高速道路出口など）の隣に、オートステアリングアイコンが表示されます。

ナビゲート オン オートパイロットが作動すると、Model X はドライバーの確認後に速度に応じた車線変更と経路に応じた車線変更の両方を行います。

- ・ **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットでは車線を変更することで、目的地までの走行時間を短縮します。例えば、Model X が設定した巡航速度よりも低い速度で走行する車両の後ろを走行している場合、ナビゲート オン オートパイロットによって、追い越し車線に移動して追い越します。速度に応じた車線変更はオプションです。
- ・ **経路に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは車線を変更して目的地までドライバーを誘導します。たとえば、Model X がナビゲーションルートで指定している出口に近づくとき、ナビゲート オン オートパイロットによって出口車線に移動します。

インストゥルメントクラスターが車線変更の確認を求めるメッセージを表示したら、該当するウィンカーを作動させます。3秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確定が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。車線変更を5秒以内に完了しない場合、自動車線変更はキャンセルされます。

ルートベースの車線変更推奨を無視する（高速道路の右側の出口車線に向かって左車線を運転している場合など）と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。



注意: ナビゲート オン オートパイロットでは、ナビゲーションルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。



ナビゲート オン オートパイロットは、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づくと、該当するウィンカーが作動して、オートステアリングにより Model X がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

アクセス管理されている高速道路から降りると、ナビゲート オン オートパイロットがオートステアリングに戻ります。チャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターに、走行車線が (Model X の前にある青色の線に代わって) 青色の複数の線で表示されます。ナビゲート オン オートパイロットが無効になった時でも、オートステアリングは有効なままです。常に適切に対応できるように準備してください。

注: ナビゲート オン オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にヨーク (またはハンドル) の上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。ナビゲート オン オートパイロットの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

オートパイロットのキャンセル

トラフィックアウェア クルーズコントロールは以下の場合にキャンセルされます。

- ヨーク (またはハンドル) の右スクロールボタンを押した場合。
- ブレーキ ペダルを踏んだ場合。
- 走行速度が 140 km/h を超えた場合。
- リバース、パーキング、ニュートラルにシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき ([衝突回避アシスト ページ 145](#) 参照)。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。

トラフィックアウェア クルーズコントロールがキャンセルされると、インストゥルメントクラスター上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることを知らせます。

上記のいずれかの操作が実行されると、オートステアリングはキャンセルされます。さらに、オートステアリングは次の場合にキャンセルされます。

- 140 km/h を超えている。
- (わずかな量でも) ヨーク (またはハンドル) に回転力を掛けます。



警告: オートパイロット起動が「ダブルクリック」に設定されている場合に、ドライバーがヨーク (またはハンドル) に回転力を掛けて、オートステアリングがキャンセルされても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効なままになります。オートパイロット起動が「シングルクリック」に設定されている場合に、ドライバーがヨーク (またはハンドル) に回転力を掛けて、オートステアリングがキャンセルされると、トラフィックアウェア クルーズコントロールもキャンセルされます。

- ドライバーがインストゥルメントクラスターに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージにตอบสนองしません ([ドライバーの注意力 ページ 129](#) を参照)。

オートステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、アイコンが灰色になって、オートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて、オートステアリングが現在利用できないことを示します。

前述のように、オートステアリングをキャンセルすると、ナビゲート オン オートパイロットもキャンセルされます。さらに、以下の場合、ナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされます。

- 地図の経路案内リストで、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチします。この場合、オートステアリングはまだアクティブです。
- アクセス管理されている高速道路から離れます。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

オートパイロットでナビゲーションがキャンセルされてもオートステアリングがアクティブのままの場合、チャイムが鳴り、運転レーンの 1 本の青色の線が、車線の両側にある 2 本の青い線に視覚化されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリングをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しませんが、代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセル ペダルから足を離れた場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します ([回生ブレーキ ページ 97](#) を参照)。

オートパイロット使用時

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動していて、オートパイロットが設定速度を維持している場合、インストゥルメントクラスターに青色のテキストで速度が強調表示されません。

オートステアリングが有効な場合、ヨーク (またはハンドル) アイコンは青色で表示され、車線マーキングはその視覚化において青色で強調表示されます。

路面標示、赤信号、障害物 (ゴミ箱、柱など) といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビングの表示プレビュー」の順にタッチします。

オートパイロット機能

オートステアリングが車線マーカを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線の中心から外れた走行経路に従う場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

設定速度の変更

オートパイロットが有効な場合、前方に他の車両が検出されていないのであれば、Model X は設定巡航速度を維持します。車両の後ろで巡航する場合、Model X は必要に応じて加速および減速して、選択した車間距離を維持します（「[車間距離の調整](#)」ページ 128 を参照）。

アクセルペダルを踏み込むことで、いつでも手動で加速することができますが、ペダルをゆるめると、Model X は設定速度での巡航を再開します。

Model X カーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。

先行車両からの選択した距離を維持するため、Model X が積極的に減速すると、ブレーキランプが点灯します。ブレーキペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、Model X が加速をしているときは、アクセルペダルは動きません。

設定速度の変更

右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。



Model X が新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

車間距離の調整

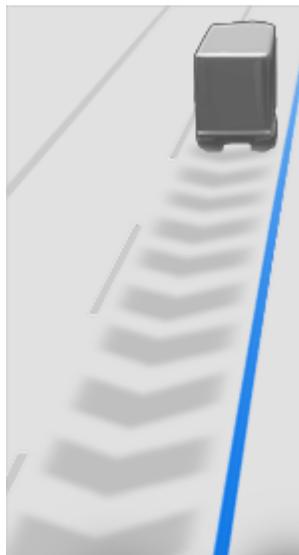
「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「巡航追従距離」の順にタッチして、Model X と前方を走行する車両との間で維持したい距離を調節します。

最も短い追従距離は 2 です。

各設定は、Model X が現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。オートパイロットは、再度変更するまで設定を保持します。

停止とスローダウン

隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model X は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。Model X が他の車両が非常に低速であることを検知すると、インストゥルメントクラスターには隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示されて、Model X は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセルペダルを踏み込みます。



前方に他の車両がある場合、Model X が完全停車したとしても、オートパイロットは低速において有効となったままとなります。たとえば、高速道路での著しい渋滞時に、Model X が完全またはほぼ完全な停止まで減速しても、オートパイロットは有効なままです。交通の流れがより速くなりだすと、オートパイロットによって再び設定速度まで加速します。

Model X が完全に停止している場合、オートパイロットがホールド状態になります。その場合、アクセルペダルを短い間踏み込むと、巡航を再開します。



ホールド状態が有効な場合、インストゥルメントクラスターにはホールドアイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があることを示します。

Model X は、以下の状況でオートパイロットがアクティブな場合、ホールド状態になります。

- Model X が 5 分間停車していた場合。
- Model X が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model X の前方にいた車両が突然視界からなくなった場合。
- Model X の前方に障害物を検出した場合。



高速道路出口またはその付近で巡航する

アクセス管理された道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航しているときに、オフランプに向かってウィンカーを入ると、オートパイロットはドライバーが出口から退出しようとしているものとみなして Model X を減速させます。オフランプに向かって走行していない場合、オートパイロットは設定速度での巡航を再開します。

右側通行の地域の場合は、最も右側の車線を走行している時に出口の 50 m 手前で右ウィンカーを出したときに限ってこれが行われます。同様に左側通行の地域の場合は、最も左側の車線を走行している時に出口の 50 m 手前で右ウィンカーを出したときにこれが行われます。

注:「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、Model X は経路ベースの車線変更を実行して出口車線に入り、必要に応じてオフランプを通過してナビゲーション ルートをたどります。

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）に進入するとき、オートパイロットは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。「ナビゲート オン オートパイロット」が作動している場合、アクセス管理された高速道路を出ると解除されます（[オートパイロットのキャンセル ページ 127](#) を参照）。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

追い越し加速

ウィンカーを一時的に作動させ、前方車両に向かって Model X を加速します。以下の場合、一瞬だけウィンカー に保持すると、アクセル ペダルを踏まなくても、設定速度まですばやく加速することができます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X が、設定速度を下回り、かつ 45 mph (72 km/h) を上回る速度で走行している場合。

注: オートステアリングが作動しているときに、ウィンカーを完全に作動させると、Model X は自動的に車線を変更します（[自動車線変更 ページ 125](#) を参照）。

Model X は、車線変更に時間がかかりすぎている場合、または Model X が先行車両に近すぎる場合、設定巡航速度に達したときに、加速を停止します。Model X は、ウィンカーを解除すると、加速も停止します。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパイロットが Model X のステアリング操作を制御できない場合は、警告のチャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターに次のようなメッセージが表示されます。



オートステアリングが停止します

このメッセージが表示されたら、直ちにステアリング操作を引き継いでください。

ドライバーの注意力

オートステアリングは、Model X の最適な操縦方法を決定します。オートステアリングが有効になっている時は、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルの上に手が置かれていることを一定期間検知しなかった場合、インストゥルメントクラスターの車両の状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。

ヨークステアリングのアラート:



ヨークステアリングを回す方向に小さな力をかけてください

ハンドルのアラート:



ハンドルを少し回してください

手が検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能は通常動作に戻ります。オートステアリングは、ハンドルを回したときにわずかな抵抗を認識すること、またはドライバーがハンドルを（操舵をとって代わるために十分なほどの力を掛けることなく）手で回したことを認識することで、ドライバーの手を検知します。ウィンカーレバーの操作や、ハンドルのボタンやスクロールホイールの使用を検知した場合も、オートステアリングはドライバーの手を認証します。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わられるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドル上に置かれている手を検出しない場合、インストゥルメントクラスターの車両ステータスセクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

ハンドルにわずかな力をかけるように促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、以下に示すように自分で運転することを求めるメッセージが表示されます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます（停車し Model X をパーキングに切り替えた後）。

手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が5回に達すると、オートステアリングの使用は1週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7日後に免除されます。

注: オートステアリングへのアクセスが一時停止されると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートパーキングが装備されていない場合があります。

オートパーキングではデータを使用して Model X を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効な場合、オートパーキングは使用できません。オートパーキングを使用するには、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして、オートステアリングを有効にします。

オートステアリングへのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。詳細な情報については、「[オートパイロットの一時停止](#)」 ページ 130 を参照してください。

警告: オートパーキングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

注意: ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、カメラが他の車両、物体、縁石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

パラメーター

オートパーキングでは、以下のパラメーターに基づいて駐車できる可能性のあるスペースを検知します。

直角駐車

- 走行速度が 13 km/h 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車スペースの幅は車両の幅以上である必要があります。
- 駐車スペースに車両を駐車させるためには、その駐車スペースに、駐車ライン、道路のマーキング、またははっきりした縁石といった、視認可能な 3 本以上のラインがある必要があります。例えば、3 本の視認可能な駐車ラインのない車庫では、オートパーキングが作動しない可能性があります。

縦列駐車

- 走行速度が 13 km/h 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車しようとするスペースの前または後には車両がある必要があります。

注: オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

オートパーキングを使うには

運転中、オートパーキングで、Model X を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

1. ゆっくり運転しながら、インストゥルメントクラスターを観察して（安全に実行できることを認めた上で）オートパイロットが検出した駐車スペースの候補を確認します。

注: 検出された駐車スペースは、車両の位置および/または車両の周囲でオートパーキングが適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を決定できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまふなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探るか、手動で駐車してください。



2. 右スクロールホイールを上下に動かして駐車スペースを選択します。駐車する準備ができたなら、右スクロールボタンを押し、ヨーク（またはハンドル）を離します。
3. 駐車が完了するとオートパーキングによってメッセージが表示されます。

オートパーキングが Model X を駐車しているときにブレーキペダルを踏むと、駐車プロセスがキャンセルされます。

注意: Model X は、オートパーキングの作動中にドライバーがアクセルペダルを踏んで現在の速度を上回る入力を加えた場合、ブレーキをかけません。この場合、速度が 10 km/h を超えると、オートパーキングはキャンセルされます。

オートパーキング

警告: 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告: オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 Model X

- ヨーク（またはハンドル）の動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。

パーキングをキャンセルする

オートパーキングは次の場合に駐車シーケンスをキャンセルします。

- ドライバーがヨーク（またはハンドル）を手動で動かした場合。
- ギアシフトした場合。
- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- ヨーク（またはハンドル）の右スクロールボタンを押した場合。
- 駐車するための動作が7回以上ある場合。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパーキングが Model X を操縦できない状況では、オートパーキングは警告チャイムを鳴らし、「**今すぐ運転を引き継いでください**」のメッセージを表示します。

これは次の場合に発生します。

- Model X が、ドアが開けられたこと、またはドライバーが車両から降りたことを検知したとき。
- 1台または複数のカメラが損傷したり、汚れたり、障害物（泥、氷、雪、ラップ、ステッカーなどの粘着製品など）によって遮られたり、視界不良な状況（大雨、雪、あられなど、または照明が不十分）のとき。
- ドライバーの入力により速度が 10 km/h を超えたとき。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト ページ 145](#) 参照）。

このメッセージが表示されたら、**今すぐ運転を引き継いでください**。

この機能は、およそ 2023 年 1 月以降に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限される、または無効にされることがあります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にサモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

サモンでは、車両の外側に立って、Model X を自動的に駐車させたり、呼び寄せることができます。サモンでは、Model X を前後に最大 12 m 駐車スペースとの間で移動させます。

Model X を動かすには、携帯電話が Bluetooth でペアリングされている必要があります（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 79](#) を参照）。

サモンを使用するには、Model X の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

警告: サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告: サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、サモンを責任をもって安全に、意図どおりに使用する責任があります。サモンの制限とその使用を妨げる可能性のある条件の詳細については、「[警告と制限](#)」 ページ 137 を参照してください。

サモンを使用する前に

サモンを作動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにしてお好みの動作方法にカスタマイズしてください。「[コントロール](#)」 > 「[オートパイロット](#)」 > 「[サモンのカスタマイズ](#)」の順にタッチし、お好みに合わせて以下の設定を調節します。

- **バンパークリアランス:** サモン使用時の検知物体から離れて停止する距離設定（例: ガレージの壁から数インチ内に停止を希望）。この距離は、前進時サモンが Model X の前面に検知する、または後進時サモンが Model X の後ろに感知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。

- **サモン距離:** 駐車スペースへの出入り時に、Model X が移動する最長距離の設定。

- **サイドクリアランス:** サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「**タイト**」では、Model X が非常に狭い駐車スペースに出入りできるようになります。

警告: 狭いスペースに駐車することは、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model X または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

- **「連続押ししてください」:** サモンのデフォルト設定では、駐車動作中、モバイルアプリのボタンを長押しして、Model X を動かすことが必要です。「**連続押しが必要**」を「**いいえ**」に設定した場合、ボタンを押して指を離すことができ、車両を動かす続けるために長押しする必要はありません。また、「**連続押しが必要**」を「**いいえ**」に設定している場合、モバイルアプリの代わりにキーフォブを使用してサモンを操作したり（[#unique_355 ページ](#) を参照）、車内からパーキング動作を開始したりできます（[#unique_356 ページ](#) を参照）。

サモンを使用した車両の駐車・呼び出し

サモンを使用し Model X を駐車するには、次の手順を行います。

- Model X を 12 m の駐車スペース内に駐車させますので、前進でも後進でも Model X はスペースの内外へ一直線の経路を辿ります。
- Model X キーフォブが近くにあることを確認してください。
- Bluetooth を介して携帯電話と Model X をペアリングします（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 79](#) 参照）。一度ペアリングすると、携帯電話は常に自動で Model X に接続します。サモンを動作させるには、車両から約 6 m 以内に携帯電話がある必要があります。

- モバイルアプリ上で「**サモン**」をタッチすることで、車外から駐車動作を開始し、「**前進**」または「**後進**」ボタンを長押しします。

注: 「**連続押しが必要**」設定を「**いいえ**」に設定している場合、ボタンを長押しする必要はありませんので、ボタンを押してから指を離してください。

注: 駐車操作を車両内部から初期化することもできます（[#unique_356 ページ](#) 参照）。

サモンは Model X を前進または後進（指定方向に基づく）へと切り替え、駐車スペース内外へ運転します。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは Model X をパーキングへと切り替えます。サモンが Model X をパーキングへと切り替える時:

- Model X その進行経路（指定した「**バンパークリアランス**」設定範囲内）にある障害物を検知します。
- サモンが Model X を最大移動距離 12 m 移動させた場合。
- 「**前進**」または「**後進**」ボタンから指を離します。
- 手でサモンを停止させるには、いずれかのボタンを押してください。

Model X の駐車にサモンを使用した場合、Model X を元の位置（Model X が駐車したままの状態）および指定した最大の「**サモン距離**」まで戻すのにも（どちらが先でも）、サモンを使用できます。障害物がない場合は、モバイルアプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って Model X を移動させます。障害物を検知した場合、Model X はその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物を避けようとします（サモンは障害物周辺で車両を移動させません）。

注: サモンを使用して Model X を複数回同じ方向へ動かす（最大移動距離が 12 m 以内）には、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再開してください。

注: 障害物を避けるために Model X をサモンが少しだけ外側に移動させますが、元の運転経路に戻す際に Model X を障害物周辺で動かすことはありません。

注: サモンを使用するには、Model X の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

▲ 警告: Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります、そのために適切に Model X を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。

キーフォブでサモンを操作する

注: キーフォブのバッテリー電力が少なくなると、サモンが作動しないことがあります。

キーフォブを使用して車外からの Model X 駐車手順に従ってください。

1. タッチスクリーン上で、必ず「**連続押しが必要**」をオフにします（「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**サモンのカスタマイズ**」 > 「**連続押しが必要**」の順にタッチします）。
2. Model X のギアをパーキングに入れ、3 m の範囲内から、キーフォブの最上部中央のボタン（すべてのボタンのロック/ロック解除）をハザードライトが継続的に点滅するまで長押しします。
注: Model X がロックされるとハザードライトが一回点滅します。そして、5 秒以内に Model X の電源が入りハザードライトが連続して点滅します。ハザードランプが連続して点滅するまで、次のステップに進まないでください。5 秒経過してもハザードランプが点滅しない場合は、キーフォブのボタンから指を離し、Model X 近くに移動し再度試します。サモンは 10 秒以内に何の操作もされなければ、キャンセルされます。
3. キーフォブのフロントトランクボタンを押して、駐車スペースから Model X を前進させます。または、リアトランクボタンを押して Model X を駐車スペースへ後進させます。

降車前にサモンを開始させる

降車前にサモンの駐車動作を開始するには Model X:

1. タッチスクリーン上で、必ず「**連続押しが必要**」をオフにします（「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**サモンのカスタマイズ**」 > 「**連続押しが必要**」の順にタッチします）。
2. すべてのドアおよびトランクを閉めます。
3. Model X の電源をオンにし、パーキングにシフトした状態で、ヨーク（またはハンドル）の右側にあるスクロールボタンを 2 回押します。タッチスクリーンにポップアップ画面が表示されます。
4. タッチスクリーンで、進行方向を選択してください。
5. Model X から出て、運転席のドアを閉めます。

これで、サモンがタッチスクリーンで指定した方向へと Model X を移動させます。

注: 車両から降りる前にオートパーキングをキャンセルするためには、ポップアップ画面にある「**キャンセル**」をタッチしてください。

注: タッチスクリーン上で進行方向を選択していない場合、降車してもサモンは駐車操作を開始しません。

サモンの停止またはキャンセル

サモンが有効なときは、モバイルアプリを使用して、またはキーフォブの任意のボタンを押して、Model X をいつでも停止できます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ヨーク（またはハンドル）、ブレーキペダル、アクセルペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model X が障害物を検知した場合。
- サモンが、Model X を最大移動距離約 12 m 動かした場合。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model X への接続が途切れた場合。

この機能は、およそ 2023 年 1 月以降に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限される、または無効にされることがあります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にスマート サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

スマート サモンは、Model X がドライバーのいる場所（携帯電話の GPS を設定目的地として）まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。スマート サモンは、携帯電話が Model X から約 6 m 以内にあるときに、Tesla モバイルアプリを使って操作します。

スマートサモンは、駐車スペースからの車両の出し入れを行い、自分がいる近くの場所まで Model X を運転します。狭い駐車場の外へ Model X を移動させるとき、水溜りを通るとき、荷物を運んでいる最中に車を呼び寄せるのに役立ちます。お客様と Model X の間に障害物のない見通しの良い場所を選び、車両やその周囲を常にしっかりと監視するようにしてください。

 **注意:** スマートサモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

 **警告:** スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

 **警告:** スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。スマート サモンの制限事項を理解するのは、お客様の責任です（[制限と警告 ページ 137](#) を参照）。

スマート サモンを使用する前に

- 最新版の Tesla モバイルアプリを携帯電話にダウンロードして、必ず携帯電話のサービス圏内にあるようにし、GPS を有効にしてください。
- 車両から約 6 メートル以内で、携帯電話を Bluetooth を使って Model X とペアリング（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 79](#) を参照）してください。
- 車両のカメラを正しくキャリブレーションしてください（[走行中のカメラキャリブレーション ページ 23](#) を参照）。
- Model X まで障害物なく見渡せるように視界を保ってください。
- Model X を充電中の状態ではなく駐車状態にしてください。そして、すべてのドアとトランクを閉めてください。

 **注意:** カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかけた車線区分線などの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

スマート サモンを使用する

1. Tesla モバイルアプリを開き、「サモン」にタッチします。

2. Model X の画像中央にある**スマート サモンアイコン**をタッチします。スマート サモンが起動するまで数秒かかります。

注: スタンバイモードを使用して、スマート サモンの起動時に発生する遅れを解消することができます（[スタンバイモード ページ 136](#) 参照）。

モバイルアプリの地図に 65 m という使用可能範囲を示す青い円が表示されます。Model X から携帯電話までの距離がこの範囲内となるような場所で使用してください。地図上の青い点がお客様の現在地を表し、赤い矢印が車両を表しています。

3. 障害物がなく Model X をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。
4. 以下のモードのどちらを使用してもスマート サモンを操作することができます。

- **「ここに来る」モード:** 「ここに来る」ボタンを長押しします。Model X GPS が検知されている場所まで車両が移動します。お客様が動くとき、Model X も後を着いて行きます。お客様の場所に Model X がたどり着くと停車し、ギアをパーキングに切り替えます。

- **「指定地に進む」モード:** 十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。「指定地に進む」ボタンを長押しします。Model X は目的地へ移動します。場所に到着したら、Model X は停止し、パーキングにギアを切り替えます。また、モバイルアプリにサモンが終了した旨のメッセージが表示されます。

注: 続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、「指定地に進む」をもう一度長押しします。

「ここに来る」または「指定地に進む」ボタンから指を話せばいつでも Model X を停車させることができます。



地図の十字アイコンが「指定地に進む」と「ここに来る」モード間で切り替わります。「ここに来る」モードが選択されているときには、アイコンが青色になります。

注: 地図には、衛星画像を表示/非表示できるアイコンもあります。

いずれのモードでもスマート サモンを開始するとすぐに、ハザードランプが点滅し、ミラーが格納され、Model X はドライブまたはリバースにシフトします。Model X はその後、「ここに来る」モードでは自分のいる位置の 1 m 範囲内まで、「指定地に進む」モードでは選択した場所まで、必要に応じて障害物を避けながらゆっくりと移動します。Model X が移動すると、地図上で対応している赤い矢印も動き車両の位置を示します。お客様が動くとき、対応している青い点も動き、お客様の位置を示します。

いずれのモードでも、以下の状況では Model X が移動を停止しパーキングに切り替わります。

- モバイルアプリのボタンから指を離れたとき。

- 携帯電話と Model X 間の最大範囲を超えた場合(車両をドライバーの位置から離れていくように目的地に移動させる場合、ドライバーはこの利用範囲内を維持するために車両の後ろについていく必要があります)。
- 走行経路が遮られているとき。
- Model X が、スマート サモンの使用を開始してから、移動最長距離の 20 m を移動している場合。

注: スマート サモンが Model X を 3 m 前方に動かしてから 2 m 後方へ動かす場合、5 m の移動距離となります。

注: モバイルアプリを見る必要はありませんので、常に Model X やその走行経路を注視しながらボタンを押し続けてください。また、必要に応じて車両を停車させられるようにボタンから指を放すことができるようにしておいてください。

⚠ 警告: ボタンから指を離して Model X を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

⚠ 警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例:人、子供、または動物がいる場所。

⚠ 警告: スマート サモンはすべての物体(特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体)を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model X を停止できるように注意を払ってください。

スタンバイ モード

Model X でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイモードをオンにします。「コントロール」>「オートパイロット」>「スタンバイモード」の順にタッチします。スタンバイモードがオンのとき、以下の場所でスタンバイモードを無効にしてバッテリーを省エネモードにすることができます。

- **自宅を除く**- お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **勤務先を除く**- お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **お気に入りを除く**- お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。

注: スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が追加で消費されます。

注: 省エネのため、スマート サモンは深夜から午前 6 時まで自動的にスタンバイモードでなくなります。この時間帯は、スマート サモンの起動には少し時間がかかります。

注: 目的地を自宅、勤務先、またはお気に入りとして設定する方法の詳細は、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169](#) を参照してください。

スマート サモンを停止またはキャンセルする

モバイルアプリ上のボタンを放すと、スマート サモンは Model X を停止させます。スマート サモンは、「**ここに来る**」または「**指定地に進む**」をもう一度押すだけで再開できます。

⚠ 警告: 常に Model X を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と Model X 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまでに多少の遅れが生じる場合があります。

次の場合は、スマート サモンをキャンセルをして再開が必要です。

- キー フォブ上のいずれかのボタンを押した場合。
- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ヨーク (またはハンドル)、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model X が障害物で遮られている場合。
- スマート サモンが Model X を最大距離まで移動させました。この距離よりも遠くに移動させるには、Model X をドライブまたはリバースに切り替えてから、スマート サモンの操作をはじめから再開します。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model X への接続が途切れた場合。



このトピックでは、以下のオートパイロット機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- [トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 123](#)
- [オートステアリング ページ 124](#)
- [ナビゲート オン オートパイロット ページ 139](#)
- [オートパーキング ページ 139](#)
- [サモン ページ 140](#)
- [スマート サモン ページ 140](#)

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、前述の機能がすべては装備されていない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します ([カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照)。カメラやセンサー (装備されていれば) の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限で変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候 (豪雨、雪、霧など) の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

- 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model X の走行速度が上がり、設定速度 (場合によっては制限速度を超過する恐れがある) を超えてしまうことがあります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model X にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや (特にカーブで) 隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。
- 車載 GPS (グローバル ポジショニング システム) の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっていて提示ルートに従わない時など、Model X によって車両が減速することがあります。
- 場合によっては (データが不足している場合など)、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 50 mph (80 km/h) 以上で走行しているときに追尾していた車両が視界から見え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い (激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である)
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。

警告: 前記のリストはトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。



制限と警告

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは歩行者や自転車認識することが可能ですが、Model X の速度を減速するのに決してトラフィックアウェアクルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートステアリング

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐに行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

注意: オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model X が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model X を適切に操車できない場合があることを常に頭に入れておいてください。常に注意深く運転し、直ちに行動できるよう備えてください。

警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りで Model X を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

自動車線変更

注意: 自動車線変更を使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

注意: 自動車線変更を使用する場合は、次の制限に注意してください。

- 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されていれば）の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model X は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェアクルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

ナビゲート オン オートパイロット

-  **警告:** オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を選択するように心がけてください。
-  **警告: 「車線変更の確認をする」**をオフにした場合、ナビゲート オン オートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせますが、常に周囲環境を監視して Model X の制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。
-  **警告:** 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカープールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパーキング

-  **注意:** オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。
 - ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。
 - 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
 - Model X のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
 - パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
 - オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

-  **注意:**

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

 - 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するように設計されています。
 - 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
 - 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
 - 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
 - 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
 - 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）の動作を妨げている場合。
 - センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。



制限と警告

警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model X を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model X を適切に駐車できない場合があります。Model X のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモン

注意: サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されていれば）の性能によって決まります。サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモンでは、約 2.5 cm の差がある端部を越えて Model X を動かしません。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。

警告: サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧に限りません。Model X を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model X を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。そのため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。

スマート サモン

注意: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。

注意: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

注: Model X がバレーモード（バレーモード ページ 107 参照）の場合、スマート サモンは無効になります。

注意:

以下の状況では、スマート サモンが意図どおりに動作し難くなります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model X がその上を超えられない場合があります。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。

警告: スマート サモンの適した動作を妨げる恐れのある状況は、上記一覧に限りません。Model X を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンをオンにして Model X を移動させている時は常に細心の注意を払い、すぐに対応できるようにしておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model X 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

警告: ボタンから指を離して Model X を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

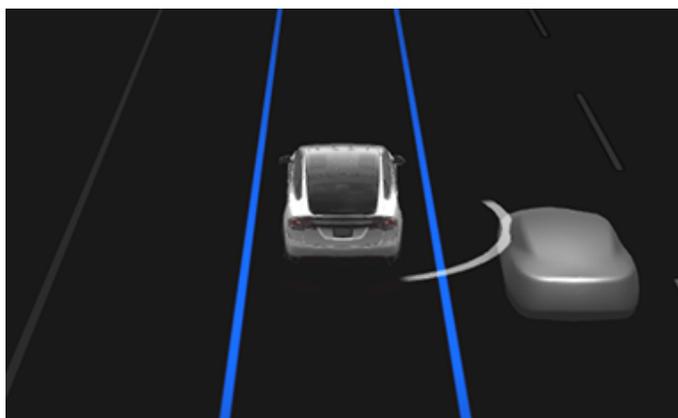


-  **警告:** 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例:人、子供、または動物がいる場所。
-  **警告:** スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model X を停止できるように注意を払ってください。

Model X 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。

注: およそ 2023 年 1 月以降に製造された車両の場合、Model X が動いているときにレーンアシストが視覚化画像（検出された物体に対応するインストゥルメントクラスター上の色付きの線）を表示しないか、視覚化画像が説明どおりに表示されない場合があります。

死角や Model X の側面近くに物体（車両、ガードレールなど）を検知すると、インストゥルメントクラスターに車両の画像から放射状に色付きのラインが表示されます。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインの色（白色、黄色、オレンジ色、または赤色）は、物体が Model X に対してどれだけ近くにあるかを示し、白色が最も遠く、赤色が、ただちに注意を払わなくてはならない最も近い状態を表します。この色の付いたラインは、約時速 12 km ~ 140 km で走行している時のみ表示されます。また、オートステアリングが有効にされているとき、走行速度が時速 12 km 以下にあると色の付いたラインが表示されます。しかし、Model X が停止状態（渋滞時など）になると色の付いたラインは表示されません。



⚠ 警告: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

⚠ 警告: レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更前には、必ずサイドミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

⚠ 警告: レーンアシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーンアシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります（[制限事項および不正確性 ページ 143](#) を参照）。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、Model X が隣の車線に入り込み（近づいて）車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、Model X は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線区分線がよく見える主要道路を Model X が 48~140 km/h で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、Model X が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 64~145km で走行中にのみ作動します。「コントロール」>「オートパイロット」>「車線逸脱防止」をタッチし、以下のオプションのどちらかを選択すると車線逸脱警告の動作を選択できます。

- **オフ:** 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- **警告:** 前輪が車線区分線を越えると、ヨーク（またはハンドル）が振動します。
- **アシスト:** Model X が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、Model X を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェアクルーズコントロールが機能している場合、該当するウィンカーがオフの場合に Model X が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がヨーク（またはハンドル）の上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、インストゥルメントパネルには、オートステアリングで運転するときに使用したものと同様の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、Model X は速度制限または設定クルージング速度から 25 km/h 遅い速度まで徐々に減速し、ハザードライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。

⚠ 警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

⚠ 警告: 常に手はヨーク（またはハンドル）に置いて、慎重に運転してください。

⚠ 警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、Model X を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。



緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます：

- Model X が車線を離れて（方向指示器のステータスとは無関係に）、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなとき。
- Model X が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。
- Model X が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき（道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など）。

この機能をオン、オフするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「緊急車線逸脱防止」をタッチします。

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、インストゥルメントパネルには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、Model X が車線区分線や縁石などで区分がはっきりしている道路を 48~145km/h で走行中のみ作動します。

警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できるとは思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつかあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポット インジケータ

自動ブラインドスポット カメラ

タッチスクリーンで「コントロール」>「オートパイロット」>「自動ブラインドスポットカメラ」の順にタッチしてオン/オフにすることができます。

有効な場合、ウィンカーを作動させるとタッチスクリーンに該当するサイドリピータカメラの画像が表示されます。隣接する車線のドライバーの死角に車両が検出されると、画像に赤色の垂直線が表示されてドライバーに警告を与えます。例えば、左ウィンカーを作動させ、車両を検出すると、画像の左側に赤色の垂直線が表示されます。ドライバーはこの画像をタッチスクリーン上の別の場所に移動することができます。これを行うには、画像をタッチして新しい位置にドラッグします（有効な位置は、画像を長押ししたときに表示される影付きの領域で示されます）。

警告: 自動ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両があり衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、「コントロール」>「安全」>「ブラインドスポット衝突警告チャイム」の順にタッチします。

警告: ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときは、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

レーンアシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下の場合、不必要な警告または不正警告が発生することがあります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model X の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（曇り、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります。

- 1 つ以上のセンサー（装備されている場合）またはカメラが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりしている場合。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model X を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model X が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。

レーンアシスト

- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model X レーン アシスト機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

 **注意:** トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

 **警告:** 上記のリストは、レーン アシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーン アシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。



以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- **正面衝突警告**は、Model X が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、による警告を発します (**正面衝突警告 ページ 145** を参照)。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます (**自動緊急ブレーキ ページ 146** を参照)。
- **障害物検知走行モード** - Model X がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます (**障害物検知走行モード ページ 147** を参照)。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します (**カメラのクリーニング ページ 201** を参照)。カメラやセンサー (装備されていれば) の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限に抑えることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model X 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがすばやい是正行動をとらない限り、衝突すると思われる場合、正面衝突警告によってチャイムが鳴り、インストゥルメントパネルに前方の車両が赤色で強調表示されます。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。



視覚および聴覚による警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します (例えば Model X を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など)。

Model X が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ (有効になっている場合) がかかる場合があります (**自動緊急ブレーキ ページ 146** を参照)。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。オフにする、または感度を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注: 手で正面衝突警告を「OFF」にすると、それぞれのドライブの開始時に、正面衝突警告は自動で「中間」にリセットされます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサー (装備されていれば) は、走行ルート上およそ 160 m の範囲を監視するように設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model X を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model X の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、5 km/h から 200 km/h で運転している場合のみに作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。

自動緊急ブレーキ

Model X 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるように設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

自動緊急ブレーキがかかると、インストゥルメントパネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。



緊急ブレーキが作動中です

自動緊急ブレーキは、時速 5 km と時速 200 km の間で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ヨーク（またはハンドル）を急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両の前方または後方に、車両、オートバイ、自転車、および歩行者が検出されなくなった場合。

自動緊急ブレーキは、Model X を始動すると常に有効になります。現在の運転において無効化する場合、パーキングにシフトし、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。自動緊急ブレーキを無効にしても、最初の衝突を検知すると、車両がブレーキを掛けてさらなる衝撃を減らそうとする可能性があります（マルチ衝突ブレーキ ページ 146 を参照）。無効にすると、タッチスクリーンに視覚的なメッセージが表示されます。



自動緊急ブレーキが無効になっています

警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model X は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

注: 自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されています。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

自動緊急ブレーキは利用できない場合は、タッチスクリーンに、警告が表示されます。



自動緊急ブレーキは利用できません。

警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。

警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

マルチ衝突ブレーキ

自動緊急ブレーキに加え、エアバッグの展開が検知されると、Model X は最初の衝突の後、その後の衝撃を防止または軽減するためにブレーキを掛けることがあります。ブレーキは運転速度に関係なく掛けられることがあります。

リアクロストラフィックアラート

Model X がリバースにシフトしていて、タッチスクリーンにはリアビューカメラの送信画像が表示されている場合、ある物体（他の車両または歩行者）が Model X の後方を横切ろうとしていることを Model X が検知すると、赤色の縦棒が表示されます。

例えば、駐車スペースから後進で出ようとしているときに、他の車両がドライバーの左側から接近している場合、カメラ表示の左側に赤色の棒が表示されます。Model X の両側から複数の物体が接近している場合、カメラ画像の両側に赤色の棒が表示されます。

Model X が後進しているときに、これを横切る交通が検出されると、衝突を回避しようとして、自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードによってブレーキが作動することがあります。自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードに頼って、衝突を回避しようとししないでください。詳細については、[自動緊急ブレーキ ページ 146](#) と [障害物検知走行モード ページ 147](#) を参照してください。

警告: 車両の周囲に物体や人間が存在しないことを、リアクロストラフィックアラートの通知に頼って確認しないでください。このカメラは、損害や障害の原因となるおそれのある物体や障壁を、特にそれらが地上から極めて低い場合に、検出できない可能性があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。リアクロストラフィックアラートは目視確認の代わりとなるものではなく、また安全運転を不要にするものでもありません。



障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、Model X が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、インストゥルメントパネルに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、Model X がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。Model X は加速してガレージドアに衝突してしまいますが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します：

- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model X 停止しているか、または 16 km/h 未満で走行している。
- Model X 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

-  **警告:** 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。
-  **警告:** 障害物検知走行モードはあらゆる状況でトルクを制限するものではありません（例：駐車スペースへの小回り旋回を実施している場合）。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。
-  **警告:** 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** いくつかの要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、あるいは意図しないブレーキ効果が生じたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と Model X のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサーがさえぎられている（汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている）。

- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

-  **注意:** 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、Model X に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。
-  **注意:** トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。
-  **警告:** 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

スピードアシストの動作原理

Model X インストゥルメントパネル上に制限速度が表示され、走行速度が制限速度を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、速度制限を超えていることを知らせています。

検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すこともできます。

Model X が速度制限を判断できない状況、またはスピードアシストが不確実で取得された速度制限が正確であった場合、インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示されず、警告がないことがあります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model X が速度制限未滿に減速すると解除されます。

⚠ 警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「制限速度警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 速度制限を超えたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値 (+または-) を設定することができます。たとえば、速度制限を時速 10 km 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km 上げます。

注: 制限速度からのオフセットは、インストゥルメントパネルの灰色の速度アイコンに表示される数値にも影響を及ぼします。

- **絶対** - 時速 30 km から 240 km の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピードアシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、Model X が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近くの一般道路を走っていることや、その逆となる場合があります。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

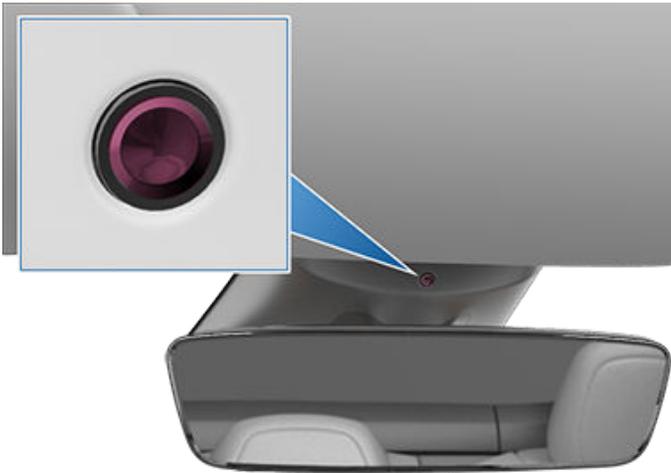
制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない (豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- Model X 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- Model X が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。

⚠ 警告: 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。

Model X は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。



注: カメラのレンズは、常にきれいに保ち障害物がないようにしてください。たまってくるゴミやほこりは、ときどききれいな布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

! **注意:** 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。

キャビンカメラはオートパイロットが作動している場合、ドライバーの注意不足を判断して、道路を注視するように警報を出します。

デフォルトでは、データ共有を有効にしない限り、カメラで撮られた画像や動画が外部に流出したり他人に送信されたりすることはありません。データ共有を有効にしているときに（衝突といった）深刻な安全上のリスクやイベントが発生すると、Model X により画像や短時間のビデオクリップが Tesla と共有され、Tesla は、それらを今後の安全性強化のための開発やキャビンカメラを利用したインテリジェント機能の継続的な改良に役立てます。また、キャビンカメラ機能によって診断が要求される場合も、データを共有します。キャビンカメラは顔認識およびその他の本人確認方法を実行しません。お客様のプライバシーを守るため、キャビンカメラデータは車両 ID 番号と関連付けされていません。

データ共有設定を調整するためには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」>「キャビンカメラ分析を許可する」の順にタッチします。データ共有設定はいつでも変更することができます。現在有効になっている機能で、キャビンカメラを使用するものを表示するには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「キャビンカメラ」の順にタッチします。



セキュリティ システムについて

Model X が近くにキーがあることを検出していない状態でドアやトランクのロックが解除されると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、キー フォブのボタンを押します。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」 > 「安全」 > 「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model X から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなってから 1 分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに Model X が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、「チルト/侵入」を有効にします（チルト/侵入（装備されている場合） ページ 150 を参照）。

注: Model X がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 154 を参照）、「セキュリティアラーム」設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、「傾き/侵入検知」をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、Model X がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、「コントロール」 > 「安全」 > 「チルト/侵入」の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを ON にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、チルト/侵入アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護 ページ 160 を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、チルト/侵入は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、Model X 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: Model X がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 154 を参照）、「チルト/侵入」設定は使用できません。

改良型盗難防止機能にアップグレード（装備されている場合）

お客様の車両に改良型盗難防止アップグレードが装備されている場合は、Model X 近くにキーが検知されていない状態で、ロックされているドアやトランクが開かれるとホーンが鳴動します。「チルト/侵入」がオンになっていると、Model X が車内の動きを検出したり、（けん引やジャッキアップにより）車両が動かされたり傾けられたりした場合にもホーンが鳴ります。チルト/検知システムを ON/OFF するには、「コントロール」 > 「安全」 > 「チルト/侵入」の順にタッチします。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロールにより、Model X の機能を制限し、安全設定を有効にして変更できないようにすることができます。

注: ペアレンタルコントロールは、Tesla モバイル アプリからもアクセスできます（バージョン 4.34.5 以降が必要です）。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、ペアレンタルコントロールを有効にすることはできません。

安全機能が必要を有効にすると、Model X は以下の車両設定を有効にするか、または設定します：

注: 販売地域、車のコンフィギュレーション、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、一覧に示された機能がおお客様の車両に装備されていない場合があります。

- 自動緊急ブレーキ
- 障害物検知走行モード
- 自動ブラインド スポット カメラ
- ブラインドスポット衝突警告チャイム
- モバイル アクセスを許可
- パーキングアシストチャイム
- 車線逸脱防止: 「アシスト」に設定。
- 制限速度警告: 「チャイム」に設定。
 - 速度制限: 「相対」に設定。
 - オフセット: 「+8 km/h」に設定。
- 正面衝突警告: 「早め」に設定。

ペアレンタルコントロールを有効にしたい場合：

1. 車両をパーキングにシフトした状態で、タッチスクリーンで「コントロール」 > 「安全」 > 「ペアレンタルコントロール」の順にタッチします。
2. 使用したいペアレンタルコントロールを有効にするか、または設定します：
 - 速度を制限する：Model X が走行できる速度の上限を設定します。
 - 加速を抑制する：車両の「加速」を「コンフォート」に制限します。



- **安全機能が必要**：車両のさまざまな安全機能を有効にします（装備されている場合）。ペアレンタルコントロールが有効な間は、ドライバーはこれらの設定を変更できません。
- **使用禁止時間の通知を送信**：午後 11 時～午前 4 時の「使用禁止時間の通知」を有効にします。使用禁止時間の開始後に誰かが車両をドライブにシフトすると、Tesla モバイルアプリを通じて、車両とペアリングされているすべての電話キーに通知が送信され、Model X が使用中であることがユーザーに通知されます。

3. **確定**をタッチします。

4. PIN を入力します。

注：制限を解除するには、ドライバーは「ペアレンタルコントロール」から PIN を再入力する必要があります。「ドライバーのプロフィール」>「ペアレンタルコントロール」の順にタッチして、PIN を再入力します。

注：ペアレンタルコントロールの PIN を忘れた場合、または変更したい場合は、「Tesla アカウント認証情報を入力」リンクをタッチし、タッチスクリーンの指示に従います。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、4桁の PIN（個人識別番号）を入力するまでは Model X を運転することができません。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効にすると、運転する前だけではなく、初めてバレーモードをオンにするときにも、4桁のドライブ用 PIN が必要となるため、バレーモードを開始、終了するための4桁の暗証番号を作成します。バレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー係の人が Model X を運転できるようになります。バレーモードがオンになっているときは常に**ドライブ用 PIN**設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、タッチスクリーンの指示に従います。

注：まず発生しませんが、万ータッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（[タッチスクリーンの再起動 ページ 9](#) を参照）。タッチスクリーンが反応しない場合でも、ドライブ用 PIN をバイパスして Tesla モバイルアプリからキーレスドライブを有効にすることができます。

グローブボックス PIN

4桁の PIN（ドライブ用 PIN と無関係）を使用してグローブボックス内の物を保護します。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」の順にタッチして、タッチスクリーンの指示に従います。有効にすると、グローブボックスを開くための PIN の入力を求めるプロンプトが表示されます。このセキュリティ保護を削除するには、トグルを選択して無効にしてから、PIN を入力します。

グローブボックス PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスの PIN をいったんリセットし、タッチスクリーンの指示に従います。

注：グローブボックス PIN を使用すると、Model X がバレーモードのときでもグローブボックスを開けることができます。

速度制限モード

速度制限モードでは、加速や最大走行速度を 80~193 km/h の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する4桁の PIN を設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 5 km/h 以内に近づくと、チャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、Model X がモバイルアプリに通知を送信します。また「セキュリティ」>「速度制限モード」の順にタッチして Tesla モバイルアプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:

1. Model X がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「速度制限モード」の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。
4. スライダーを**オン**の位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4桁の PIN を入力します。

注：PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注：速度制限モードが有効になっている場合、加速設定は自動的に「チル」になります。

警告：下り坂では走行速度が上昇し、Model X の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

警告：速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかわるものではありません。どの速度でも事故は発生します。安全に運転することはドライバーの責任です。

ブラウザのデータをクリア

「コントロール」>「サービス」>「ブラウザのデータのクリア」の順に進むと、（コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で）車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。**カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

走行中、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様にして、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカムアイコンはアプリランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカムアプリを下部バーに追加することができます(マイアプリをカスタマイズ ページ 8 を参照)。Model X がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカムアイコンをタッチするとビューアが立ち上がります(録画映像を見る ページ 156 を参照)。



プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた USB フラッシュドライブの車載メモリーにローカルに保存されます。記録が Tesla に送信されることはありません。Model X ダッシュカムが「オフ」のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

- USB フラッシュドライブをフォーマットします。ダッシュカムで映像を保存し検索するには、正しくフォーマットされた USB ドライブを車両の USB ポートに挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。必要な場合にフラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - Model X を使用してフラッシュドライブをフォーマットします。フラッシュドライブを USB ポートに挿入し、「コントロール」 > 「安全」 > 「USB ドライブをフォーマット」の順に移動します。
 - コンピューター上でフラッシュドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 156](#) を参照してください。
- USB フラッシュドライブを車両の USB ポート (できればグローブボックスの USB ポート) に挿入します。
- 「コントロール」 > 「安全」 > 「ダッシュカム」の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。
 - オート:** Model X が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは USB ドライブに録画を自動保存します。「オート」を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリプおよびオートパイロットの状態に影響されます。

注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります (力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど)。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより自動録画されることを期待しないでください。

- マニュアル:** 最新 10 分間の映像を USB フラッシュドライブに保存するにはダッシュカムアイコンをタッチする必要があります。
 - クラクション:** ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 10 分間の映像を保存します。この機能は「オート」または「マニュアル」と同時に有効化することができます。
4. 有効にしている場合、ダッシュカムアイコンは映像が保存されていることを示します。「コントロール」でもダッシュカムアイコンの状態を表示することができます。



アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。



録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。



利用可能: ダッシュカムは利用可能ですが、アクティブな録画中ではありません。ダッシュカムアイコンにタッチすると映像の録画を開始します。



一時停止: ダッシュカムは一時停止していません。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去してしまわないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュドライブを取り出すようにしてください。



ビジー: ダッシュカムは映像の読み込み、保存または上書きをしています。ダッシュカムがビジー状態の場合、映像はキャプチャしたり録画されたりしていません。



保存済み: 映像が保存されました。走行中にアプリランチャーのダッシュカムアイコンにタッチしてもダッシュカムのクリップを保存できます。

- 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。
 - タッチスクリーン:** Model X がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリランチャーのダッシュカムアイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 156](#) を参照してください。
 - コンピューター:** USB フラッシュドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダーに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 156](#) を参照してください。

6. これとは別に、モバイルアプリで「セキュリティ」>「ダッシュカムビュー」(「モバイルアプリからライブカメラ映像を表示」)の順に移動して、映像を表示および共有することができます。

注: プレミアムコネクティビティとモバイル アプリバージョン 4.39.5 以降が必要です。iOS においてのみ利用可能です。

7. ダッシュカムをオフにするには「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」>「オフ」の順に移動します。「オート」「マニュアル」または「ホーン使用時」に設定している場合、運転する度にダッシュカムは自動的に有効になります(ただし設定によってはアクティブに画像を保存しない場合があります)。

T セントリーモード

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合がありますまたは機能が説明通りに作動しない可能性があります。カメラの使用に関しては、**ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

有効な場合、Model X をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティ システムであるとお考えください。

脅威が検知された場合、またはけん引されたり揺さぶられたりしたときのような、ぎくしゃくした動きが多いと車両のセンサーが判断した場合、セントリーモードは次の動作を行います。

- ヘッドライトを点滅させます。
- アラームを鳴らします。
- カメラが録画中であることを示すメッセージをタッチスクリーンに表示して、車外にいる人に知らせます。
- モバイル アプリでお客様にアラームの作動を知らせます。
- イベントの映像を USB ドライブ（取り付けられている場合）に保存します。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています音声コマンドや Tesla モバイル アプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「Tesla を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（[音声コマンド ページ 21](#) を参照）。

セントリーモードを使用するには、少なくともバッテリー残量が 20% 以上必要です。バッテリー残量が 20% よりも低くなった場合、セントリーモードは無効となりモバイルアプリより通知されます。セントリーモードを有効にすると、バッテリー消費が増加します。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（「コントロール」 > 「安全」 > 「セキュリティアラーム」）は使用できません。

注意: セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model X を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティ アラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではありません。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

注: セントリーモードは、アラームがトリガーされたとき、誰かがドアやトランクを開けようとしたとき、または車両が突然のぎくしゃくした動きを検知したときに限って、モバイルアプリに通知を送信します。セントリーモードがそのイベントを明確な脅威とみなさない場合、車両は映像を記録しますが、アラームはトリガーされません。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり）

1. セントリーモードでは車両の USB ポートに正しくフォーマットされた USB ドライブを挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。フラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - USB ドライブを USB ポートに挿入し「コントロール」 > 「USB ドライブのフォーマット」の順に移動します。車両は自動的に USB ドライブをフォーマットします。
 - コンピューターで USB ドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 156](#) を参照してください。
2. USB ドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート）に挿入します。
3. 車両をパーキングにシフトした状態で、「コントロール」 > 「安全」 > 「ダッシュカム」の順に移動してダッシュカムを有効にします（セントリーモードが機能するには、ダッシュカムを有効にする必要があります）。
4. 「コントロール」 > 「セントリーモード」 > 「オン」の順にタッチします。有効になると「コントロール」のセントリーモードアイコンが赤色に変わります。



有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティ イベントを録画することができます。映像の表示については、[録画映像を見る ページ 156](#) を参照してください。

5. 次回の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、セントリーモードアイコンにタッチします。このアイコンが赤くなっていない場合、セントリーモードはオフです。



「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」でセントリーモードを「オフ」にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブなし）

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティ イベントが検知されたものの、USB ドライブは USB ポートに挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

・ 指定場所を除外する

「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」では、指定された場所でセントリーモードを有効にしないことを設定することができます（詳細情報については [自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169](#) を参照）。

- **自宅を除く:** お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **勤務先を除く:** お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **お気に入りを除く:** お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオンになりません。

注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、Model X を保存した場所の約 500 m 以内に駐車する必要があります。

自宅または勤務先を設定するには、「ナビ」 > 「自宅を設定/勤務先を設定」の順にタッチします。「お気に入り」を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオンまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りが無効になります。

・ カメラベース検出を設定する

「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を USB ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「カメラベース検出」の順にタッチします。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、[録画映像を見る ページ 156](#) を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、新たな録画によって古い録画が上書きされます。



ビデオ録画のための USB ドライブの要件

一部の機能（ダッシュカム、セントリーモード）では、以下の要件に適合する USB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 64 GB。できるだけ保存領域が多い USB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することがあります。
- 4 MB/s 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0 互換であること。USB 3.0 のドライブを使用する場合、USB 2.0 もサポートしている必要があります。
- 適切にフォーマットされていること（自動または手動で [ページ 156](#)）。

注:一部の販売地域では、<http://www.tesla.com> の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブを、ビデオクリップのフォーマット、保存、視聴が可能なフロント USB ポートに挿入します（[車内の電子装備品 ページ 12](#) を参照）。次に、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブをフォーマット」の順にタッチします。これによって USB ドライブが exFAT として自動的にフォーマットされ、TeslaCam フォルダが作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「USB ドライブをフォーマット」は、USB ドライブ（1 つ以下のパーティションを持つもの）をフロント USB ポートに差し込んである場合に限って利用可能です。「USB ドライブをフォーマット」を選択すると、USB ドライブ上の既存のデータがすべて消去されます。この機能を使用する前に、保持したいデータを別のデバイスに移動してください。

USB ドライブの手動フォーマット

Model X で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

1. USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします (NTFS は現在サポートされていません)。
2. **TeslaCam** という名前のベース レベル フォルダを作成します。1 つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、exFAT USB ドライブ上に個別のパーティションまたはフォルダを作成する必要があります。
3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの USB ポート（装備されていれば）に挿入するか、センター コンソール内のフロント USB ポートを使用してください。後部にある USB ポートはデバイスの充電専用ですので、使用しないでください。Model X が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。
4. 認識されたら、「コントロール」にタッチするとダッシュカムおよびセントリーモードのアイコンが利用できるようになることを確認します。Model X はこれで動画を記録することができます。

注:最初にセントリーモード（装備されている場合）を有効にする必要がある場合があります。「コントロール」>「セントリー」の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターに表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

有効な場合、ダッシュカムとセントリーモードが映像を周期的に記録します。保存しない場合、映像は継続的に上書きされず、表示するためには希望する映像を保存する必要があります。そうしないとその映像は消去されて上書きされます。映像の保存については、[セントリーモード ページ 154](#) および [ダッシュカム ページ 152](#) を参照してください。保存された各クリップには、各カメラ（フロント、リア、左および右）から 4 本の動画が録画されています。

タッチスクリーンでの表示

Model X がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリランチャーにあるダッシュカムアイコンにタッチします。タブには、すべてのビデオクリップのリストが、場所やタイムスタンプで整理されて、表示されます。必要に応じて、クリップを一時停止、巻き戻し、早送り、および削除します。特定のクリップを素早く削除するには、右にスワイプするか、長押しします。

「コントロール」>「安全」>「ダッシュカムのクリップを消去」の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。

注:ピュアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダに移動します。

TeslaCam フォルダには、以下のサブフォルダがあります。

- **RecentClips** : 最大 60 分の録画されたコンテンツが含まれています。
- **SavedClips** : RecentClips フォルダから移動し、名前を変更して保存したすべての録画が含まれます。
- **SentryClips** : すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリークリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。



温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を「オート」で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。「自動」にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、<または>にタッチして空調ポップアップを表示します。

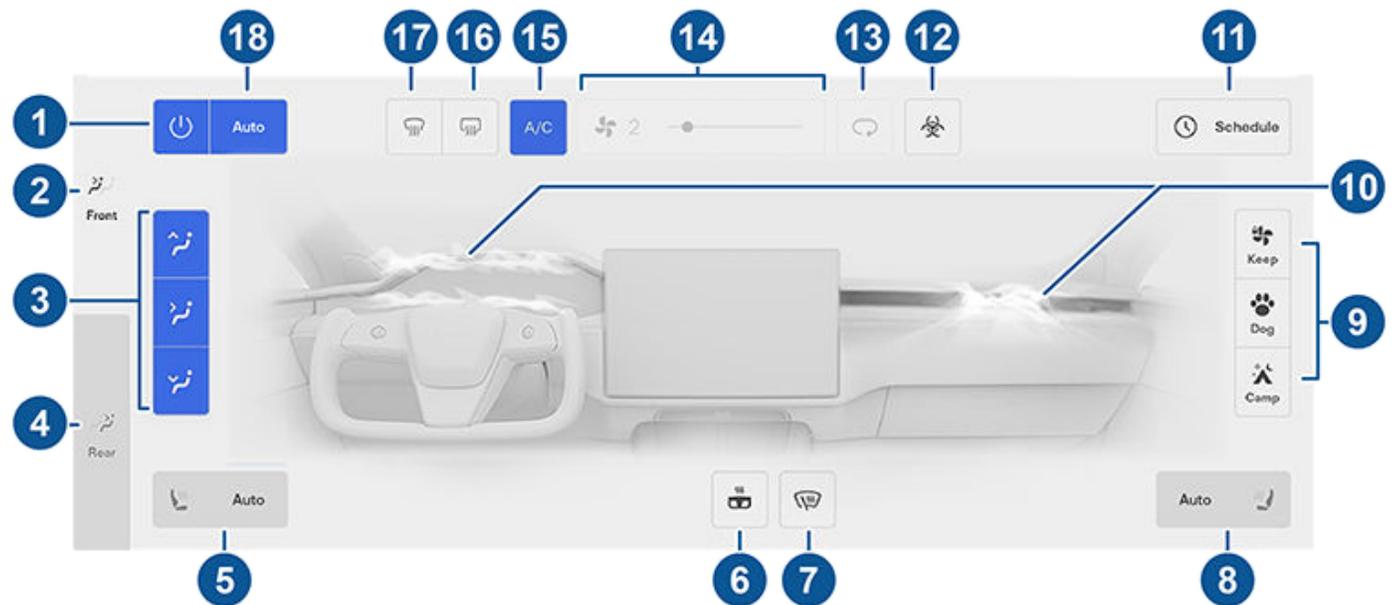
キャビンが暖まっているときや冷えているときは、ファンの速度が低下する場合があります。タッチスクリーンには、希望の温度に達するまで「Warming Up」または「Cooling Down」が表示されます。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

⚠ 警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます（[音声コマンド ページ 21](#) を参照）。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイアプリに追加することができます。マイアプリをカスタマイズ [ページ 8](#) を参照してください。

1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. タッチすると、フロントキャビンの空調設定を調節することができます。
3. フロントキャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1つ以上の通気口を選択できます。
4. タッチすると、リアキャビンの空調設定を調節することができます。「オート」が有効であり、乗員が検知されると、リアキャビンに対して設定温度が維持されます（[フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 162](#) を参照）。

注: 「同期」を有効にするとフロントキャビンとリアキャビンが同じ温度に設定されます。



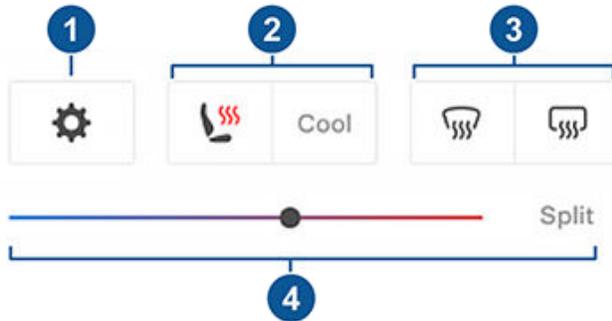
空調を操作する

- 運転席側のシートアイコンにタッチすると、運転席のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）に変わります。「オート」は空調システムが「オート」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房または冷房します。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 8](#) 参照）。
- タッチしてヨーク（またはハンドル）の暖房を制御します。このアイコンには設定レベルに合わせて赤色の波線が表示されます。「自動」に設定すると、空調が「自動」に設定されている場合、キャビン温度に基づいて、必要に応じてハンドルを加熱します。ワンタッチアクセスするために、このコントロールをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 8](#) を参照）。
- タッチするとワイパー デフロスターがオンになります。ワイパーは 15 分間霜取りしてから、自動でオフになります。
- 助手席側のシートアイコンにタッチすると、前席乗客のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）に変わります。「オート」は空調システムが「オート」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房または冷房します。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 8](#) 参照）。
- 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、Model X から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 159](#) を参照）。
- タッチすると、フロント通気口からの空気吹き出しの流れを調整できます。[フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 162](#) を参照してください。
- Model X をパーキングに入れた状態で、「スケジュール」にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に Model X の出発準備が整うように設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照）。
- Model X に、医療グレードの HEPA（High Efficiency Particulate Air）フィルターが備わっている場合、空調システムを起動して、外気を車内に導入する状態にしておく（再循環はオフ）車内の空気は最良な状態に維持されます。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウイルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のおいやガスを除去します。Bioweapon Defense Mode（対生物兵器モード）を起動すると、車内が正圧に保たれ、車内に侵入する外気量を最小限に抑えることができます。
注: 一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することができません。
- タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から Model X への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
- スライダーを使用してファン速度を調節します。自動の場合、ファン回転数は **Low/中間/High** に変わります。
注: ファンの速度を調整すると、空気吹き出し風量を増加または減少させるために、Model X 内への空気吹き出し設定が変更される場合があります。
- これをタッチしてエアコン システムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。
注: これは、Model X はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアーコンディショナー コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。
- タッチするとリアウィンドウを暖めます。15 分経つと、リアウィンドウのデフロスターは自動的にオフになります。リアウィンドウ霜取り装置が作動している場合は、外部のサイドミラーと充電ポートも常に加熱されます。寒冷時に備えるための情報は [寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#) を参照してください。
- フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。1 回タッチすると、フロント ガラスの霜取りができます（アイコンが橙色に変わります）。2 回タッチするとフロント ガラスの霜取りを行いません。3 回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
- 「オート」をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。
注: 「通話中にファン速度を下げる」が有効で、「自動」が選択されている場合、通話中はファン速度が自動的に下がり、周囲の雑音が低減されます。詳細な情報は、[Bluetooth ページ 79](#) を参照してください。



空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 8 を参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. シートヒーターまたはシートクーラーを有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。リアデフロスターを有効にすると、エクステリアサイドミラーも加熱されます。エクステリアサイドミラーの加熱は、周囲温度に応じて自動的にオフになります。
4. スライダーをドラッグしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度「スプリット」をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」および「キャンプ」設定を使うと、Model X から離れた後でも、車内にとどまることを選んでも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例:暑い日に Model X 内に食料品を入れたままにすると、「エアコンをオンに保つ」を使用して食料品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するように設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるため、ドライバーは近くにいる必要があります。

注: (愛犬が踏むなどして) 窓スイッチをまちがって押さないようにするため、「ドッグ」では窓を開けることができなくなっています。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、USB ポートと低電圧コンセントから電子機器の電源を取ることができません。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動していません。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. バッテリーの充電レベルが 20%以上であることを確認します。
2. シフトをパーキングにします。「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、および「キャンプ」設定は Model X のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」をタッチします。

注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから「ドッグ」および「キャンプ」を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとしします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。

キャビンの温度が高すぎる場合、または車両が空調システムに問題を検出した場合は、「ドッグ」を有効にすることはできません。「ドッグ」を有効にする前に、キャビンの温度が安全で快適なレベルであることを確認してください。

「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」がオンの場合、Tesla モバイル アプリは次の状況の場合に、Model X に入れたままにしているものを確認するよう繰り返し通知を送信しようとしします。

- バッテリーの充電レベルが 20%未満に低下した場合。
- 車両が空調システムに問題を検出した場合。
- キャビンの温度が最初に「ドッグ」に設定したレベルから大幅に変化した場合。

注: 「エアコンを ON のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェア アップデートは行えませんが、



空調を操作する

注: 侵入センサー（装備されている場合）は、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されると自動的に無効になります。しかし、これを強制的に侵入センサーを有効にしたままにすることもできます。これを行うには、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグモード」、または「キャンプモード」を有効にしてから、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。ただし、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されているときに侵入センサーを有効にすると、室内の空気の流れを検知してアラームが作動することがあるので注意が必要です。

- 警告:** 子供を車の中に放置しないでください。
- 警告:** 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。
- 警告:** ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを Model X の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。
- 警告:** 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。
- 警告:** 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。

キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model X から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車したときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で 15 分かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、「コントロール」>「安全」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン:** エアコンは、キャビンの温度が 40°C を超えるか、タッチスクリーンまたはモバイル アプリで選択された温度（利用可能な場合）を超えると作動します。温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

また、「空調」にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして「キャビン過熱保護」から設定を選択します（[モバイルアプリ ページ 75](#) を参照）。

キャビン過熱保護は、Model X を降りてから 12 時間経過またはバッテリー残量が 20% を下回った時点のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

注: キャビン過熱保護を有効にするには、チルト/侵入をオフにする必要があります。

- 警告:** 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。
- 警告:** 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムをオンにした場合、充電レベルが 20% まで低下するか、2 時間が経過すると、空調システムは自動的にオフになります。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。
- 選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます（[加速モード ページ 105](#) 参照）。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げて使用してください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 使用していないときでも、Model X からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態で、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。

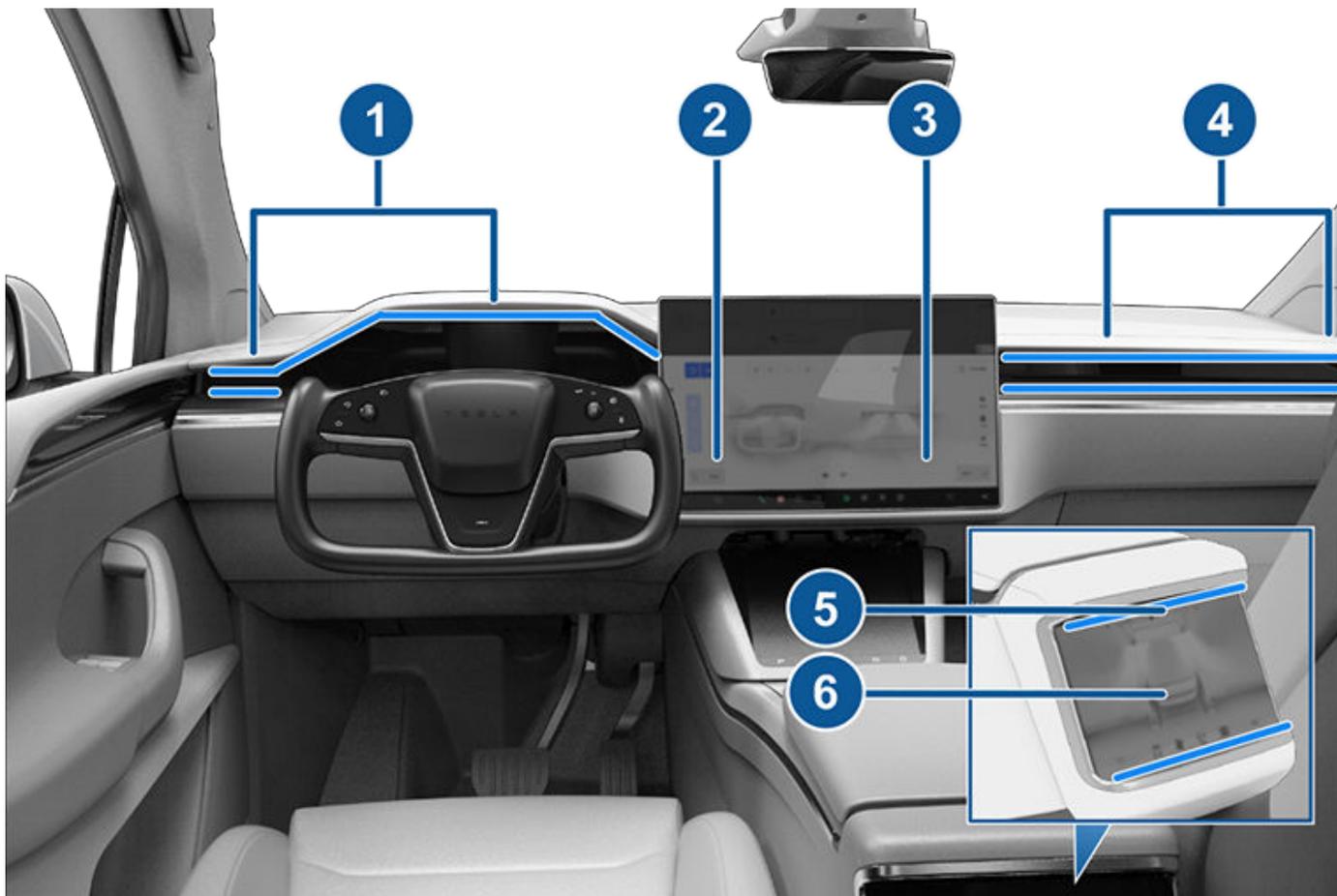


- 駐車している間、Model Xの下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは充電量が20%以上ある時のみ作動します。



フロント通気口およびリア通気口の調整

Model Xには、ダッシュボード全幅に渡って顔の高さにあるユニークな通気口を備えています。リア コンソールの上部と底部にも通気口があります。



1. 運転席通気口
2. 運転席コントロール
3. 助手席コントロール
4. 助手席通気口
5. 後部座席通気口
6. リアコントロール



キャビンで暖房または冷房を使用するとき、タッチスクリーンを使用して空気が流れる方向をピンポイントで好きな向きに調整することができます。顔の高さレベルの通気口をオンにすると、各通気口から空気の流れる方向を調整することができます。空気が流れる方向を調整するには、タッチスクリーンで対応する通気口の波線部分をタッチしてドラッグします。通気口中央から外向きまたは内向きに空気の流れが向けられているとき、中央に向けられているときは流れが一つとなり、分割すると左右対称に流れ出します。

注: 空気の流れを分割すると、空気の流れは流れを一方向にしているときと比べると流れが弱くなります。

注: 外気はフロントガラスの前のグリルを通して Model X に取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

キャビンエアフィルター

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを 1 つ以上備えています。

注: キャビンエアフィルターは定期交換が必要です。[定期サービス ページ 193](#) を参照してください。



寒冷環境におけるベストプラクティス

寒冷環境において Model X でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、走行前にキャビンやバッテリーを暖めておくこととよいでしょう。方法としてはいくつかあります：

- ・「コントロール」 > 「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照）。
- ・モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- ・モバイルアプリで、「空調」 > 「車を霜取り」を選択すると、フロントガラス、充電ポート、ウィンドウ、ミラーについての雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 157](#) を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

充電ポートのラッチが凍結して、充電ケーブルが外れなくなってしまった場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「充電ポートヒーター」の順にタッチします。この方法で数分経って外れない場合は、手動で充電ケーブルの解除を試みてください。[手動で充電ケーブルを外す ページ 186](#) を参照してください。

極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイルアプリで「車の霜取り」設定を使用します。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照）。

注: 充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかかっているにもかかわらず充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電

トリッププランナー（使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、Model X が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（[トリッププランナー ページ 172](#) を参照）してください。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 164](#) を参照）。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「追加車両情報」をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

ウィンドウ

モバイルアプリで、「空調」に移動し「車を霜取り」を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについての雪、氷、霜を溶かすことができます。

寒冷時、Model X は、ドアが開きやすくなるよう自動的にウィンドウの位置を微調整します。

注: ウィンドウを破損しないように、車両に電力がない場合は常に、ドアを開ける前に外部の低電圧電源に接続するようにしてください。

Tesla ではサイドウィンドウおよびリアウィンドウ（フロントガラスは対象外）への疎水性コーティングを低価格で提供しておりますので、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、「自動格納式ミラー」をオフにしておきます。「コントロール」 > 「自動格納」の順にタッチします凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リアデフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（[ワイパーとウォッシャー ページ 95](#) を参照）。また、ワイパーデフロスターをオンにすることもできます（装備されていれば）。[空調を操作する ページ 157](#) を参照してください。



タイヤおよびタイヤチェーン

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウィンタータイヤは Tesla ショップで購入することができます。(季節別タイヤ保管 ページ 199 を参照)。

タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、[タイヤチェーンの使用 ページ 200](#) を参照してください。

周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 6°C 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します ([タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195](#) を参照)。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シートヒーターで暖めます。シートヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なくおすすめです。キャビン温度を下げ、シートヒーターを使用すると、電力消費を削減することができます ([空調を操作する ページ 157](#) を参照)。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。
- 選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます ([加速モード ページ 105](#) 参照)。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がると、回生電力が増加します ([回生ブレーキ ページ 97](#) を参照)。

注: 回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、「スケジュール」を使用して出発時刻まで Model X をプレコンディショニングすれば回避できます ([プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) 参照)。

注: 冬用タイヤを取り付けると、回生ブレーキ力が一時的に減少することがありますが、少しの時間走行すれば、Model X によって正しいブレーキ力に再キャリブレーションされます。「サービス」 > 「ホイールとタイヤ」 > 「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

バッテリー低温



バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがインストルメントパネルに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

運転後

使用していないときは、Model X に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます ([高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) を参照)。

プレコンディショニングの予約

駐車したら、充電画面と空調画面の両方にある「コントロール」 > 「予約」設定で Model X のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します ([プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照)。「予約」を使用して、所定の場所での充電ポートラッチの凍結を防止することもできます。車両は、出発予定時刻までに車内とバッテリーが温まっているようプレコンディショニングを開始する時間を決定します。

Tesla では、車両に十分なエネルギーがあることを確認するため、プレコンディショニングに予約充電を設定することをお勧めしています。Model X のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20% を超えている場合に限りプレコンディショニングが作動します。

車両の保管

Model X を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model X は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイル アプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



暑熱環境におけるベストプラクティス

暑熱環境において Model X でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 通気口からの気流の向きを動かしてキャビンをプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内冷房温度を調整できます。
- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照）。
- 暑い時にキャビンが熱くなりすぎないようにするための**キャビン過熱保護**を有効にします。
- モバイルアプリで「コントロール」に移動して、ウィンドウを換気します。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 157](#) を参照）。プレコンディショニング開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャビン過熱保護を使用している場合は、Model X にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャビン温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる（ちょっと用足しするなどの）前に、ドッグモードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャビンを涼しく保ちます。詳細情報については、[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 159](#) を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできるだけ抑えるため、空調を 30 秒間オフにしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャビン温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サンシェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model X にプラグを挿入し、充電を**スケジュール**します。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャビンおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照してください。

充電

トリッププランナーを使用している場合またはスーパーチャージャーステーションに移動している場合、最も効率的な充電をするために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されないことがありますが、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 164](#) を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャビン過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model X を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model X は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます (Model X がリバースにシフトされたときを除く)。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2本の指を置いて回転させます。
- ズームイン、ズームアウトするには、それぞれ2本の指でピンチイン、ピンチアウトします。

注: 地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注: ナビゲーションルートがオンになっていると、地図は自動でズームイン、ズームアウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。



ノースアップ: 北が常に画面の上になります。



ヘディングアップ: 進行方向が常に画面の上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: 目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。



目的地に向かって移動しているときはルート概要が利用可能であり、(下にスワイプして)道順リストを開くと表示されます。上にスワイプして道順リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

地図表示

Model X がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします (数秒するとアイコンは消えます)。



衛星の画像 (プレミアムコネクティビティが装備されている場合)。



交通状況 (プレミアムコネクティビティが装備されている場合)。



マップの詳細情報 (人気スポットなど)

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、その場所がマップの中央になり、その場所に関する情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、そのロケーションへのナビゲーションやお気に入りの目的地のリストへの追加やそこからの削除ができます (自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169 を参照)。



充電ポイントです。マップ上の都市および対応するステーションの近辺を含むポップアップリストを表示します。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーションチャージングサイト、サードパーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。充電ポイント ページ 170 を参照してください。ポップアップリストの雷アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注: 一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして地図に含まれています。



天気に関する追加情報です (プレミアムコネクティビティが装備されている場合)。タッチするとマップ上に天候状態を追加表示し、雨や雪の予測の動きを表示します。今後3時間の天候の変化を予測した時間経過が含まれます。

ナビ設定

注: 使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わる可能性があります。



目的地への移動を開始してから...をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注: このナビ設定は、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーションシステムが自分の好みに合うようにします (利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります)。

- **ナビ ガイダンス:** 「音声」にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。

T マップとナビゲーション

・ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカーアイコンにタッチすると、指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカーアイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディアプレーヤーや電話の音量は変わりません。

注: 車速および空調設定に基づいて音量が自動的に調整されるようにすることができます。

注: ペアリングしている電話が通話中のときは、ナビゲーションの指示はミュートされます。

- ・車両に乗ったときに Model X がナビが目的地へ向かうよう自動的に開始するには、**オートナビゲーション**を有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（**オートナビゲーション ページ 169**を参照）。
- ・**トリッププランナー**（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーチャージャーストップを追加します。スーパーチャージャーストップを経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（**トリッププランナー ページ 172**を参照）。
- ・**「オンラインルート案内」**を有効にすると渋滞を避けて自動的にルート設定し、地域で利用可能になっている場合、ナビルートに沿ってリアルタイムの交通状況を取得することができます（**オンラインルート案内 ページ 171**を参照）。
- ・フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、**「フェリーを使用しない」**をタッチします。
- ・可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、**「有料道路を使用しない」**をタッチします。

目的地へのナビゲーション

場所にナビゲートするには、地図の角にある検索バーをタッチして目的地を入力し、携帯電話から目的地を送信するか、音声コマンド（**音声コマンド ページ 21**を参照）を使用して住所、ランドマーク、会社名などを指定します。選択した目的地に他の目的地（空港のターミナルなど）が含まれている場合は、サブ目的地も選択できます。

検索バーをタッチすると、さまざまなオプションが表示されます：

- ・マップの別のエリアにズームインまたはドラッグしたときに検索を更新するには、**「このエリアを検索」**が表示されたらタップします（販売地域で利用可能な場合）。
- ・保存された**「自宅」**または**「勤務先」**の場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169**参照）を選択します。
- ・**「充電」**の場所（**充電ポイント ページ 170**参照）を選択します。
- ・**「最近の履歴」**の場所（最も直近の目的地がトップに表示）から選択します。
- ・**「お気に入り」**に設定した場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169**参照）から選択します。
- ・お腹がすいて人気レストランに行きたければ、**「食事」**。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、**「名所」**（**「名所」**および**「食事」 ページ 169**を参照）。

注: iOS®または Android™デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから**「共有」**機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。予定到着時刻、運転時間、目的地の天候状態、および走行距離が道順リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご確認ください。

- ・ターンリストにあるバッテリーアイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。**エネルギー消費量の推測 ページ 171**を参照してください。
- ・目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ**「トリッププランナー」**がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーチャージャーストップが自動的に含まれます（**トリッププランナー ページ 172**参照）。
- ・目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- ・各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- ・リストの一番最後を見るには、リストを上ドラッグしてください。
- ・リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

目的地を設定すると検索バーには経由地を追加するための**「Search Along Route」**オプションが与えられます（**経路に経由地を追加する ページ 169**を参照）。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの方向リストを展開するか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます。

ターンバイターンリストの下には、目的地や次の停車地点までの距離を示す進捗バーが表示されます。オンラインルート案内が有効になっていると、進捗バーにはルート上の実際の交通状況も表示されます（**オンラインルート案内 ページ 171**を参照）。

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある**「キャンセル」**にタッチします。候補の場所を右にスワイプするか、場所を長押しすると、特定の最近のナビゲーション検索結果を素早く削除できます。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能ですが、その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。



ナビゲートオンオートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストの**ナビゲートオンオートパイロット**をタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。**ナビゲートオンオートパイロット**は、高速道路などのアクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や Model X の操舵を行いません。詳細は**ナビゲートオンオートパイロット ページ 125**を参照してください。



代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている必要があります。

1つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で3つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートでの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または順序付けすることで経路を編集することができます。道順の下にある3つのドットをタッチして、ルートを編集するためのオプションを表示します。



経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。検索すると、ルートに近い場所が、そこまでの寄り道にかかる時間と共に表示されます。マップ上のピンをタップして、情報ポップアップから追加を選択することで、経由地を追加することもできます。



経由地の編集では、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグアンドドロップすると順番を並べ替えることができます。

ナビゲーション作動中は、タッチスクリーンに付近の休憩エリア情報が表示されます。希望する休憩エリアにタッチするだけで、その休憩エリアが走行ルートに追加されます。

またTeslaモバイルアプリを使用してルートを編集することもできます（販売地域で利用可能な場合）Teslaモバイルアプリで、「場所」>「ナビゲート」の順に移動し、「走行ルートを編集」>「経由地を追加」の順にタッチしてルートを編集したら、「車に送信」にタッチしてその走行ルートを車両と共有します。

注: Teslaモバイルアプリのバージョン4.27.5以降が必要です。

オートナビゲーション

注: すべての販売地域およびすべての車両構成においてオートナビゲーションが使用可能であるわけではない可能性があります。

オートナビゲーションは、乗車したときに目的地を予測することができます。Model Xに携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから2時間以内に実施されるイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を推奨します（イベントの実施される有効な住所があることを前提とします）。

さらに、平日（月曜日～金曜日）の午前5時～午前11時の間に自宅で車両に乗車すると、オートナビゲーションによって自動的に指定されている「勤務先」までの経路が表示されます（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169 参照）。平日の午後3時から午後11時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするは、「コントロール」>「ナビゲーション」>「オートナビゲーション」の順にタッチします。電話機のカレンダーをModel Xに同期させる必要があります。イベントに重複のなく指定された有効な住所を含める必要があります（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 81 を参照）。

注: 手入力した、またはModel Xに送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: 販売地域や車両構成によっては、機能が使用できない場合があります。

選択した目的地までのナビに加え、Model Xはお客様の気分に合わせて近所にある**食事**または**名所**を提案することもできます。ナビ検索バーで「食事」または「名所」をタッチします。「食事」では、人気のレストランの一覧を提案し、「名所」では人気の目的地（美術館やアミューズメントパークなど）の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、「ナビゲート」をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、Model XをWi-Fiに接続してから、「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします（地図のアップデート ページ 172 参照）。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

頻繁に利用する目的地がある場合、その都度目的地の名称や住所を入力することを避けるため、お気に入りの追加をお勧めします。目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてから**お気に入り**をタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。



目的地をお気に入りリストに追加するには、地図上で行き先のピンをタッチして、表示されるポップアップウィンドウにあるスターアイコンをタッチします。名前（またはデフォルト名のまま）を入力し、**お気に入り**に追加をタッチします。星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたこととなります。

最近の目的地またはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストで「X」が表示されるまで長押しします。続いて、Xをタッチしてリストから削除します。

「自宅」および「勤務先」の場所も、ナビ検索バーの下に表示されます。タッチすると、これらの場所の住所を設定できます。住所を入力したら、「自宅として保存」または「勤務先として保存」をタッチします。これにより、これらのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

T マップとナビゲーション

該当する住所を変更または削除するには「自宅」または「勤務先」を長押しします。ポップアップが表示され、新しい住所を入力して、「自宅として保存」または「勤務先として保存」を実行します。自宅や勤務先が保存されると、Model X は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションするかの指示を求めるようになります。現在の交通状況に基づいて到着までの推定時間が表示されます。[オートナビゲーション ページ 169](#) を参照してください。「自宅を削除」または「勤務先を削除」にタッチして関連する住所を完全に削除します。使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように Model X から求められることがあります。

セキュリティ上の理由から、Model X を売却する、所有権譲渡する、または他の人に運転させる場合は、自宅と勤務先の場所情報を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを地図に表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、「充電ポイント」にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報を表示、ナビゲーション、またはお気に入りとしてマークできます。

稲妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。



タッチして 70 kW までの低電力ステーション（ディスティネーションチャージングサイトなど）を含めます。



タッチして 70 kW を超える高電力チャージャーを含めます。

注:一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして表示されます。

充電ポイントにピンが表示されると、その場所の状態予測情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。



そのスーパーチャージャーのある場所は稼働しており、ピンに付けられている数字は到着時に使用可能であると予測されるスーパーチャージャー区画の数です。

注:現在のナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。



このスーパーチャージャーの場所は利用者と混雑することが予測されています。充電までお待ちいただく必要がある場合があります。



この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。



スーパーチャージャーステーションは閉場している可能性があります。



この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。



この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サードパーティの急速充電器、または過去に使用したことがある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注:地図がズームアウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- スーパーチャージャー設置場所がトレーラーフレンドリーであるかどうかを確認します。トレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所には、トレーラーをけん引したまま車両を乗り入れて充電することができるスーパーチャージャー区画があります。

注: Model X がけん引モード（装備されている場合）のとき、地図にはトレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所がリストの一番上に表示されます。

- 充電ポイントで利用できるアメニティ（トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fi の使用可否など）を表示できます。スーパーチャージャーポップアップでアメニティアイコンにタッチすると、周辺エリアのアメニティ施設を検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。



注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、Model X は充電に備えてバッテリーのプレコンディショニングを実行します。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがありますが、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（[充電ページ 164](#) を参照）。

- スーパーチャージャーの時間帯別の一般的な混雑状態と該当する充電料金および超過時間料金を表示します（[スーパーチャージャー料金 ページ 186](#) を参照）。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model X は目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリー アイコンの隣にこの計算値が表示されます（[目的地へのナビゲーション ページ 168](#) 参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（風速と風向、周囲温度と予報温度、空気密度、および湿度など）に基づいた推定値です。運転中、Model X は使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。Model X は個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測します。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。エネルギー予測に寄与する要因（予測されている温度や風速など）の一部は、Model X がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

注: 中古の Tesla 車両を購入する場合は工場リセットを実施して（「[コントロール](#)」 > 「[サービス](#)」 > 「[工場リセット](#)」）、予測エネルギーにできるだけ高い精度を確保することをお勧めします。

ルートの全体にわたって、Model X はエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は[航続距離を最大限に伸ばす ページ 189](#) を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

ラウンドトリップするために十分な電力があるかを確認するには、道順の方向リストにあるバッテリー アイコンにタッチして、ラウンドトリップのエネルギー使用量の予測計算値を表示します。

オンラインルート案内

Model X は、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行うことがあります。別のルートを拒否するには、タッチスクリーンのルート変更通知をタップします。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンまたはオフを行うには、「[コントロール](#)」 > 「[ナビゲーション](#)」 > 「[オンラインルート案内](#)」の順にタッチします。

販売地域で利用可能な場合に、「[オンラインルート案内](#)」が有効になっていると、ナビルートに沿ってリアルタイムの交通状況が検出されたときに、その状況を示すアイコンが表示されず（プレミアム コネクティビティーが必要です）。

注: 対応するトラフィック アイコンは地域によって異なります。



フランス以外: 速度違反監視カメラが検出されると表示されます。速度違反カメラに近づいたときに、Model X からチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、「[コントロール](#)」 > 「[ナビゲーション](#)」 > 「[速度違反カメラ](#)」の順にタッチします。



フランスのみ: 1 台または複数の速度違反カメラ、またはその他の一連の運転上の障害が含まれていることも、含まれていないこともあります。速度違反カメラに近づいたときに、Model X からチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、「[コントロール](#)」 > 「[ナビゲーション](#)」 > 「[速度違反カメラ](#)」の順にタッチします。

停止標識および信号機を表示します。



信号が変わるまでの予測待ち時間をドライバーに知らせます。



ルート上に工事中的の場所がある場合に表示されます。



道路が通行止めになっていることを示します。通行止めの道路を回避してルートが変更されると、タッチスクリーンに通知されます。



トリッププランナー

トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）を使えば、安心して長い道を運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートを選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン（ナビ設定 ページ 167 参照）をタッチしてから、トリッププランナーをタッチします。

トリッププランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。

スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある「**充電ポイントを全て削除**」にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、**充電ポイントを追加**をタッチします。

スーパーチャージャーで充電している間充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。モバイルアプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: トリッププランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティーの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティーの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、Model X によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます（充電 ページ 164 参照）。

トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーはターンバイターンの方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

注: ナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリッププランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それは Wi-Fi 経由で自動的に Model X に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に Model X を Wi-Fi ネットワークに接続してください（Wi-Fi ページ 78 参照）。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されません。

概要

注: メディア アプリは販売地域、車両設定、購入時オプション、およびソフトウェアバージョンによって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用されることがあります。

メディア プレイヤーはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレーヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上ドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下ドラッグすると最小化できます。ミニプレーヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。メディア プレイヤーはドラッグしてタッチスクリーンの左右に表示させることもできます。

ウェブブラウザから音楽を再生し、それからブラウザを最小化する場合、Model X はバックグラウンドでブラウザの音楽の再生を継続します。メディア Miniplayer を使って、ブラウザの音楽を一時停止または再生することができます。ブラウザオーディオが開始される前に、あるメディアを再生していた場合、ブラウザの音楽が一時停止または終了した後に、そのメディアは再開されます。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアムコネクティビティなど）が利用可能な場合に限り利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。それ以外は、初回使用時にアカウント認証情報の入力を求められることがあります。

注: メディア プレイヤーのドロップダウンリストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。



「ラジオ」: 聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。



「Bluetooth」: Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（デバイスからメディアを再生 ページ 174 参照）。



Caraoke（装備されている場合）: さまざまな曲を歌うことができます（カラオケ ページ 174 を参照）。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。メディアの設定 ページ 173 を参照してください。

Model X は、地域で利用可能な場合、以下のメディア アプリをサポートします。

- Amazon Music
- Apple Music
- Apple Podcasts
- Audible

- LiveOne
- Spotify
- TuneIn
- YouTube Music

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聴く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ヨーク（またはハンドル）上の左スクロール ボタンでもできます。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（音声コマンド ページ 21 を参照）。

音量調節

音量は次のようにして制御することが可能です。

- ヨーク（またはハンドル）の左側のスクロール ボタンを上または下に回すとそれぞれ音量が上がるか下がります。これにより、メディア、音声コマンド、および通話の音量を調整します。
- 車速および空調設定に基づいて音量を調整することができます。
- タッチスクリーンのボタン コーナーにあるスピーカーアイコンに関連する「<」「>」の矢印にタッチします。
- 音量をミュートするには、左スクロール ボタンを押し続けてください。もう一回押しすとミュートが解除されます。
- 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: 各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。



オーディオ設定にアクセスするには、メディア プレイヤーの検索バーにある設定アイコンを押します。

以下の設定を調整することができます。

- **「トーン」:** スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてイマーシブ サウンド スライダーをドラッグすることで、サウンド イマーションのレベルを調整してミュージック エクスペリエンスをより魅力あるものにすることができます。
- **「バランス」:** 聴きたい Model X の位置に合わせて中央の円をドラッグします。

- ・「オプション」: オプション機能を設定します。たとえば、「DJ コメンタリー」、「不適切なコンテンツ」、「モバイルコントロールを許可」のオンオフの切り替えができます。
- ・「ソース」: 利用可能なすべてのメディアソースを表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示にすると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウン リストに表示されなくなり、アプリランチャーにタッチしてもアプリトレイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを再度表示させることができます。

オーディオ コンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレイヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで検索することもできます(音声コマンド ページ 21 を参照)。

カラオケ

注: 車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。

メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン(マイクアイコンの隣)をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。

警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないでください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。



現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディアプレイヤー上の「お気に入り」アイコンをタッチします。



ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された「お気に入り」アイコンにタッチします。複数のお気に入りを削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソース コンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そして好きなお気に入りを押し続けます。「X」はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の「X」にタッチします。



最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。

注: (装備されていれば) FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを再生

USB フラッシュドライブ

フロント USB ポートにフラッシュドライブを挿入します(USB ポート ページ 12 参照)。「メディアプレイヤー」>「USB」の順にタッチして、希望するフォルダーの名前にタッチします。USB 接続したメディアを再生する場合、Model X はフラッシュドライブのみを認識します。iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetooth で接続する必要があります(Bluetooth 接続された機器 ページ 174 を参照)。

注: メディアプレイヤーは、exFAT でフォーマットされた USB フラッシュドライブに対応しています(NTFS には現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある USB ポートを使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

Bluetooth 接続された機器

Bluetooth 機能を持つデバイスを Model X にペアリングして(Bluetooth ページ 79 を参照)、保存されたオーディオ ファイルを再生します。メディアプレイヤーの「電話」ソースを選択して、Bluetooth 接続したデバイスの名前にタッチしてから、「接続」にタッチします。



概要

注: 地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。



「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス (Netflix、YouTube、Hulu など) をお楽しみください。Model X が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが装備されていて、携帯電話信号が利用できる場合に限り利用可能です。



「アーケード ゲーム」 プレーしてみませんか。プレーするには、ヨーク (またはハンドル) のボタンや Bluetooth または USB のコントローラーを使用する必要があることがあります。ゲーミング コントローラーおよびヘッドホン ページ 176 を参照してください。



「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。



警告: これらの機能は、Model X が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテインメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます (音声コマンド ページ 21 を参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると...	できることは...
ブームボックス	Model X に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細については ブームボックス ページ 176 を参照してください。 注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。  注意: この機能を使用して、ホーン音、ホーン音に類似する音、またはホーン音と混同するおそれのある音を発生させないでください。この機能を使用する場合、常に周囲の環境、他の人の生活、作業や交通の安全などに配慮し、発生させる音の種類と音量を慎重に選択して、調整してください。不適切に使用すると、道路交通法およびその他の適用法令違反と見なされる可能性があります。
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブービー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたずら」する準備ができたなら、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブービークッションを鳴らします。できれば、シートをブービークッションに換えます。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
火星	マップには Model X が火星の大地を走る流浪者として表示され、お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
レインボー充電ポート	Model X がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?
ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気演出!
スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょ。あなたの才能を見せるチャンス! 出版 をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。



シアター、アーケード、おもちゃ箱

TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎることなんて決してありません。を使えば TRAX、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「P (パーキング)」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせて新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	お車の名前を「42」に変更します（「コントロール」 > 「ソフトウェア」にタッチしてから、車両の名前にタッチします）。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー	タッチスクリーンで Model X の色を変更します。車両名の隣にある色見本にタッチすると、エクステリアのカラー、トーン、などをカスタマイズできます。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム (PWS) の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、Model X が駐車時に、歩行者警告システム (PWS) スピーカーから外部に音を出すことができます。例:

- **現在のメディアを再生。**
- **メガホン**を使用して、声を変調できます。
- ホーンを押すと互換性のある USB デバイスから任意のサウンドの最初の 5 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 Tesla アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の USB ドライブの準備

これらのステップに従って最大で 5 つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

1. コンピューターで、USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします (NTFS は現在サポートされていません)。
2. USB ドライブに「**Boombox**」というフォルダーを作成します。
注: USB ドライブには、1 つのフォルダーのみを含めることができます。例えば、ダッシュカムと共有することはできません。
3. .wav と .mp3 の音声ファイルをフォルダーに追加します。USB ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の 5 つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット (a-z/A-Z)、0~9 の数字、ピリオド (.)、ダッシュ (-)、アンダースコア (_) を使用できます。
4. USB ドライブをフロント USB ポートに差し込みます。
5. 「**ブームボックス**」ドロップダウンメニューで、USB ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、「**アーケード**」に移動し、アンインストールするゲームを選択し、「**アンインストール**」をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

ゲーミングコントローラーおよびヘッドホン

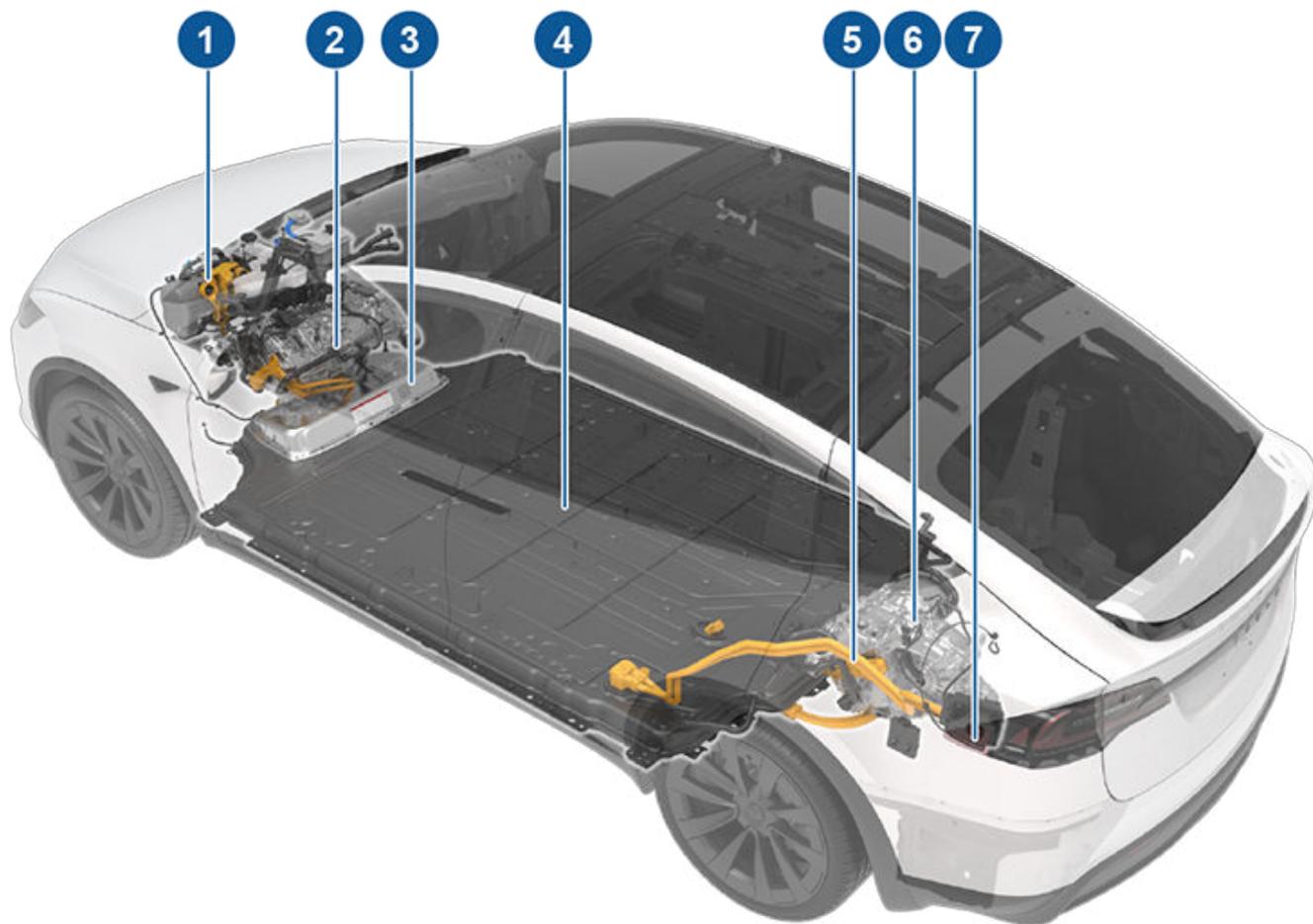
Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で Model X にペアリングできます (電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 81 を参照)。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。Model X 一度に 2 台の Bluetooth デバイスのみに対応することが可能です (例えば、コントローラー 2 台、または携帯電話とコントローラー)。

およそ 2021 年 11 月 1 日より前に製造された車両の場合、USB 互換のゲーミングコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント USB ポートに接続することができます。およそ 2021 年 11 月 1 日より後に製造された車両の場合、グローブボックスの USB ポートを使用する必要があります。

「Bluetooth デバイス」に移動して、リア タッチスクリーンで新しいヘッドフォンを追加することで、従来の Bluetooth ヘッドホンとペアリングすることができます。接続されると、このヘッドホンを使用して、リア タッチスクリーンから音楽を聴くことができます。

注: およそ 2021 年 9 月以前に製造された車両の一部では、ワイヤレス ヘッドホンとの互換性を確保するためにハードウェアを追加する必要があります。タッチスクリーンにこのメッセージが表示された場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

高電圧コンポーネント



1. ヒートポンプアセンブリ
2. フロントドライブユニット
3. 高電圧コンポーネント用のサービスアクセスパネル（補助ベイ）
4. 高電圧バッテリー
5. 高電圧バスバー
6. リアドライブユニット
7. 充電ポート

注: Plaidバージョンは図示されていません

-  **警告:** 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。
-  **警告:** Model X に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
-  **警告:** 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



充電機器

Model X の充電専用に設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、<http://shop.tesla.com> をご覧ください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。
- モバイル コネクターを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタ (必要な場合) をモバイル コネクターに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで使用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクターに取り付けてから、車両に接続してください。



高電圧バッテリーに関する情報

Model X は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model X を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを 0% まで放電させると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります (例: 低電圧バッテリー)。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリッププランナー (販売地域で使用可能な場合) を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、[トリッププランナー ページ 172](#) を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。

Model X を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因 (寒い天候など)、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1 日におおよそ 1% の割合でバッテリーが放電します。Model X が充電されない状態が長期間続くような場合もあります (たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model X は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに Model X を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、Model X が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧バッテリーのジャンプスタートをお試しください ([ジャンプスタート ページ 227](#) を参照)。依然として車両が無反応である場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model X を 60°C 超または -30°C 未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model X には省エネ機能があり、Model X を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」>「ディスプレイ」>「省エネモード」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法については、[航続距離を最大限に伸ばす ページ 189](#) をご参照ください。

水没した車両について

他の自動車と同様に、お客様の Tesla が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水 (特に塩水) に浸かったりした場合は、事故に遭ったものとして扱ってください。詳細情報については、[水没車両に関するガイド ページ 230](#) を参照してください。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項

⚠ 警告: 高電圧システムの保守は訓練された技術者だけが実施するようにする必要があります。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

⚠ 注意: バッテリーの充電レベルが 0% に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、Model X を充電または使用できない場合があります。Model X を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプスタートさせても Model X を充電できない場合は、サービス予約をしてください。

⚠ 注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。インストゥルメントパネルに液レベルが低いという警告が表示された場合、モバイル アプリを使用してサービスを予約してください。



注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

充電ポートは Model X の左側に位置し、ドアの後ろ、リア テールランプ アセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model X を駐車します。

Model X がパーキングにシフトしている状態で、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、「コントロール」をタッチして、充電ポートアイコン（稲妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model X がアンロックされ、認証された電話が近くにある状態で、充電ポート ドアを押します。
- キー FOB のリアトランク ボタンを 1~2 秒間長押しします。
- 充電ケーブルのボタンを押して、充電ポート ドアを開きます。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（[音声コマンド ページ 21](#) を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: 次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干の違いがある場合があります。



注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。充電ケーブルの抜き差しができない場合、または留め金が凍結しているため車両の高速充電が行えない場合、Tesla モバイル アプリを使用し、約 30~45 分間、事前に車両の温度設定を「HI」にしてください（車両の事前調整のためにはモバイル アプリの使用が必要です。タッチスクリーンからは温度を「HI」に設定できません）。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

⚠ 注意: 充電ポートを無理に開けようとししないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（[充電設定 ページ 185](#) を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクタをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクタを使用する場合は、先に電源に挿してから Model X につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく差し込まれている場合に Model X が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model X に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model X の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model X が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、Model X が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、Model X を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることがあります。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなる場合があります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、Model X は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから Model X を差し込みます。

 **注意:** 充電ケーブルのコネクター側を Model X の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

充電ケーブルを Model X に挿入したら、数秒間待ち、充電ポートのライトが緑色で点滅を開始し、車両が充電されていることを確認します。このライトが黄色または赤色である場合は、車を離れる前に、充電が確実に行われるよう問題を解決してください。

充電ステータス

充電ポートが開いている場合、インストゥルメント パネルに充電ステータスが表示されます。

- **白色 (またはライトブルー色) :** 充電ポートが開いています。Model X 充電準備ができていますが、コネクターが挿入されていないか、充電ポートのロックが解除されコネクターが取り外せる状態になっています。
- **青色:** 充電器は接続されているが、Model X は充電をしていません (予約充電が有効になっている場合など)。
- **青色の点滅:** Model X 充電器と通信しているが、まだ充電を開始していません (車両が充電準備をしている場合など)。
- **緑色の点滅:** 充電中。Model X の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- **緑色の点灯:** 充電完了。
- **オレンジ色の点灯:** コネクターが完全に差し込まれていません。コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで押し込んでください。
- **オレンジ色の点滅:** Model X は電流を減少して充電していません (AC 充電のみ)。
- **赤色:** 故障が検出され、充電が停止しました。インストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンでアラートを確認してください。



充電方法



1. 残り時間: 設定限度まで充電するための推定残り時間 (充電設定 ページ 185 参照)

注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されていても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点はありません。

2. 充電 充電器の現在の電力。

3. 充電速度: 充電している車両の現在の充電速度

4. 取得航続距離: 充電で増加した推定航続距離。

5. 走行距離: 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示 (表示設定により異なる) で表示されます。

注: 表示されるエネルギー単位を変更するには、「コントロール」>「スクリーン」>「エネルギー表示」の順にタッチします。

6. 充電ステータス: 充電ステータス メッセージ (「スーパーチャージング」、「充電中」など) はここに表示されます (プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188 参照)。

充電

充電中は、充電ポートライトが緑色に点滅し、タッチスクリーンに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: Model X がロックされていると、充電ポート ライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。インストゥルメント パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります (お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」>「ソフトウェア」>「追加車両情報」をタッチしてください)。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況 (例えば、気温が高い日に大電流で充電しているなど) では、通気口から出る空気が冷たくない場合があります。インストゥルメントパネルにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。



警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢よく液体をかけないでください (高圧洗浄機など)。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブルラッチはロックされたままの状態となり、Model X のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。

注: ラッチは、タッチスクリーンもしくはモバイル アプリを使用して、またはキー フォブのリアトランクボタンを長押ししても解除することができます。お客様の車両が電動充電ポート搭載車の場合は、充電ポートの左にあるボタンを押してもラッチを取り外せません。

2. コネクタを充電ポートから引き抜きます。充電ポート扉は自動的に閉じます。

気温が氷点下のため、充電ケーブルが差し込まれた状態で凍結してしまった場合は、「コントロール」>「サービス」>「充電ポートヒーター」の順にタッチします。これにより、充電ポートが最大 2 時間、加熱され、充電ケーブルの凍結を溶かすことができます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（音声コマンド ページ 21 を参照）。

注意: 充電ポート ドアを決して手で閉じないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

公共の充電ステーションでアダプターを使用して充電ケーブルを取り外す方法:

1. Model X をロック解除します。
2. 一方の手で公共充電ステーションの充電ハンドルを、もう一方の手でアダプターを押さえながら、充電ハンドルのボタンを長押しして外側に引くと、ハンドルとアダプターが同時に外れます。
注: 充電ステーションのハンドルがアダプターから離れ、アダプターを Model X に挿入したままにしておく場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポートのロックを解除します。
3. 充電ハンドル ボタンをもう一度長押しして、公共用充電ハンドルからアダプターを外します。

注: 充電ポートは、コネクタを充電ポートから取り外すと約 10 秒以内に自動的に閉じます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（音声コマンド ページ 21 を参照）。

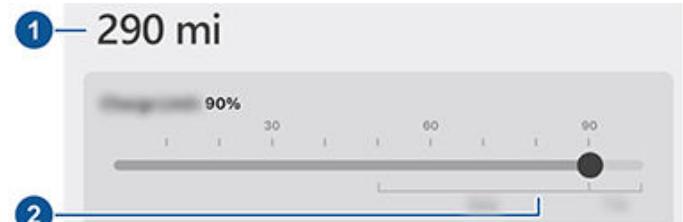
注意: 充電ポート ドアを決して手で閉じないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

注意: Tesla では、Model X を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電設定

Model X がパーキングにシフトされているときに、「コントロール」>「充電」の順にタッチして、充電設定にアクセスします。

充電中は、タッチスクリーンの充電アイコンをタッチして充電設定にアクセスすることもできます。



1. **走行距離:** 推定総航続距離を表示します。
2. **制限を設定する:** 充電スライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

注: 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」>「充電」に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。

注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

充電限度をスライドさせ、通常の推奨充電限度を超えるまで動かすと、ポップアップ オプションが表示され、一時的に一度に限り通常の推奨充電限度を超えて充電することができます。これは長距離の移動に便利です。また選択した場合、元の充電制限にリセットされます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。



充電方法

- ・この場所での充電電流: あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、**-** または **+** にタッチして電流を変更します (たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります)。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model X はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

国内用コンセントを持つモバイル コネクタを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。この場所での充電電流をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

注: Model X が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25% 減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流低減は、問題が外的に存在する場合 (例えば、家庭用配線システム、レセプタクル、アダプタまたはコードが定格電流容量を満たすことができない場合) の堅牢性および安全性を向上させます。しかし、Model X が、ある場所の入力電力が自動的に減少すると、その充電場所の入力電力が減少したまま保存されるのでご注意ください。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla は、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

- ・充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。充電していないときは、「充電ポートを開く」または「充電ポートのロックを解除」をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。「充電を停止」を使用して充電を終了します。
- ・スケジュール: プレコンディショニングと予約充電を表示します。保存した自宅と勤務先、または現在地のプレコンディショニングや予約充電を作成できます (プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188 を参照)。
- ・この場所で太陽光発電で充電: 当該地域で利用可能な場合、Tesla モバイル アプリを使用して、Tesla Powerwall により車両を余剰の太陽光発電電力で充電できるように設定します。自宅で車両を電源に接続し、「太陽光発電で充電」が有効になっている場合、車両は任意の電源からの最小充電制限まで充電され、その後、最大充電制限までは余剰太陽光発電電力のみで充電が続行されます。予約充電またはプレコンディショニングが設定されている場合、車両は余剰ソーラーを使用し、任意のソースから最小充電限度まで充電するために、指定された時刻まで待機します。システム要件 (北米以外): 車両ソフトウェア 2023.32 以降、Powerwall ソフトウェア 23.12.10 以降、および Tesla モバイルアプリ 4.30.5 以降。
- ・スーパーチャージャー充電: スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用を表示します (スーパーチャージャー料金 ページ 186 を参照)。

注: 利用率の高いスーパーチャージャー サイトの混雑緩和のために、トリッププランナー (販売地域で入手可能な場合) を利用していないときは、最大充電レベルが 80% に自動的に制限される場合があります。(トリッププランナー ページ 172 を参照してください)。

スーパーチャージャー料金

Tesla スーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。無料充電が適用される場合、推定費用はゼロと表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

Tesla スーパーチャージャーで充電するとき、アイドル料金が発生する場合があります。超過時間料金は、ドライバーの方にスーパーチャージャー充電が完了したら車両をすぐに移動していただくことを促す目的で設けられています。超過時間料金は、充電場所にあるスーパーチャージャーの数の半数またはそれ以上が使用中のときのみ適用されます。Tesla モバイル アプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や無料クレジットの残高の確認や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

手動で充電ケーブルを外す

充電ポートから充電ケーブルを外す通常の方法 (充電ハンドルリリースボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリを使用) が機能しない場合は、キーフォブ (装備されていれば) のリアトランク ボタンを 1~2 秒間押し続けます。それでもリリースされない場合は、次の手順に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model X が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、充電を停止をタッチします。
2. リアトランクを開く
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。



警告: 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く前に引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。



注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

! **注意:** リリース ケーブルは、通常の方法で充電ケーブルを引き抜くことができない場合に**のみ**使用してください。リリース ケーブルを頻繁に使用すると、リリース ケーブルや充電機器が損傷する恐れがあります。

! **警告:** 車両の充電中や、橙色の高電圧電線が露出している場合は、この操作を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。

充電におけるベストプラクティス

- バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が 20%以下になるとバッテリー アイコンが黄色になります）。
- 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については、車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」 > 「充電」）に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。
- 車両にプラグを接続したら、車両から離れる前に、充電ポートのライトが緑色で点滅し始めることを確認します（Model X が充電中であることを示します）。数秒経っても Model X が充電を開始しない場合、コネクタが充電ポートにしっかり挿入されていないか、充電を妨げる問題がある可能性があります。警告とその詳細についてはタッチスクリーンを確認してください。

注: 充電ポートのライトが黄色で点滅を開始した場合、Model X は電流量を減らした状態で充電をしています。充電ポートのライトが青色で点灯している場合、充電ポイントは接続されていますが、車両は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。詳細な情報は、[充電ポート ライト ページ 183](#) を参照してください。

急速充電に関するアドバイス:

- ナビゲーション検索バーに表示される 3 本の雷マークで区別することで急速充電器を検索します。

- 高電圧バッテリーのプレコンディショニングを考慮して、急速充電器にむかってナビゲートします。バッテリーが理想的な温度になっていると、迅速な充電を行うことができます。
- 通常、充電済みの電力が少ないほど、充電速度は速くなります。
注: 常に車両の充電を監視することは、ドライバーの責任です。車両が放電し尽くす前に接続してください。安全に充電ポイントに到着するために十分な充電量があることを必ず確認してください。
- スーパーチャージャーでは、隣の区画と電力をシェアすることがあるので、他の車両と間隔を空けて駐車してください。

T プレコンディショニングと充電の予約

Model X のプレコンディショニングと充電の予約について説明します。車両がより効率的に充電するため、または Model X の出発前の準備のために、プレコンディショニングを予約することができます。

注: また、空調画面、充電ウィンドウ、Tesla モバイルアプリ (v4.34.5 以上が必要) から「予約」にアクセスできます。

Model X は予約を作成した場所ごとに自動的に予約を保存します。「**現在地**」を選択すると、設定した予約はほぼ同じの物理的な場所に戻ったときのみ使用できます。

注: 予約充電は、Tesla のスーパーチャージャーを含む急速充電器では使用できません。作成した予約充電は、急速充電器で充電する際には無視されます。

予約の作成

プレコンディショニングと充電の予約を作成し、Model X にプレコンディショニングまたは充電をさせたい時間と曜日を指定します。予約を作成する方法:

1. 「コントロール」 > 「予約」の順にタッチします。
2. 予約を設定したい場所を選択してください。
 - 現在地 GPS 座標に基づく車両の現在地。

注: 現在地の予約を作成するにはパーキング状態である必要があります。
 - 自宅/職場: 自宅および職場の保存された場所。自宅や職場がない場合は、これらのオプションを選択することはできません (自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 169 を参照)。
3. 「プレコンディショニング」をタッチして、車両にプレコンディショニングを適用する時間と頻度を設定します。
4. 「充電」をタッチして、開始時間、終了時間、および充電の頻度を設定します。
5. 「作成」を選択して予約を作成します。

注: 「毎週繰り返す」がトグルされていない場合、Model X は一度だけ予約を実行します。その後、手動で予約を再度有効にするまで、車両は予約を無効にします。

予約充電の使用

予約充電を作成または有効にすると、充電のために車両にプラグを差し込むことができます。当日の遅い時間にプレコンディショニングや充電を予約した場合、Model X はその時間までプレコンディショニングや充電を待機します。

予約が重なる場合、必要に応じて車両は充電に最も長い時間帯を使用します。例: 午前 2 時と午前 3 時に充電を開始し、午前 2 時 30 分と午前 5 時に充電を停止するように Model X を予約すると、車両は午前 2 時から午前 5 時までの 2 つの予約充電を 1 つの時間帯にまとめます。

指定された「**終了時刻**」はあるが、**開始時刻**は指定されていない場合、車両は予約された充電の際にプラグを差し込むときに一時的に電力を引き、必要な開始時刻を計算します (クリック音が聞こえる場合があります)。例: 「**終了時刻**」を午前 2 時に設定し、車両が充電制限を満たすには 2 時間の充電が必要です。

午後 9 時に車のプラグを差し込むと、Model X は開始時間を計算するために短時間電力を消費し、午前 12 時に充電を開始します。

「**開始時刻**」を指定し、「**終了時刻**」を指定しない場合、車両は指定された時刻に充電を開始し、充電の上限に達するまで続きます。

「**予約充電**」がすぐに開始される場合もあります。これらのシナリオは、Model X がプラグインされているときに発生する可能性があります。

- 予約充電の最中。
- 「**終了時刻**」が指定されていない場合は、予定充電開始後最大 6 時間まで。
- 次の予約充電が 18 時間以上先であり、当日でない場合。
- 「**開始時刻**」を設定しておらず、「**終了時刻**」までに充電制限に達する時間が足りない場合。

注: Model X 予約充電の**終了時刻**から 6 時間以内に車両にプラグを差し込んだ場合、次の予定充電がない限り、充電は自動的に開始されません。

オフピーク料金が適用されない市場地域でも、出発予定時刻に充電が完了するように予約を組むことで、エネルギーコストを削減することができます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。したがって、オフピーク料金が適用されない場合でも、Tesla では、出発予定時刻を予約する「**終了時刻**」として指定することにより、エネルギー消費量を削減するため、予定の出発時刻まで充電することを推奨しています。

プレコンディショニング

「**プレコンディショニング**」を使用して、Model X を運転可能にする時間を予約します。Model X はプレコンディショニングをいつ開始する必要があるかを自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実にキャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

設定した出発時刻には、「**プレコンディショニング**」でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。「**プレコンディショニング**」を予約しない場合、Model X はバッテリーが冷えすぎて充電できない場合に充電前にバッテリーを暖めるだけで、車内環境を整えることはありません。

注: Model X のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20%を超えている場合に限りプレコンディショニングが作動します。

プレコンディショニングは、次回運転するときの航続距離を延ばすのにも役立ちます。プレコンディショニングされたキャビンとバッテリーは、運転開始時に消費するエネルギーが少なくなります。プレコンディショニングにより、ヒートポンプを備えた車両では、運転中にバッテリーの熱を利用してキャビンを暖めることができるため、エネルギー消費を削減できます。



電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わり下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（[回生ブレーキ ページ 97](#) を参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたままですると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティーのアクセサリ（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンをプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla またはサードパーティーのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で行うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速とスピードの制御を支援するために、「コンフォート」モード（「[コントロール](#)」 > 「[ペダル&ハンドル](#)」 > 「[加速](#)」にタッチ）およびスピードアシスト（[スピードアシスト ページ 148](#) 参照）の使用を検討してください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model X を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（[回生ブレーキ ページ 97](#) を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を抑えます。車内を空調で暖房するより、シートヒーターおよびヨーク（またはハンドル）ヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。

- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態、モバイルアプリから「[空調](#)」 > 「[空調をオン](#)」の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（[モバイルアプリ ページ 75](#) を参照）。
- 「[予約](#)」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 188](#) を参照）。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195](#) 参照）で充填したうえで必要に応じて、タイヤ位置を交換するようにします（[メンテナンスサービスの間隔 ページ 193](#) 参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべての窓を完全に上げます。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベル オフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、Model X がドライバーにそのことを知らせます。

レンジプランナー

Model X に表示される航続距離は、残存バッテリー エネルギーの推定量であり、EPA 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。インストルメント パネルに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなる場合があります。

注: 定格航続距離は、米国では EPA 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。



ナビゲーション検索バーの「[充電ポイント](#)」にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーションチャージングサイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えられます。

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model X がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。



航続距離を最大限に伸ばす

トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーチャージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「トリッププランナー」の順にタッチします。

エネルギー アプリ

エネルギーアプリでは、車両の推定エネルギー使用量をリアルタイムに視覚的に表示します。



1. 下側のバーにあるアプリランチャー（3つの点）の中にあるエネルギーアプリを探します。
2. タッチしてエネルギーアプリを開き、いろいろなタブを選択します。エネルギーチャートの色付きの線は実際の走行時のエネルギー消費を示しており、灰色の線は予測使用量を示します。

注: 「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」の順にタッチして表の値をカスタマイズできます。

- **ドライブ:** 走行中に使用されるエネルギー量を監視します。カテゴリごとのリアルタイムのエネルギー消費を追跡し、さまざまなベースライン予測に対して比較を行い、エネルギー効率の向上させ方を理解するために、ご自分のドライブに特化した航続距離に関するアドバイスを表示します。
 1. 目的地への移動中に「トリップ」を選択すると、予測に対して実際の使用量を比較します。
 2. 「定格値」を選択すると、利用可能な推定走行距離（またはエネルギー）に対して実際のエネルギーまたは航続距離の使用量を比較します。
 3. 「現在の走行」を選択して現在の走行から得られたデータを表示するか、「前回の充電以降」を選択して車両が最後に充電されて以降のデータを含めることができます。
 4. 「航続距離に関するヒント」を表示すると、バッテリー消費量に関する影響と、航続距離および効率を最大化するための提案を理解することができます。
- **パーキング:** Model X がパーキングにシフトしている間に喪失するエネルギー量を監視します。
 1. 「前回の走行以降」または「前回の充電以降」のどちらかを選択します。
 2. 車両がパーキングにシフトしている間に消費されるアイドルエネルギー量と、エネルギー喪失を減少させるための提案を表示します。
- **消費量:** これまでの 300 km における車両の実際の消費電力を Model X の定格消費電力と比較します。消費量は Wh/マイルで測定されます。この値が低いほど航続距離は長くなり、この値が高いほど、航続距離は短くなります。
 - **平均消費量**は、あなたの車両が 1 マイル走行する際に使用する電力量の平均で、走行ルート、運転のくせ、および環境に基づいて変化します。

- **定格消費量**は、EPA が設定する標準的の走行条件に基づく一定の値です。この値は、ディスプレイが距離に設定されている場合（「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」）に、タッチスクリーン上でバッテリーの残電力を求めるために使用されます

予測航続距離はバッテリー残電力と平均消費量を使用して計算されます。航続距離を伸ばす方法について詳しく知りたい場合は「ドライブ」タブを使用してください。



新しいソフトウェアの読み込み

Tesla は車両のソフトウェアをオーバー ジェア (OTA) 方式でアップデートし、定期的に新機能を提供しています。Tesla では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアのアップデートを一番速く確実にを行うため、常に Wi-Fi をオンにし、できる限り Wi-Fi に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合で、ソフトウェアのアップデートをダウンロードするために車両を Wi-Fi に接続する必要があります (Wi-Fi ページ 78 参照)。

新しいソフトウェアのダウンロードとインストール

新しいアップデートを受けるには、ソフトウェアをダウンロードする (Wi-Fi が必要) かインストールするという 2 つの方法があります。ダウンロードやインストールは、Tesla モバイルアプリを使用して簡単に開始できます。

ダウンロード

ソフトウェアのアップデートをダウンロードすることが可能になると、ダウンロードが自動的に開始され、タッチスクリーンの上部に緑色の矢印が表示されます。車両が Wi-Fi に接続していない場合、ダウンロードアイコンが黄色で表示されます。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている時も運転はできますが、Wi-Fi 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に時計アイコンが表示されます。

注: ソフトウェアのアップデートを最も速くそして確実にダウンロードするには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしてください (Wi-Fi ページ 78 を参照)。

インストール

ソフトウェアをインストールしている間は、運転することができません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストールを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンにタッチします。すぐにインストールを開始する場合は「**今すぐインストール**」を、インストール開始時間を選択する場合は「**この時間に設定**」にタッチします。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。予約したアップデート時刻に Model X を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」の順に移動しても、ソフトウェアのアップデートを表示、ダウンロード、インストールすることができます。可能であれば、Wi-Fi に接続してアップデートをダウンロードしてください。

エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモード、スマート コンディショニングなど、特定の機能が有効な場合、ソフトウェアのアップデートは実行されません。

注: エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません (エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 159 を参照)。

注: 必要に応じて、Tesla ではセルラー接続を用いてソフトウェアアップデートを送信します。

注: 一部のソフトウェアのアップデートでは完了するまで約 30 分かかります (さらに時間のかかるものもあります)。Model X ソフトウェアのアップデート中は、ギアをパーキングにシフトしておく必要があります。

⚠ 警告: ソフトウェアのインストール中は、車両を使用しないでください。インストールの進行中は、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となったりする場合があります。運転することで車両に損傷が生じる場合があります。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」で、車両のために用意されたアップデートを受け取る時期を選択することができます。早く受け取るには「**Advanced**」を選択してください (追加リリースがあります)。他の人がインストールするまで待つ場合 (結果的にリリース数が少なく済む) は、「**標準**」を選択してください。「**Advanced**」を選択しても、早期取得プログラムに車両が登録されるわけではありません。

Tesla は、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行っているわけではありません。「**Advanced**」を選択し、常に Wi-Fi に接続 (Wi-Fi ページ 78 参照) しておくことで、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。

ソフトウェアのアップデートが正しく完了しなかったことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示された場合、次のソフトウェアのアップデートまで待ってから、車両へ展開してください。

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェアアップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートをできるだけ早くインストールしてください。ソフトウェアアップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタル メディア デバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、Tesla サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

充電中

ソフトウェアアップデートの開始時に Model X が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェアアップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。

リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「リリース ノート」にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model X に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。



定期サービス

Tesla では、Model X の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

車両の警告に関する追加情報については、[トラブルシューティングのアラート ページ 231](#) を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：4年毎（必要に応じて交換）*。
- キャビンエアフィルター交換：3年ごと
- HEPA フィルターおよびカーボンフィルターの交換 3年ごと。
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル (20,000km) ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- 10,000 km ごと、あるいはトレッド深さの差異が 1.5 mm 以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

*けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注: 上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で実施することが必要になる可能性があります。また、上記一覧は包括的なものではなく、フロントガラスワイパー、ブレーキパッドフルード類および冷媒などの消耗部品は含まれていません。

注: Tesla で認定されていない整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

自主メンテナンス手順および情報については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

整備の予約

モバイルアプリから、簡単にサービスを予約することができます。「サービス」にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイルアプリの指示に従ってください。以下に示す詳細情報をできるだけ多く提供していただくと、サービスチームが懸念事項の原因を特定するのに役立ちます。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度(該当する場合)。
- 環境条件(雨、雪、低温など)。
- 道路の名称と種類(該当する場合)。
- レーン標識の質(該当する場合)。
- 適用された車両設定。

- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は <https://www.tesla.com/support/service-visits> をご覧ください。

毎日のチェック

- インストゥルメントパネル、またはモバイルアプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします (タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195 を参照)。
- エクステリアライト、ホーン、ウインカー、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネル上の予期せぬインジケータライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキングブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

注: Model X は回生ブレーキ (回生ブレーキ ページ 97 を参照) を使用しているので、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします (シートベルト ページ 48 を参照)。
- Model X の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっても (空調システムの除湿プロセスによる)、異常ではありません。
- Model X の外周を目視して、直ちに腐食性物質 (鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など) を取り除き、塗装へのダメージを防いでください (洗車 ページ 201 を参照)。

週ベースのチェック

- 湿気の多い時期は、オートパイロットのカメラを毎週洗浄してください (カメラのクリーニング ページ 201 を参照)。乾燥している時期は、1 か月ごとに洗浄してください。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します (フロントガラスウォッシャー液を補充 ページ 205 を参照)。
- 空調システムが正しく動作していることを確認します (空調を操作する ページ 157 を参照)。

T メンテナンスサービスの間隔

注: 車内を冷房するほか、エアコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、Model X がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態です。内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。

定期的なチェック

必要に応じて以下のチェックを行います：

- ほこりの多い場所や汚染された場所を走行すると、時間の経過とともにラジエーターが詰まることがあります。これは空気の流れや暖房/エアコンの性能に影響を与えることがあります。モバイル アプリでサービスを予約してください。
- 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、カメラ筐体内（カメラ ページ 23 を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。

メンテナンスの概要

「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順に移動することで、メンテナンス項目の現在の状態を表示できます。

「メンテナンスの概要」では、フロントガラスワイパーブレードやフィルター類などの定期的メンテナンス項目の最終実施日を追跡して、次の実施時期を提案します。あなたは自分で実施することもできますし、Tesla や独立した修理会社に支援を依頼することもできます。メンテナンスが完了したら、車両のタッチスクリーンでそのメンテナンス項目をリセットすることができます。Model X はタイムスタンプおよび該当する情報（現在の通算走行距離など）をキャプチャし、次回の通知のためにメンテナンス項目をリセットします。これまでに実施した整備の記録をご自身および将来のオーナーが確認できるように、車両の整備記録は常に車両と一緒にして保管してください。整備記録は工場リセットの影響を受けません。

注: サービス訪問の際、Tesla はメンテナンスの概要を必要に応じて更新しますが、情報に関して、とりわけ個人の修理会社や DIY 手段で実施されたサービスおよびメンテナンスに関する情報の正確性を確保することは、車両オーナー様の責任です。

液の定期交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は Tesla または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービス マニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

- ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常動作させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。ソフトウェア アップデート ページ 191 を参照してください。

Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

高電圧安全性

お客様の Model X は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model X に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

 **警告:** Model X の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

 **警告:** 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないでください。冷却ファンの中には、Model X がパワーオフの状態でも動作するものがあります。

 **警告:** 自動車で使用される液体（バッテリーの酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシュャー添加剤など）の中には有毒なものがあります。これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。



タイヤ空気圧の表示

タイヤ空気圧はタッチスクリーンの「コントロール」>「サービス」の順にタッチして表示します。各タイヤの空気圧は、最後にタイヤ空気圧を測定した時刻と共に、Model X を視覚化して表示されます。タッチスクリーンには車両の推奨冷却タイヤ空気圧も表示されるので、タイヤの加圧量を簡単に求めることができます。また、タイヤ空気圧を BAR と PSI のどちらを使用して表示するかを、「コントロール」>「表示」>「タイヤ空気圧」の順にタッチして選択することができます。

Tesla モバイルアプリでタイヤ空気圧を表示することもできます。

注: ビジュアライゼーションにタイヤ空気圧を表示するには、車両を短時間走行させる必要がある場合があります。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤの荷重ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

トレーラーをけん引している時は、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を使用しないでください。代わりに、オーナーズマニュアルの(牽引とアクセサリ ページ 113 参照)。



1 つ以上のタイヤの空気圧が適正でない場合、インストールメントパネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧の調整後もしばらくは消えませんが、タイヤを推奨空気圧にした後は、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させた状態で、25 km/h を超える速度で 10 分以上運転すると、タイヤ空気圧表示灯が消灯します。

Model X の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、TPMS の故障が検出されています (TPMS の不具合 ページ 199 を参照)。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 6°C 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。



警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。



警告: タイヤ空気圧低下表示灯は、通常の運転条件で、タイヤの空気圧が推奨基準値 (「タイヤと積載荷重情報ラベル」に記載) を下回った場合にのみ、運転者に警告します。これは、積載荷重に基づいて、タイヤの空気圧が低い状態を警告するものではありません。



警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1.6 km ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model X が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにある「タイヤ情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。

注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。

5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ (膨らみ)、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないかを定期的に点検してください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: タイヤが損傷している、過度に摩耗している、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model X を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。さらに、タイヤの内側のショルダー部分の摩耗にも注意してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 3 mm 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 4 mm 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model X 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケーターが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 2 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェアインジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーン現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

Tesla では、10,000 km ごと、あるいはトレッド深さの差異が 1.5 mm 以上になったときに、タイヤのローテーションを実施することを推奨しています。

タイヤローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロードノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。

前後でサイズが異なり、回転方向に指定のないタイヤを装着している車両の場合、左右でローテーションできますが、前輪と後輪のサイズが違うため、前後でローテーションすることはできません。左右でローテーションして、各タイヤの回転方向を変更すると、ショルダーの摩耗のバランスが取られることで、トレッドの寿命を延ばすことができます。

ホイールバランスが悪い(ヨーク(またはハンドル)からの振動によって気付くことがあります)と、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合(タイヤの片側のみ摩耗)または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。ローテーションや交換といったタイヤの整備をする必要がある場合、タイヤの構成をリセットして(タイヤ構成 ページ 198 参照)ドライビングエクスペリエンスを向上させてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model X を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク(6 mm 未満)を応急修理することもできます。これにより、Model X を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model X を長期間動かさないと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model X を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれて元の形状に戻り、しだいにこの振動は消えます。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- 穴や障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、6年ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。

タイヤがパンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの 1.5 mm 以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 4本のタイヤがすべて同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイ



タイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、タイヤ販売専門業者や取付業者にお尋ねください。タイヤを交換するまたは別のものを取り付ける場合、タイヤ構成をリセットします（[タイヤ構成 ページ 198](#) 参照）。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビングエクスペリエンスが向上します。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤがリムに完全に吸着するまで最大で 24 時間かかることがあります。この期間は、タイヤがリムで滑らないように急加速は避けてください。

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセット使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度（[タイヤのマーキングについて ページ 218](#) を参照）が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model X に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、[ホイールとタイヤ ページ 217](#) を参照してください。

ホイール交換時には、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎる、または高すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります（[タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット ページ 199](#) 参照）。

注: 冬のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計され、タイヤ交換の後、中程度のトルクで直線に加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要があります。「サービス」 > 「ホイールとタイヤ」 > 「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

警告: 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています（[タイヤのマーキングについて ページ 218](#) を参照）。

非対称タイヤ

Model X のタイヤの一部は非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が表示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

エアロ カバーの取り外しと取り付け

Model X にエアロ カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにエアロ カバーを取り外す必要があります。

エアロ カバーを取り外す:

1. 両手でエアロ カバーを掴みます。
2. エアロ カバーを手前に引いて支持クリップを外します。

エアロ カバーを取り付ける:

1. エアロカバーをバルブ ステムに合わせます。
2. カバーの中央部をしっかりと押し固定した後、次に各スポークの外周をしっかりと押し込みます。全てのスポークが固定されるまで、カバーの反対側を持つ必要があるかもしれません。
3. カバーを手で叩かず中央部をしっかりと押し付けて固定します。
4. 最終チェックとして、各スポークを素早く引っ張り、所定の位置に固定されていることを確認します。

注意: エアロ カバーの脱落を防止するため、完全に固定されていることを確認してから、運転するようにしてください。

ラグ ナット カバーの取り外しと取り付け

Model X にラグ ナット カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにラグ ナット カバーを取り外す必要があります。

ラグ ナット カバーの取り外し方:

1. Tesla の「T」のベース部分にある穴に、装備されていればラグ ナット カバー ツール（一部の車両ではグローブボックス内に装備、またはベットの小型六角棒スパナを使用）の湾曲部分を挿入します。

注: ラグ ナット カバー ツールは、自動車部品店やオンラインショップで購入することもできます。



タイヤのお手入れとメンテナンス



- ラグナットカバーツールがラグナットカバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
- 湾曲した部分がラグナットカバー中央に触れるように、ラグナットカバーツールをひねります。
- ホイールからラグナットカバーが外れるまで、ラグナットツールをしっかりと引っ張ります。



ラグナットカバーの取り付け方:

- ラグナットカバーの位置を合わせます。
 - ラグナットカバーを強く押して元の位置に取り付けます。
- 注意:** 落下を防止するため、運転する前にラグナットカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、「コントロール」>「サービス」>「ホイール&タイヤ」>「ホイール」の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、Model X が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、Model X に取り付ける予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバターに表示されるホイールも変更されます。

前後異径のホイールを取り付けている車両の場合には、フロントとリアでホイールのサイズが異なりますので留意してください。タイヤの側面に記載されているフロントのタイヤサイズとリアのタイヤサイズを見て、サイズが合致しているか異なるかを確認します。ホイールのサイズが前後で異なる場合、以前のホイールと同様に取り付け新しいホイールが前後で異なるよう十分に注意を払ってください。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。

警告: ホイールを取り付けたり交換するときには、Tesla 認可のホイールのみを使用してください。Tesla で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。Tesla は、Tesla が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。

タイヤ構成

最後のタイヤローテーションまたはタイヤ交換からの走行距離を表示するには、「コントロール」>「サービス」の順にタッチして「最後のタイヤサービス」の下を確認します。Model X のタイヤをローテーションした、交換した、または入れ替えた後は、「リセット」にタッチするか、同じ画面から「ホイール&タイヤ」>「タイヤ」の順にタッチして、車両のタイヤ構成を更新します。これにより車両が学習したタイヤ設定はリセットされ、ドライビングエクスペリエンスが向上します。サービスタイプを更新すると、車両のメンテナンスの概要にエントリーが追加されます（詳細については「メンテナンスの概要」ページ 194 を参照してください）。

車両が冬用タイヤを装着していることを確認してください。スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のアイコンが表記されています。詳細情報については、スタッドレスタイヤ ページ 199 を参照してください。

注: 車両のタイヤ構成を変更すると、一時的に加速および回生ブレーキのレベルに影響が及ぶ可能性があり、タイヤローテーションまたはタイヤ交換後のみで行う必要があります。

タイヤ空気圧監視



Model X にはタイヤ空気圧監視システムが装備されており、タイヤの空気圧が著しく不足している、または過剰である場合に、タイヤ空気圧インジケータライトを表示してドライバーに警告します。詳細については、運転席ドアピラーにある「タイヤ情報」ラベルを参照するか、タイヤ空気圧の保守 ページ 195 を参照してください。

各タイヤは、スペアタイヤ（装着されている場合）を含め、毎月冷間時に点検し、車両プラカードまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されている、車両メーカー推奨の空気圧まで空気を入れてください。（車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。）

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されており、1本または複数のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯します。したがって、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯したら、できるだけ早く停車してタイヤを点検し、適正空気圧まで空気を入れてく



ください。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

次のことにご注意ください。TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに代わるものではありません。空気圧不足が TPMS タイヤ空気圧低下警告灯の点灯レベルに達していなくても、タイヤの空気圧を適正に保つことはドライバーの責任です。

TPMS の不具合

お客様の車両には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障指示灯も搭載されています。TPMS 故障指示灯は、タイヤ空気圧低下警告灯に組み込まれています。システムが故障を検出すると、指示灯が約 1 分間点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後車両を始動するたびに繰り返されます。

故障指示灯が点灯した場合、システムがタイヤ空気圧の低下を意図したおりに検知したり、信号を伝えたりできない可能性があります。タイヤまたはホイールの交換などさまざまな要因によって TPMS の故障が発生し、TPMS が正しく作動しない場合があります。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障指示灯をチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。



TPMS 故障インジケータは、タイヤ空気圧インジケータ ライトに組み込まれています。Model X が TPMS に不具合を検出する場合、Model X の電源を入れるたびにこのインジケータが 1 分間点滅します。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換やローテーションは含まれません）、タイヤ空気圧警告を正確にするために TPMS センサーをリセットします。時速 25 km 以上で 10 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。

注: ホイールを交換した後時速 25 km で 10 分より長く走行するまでは、誤ったタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケータが頻繁に表示される場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約をし、タイヤ センサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイドウォールにある情報を確認してください（[タイヤのマーキングについて ページ 218](#) を参照）。

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オールシーズン タイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」(mud and snow) と表記されています。

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Tesla はウィンター タイヤの使用を推奨します。



警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、サマー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全と Model X の十分な性能を発揮するためには、適切な冬用タイヤを選択し、装着することが必要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず 4 輪ひと組で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています (タイヤのマーキングについて ページ 218 を参照)。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ (夏用) は外気温が 5°C 以下になるとトラクションが低減するので、冰雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることもあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪道でのトラクションを高めるための次のタイヤチェーン (スノーチェーン) を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リアタイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤ サイズ	推奨チェーン
20 インチ	König K-Summit K67

22 インチ タイヤにはタイヤチェーンを使用しないでください。

注意: サマータイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- エアサスペンションを「Medium」に設定し (エアサスペンション ページ 99 を参照)。
- Model X に重量物を積載しないでください (重量物の積載はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 48 km を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

注意: 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

注意: 前輪にはスノーチェーンを使用しないでください。

注意: チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

注意: チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model X との接触を示す異常なノイズが聞こえたら、ただちに停車して、確認してください。

外装のクリーニング

塗装への損傷を防ぐため、腐食性物質（油脂、鳥のフン、樹液、虫の死骸、タール汚れ、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、ただちに除去してください。Model X の次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールトールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照）。

Model X の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイールウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイールウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。
2. きれいでやわらかい布、冷水、またはぬるま湯、およびを使用して Model X を手洗します。中性の高品質自動車用洗剤。

 **注意:** 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリムピース、エクステリアライト、カメラレンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカークリーニングフォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物またはその他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. セーム革で徹底的に拭いて乾かします。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

イソプロピルアルコール ワイブ（ガラスや画面の汚れ落としに使用する物）で小さな汚れを落とします。

窓のクリーニングと手入れ

自動車用のガラスクリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリアガラスのクリーニングに関するベストプラクティスについては、[外装のクリーニング ページ 201](#) の指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロントガラスには実施しないでください。さもないとオートパイロットカメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。

注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。

洗車モード

Model X を洗車機に入ると、洗車モードによってすべてのウィンドウが閉じ、充電ポートがロックされ、ワイパー、セントリーモード、降車後オートロックおよびパーキングセンサーチャイムが無効になります。有効にするためには「コントロール」>「サービス」>「洗車モード」の順にタッチします。車両は、停止した状態にし、充電は行わないでください。

自動洗車機を使用する場合、「フリーロールを有効にする」によって車両はニュートラルになり洗車中はフリーロールが有効になり、ドライバーが運転席を離れても Model X のパーキングブレーキがかからないようになります。有効にするためにはブレーキペダルを踏み、「フリーロールを有効にする」にタッチするか、ニュートラルにシフトします。

車速が 15 km/h を超えるか、タッチスクリーンで「終了」にタッチすると洗車モードは無効になります。

 **注意:** Model X を「洗車モード」しないと、損傷を招く恐れがあります（充電ポートやフロントガラスのワイパーなど）。洗車により生じた損傷については、保証の対象になりません。

カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。カメラを洗浄する方法は、車両の製造時期に基づき 2 つあります。

2023 年 1 月 12 日ごろより前に製造された車両の場合: 土や破片の堆積を取り除くには、スプレーボトルを使用してカメラレンズに水を噴射します。レンズを露出させ、手や布で擦って土や破片を拭き取ろうとしないでください。破片を擦ると、レンズ表面に擦り傷がつくことがあります。

2023 年 1 月 12 日ごろに製造された車両の場合: 土や破片の堆積を取り除くには、カメラレンズに水を噴射し、マイクロファイバーの布で乾かしてください。カメラの洗浄は、雪、雨、みぞれなどの湿気が多い時期は毎週、乾燥している時期は 1 か月ごとに実施してください。

注: 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、フロントカメラ筐体内（[カメラ ページ 23](#) を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイルアプリでサービスを予約してください。

 **注意:** 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、レンズの表面が損傷するおそれがあります。

 **注意:** 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

 **注意:** 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。



洗車

- ⚠️ 注意:** フロントガラスには水処理液を使用しないでください。水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。
- ⚠️ 注意:** 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品（特に水酸化物を含むもの）を使用しないでください。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象になりません。
- ⚠️ 注意:** 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model X の表面から 30 cm 以上離してください。パーキングセンサー（装備されている場合）に直接水流を向けないでください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。
- ⚠️ 注意:** ホースの水をウィンドウシール、ドアシール、フードシールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。
- ⚠️ 注意:** 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。
- ⚠️ 注意:** 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。
- ⚠️ 注意:** 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model X の表面にブラシなどが一切触れないで洗車します。
- ⚠️ 注意:** 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。
- ⚠️ 注意:** ワイパーの損傷を避けるために、Model X を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。
- ⚠️ 注意:** 化学物質系のホイール クリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。
- ⚠️ 警告:** Model X を充電している間、充電ポートに高速で液体を絶対にかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。一般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグ カバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

室内灯

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

室内照明には石けんや化学洗浄剤を使用しないでください。一般用の洗浄剤や物質は、照明のレンズや部品を劣化させ、時間の経過とともにひび割れや損傷を引き起こす可能性があります。Tesla では、室内照明のクリーニングには、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布を使用し、汚れた部分やシミを優しく拭き取ることを推奨しています。室内照明には以下の照明が含まれますが、これらに限定されません（装備されている場合）:

- 足元スペース
- パドル
- 予測
- ドームライト
- アンビエント

石けんやマイルドな非界面活性剤クリーナーでインテリアをクリーニングする場合、まずすべての照明を以下のような何らかの手段で保護することを Tesla では推奨しています:

- 布。
- マスキングテープ。
- プラスチックフィルム。
- 車両インテリア用保護カバー。

シート

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

お客様の車両のシートは、レザーよりも柔らかく、耐久性に優れ、汚れに強い、特別な持続可能なヴィーガンレザーで作られています。Tesla では、性能と新車同様の外観を維持するために、車内の定期的な清掃と掃除機がけを推奨しています。万能クリーニングキットを [Tesla ショップ](#) で販売しています。

一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れることのないようにしてください。このような物質は、時間の経過とともに損傷、劣化、変色を引き起こす可能性があります。

一般的な汚れやシミは、内装の表面からできるだけ早くこぼした液体や化学物質の残留物を拭き取ってください。柔らかい布（できればマイクロファイバー）をぬるま湯と中性石鹸で湿らせ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります。その後、糸くずの出ない柔らかい布で水分を拭き取ります。ドライヤーで乾かさないうでください。石鹸以上のものは、刺激が強すぎる場合があります。他のクリーニング溶液、消毒剤、コンディショナー、保護剤の使用は推奨されません。

白色のシートの場合：最後の手段として、柔らかい布（マイクロファイバーなど）にぬるま湯とイソプロピルアルコールを含ませ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります（黒色のシートにはこの方法を使用しないでください）。イソプロピルアルコールが残っている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。イソプロピルアルコールを過度に使用したり、長時間使用したりすると、素材の上塗りを傷め、汚れやすくなり、また保証を受けることができなくなります。

注意: アルコール、漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）、柑橘類、ナフサ、シリコン系の添加物を含む製品は使用しないでください。シートに直接スプレーをかけないでください。シートベルト機構に水が入らないようにしてください。

さまざまな衣服、アクセサリ、化粧品には染料や油分が含まれている場合があります。時間が経つとシートに移染することがあります。このようなシミを防ぐのは難しく、損傷を与えることなくシミを取り除くことが不可能な場合もあります。

注意: Tesla 純正品ではない市販のシートカバーは使用しないでください。シートカバーはシートの汚れや損傷の原因となり、シートの乗員センサーの感度に影響を及ぼしたり、エアバッグの展開を制限したりするおそれがあります。

レザーシートの場合、革製品は色落ちしやすい傾向があるので、特に明るい色の革では、変色する可能性があることにご注意ください。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。洗剤や市販のレザークリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

注意: フロントシートにはマイク（[アクティブロードノイズリダクションページ 13](#) 参照）があります。液体が掛からないようにしてください。清掃時にマイクが損傷するのを防ぐために、これらのマイクが取り付けられているシート周辺を過度に濡らさないでください。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかに関わらず、洗剤や化学洗剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドアシール

湿らせた布でドアシールを拭いて汚れを取り除いてください。ドアシールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドアシールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。

タッチスクリーン、リアタッチスクリーン、およびインストゥルメントパネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用し、タッチスクリーンおよびインストゥルメントパネルを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。フロントタッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを作動させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「画面クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、「長押しして終了」を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

注意: 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。

注意: 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルを損傷する恐れがあります。

警告: エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

警告: 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。



洗車

- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的には外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチアップペンを使用します。

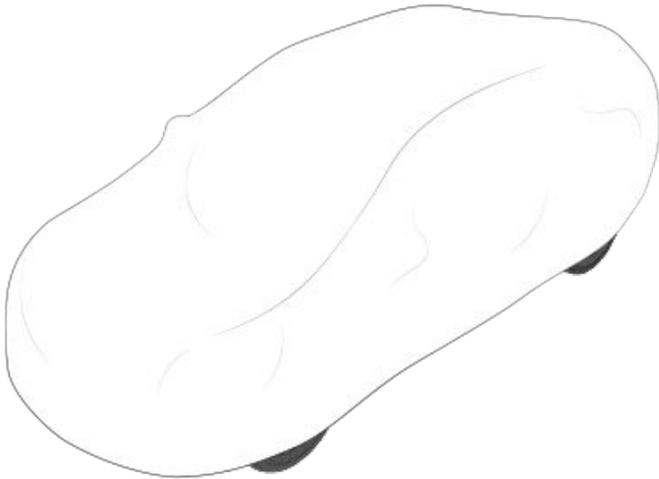
石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、<https://www.tesla.com/support/body-shop-support> をご参照ください。

! **注意:** カットニング ペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

! **注意:** クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model X を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla ショップから購入できます。



! **注意:** Model X に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、簡単に洗えるようにするためには、<http://www.tesla.com> でオンライン購入可能な Tesla 純正フロアマットを使用してください。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

! **警告:** マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上に重ねないでください。



フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバのみです。レベルが低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルター キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。
4. 液体がフィルターネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。



5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラー キャップを再び取り付けます。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model X がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: 自動車用のエタノールベースのフロントガラスウォッシャー液だけを使用してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象とならない損傷が発生する可能性があります。

注意: はっ水剤や虫洗剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が 4°C 以下の場合、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロントガラスの視界が妨げられることがあります。

警告: フロントガラスウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパーブレードの確認と清掃

定期的なワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果が下がる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパーアームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパーアームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果が無い場合は、ワイパーブレードを交換してください。

注: ワイパーが有効に機能していないと、フロントガラスのカメラの視認性が低下し、オートパイロット機能の性能低下や利用不可につながる可能性があります。詳細については、[カメラページ 23](#)を確認して、[オートパイロット制限と警告 ページ 137](#)を参照してください。

ワイパーブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパーブレードを少なくとも1年に1回交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ 650 mm、助手席側は長さ 530 mm である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパーアームに接続することができない可能性があります。

Tesla ショップから交換用のワイパーブレードを購入することができます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパーシステムおよびフロントガラスが損傷するおそれがあります。

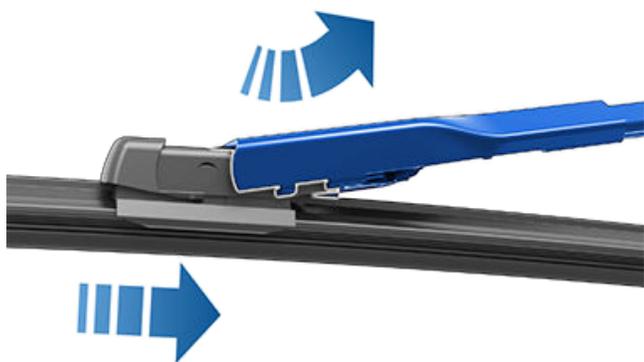


フロントガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液

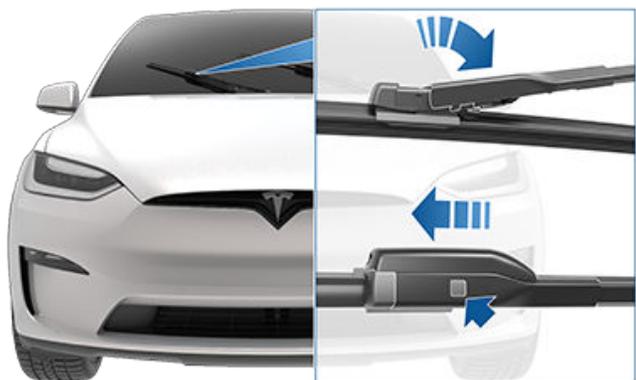
注: ワイパーの洗浄システムは、Model X のワイパー ブレードと一体になっています。

ワイパー ブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。
2. 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。
3. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。
⚠ 注意: ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。
4. ワイパー ブレードがワイパー アームから外れるまで、ゆっくり引き出します。



5. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパーアームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
6. アームにブレードをスライドさせるときは、ワイパーアームを持ち、ロックングタブを押します。
7. ワイパー ブレードを下げて、ワイパー アームに差し込み、所定の位置で固定します。



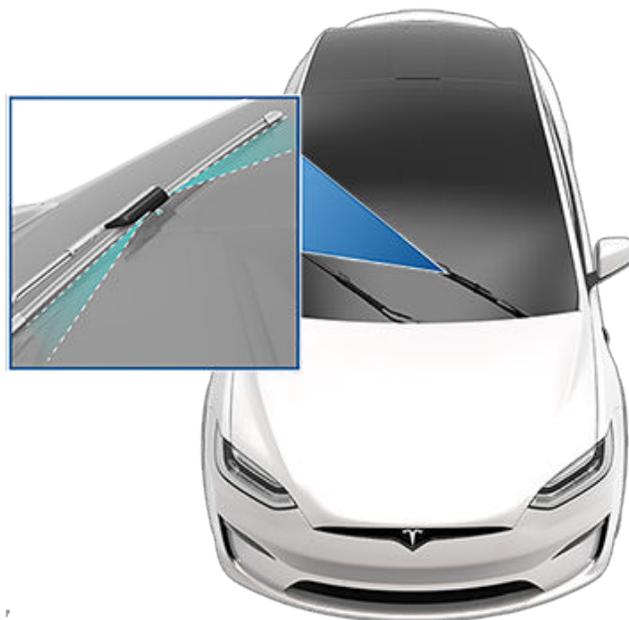
8. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。

⚠ 注意: 新しいブレードが所定の位置にロックされ、動かないことを確認します。押したり引いたりして確認します。ロックされていないと（ロックされると「カチッ」と音がして感触があります）、使用中にワイパーブレードが外れて重大な損傷につながるおそれがあります。

9. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常的位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャー液が噴射されない場合は、細いワイパーでノズル内のつまりを取り除いてください。



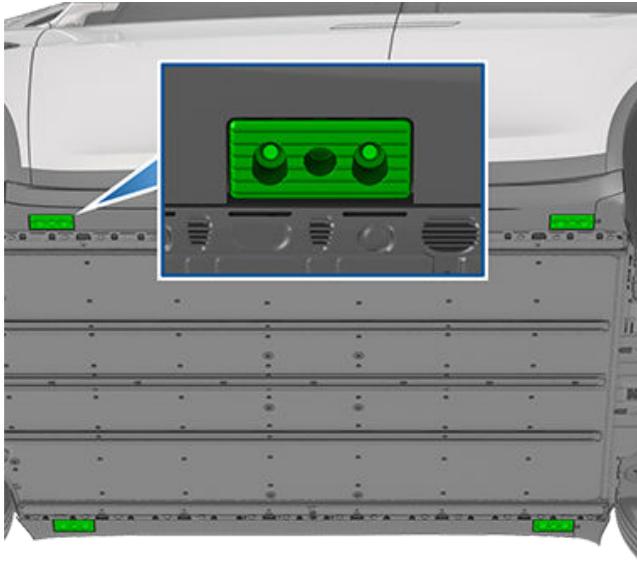
⚠ 警告: Model X の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液が眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。



以下の手順に従って Model X をジャッキアップします。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、リフト ポイントおよび警告を含め、これらの指示が理解されていることを確認してください。

1. Model X をリフト ポストの間に置きます。
2. Model X にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングをします (ジャッキ モード ページ 207 を参照)。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「サスペンション」の順にタッチします。
 - ブレーキ ペダルを踏んでから「極高」をタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ジャッキ モード」をタッチして、セルフレベルリングを無効にします。
3. ファルコンウィングドアを閉じてください。
4. リフトのアーム パッドを図に示す指定されたボディ リフトポイントの下側に当ててください。

警告: リフト アーム パッドをバッテリーの下側やサイドレールの下に配置しないでください。



5. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
6. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフトアーム パッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
7. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。
8. 車高を下げた後、「コントロール」 > 「サービス」の順にタッチしてジャッキ モードを解除します。

警告: エアサスペンション システムは、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングしようとしています。引き上げやジャッキ アップを行うときは、車両をジャッキ モードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。エアサスペンションを無効にしておかないと、Model X がセルフレベルリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中であっても絶対に Model X を持ち上げないでください。

警告: 正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: 車両およびその周囲を監視することは作業者の責任です。Model X を上げるまたは下げるときは、エリア内に何もいないこと、ならびにドア、フロントトランク、およびリフトゲートが必要に応じて損傷を防止するために閉じられていることを確認します。

注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフト アーム パッドは専用ボディ リフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model X で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model X を損傷した場合は保証対象にはなりません。

ジャッキ モード

警告: ジャッキ モードを有効にできなかった場合、車両がセルフレベルリングを行い、損傷、けが、または死亡につながる可能性があります。

Model X にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、車両は自動的にセルフレベルリングしようとしています。車両のジャッキアップ時やリフトアップ時は、損傷を避けるため、「ジャッキ モード」を起動してセルフレベルリングを無効にしてください。ジャッキ モードは自動的に実行されるセルフレベルリングを防止します。

注: 車両重量が何かの物体に支えられている (バンパーが縁石に乗り上げているなど) 場合など、ジャッキモードが予期せず有効になる場合があります。

部品、アクセサリ、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla からは Model X の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリは、Tesla ストアまたはオンライン (www.tesla.com) でご購入いただけます。

注: 車両にアクセサリを追加すると、予想航続距離や車両寸法などが影響を受ける場合があります。

注: アクセサリによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model X に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任は負いません。

⚠ 警告: 無認可の部品/アクセサリの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、Model X の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

⚠ 警告: 無認可のアクセサリの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

Model X が衝突した場合は、必ず Tesla の純正部品で修理できるように Tesla または Tesla 認定ボディショップにご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

キャビンエアフィルターの交換

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口からキャビンに入り込むことを防止するエアフィルターを備えています。これらのフィルターは 2 年ごとに交換してください (中国市場は毎年)。キャビンフィルターは **Tesla ショップ** で購入できます。

キャビンフィルターの交換方法:

1. 空調システムをオフにします。
2. フロント右側シートを完全に後方に移動します。
3. 足元スペースカバーをゆっくりと慎重に押し下げてマグネットを解除し、カバーの右にある電気ハーネスを外します。足元スペースカバーを脇に置きます。

4. キャビンフィルター ドア ロックをひねってロックを解除し、ドアを取り外して脇に置きます。
5. キャビンフィルターに印刷された空気の流れの方向に注意してください。フィルターの矢印は車両の後部に向けてください。
6. フィルターをスライドさせて HVAC モジュールから外します。
7. 新しいフィルターの矢印が車両後方に向いていることを確認して、新しいキャビンフィルターを HVAC モジュールに挿入します。
8. キャビンフィルター ドアを HVAC モジュールの上にスライドさせ、ドアを押してロックします。
注: ロックが完全にかかっていることおよびドアが密閉されていることを確認します。
9. フロント右側の足元スペース カバーを車両に配置し、電気ハーネスをカバーに接続します。
10. フロント右側の足元スペース カバーを取り付け、マグネット (3箇所) を所定位置で確実にロックします。
11. フロント右側シートを移動して元の位置に戻します。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー (多くの自動料金所システムで使用されるもの) を Model X の車内に取り付ける際は、図のようにフロントガラス最上部にトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。専用の配置については RFID の製造会社の指示を参照してください。

注: 防水トランスポンダーをフロント ライセンスナンバープレート。

ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。<https://www.tesla.cn/support/do-it-yourself-guides> () へ移動する際は、販売地域と/言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリの最新リストを表示してください。



注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で行ってください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

- 「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。車両の運転席側からフロントガラス越しに見えます。



- ドアピラーにある法定プレートに印刷されています。運転席側ドアを開くと見えます。



車両ラベル

車両の当初のタイヤ サイズおよび圧力、ならびに TPMLM（技術的に許容される最大ラベル質量）および TPMAM（技術的に許容される最大軸上荷重）を理解することが重要です。これらの情報は Model X に貼付されている 2 枚のラベルで確認することができます。



1. タイヤ情報ラベル
2. 法定プレート

注: Model X では、オプションのけん引パッケージが装備されている場合のみ、けん引を利用できます。

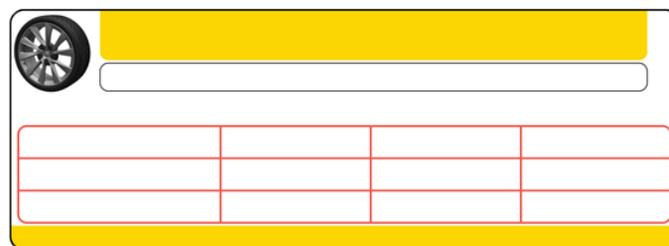
警告: Model X に過積載すると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model X が損傷する可能性があります。

注意: Model X に大量の液体を保管することは絶対に避けてください。液体を大量にこぼすと、電気部品が故障する原因となります。

タイヤ情報ラベル

タイヤ情報ラベルに記載されている情報は次のとおりです。

- 車両の最大座席数。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。



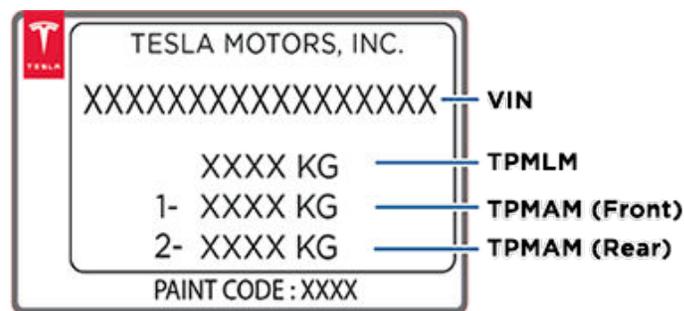
将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: Model X の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- TPMLM - 技術的に許容される最大積載質量。Model X の最大許容総質量。この値は、Model X、すべての乗員、液体および積載物の重量として計算されます。
- TPMAM - フロントアクスルおよびリアアクスルに対して技術的に許容される軸上の最大質量。TPMAM は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

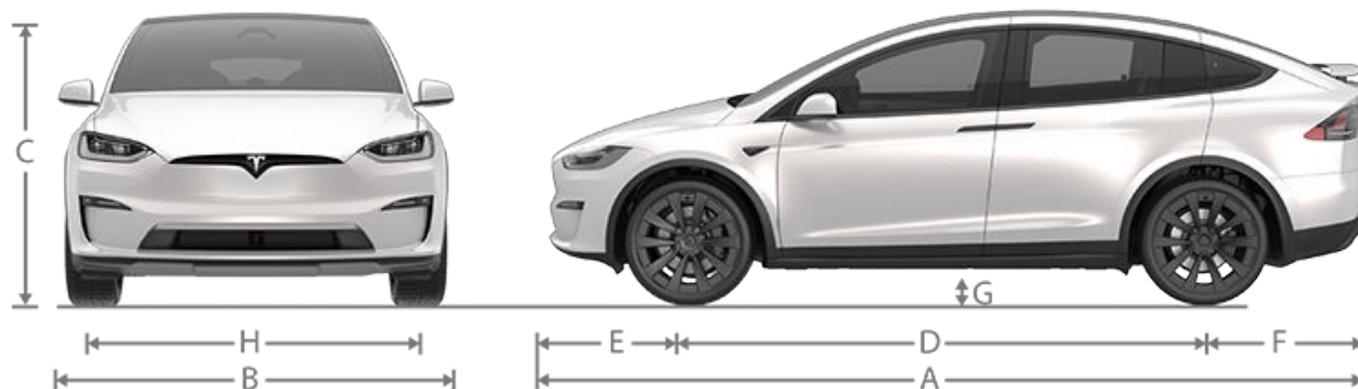


注意: 損傷を防止するために、車両が TPMLM より重くなったり、個別の TPMAM の重量を上回るような積載を Model X に行うことは絶対に避けてください。



寸法

外形寸法



引き出し線	説明**	測定値 (in)	測定値 (mm)
A	全長	199.1	5,057
B	全幅 (ミラー含む)	89.4	2,271
	全幅 (ミラー含まず)	78.7	1,999
C	全高*: - 車高を中間に設定	66.1	1,680
	- 車高を最高に設定**	68.5	1,740
D	ホイールベース	116.7	2,965
E	オーバーハング - フロント	38.9	988
F	オーバーハング - リア	43.5	1,104
G	最低地上高*: - 車高を最低に設定	5.7	146
	- 車高を中間に設定	6.6	166
	- 車高を最高に設定**	8.1	206
H	トレッド - フロント	67.1	1,705
	トレッド - リア	67.3	1,710

*値は概略値であり 20 インチホイールに基づきます。車両のオプションやその他さまざまな要因によって値が変化する場合があります。

**車両が輸送モードの場合、車高は自動的に最高に設定されます。

***車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。

⚠ 注意: 構成 (車高またはホイール選択) に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 2.5 m まで開くことができます。リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 38 を参照してリフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

エリア	列	測定値 (in)	測定値 (mm)
室内高	名	41.7	1,059
	2 列目 (5/7 シート)	41.0	1,042
	2 列目 (6 シート)	40.9	1,040
	3 列目	37.1	944
足元スペース	名	41.1	1,046
	2 列目 (5/7 シート)	38.7	983
	2 列目 (6 シート)	39.8	1,012
	3 列目 (6 シート)	32.2	819
	3 列目 (7 シート)	29.8	756
肩周りスペース	名	60.7	1,543
	2 列目 (5/7 シート)	56.9	1,446
	2 列目 (6 シート)	56.8	1,442
	3 列目	40.7	1,034
腰周りスペース	名	55.7	1,414
	2 列目 (5/7 シート)	58.9	1,496
	2 列目 (6 シート)	59.0	1,498
	3 列目	38.7	982

貨物量

5 シーター貨物量

エリア	容量 (リットル)	容量 (立方フィート)
フロントトランク	183	6.5
1 列目背後、2 列目が折り畳まれた状態	2,410	85.1
2 列目背後	1,050	37.1
ドライバーおよび助手席の乗客用の最大貨物積載容量	2,593	91.6
5 名乗車時の最大貨物積載容量	1,233	43.5

6 シーター貨物量

エリア	容量 (リットル)	容量 (立方フィート)
フロントトランク	183	6.5
1 列目背後、2 列目が最大貨物積載位置、3 列目が折り畳まれた状態	2,431	85.8
2 列目背後、2 列目が折り畳まれた状態	935	33
3 列目背後	425	15
ドライバーおよび助手席の乗客用の最大貨物積載容量	2,614	92.3
6 名乗車時の最大貨物積載容量	608	21.5



寸法

7シーター貨物量

エリア	容量 (リットル)	容量 (立方フィート)
フロントトランク	183	6.5
1列目背後、2列目が折り畳まれた状態	2,314	81.7
2列目背後、2列目が折り畳まれた状態	957	33.8
3列目背後	425	15
ドライバーおよび助手席の乗客用の最大貨物積載容量	2,497	88.2
7名乗車時の最大貨物積載容量	608	21.5

モータータイプ

モータータイプ	Model S Model X	Model S Plaid Model X Plaid
フロント/リア モーター	AC 永久磁石同期モーター、液冷式、可変周波数ドライブ	AC 永久磁石同期モーター、炭素繊維ラップ ローター、液冷式、可変周波数ドライブ (リアはモーター 2 基)

トランスミッション

トランスミッション	Model X	Model X Plaid
タイプ	単速固定ギア	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	フロント ユニット モーター: 7.56:1 リア ユニット モーター: 9.04:1	フロント ユニット モーター: 7.56:1 リア ユニット モーター: 7.56:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

ステアリング	仕様
タイプ	可変ラック アンド ピニオン式電動パワー ステアリング、速度感应型
ロック ツー ロック回転数	2.33
最小回転半径 (最外輪外面)	40.3 フィート/12.3 m

ブレーキ

ブレーキ	仕様
タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスドスタビリティ コントロール/ 電子アクセラレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 15.59 インチ/395 mm リア: 14.37"/365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26"/32 mm サービス限界: 1.18"/30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10"/28 mm サービス限界: 1.02"/26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.41"/10.5 mm (最小) サービス限界: 0.09"/ 2.3 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.33"/8.5 mm (最小) サービス限界: 0.11"/ 2.7 mm

ブレーキ	仕様
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー

サスペンション

サスペンション	仕様
フロント	独立懸架、ダブルウィッシュボーン、アダプティブ ダンパー付きエア スプリング、スタビライザー バー
リア	独立懸架、マルチリンク、アダプティブ ダンパー付きエア スプリング、スタビライザー バー

バッテリー - 低電圧

バッテリー - 低電圧	仕様
定格	毎時 6.9 アンペア
電圧	15.5V

バッテリー - 高電圧

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
公称電圧	DC 407 V
温度範囲	Model X を 149°F (65°C) を上回るまたは-22°F (-30°C) を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	サイズ	オフセット (mm)
20 インチ フロント	20 x 9.0J	40
20 インチ リア	20 x 10.0J	35
22 インチ フロント	22 x 9.0J	40
22 インチ リア	22 x 10.0J	35
ラグナットトルク		129lb ft (175Nm)
ラグナットソケット サイズ		21 mm

注: Model X をジャッキアップする方法については、[ジャッキ アップと引き上げ ページ 207](#) を参照してください。

タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤの種類	ロケーション	サイズ
20 インチ サマー	フロント リア	265/45R20 275/45R20
22 インチ サマー	フロント リア	265/35R22 285/35R22

適切なタイヤ空気圧は、装備されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤ情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは中央のドアピラー上にあり、運転席の側ドアを開けると確認することができます ([タイヤ空気圧の保守 ページ 195](#) を参照)。

冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。

タイヤのマーキングについて

タイヤメーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。



- 1. タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
- 2. タイヤ幅:** この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
- 3. アスペクト比:** この 2 桁の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
- 4. タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
- 5. ホイール径:** この 2 桁の数字はホイールリム径をインチ単位で示したものです。
- 6. 荷重指数:** この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
- 7. 速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度 (「Y」の定格を上回る)。
- 8. タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。



9. **最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
10. **最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11. **米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN)**。先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12. **トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐摩耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐摩耗性があります。
13. **トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14. **温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。

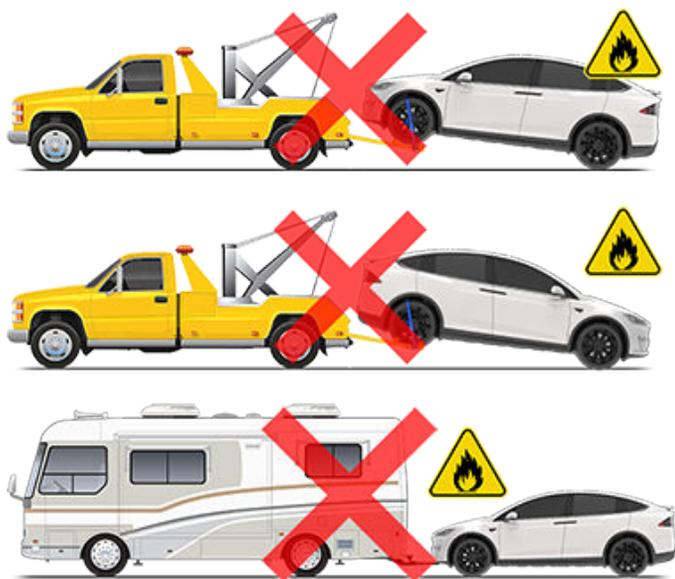


車両輸送者向け注意事項

ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

Model X に搭載されるフロントモーターおよびリアモーターはホイールが回転すると発電します。Model X を輸送する時は必ず4本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行わないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定している以外の方法で Model X の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: Tesla では、Tesla ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

Model X の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで Model X を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 55 km 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合、Tesla はフロントタイヤを浮かせて、リアタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを推奨しています。

注: フロントホイールをタイヤスケートに載せて Model X を輸送することは推奨されませんが、ヨーク（またはハンドル）に外部ホイールロックなどを使用してフロントタイヤを固定し、タイヤが回転しないよう細心の注意を払って実施できる場合はこの限りではありません。

注意: いずれかのホイールが空転する恐れがある状況では絶対に車両の輸送を行わないでください。



注意: 平ボディトラックに Model X をウィンチで載せる前に輸送モード（輸送モードの有効化 ページ 221 参照）を有効にしてください。輸送モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用した Model X の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

注: 輸送モードは、Model X をウィンチを使用して平ボディトラックに載せるため、または車両を駐車スペースから移動するためだけに使用されます。輸送モード中は、タイヤをゆっくり（5 km/h 未満）、極めて短い距離（10 m 未満）回転させることしかできません。輸送モードの有効化 ページ 221 を参照してください。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

警告: Model X には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています（高電圧コンポーネント ページ 178 参照）。Model X を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

セルフレベリング エアサスペンションシステムの無効化

注: Model X に低電圧電源から電力の供給がない場合、タッチスクリーンを使用するには、外部からの低電圧電源が必要になります。車両に電力供給がない場合 ページ 223 を参照してください。

Model X がエアサスペンションシステムの搭載されている車両である場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベリングが実行されます。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベリングを無効にする必要があります。



1. タッチスクリーンで「コントロール」>「車高」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを踏み、「非常に高い」にタッチして高さを最大にします。
3. 「コントロール」>「サービス」>「ジャッキモード」の順にタッチします。

注: ジャッキモードは、時速7 km/h を超えるとキャンセルされます。

輸送モードの有効化

輸送モードは、Model X を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。輸送モードが有効になっている時は、車両のサイドブレーキが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。輸送モードを有効にするには以下が必要です。

- 低電圧電力。Model X に電源が供給されていないと、タッチスクリーンが使用できないため輸送モードを有効にすることはできません。
- Model X はキーを検出しなければなりません。輸送モードはキーが検出されている時のみ有効となります。
- 車両が充電器に接続されていないことを確認します。Model X にプラグが挿入されている場合、輸送モードは使用できません。

輸送モードを有効にする:

1. 車両がパーキングになっていることを確認します。
2. タイヤに輪留めをかけ、Model X を確実に固定してください。
3. ブレーキペダルを踏み込んだままタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model X の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. 「輸送モードに入ります」をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model X が輸送モードであることを示します。Model X はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

輸送モードをキャンセルするには、「輸送モードを終了」をタッチするか、Model X をパーキングにシフトします。電話キーが検出されない場合、輸送モードをキャンセルすると、Model X の電源がオフになります。車両の再始動にはカードキーが必要な場合があります。

注: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

前方から平ボディトラックに引き上げる (けん引アイボルトを使用)

注: Model X に電源から低電圧電力の供給がない場合にボンネットを開く、またはタッチスクリーンを使用するには、外部の低電圧電源が必要になります。車両に電力供給がない場合 [ページ 223](#) を参照してください。

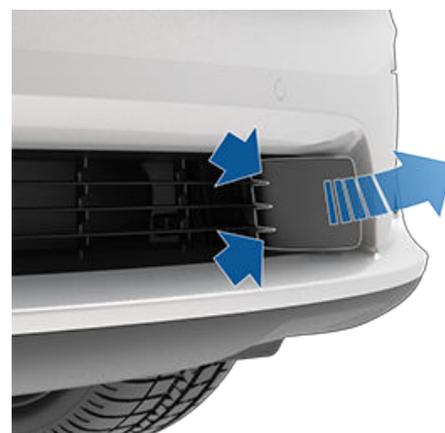
! 注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

1. けん引用アイボルトを見つけます。けん引フックはフロントトランクに収納されています。



2. けん引ボルトカバーを取り外すには、小型のマイナスドライバーを上部および底部にあるスロットに差し込み、スナップを解除して、カバーを手前に引きます。

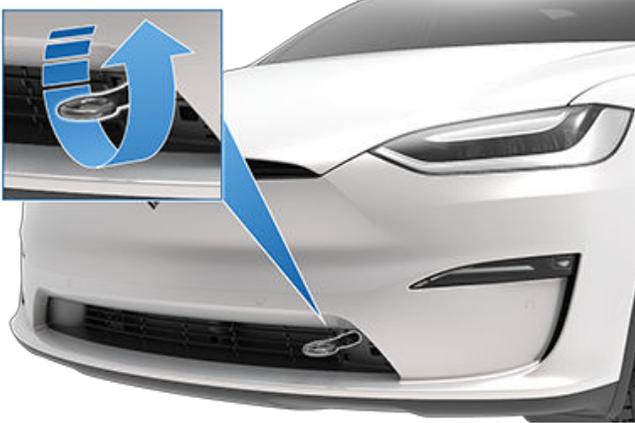
注: けん引ボルトカバーは、車両の黒色マイナス (-) 端子に接続されています。



3. けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



車両輸送者向け注意事項



4. けん引ボルトにウィンチ ケーブルを取り付けます。

注意: 引く前に、けん引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

5. 輸送モードを有効にします。

6. Model X をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

2. アンダーボディを損傷しないよう保護できるもの（木材など）をけん引用ストラップとアンダーボディの間に設置してください。

3. 輸送モードを有効にします。

4. Model X をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

フロントから平ボディトラックに引き上げる（けん引アイボルトを使用しない）

注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

警告: けん引ボルトを使用せず、この方法で車両を平ボディトラックに引き上げる場合は、車両を再走行させる前に、すべてのサスペンションのファスナーが適正なトルクで締め付けられているか点検し、すべてのコンポーネントに損傷がないか目視点検してください。ファスナーが緩んでいた場合、または損傷が見つかった場合は、影響のあるコンポーネントを交換してください。

前章で説明された通り、ウィンチを車両に接続する際はけん引用アイボルトを使用することが強く推奨されます。しかし、けん引用アイボルトが使用できない場合（損傷、喪失など）、次の説明通りにけん引用ストラップを取り付けてください。

1. 車両前部の下、それぞれのロアー サスペンション アームのけん引用ストラップを取り付けます。

注意: けん引用ストラップを他のサスペンション構成部品に取り付けしないでください。けん引用ストラップは、以下に示すように、ロアー サスペンションアームだけに取り付けてください。

車両後方から平ボディトラックの上に引き上げます

注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。けん引ボルト用ヒッチ、シャーシ、フレーム、サスペンションコンポーネントのいずれかを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

注: 平ボディトラックに Model X を積載する前に、輸送モードがオンであることを確認してください。

前章で説明された通り、ウィンチを車両に接続する際はけん引用アイボルトを使用することが強く推奨されます。ただし、車両をリアから積載する必要があるような状況が発生した場合は、Tesla ではけん引ボルト用ヒッチにウィンチを装着することを推奨しています。けん引ボルト用ヒッチの接続方法は、オーナーズ マニュアル記載の手順を参照してください。

タイヤの固定

8 点留めタイダウン法で車両を固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。

注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



車両に電力供給がない場合

Model X に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

1. フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については[電源がない状態でフードを開けるページ 226](#)を参照してください。
2. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート ページ 227](#) を参照)。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については[電力切れ ページ 225](#)を参照してください。



Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する

Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。Tesla ロードサイドアシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイドプロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。「コントロール」 > 「ソフトウェア」にタッチすると VIN が表示されます。運転席側のフロントガラスからのぞき込むことでも、VIN を確認できます。
- お客様の所在地。
- 故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、Tesla モバイルアプリの「ロードサイドアシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: Tesla のロードサイドアシスタンスポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにあるサポートページを参照してください。

国別電話番号

日本: [0120-312-441](tel:0120-312-441)

注: 「コントロール」 > 「サービス」をタッチしても電話番号は確認できます。



! **注意:** 高電圧バッテリーの状態および車両の残りの航続距離を監視することは、ドライバーの責任です。インストゥルメントクラスターに表示される航続距離が 0 km (または 0%) であるときに、使用できる航続距離があると仮定しないでください。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、[Tesla ロードサイド アシスタンス ページ 224](#) または希望するけん引業者に連絡してください。

Model X が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧 (HV) バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は Model X を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート ページ 227](#) を参照)。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを Model X に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. Model X が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器をバッテリーから取り外します。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。Tesla 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧システムをジャンプスタートさせる必要があります。

! **注意:** ドライブの際や長期間保管する際は、Model X に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイル アプリの航続距離予測をあてにしすぎないでください。外気温、運転動作、風、車両設定 (セントリーモードなど) によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象になりません。



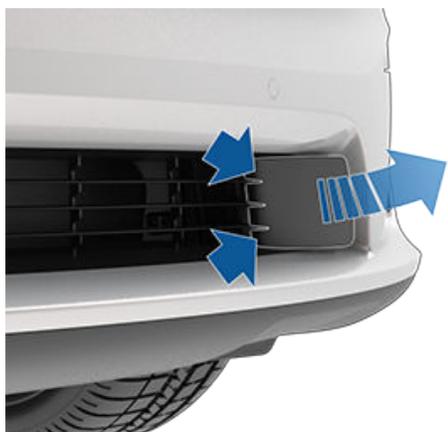
電源がない状態でフードを開ける

電源がない状態でフードを開ける

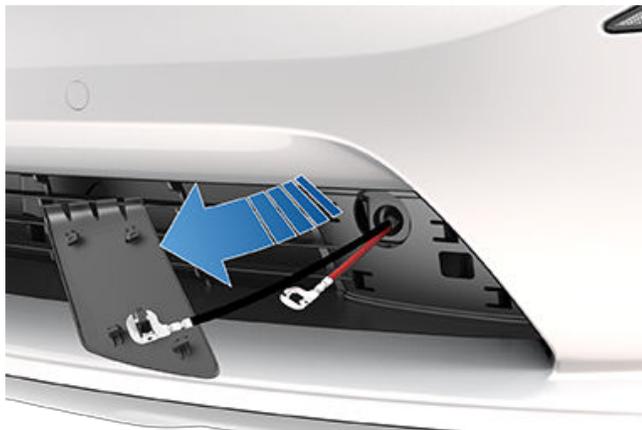
Model X で低電圧電源が供給されなくなると、タッチスクリーン、キー フォブ、またはモバイルアプリを使用してフロントトランクを開けることができなくなります。以下の状況でフロントトランクを開く方法を説明します。

注: Model X がロックされ、なおかつ低電圧の電力が供給されている場合は、以下のステップに従ってもフロント トランクは開きません。

1. 外部低電圧電源（たとえば、ポータブルのジャンプスターターなど）を用意します。
2. けん引ボルト カバーを取り外すには、小型のマイナスドライバーを上部および底部にあるスロットに差し込み、スナップを解除して、カバーを手前に引きます。



3. 配線 2 本をけん引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。



4. 低電圧電源のプラス側 (+) 赤色ケーブルをプラス側 (+) 赤色端子に接続します。
5. 低電圧電源のマイナス側 (-) 黒色ケーブルをマイナス側 (-) 黒色端子に接続します。



注: 外部低電圧電源をこれらの端子に接続するとボンネットのラッチのみリリースします。これらの端子を使用して低電圧バッテリーを充電することはできません。低電圧電源ケーブルを 30 秒以上端子に接続したままにしないでください。フードのラッチが掛かったら、直ちに車両の端子から取り外してください。

6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロントトランク部にアクセスすることができます。
7. 外部電源ケーブルを外すときは、黒色マイナス (-) ケーブルから外してください。
8. 平ボディトラックに車両を引き上げる場合は、けん引ボルトカバーを交換しないでください。必要な場合は、けん引ボルト開口部にワイヤーを挿入し、けん引ボルトカバーの位置に合わせ、所定の位置に回してけん引ボルトカバーを取り付けます。



以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブル ジャンプスターターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して Model X をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。

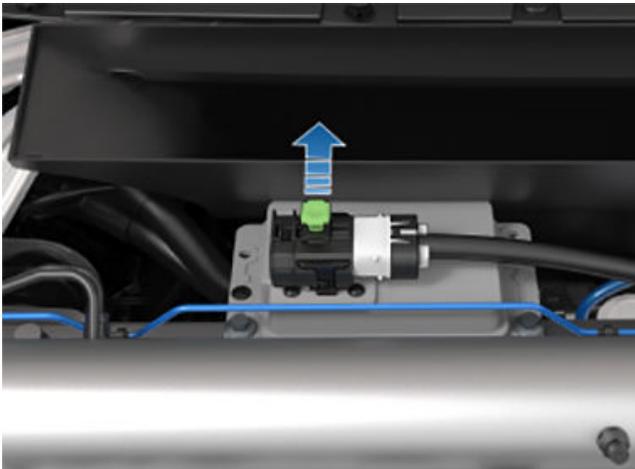
- ⚠ 注意:** Model X 以外の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。
- ⚠ 注意:** Model X のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを接続したり、リード同士を接触させたりすると、Model X が損傷する可能性があります。

次の手順を実行します:

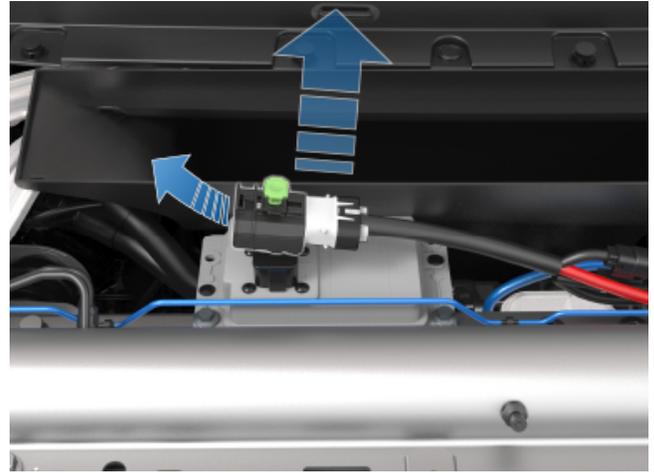
1. ボンネットを開きます（電源がない状態でフードを開けるページ 226 を参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方へ引いて、パネル固定用のトリム クリップを外してください。



3. 低電圧バッテリーの上部で、電気コネクタをコネクタハウジングに接続しているロック タブを持ち上げます。
注: 電気コネクタおよびコネクタハウジングの形状は異なる可能性があります。手順は同じままです。



4. 低電圧バッテリーの上部でコネクタハウジングを左に引っ張ります。電気コネクタを低電圧バッテリーから外します。

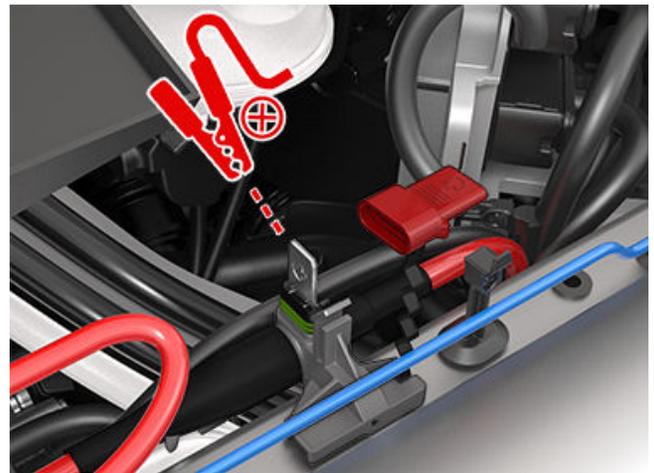


5. プラス (+) 端子コネクタを囲む金属ビームの上に乾いた布を置きます。ターミナルコネクタは、ワイパーモーターと白色長方形のフルードリザーバーの下にあります。
6. ワイパーモーターの下側に手を回しこみ、赤いプラス側 (+) ジャンプポストからカバーを外し、低電圧の電源の赤いプラス側 (+) ケーブルを赤いプラス側 (+) ジャンプポストに接続します。

⚠ 注意: Model X の損傷を避けるため、このプラス側ケーブルを他の金属部に接触させないようにしてください。

注: 製造日によっては、カバーおよび赤色のプラス (+) ジャンプポストの位置が若干異なる場合があります。

2023 年 1 月ごろ以前に製造された車両の場合:

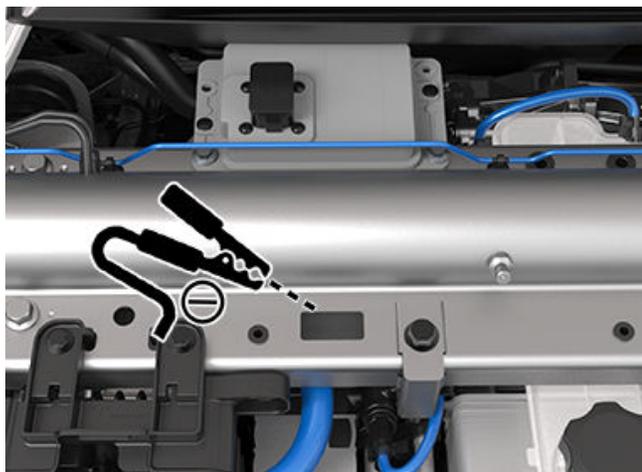


2023 年 1 月ごろ以降に製造された車両の場合:

ジャンプスタート



7. 低電圧電源の黒色のマイナス側ケーブルを図に示す位置で車両に接続します。



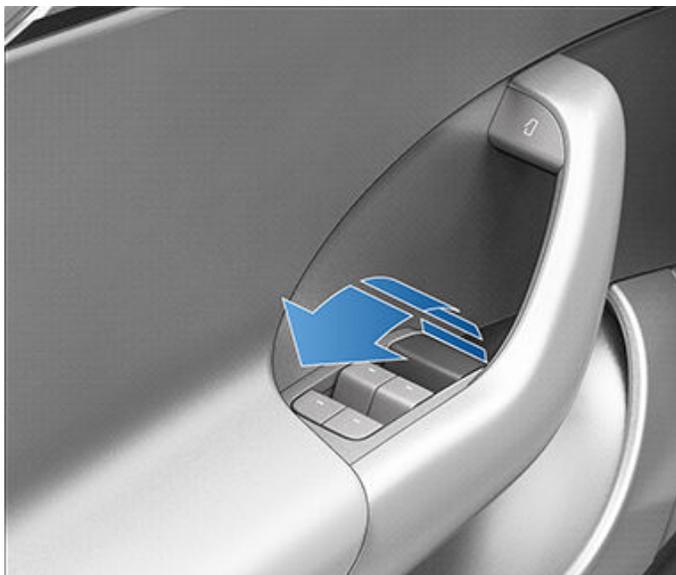
8. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。タッチスクリーンをタッチして起動します。
注: タッチスクリーンに十分な電力を供給するまで数分程度かかる場合があります。
9. 外部低電圧電源を使用する必要がなくなった場合、両方のケーブルを、黒色のマイナス側ケーブルから先に外します。
10. 低電圧バッテリーの上部で、コネクタハウジングを電気コネクタに押し込んで、電気コネクタを低電圧バッテリーに接続します。
11. 低電圧バッテリーの上部で、電気コネクタをコネクタハウジングに接続しているロックタブを押し込みます。
12. メンテナンスパネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
13. フードを閉じます。



電力がない状態でフロント ドアを開く

万が一、Model X の電源が切れている状況でフロント ドアを開ける場合は、ウィンドウ スイッチの前にある手動ドア リリースを引き上げてください。

⚠ 注意: 手動ドア リリースは、Model X の電力がない場合に限って使用することを想定して設計されています。Model X に電力がある場合は、インテリア ドア ハンドルの上部にあるボタンを使用します。



電力がない状態でリア ドアを開く

万が一、Model X の電力がないときにファルコンウィングドアを開ける場合、スピーカー グリルをドアから慎重に外し、メカニカル リリース ケーブルを下向きに、車両の前方に向けて引いてください。ラッチが解除されたら、ドアを手動で持ち上げてください。





水没車両に関するガイドンス

洪水や悪天候により車両が水没する可能性があります。Tesla では、車両が水没する危険性がある場合や、車両が水没した場合に備えてドライバーが方策を用意しておくことを求めています。

推奨事項を確認することで、万が一車両が水没した場合に備え、水没車両の扱い方を知り、利用可能な方策を見つけることができます。

洪水に備えるためのベスト プラクティス

水没する事態が予測されているときに、あらかじめ車両を安全に移動しておくことのできる場合、Tesla では Model X を危険がない場所やより高い場所に移動することを推奨しています。充電設備に影響が及ぶ可能性を考慮して、Tesla ではあらかじめ車両を 100%まで充電することを推奨しています。

車両を洪水の可能性のない場所まで移動することができない場合は、損害を防止するのに役立つ可能性のある以下のベストプラクティスを検討してください。

- 充電器のプラグを車両から確実に抜く。
- 蓄電状態を下げる。このためには、事前に車両を運転してプラグを抜いたままにするか、空調をオンにするか、または車両のタッチスクリーンまたは Tesla モバイルアプリを使用して「**空調 ON のまま**」を有効にします（[空調を操作する ページ 157](#) を参照）。これは、車両が水没した場合に充電率をできる限り低くするためです。
- エアサスペンション（装備されていれば）を変更し、車両の地上高を「**高**」または「**最高**」まで上げてから、車両を離れます。
- ジャッキスタンド、シリンダーブロック、スロープなどで車両の位置を高くすることで、高電圧バッテリーが洪水時の水面よりも上になるようにします。セルフレベルングによる損傷を防ぐために、エアサスペンション（装備されていれば）を使用した[**ジャッキモード**]を有効にします（[ジャッキアップと引き上げ ページ 207](#) 参照）。
- Model X に自動車用防水カバーまたは洪水からの車両保護に対応した、それと同等の製品を被せておきます。

水没車両の取扱い

お持ちの車両が電気自動車であれ、内燃機関車両であれ、長時間水没していた場合にすべきことを知っておきましょう。

⚠ 警告: 火災、発煙、キーという音やシャーという音、または車両からの放熱に気付いた場合、その場から離れ、速やかに最寄りのファーストレスポonderに連絡してください。

車両が水没状態から脱し、安全に近づけるようになったら、以下の手順に従ってください。

1. 車両を事故の場合と同様に取扱い、保険会社に連絡します。
2. 認定工場による検査が完了するまでは車両を運転しないでください。あなたが Tesla 車のオーナーである場合、Tesla サービスで点検の予定を組むことができます。

3. 車両を安全にけん引して、他の車両や個人資産などの燃えやすい素材または構造から 15 m 以上離します。
 - Tesla オーナーは、当社からのけん引支援を要望することができます。詳細情報については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 224](#) を参照してください。
 - 安全にけん引する方法や車両を移動する方法については [車両輸送者向け注意事項 ページ 220](#) を参照してください。



app_w009

自動緊急ブレーキ使用不可 次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、[衝突回避アシスト ページ 145](#) を参照してください。

APP_w048

オートパイロット機能は一時的に使用できません 次回走行時に機能が回復する可能性があります

このアラートの意味:

お客様の車両では現在オートパイロット機能を使用することができません。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、[オートパイロットについて ページ 121](#) を参照してください。

APP_w207

オートステアリングは一時的に使用できません

このアラートの意味:

オートステアリングは一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。



トラブルシューティングのアラート

- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバーコーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能 ページ 123](#) を参照してください。

APP_w218

オートステアリングの速度制限を超過 ハンドルは自分で操作してください

このアラートの意味:

車両がこのドライバーアシスト機能の最高速度制限を超えたため、オートステアリングは利用できません。

対応策:

すみやかにヨーク（またはハンドル）を自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう異動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

注: ドイツで運転中にこのアラートが起動した場合、オートステアリングの速度制限未満で車両が走行すると、オートステアリングは再び有効になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能 ページ 123](#) を参照してください。

APP_w222

クルーズコントロール利用不可 フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

車両の1台以上のフロントカメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られていて、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングが無効です。

フロントカメラの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。



- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロント ガラスの上部中央にあるフロント カメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがなく確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照してください。

フロント カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、A/C をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロント カメラで障害物が見えないのに、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224

クルーズコントロール利用不可 カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

車両のカメラのキャリブレーションが不十分なためトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングを利用できません。

トラフィックアウェア クルーズ コントロールやオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で運転する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、1台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

カメラのキャリブレーションが完了するまで、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。

キャリブレーションが完了したら、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できます。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、20~25 マイル (32~40 km) 走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル (160 km) 以上走行後も、アラートが解消されず、カメラ キャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラ キャリブレーションが成功したのにトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。



トラブルシューティングのアラート

APP_w304

カメラの視界が遮られている カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1つ以上の車載カメラの視認性が制限されているかありません。正確な視覚情報が車載カメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、[カメラ ページ 23](#) を参照してください。

次のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行います。

1. 空調をオンに設定し、温度を「高」に設定し、A/C がオンになっていることを確認して、キャビンをプレコンディショニングします
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 201](#) を参照してください。

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。その間は車両を運転することに問題はありません。

BMS_a067

高電圧バッテリーのパフォーマンスが制限されず 運転可能 - すぐにサービスを予約

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があります、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。



対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両は引き続き最大と充電航続距離および充電性能の低下を引き起こし、運転中に出力と加速が低下する可能性もあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) を参照してください。

BMS_a068

高電圧バッテリーは、サービスが必要 加速および充電性能低下

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。

車両の最高速度が低下し、加速要求に対する応答が以前よりも遅くなっていると感じる可能性があります。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早い機会にサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両の出力、加速、航続距離、および充電性能が低下することがあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) を参照してください。

BMS_a069

バッテリー充電レベルが低い いますぐ充電してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが 5%以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。



トラブルシューティングのアラート

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。BMS_a074

BMS_a074

最大バッテリー充電レベルが低下 運転可能 - サービス予約してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーの内部の状況により、バッテリーの性能が制限されている状態であることが検出されました。この結果、最大充電レベルと航続距離が減少しています。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。
- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、以下を参照してください

BMS_a079

充電不可 - 最大充電レベルに到達 最大充電レベル低下 - サービスを予約

このアラートの意味:

高電圧バッテリー内部の状況により、バッテリーの充電能力が充電状態 50%までに制限されていることが検出されました。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。
- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、以下を参照してください

CC_a001

充電不可 - アース配線不十分 正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事に依頼してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a002

充電不可 - ウォールコネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a003

充電不可 - ウォールコネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a004

充電不可 - ウォールコネクタに問題があります ウォールコネクタは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクタ ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタが機能していません
2. 内部接地障害監視キットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクタで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事に連絡して、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。



トラブルシューティングのアラート

5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a005

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a006

充電不可 - ウォールコネクター過電流 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a007

充電不可 - 入力電圧が高過ぎます ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォールコネクターのサーキットブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a008

充電不可 - 入力電圧不足 ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:



ウォールコネクターのサーキットブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a009

充電不可 - 誤った入力配線

ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a010

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります

ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a011

充電不可 - ウォールコネクターが過熱

ウォールコネクターが冷えるまでお待ち下さい

このアラートの意味:

加熱防止 (ラッチオフ)。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

ウォールコネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38°C以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a012

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があります。電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォールコネクターを壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください：

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォールコネクターが固定配線の場合、電気技術者にウォールコネクターまでの建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a013

充電不可 - 充電ハンドルが過熱 充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味：

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策：

コネクターが車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38°C以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a014

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味：

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題



対応策:

ウォールコネクタで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタを点検してください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a015

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a016

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a017

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a018

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a019

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。



3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a020

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a021

充電不可 - マスターウォールコネクターなし マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事は以下を確認します:

1. ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは、ペアの位置（F位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a022

充電不可 - マスターが複数あります マスターのウォールコネクタは 1 台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクタのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクタは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a023

充電不可 - ウォールコネクタが多過ぎます マスターとペアできるユニットは 3 台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: 4 個以上のウォールコネクタが同じプライマリーユニットとペアリングされています。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクタを別の回路に移動し、このロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークから切断（ペアを解除する）してもらいます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a024

充電不可 - ウォールコネクタ電流低下 現在のマスターの設定を上げる必要あり

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクタの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクタに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクタの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクタのロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）の設定をし、他のウォールコネクタとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクタが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォールコネクタがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 * 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a025

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a026

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。



トラブルシューティングのアラート

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a027

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a028

充電不可 - 誤ったスイッチ設定 ウォールコネクターロータリースイッチの調整が必要

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクターのロードシェアリング(サーキットブレーカーの共有)の設定をし、他のウォールコネクターとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクターが充電電流を6A以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3つのウォールコネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 \times 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a029

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a030

充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致 現在のウォールコネクタの定格が一致する必要あり

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ペアリングしたウォールコネクタの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォールコネクタのみです。電気工事士は、ウォールコネクタのタイプラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォールコネクタでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a041

充電速度低下 - ウォールコネクタ接続部熱い コンセントまたはウォールコネクタの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a043

ウォールコネクターの設定を完了する必要あり 設置ガイドを参照して充電を有効にしてください

このアラートの意味:

ウォールコネクターの設定が未完了です。

対応策:

ウォールコネクターを試運転して、サーキットブレーカーのサイズと保護アースの接続タイプを正しく設定する必要があります。

詳細についてはウォールコネクターの設置マニュアルにある試運転手順を参照してください。問題が解決しない場合、電気工事業者に連絡してウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。業者は電力出力およびアース接続が、ウォールコネクターの設置ガイドに従って正しく設定されているかを確認する必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_a004

充電機器が認識されません 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されているときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されていないときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CP_a010

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロールパイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CP_a043

充電ポート ドア センサー故障

充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知できなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかったままになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的しか点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 182](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CP_a046

充電機器の通信が失われました

電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。



トラブルシューティングのアラート

- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CP_a051

押したときに充電ポートが開かない可能性 別の方法で充電ポートを開いてください

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に通信していません。充電ポート ドアが押されたときに充電ポートが開くリクエストを認識しない可能性があります。

対応策:

また、次のような一般的な方法を使用して、充電ポート ドア開くこともできます。

- 車両のタッチスクリーンを使用してください。
- Tesla モバイルアプリを使用してください。
- 車両のロックを解除した状態で、ウォール コネクタ、モバイル コネクタ、またはスーパーチャージャーを含む T 充電ケーブルの充電ハンドル ボタンを押す。
- キーフォブのトランク ボタンを押し続ける。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 182](#)を参照してください。

CP_a053

充電不可 - 充電ステーションが停止しています 充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたが、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因:

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。



モバイル コネクタまたはウォール コネクタを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事士に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電機器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事士に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

CP_a054

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電 (Tesla モバイル コネクタまたはウォール コネクタでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 186](#)を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CP_a055

充電機器の通信が失われました 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。



トラブルシューティングのアラート

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうかを試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

CP_a056

充電が停止しました - 充電ケーブルが外れています 充電ポートを閉じる - ブレーキペダルを踏み再試行

このアラートの意味:

充電ポートと充電ケーブルの接続が不意に遮断されたことを車両が検知したために充電が停止しました。

対応策:

充電ケーブルを外す前に、充電を停止したことをまず確認してください。

一部の外部充電機器を使用した場合、充電ハンドルのボタンを押すと充電が停止する可能性があります。

また、車両のタッチスクリーン、Tesla モバイル アプリ、または充電ステーションからも充電を停止することができます。

詳細な情報は、[充電の停止 ページ 185](#)を参照してください。

CP_a058

AC 充電できません - システムはすぐに再試行します プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

車両が以下の状態の1つを検出したために充電はできません。また、充電しようと何回も試みましたが成功しませんでした。

- 充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できません。
- 車両が充電ステーションからの有効なパイロットコントロール信号を検知することができず、外部充電機器との有効な通信を行なうことができません。
- 車両と外部充電機器の通信が遮断されています。
- 外部充電機器が、車両の充電を阻止するエラーを報告しました。

対応策:

この警告が表示されている場合、車両はしばらくしてから充電を再試行します。上記の問題が解決されれば、車両は充電を再開します。すぐに充電を再試行したい場合は、充電ケーブルを充電ポートから取り外し、再度接続してください。



詳細情報およびトラブルシューティングの提案については、車両のタッチスクリーンで、充電に関わるその他の最新アラートを確認してください。

CP_a066

充電機器準備未完了 機器の説明書を見て充電を開始してください

このアラートの意味:

充電ステーションが車両と通信中で、その外部充電機器の準備が完了していないか、充電が認証されていないために充電を開始できません。充電ステーションと車両の間のコントロールパイロット信号は、充電を開始することを車両が許可されていないことを示します。

これが発生するのは以下が理由です。

- 充電ステーションが能動的に充電の遅延を生じている。例えば、ステーションが予約充電機能を有効にしているためにこの状態が生じます。
- 充電セッションを開始できるようになるためには充電ステーションをさらに有効にする必要があります。ステーションが車両に充電を開始する前に、充電カード、モバイルアプリ、またはクレジットカードといった追加認証が必要となる場合があります。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を可能にするために必要な手順について述べている指示について、充電ステーションを点検します。例えば、タッチスクリーン端子、LED ステータス インジケータ、印刷された説明書、指針となる支払インターフェースを探します。現在の充電ステーションに充電することができない場合、他の充電機器を使用するか、他の充電ステーションにおいて、車両を充電してください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CP_a078

ケーブル閉塞 - 充電ポートのラッチが凍結したおそれ モバイルアプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポートラッチが充電ケーブルのラッチの解除をすることができず、低い外気温が検出されました。

対応策:

ケーブルのひずみを取り除くため、充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。もう一度実行して充電ケーブルのラッチを解除します。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポートラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイルアプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。



トラブルシューティングのアラート

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#) を参照してください。

充電ケーブルを取り外すことが依然としてできない場合、車両のトランク内にある充電ポート手動リリースを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
 - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
 - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リア トランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
 - **注:** 取り外しケーブルはリア トランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 186](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。

CP_a079

充電速度低下 - 充電ポートのが凍結したおそれ

モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート入口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定できず、低外気温を検知しています。ラッチが掛からない場合、AC 充電 (Tesla モバイル コネクタまたはウォール コネクタでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 186](#) を参照してください。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

ごみや異物がないか点検して取り除いたけれども充電に依然制限がある場合、または車両がまったく充電しない場合、充電ポートのラッチが凍結している可能性があります。充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。



車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#)を参照してください。

このアラートが依然存在する場合でも、制限された AC 充電は依然として使用できるようになっています。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

CC_a101

充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い コンセントまたはウォールコネクターの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

ウォールコネクターの設置ガイドは[ここ](#)から入手できます。

CP_a102

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_a143

充電アダプターにアーク放電の危険あり 別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム (CCS) の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。

このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
 1. 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
 2. 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。
- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト（LED）が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

CP_a151

充電ポートでエラーを検出 - サービスが必要です

AC 充電が機能しない可能性あり / スーパーチャージャー充電は可能です

このアラートの意味:

車両の充電ポートでサービスが必要です。充電ポートは、有効なコントロールパイロット信号を確立できず、一部の AC 充電機器および電源と効率的に通信することができません。

このアラートが表示されている間は、Tesla 以外の充電ステーションでの AC 充電と DC 急速充電が制限されているか、利用できない場合があります。

対応策:

できるだけ早く車両の充電ポートを点検するサービスを予約することをお勧めします。

その間、スーパーチャージャー充電が継続して利用可能です。スーパーチャージャーのある場所は車両のタッチスクリーンの地図に表示することが可能です。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

AC 充電は、Gen 2 モバイル コネクタまたは Gen 3 ウォール コネクタを使用すると利用可能です。ただし、車両の充電ポートが Tesla 充電製品と通信できることを確認することをお勧めします。Gen 2 モバイル コネクタまたは Gen 3 ウォール コネクタで充電してみて、そのまま継続する前に、車両が通常どおりに充電されていることを確認してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。

CP_a164

ラッチ解除リクエスト後も充電ハンドルが検出される

必要に応じて充電ポート手動リリース ケーブルを使用

このアラートの意味:

車両の充電ポートは、充電ケーブル/充電ハンドルを取り外すために複数の解除リクエストを受信した後も、まだ接続されていることを検出しています。

このアラートは、充電ポートのラッチが期待どおりに充電ケーブルを解除していない可能性があります。

対応策:



充電ケーブルが複数回の解除試行の後に充電ポートから取り外せない場合は、車両のトランクにある手動リリースケーブルを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
 - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
 - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リアトランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
 - **注:** 取り外しケーブルはリアトランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 186](#) を参照してください。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポートラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの「**車の霜取り**」 ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「**車の霜取り**」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリアデフロスターをオンにしても、充電ポートラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリアデフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 164](#) を参照してください。

このアラートが複数回の走行および充電試行で繰り返し発生する場合は、できるだけ早くサービスを予約して、車両の充電ポートを検査することを推奨します。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

他社の外部充電機器を使用されている場合は、製造者の取扱説明書にあるトラブルシューティングをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。

DI_a138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロントモーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリアモーターを使用して走行を継続します。

対応策:

場合によっては、車両が走行を継続することができないことがあります。その場合、詳細情報および推奨される対処を示すために、他の車両アラートも発生します。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロントモーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題はありませ



トラブルシューティングのアラート

DI_a166

移動しないように車両が自動でパーキング シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング (P) にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件が**すべて**真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph (2.25 km/h) よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれます。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
 - 車両を操縦によって操舵する

およびこれらの条件の少なくとも **2 つ** が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された
2. ドライバーが現存するとして検出されない
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知される
4. 上記の 3 つの条件 (シートベルト バックル、着座、ドア ラッチ) を検知するために使用されているセンサーが 1 つ以上、予測通りに作動していない

以下の**任意**の条件が真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- ドアが、開いているとして検知される
- ドライブまたはリバースにシフトしており速度が 0.1 mph (0.15 km/h) 未満の時にシートベルト バックルが解除されているとして検知される
- ドライバーのアクティビティが 60 秒間検知されない

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[ギアシフト ページ 89](#) を参照してください。

DI_a175

クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロールはトラフィックアウェア クルーズ コントロールなどを含めて、現在使用できません

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である 18 mph (30 km/h) よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。



対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズコントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズコントロールは使用できます。このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 123](#) を参照してください。

DI_a184

オートパーキングがキャンセルされました 制御してください

このアラートの意味:

オートパーキングがキャンセルされました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がヨーク（またはハンドル）を動かしました。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだか、ブレーキペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。パーキングを終了したら、ブレーキをかけて、パーキングにシフトします。そうしないと、車両が動き出すおそれがあります。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[#unique_661 ページ](#) と [制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

DI_a185

オートパーキング緊急中止

このアラートの意味:

オートパーキングが停止し、電子パーキングブレーキがかかりました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がヨーク（またはハンドル）を動かしました。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだか、ブレーキペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。



トラブルシューティングのアラート

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[#unique_661 ページ](#) と [制限と警告 ページ 137](#) を参照してください。

DI_a190

リアタイヤのトレッド深さが小さい - サービスを予約 タイヤのローテーション/交換を点検

このアラートの意味:

注: このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

車両で、リアタイヤの摩耗がフロントタイヤより大きく、その摩耗量の差異は推奨される量を超過していることが検出されました。

対応策:

すべてのタイヤのトレッド深さを点検することが推奨されます。通常の運転でタイヤは摩耗し、リアタイヤはフロントタイヤよりも早く摩耗するのが普通です。

タイヤのローテーションを行うことで、すべてのタイヤをバランスよく摩耗させることができます。

推奨された通りにタイヤをローテーションさせないと、ハイドロプレーニング現象が発生し、濡れた路面で車両をコントロールできなくなる恐れがあります。タイヤのローテーションを行わないと、タイヤの寿命も短くなり、交換が必要な日も早くなります。

Tesla モバイル アプリまたは最寄りのタイヤショップでサービスを予約し、次の場合にタイヤのローテーションを行うことが推奨されます。

- フロントタイヤとリアタイヤのトレッド深さの差が 1.5mm を超える
- 車両は、前回のローテーションから 6,250 マイル (10,000 km) 以上走行した

タイヤの点検を行い、必要なタイヤのサービスを終えたら、車両のタイヤ構成を更新して、車両設定をタイヤに最適化し、少なくとも 6,250 マイルの間、警告をクリアします。詳細な情報は、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195](#) を参照してください。

タイヤのトレッドの深さを定期点検せずに、このアラートだけに依存することは推奨されません。この警告は、推奨サービス間隔をおおきく超過していると推定した場合に限って表示されます。

この警告は Tesla のタイヤに対してキャリブレーションされており、別のタイヤブランドやモデルを含む異なるタイプまたはサイズのタイヤに対して使用されることを想定していません。Tesla が推奨していないタイヤを装着している車両の場合、表示が出ない、または早期に表示が出てしまう可能性があります。推奨されるタイヤに関する詳細については、[ホイールとタイヤ ページ 217](#) を参照してください。

DI_a245

車両ホールド機能利用不可 停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細については、[オートブレーキ ホールド ページ 103](#) を参照してください。



DI_a250

アダプティブ ライド コントロール無効 注意して運転

このアラートの意味:

アダプティブ サスペンション ダンピング システムに問題があるために、車両スピードは 90 mph (144 km/h) に制限されています。

システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エア サスペンション](#)」 ページ 99 を参照してください。

DIF_a251 / DIR_a251 / DIREL_a251 / DIRER_a251 ギアボックス フルードのサービスが推奨されます サービスを予約する

このアラートの意味:

車両がギアボックス フルードの点検が必要な状態にあることを検出しました。

対応策:

サービスを予約することをお勧めします。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はありません。ただし、この警告が表示された状態で長期間運転を続けると、ギアボックスやパワートレインに永久的な損傷が生じる恐れがあります。

ESP_a118

ブレーキ性能低下アシストを起動 停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押し離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。



トラブルシューティングのアラート

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、Tesla サービスに連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、[油圧フェード補正 ページ 97](#) を参照してください。

PCS_a016

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり 再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電が停止しました。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a017

充電停止 - 充電中に停電 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。



あるいは、モバイル コネクターやウォール コネクターのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の (Tesla 以外の) 外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクターのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a019

電力系統または車両の問題によって AC 充電が制限されるプラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。



トラブルシューティングのアラート

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a032

グリッド電源の品質低下を検出 他の充電設備または場所で再試行

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限または中断されています。DC 充電/スーパーチャージャー 充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、電力網の電力障害を検出しました。これらの障害は、車両の充電プロセスと干渉します。

これらの電力障害の一般的な原因は次のとおりです。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 外部充電器の異常。
- 洗車機や空調ユニットといったその他の大型電気機器が、一時的に大きな電力を消費し、電力網を阻害した場合。
- 電力網に影響を与える外的条件。

対応策:

このアラートは、一般に、外部充電器と電源に特有のもので、一般整備で対応できる車両問題とは異なります。したがって、以下の対応をお勧めします。

- 別の壁面コンセントで充電を試してください。
- その他の大型電気機器が電力を消費していない場合、充電を再度試みてください（いったん外してから再接続して再試行）。
- 複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a052

外部充電機器が給電不可 電源を確認するか、別の機器で再試行

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー 充電はまだ通常通り機能しています。

車両が外部充電器に AC 電源を要求しましたが、車載充電器は外部充電器からの供給電圧を検出していません。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。



対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a053

充電速度低下 - 不測の電圧降下 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a054

大幅な電圧降下のため充電停止 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。



トラブルシューティングのアラート

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクターを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a073

外部充電器にエラーを検知 他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、AC 充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。



PCS_a090

充電制限 - 一部の AC 相で電力なし 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、1 台または複数の電力コンバーターに必要な AC 入力電圧がないことを検出しました。例：三相充電中に、外部ソースから供給される AC 入力電力から 1 つの相が欠落している可能性があります。これは、外部充電器に影響を与える条件、接続している電源、または車両自体が原因で発生する可能性があります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PM_a092 / PMF_a092 / PMR_a092 / PMREL_a092 / PMRER_a092

パワートレインの問題を検出 - サービスを予約してください 機能が復旧しても問題が解消しない可能性があります

このアラートの意味:

あなたの車両のパワートレインはサービスが必要です。出力、速度および加速が減速する可能性があり、車両を走行中にシャットダウンさせることが必要になる可能性があります。

このアラートはパワートレインの点検およびサービスを必要とする持続的な状態を示します。

現在のドライブの後にこのアラートが解消し、その後のドライブで戻ることがなかったとしても、サービスを実施して車両が検出したパワートレインの問題を解決する必要があります。

対応策:

できるだけ早い機会に車両のパワートレインのサービスを予約することをお勧めします。

サービスを実施しない場合、車両の出力が低下し、速度および加速度が減少した状態が継続します。運転中に車両をシャットダウンしなければならない事態や運転できない状態になる可能性があります。

TAS_a313

アダプティブライドコントロールの機能低下 乗り心地が低下する可能性があります

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブサスペンションダンピングシステムに関する問題です。結果的に、サスペンションシステムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化することができなくなります。

その代わりに、すべてのダンパーは一定の電流を受けます。乗り心地は通常よりもソフトになるかしっかりとします。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに黄色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 99 を参照してください。

TAS_a314 アダプティブ ライド コントロール無効 注意して運転

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピング システムに関する問題です。結果的に、システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 99 を参照してください。

UI_a004 フロントトランクが開いています 慎重に進んでください

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している 2 つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも 1 つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、[フロントトランク ページ 40](#) を閉める方法を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、[フロントトランク ページ 40](#) をご参照ください。

UI_a006 整備が必要です 今すぐ/サービスを予約してください

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。



この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアすることができません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

UI_a137

サービスが車両に接続しています サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテインメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテインメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。詳細の情報は、車両の「[DIYガイド](#)」にある「[タッチスクリーンの再起動](#)」を参照してください。

このアラートが24時間経過してもクリアされない場合は、Tesla モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

UMC_a001

モバイル コネクタを使用した充電不可 不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキット ブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクタを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電を試みてください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a002

充電不可 - モバイルコネクタ 漏電を検知 充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:



トラブルシューティングのアラート

モバイル コネクターの漏電遮断器 (GFCI) が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの GFCI 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、**使用しないでください**。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクターを使用して充電を再度お試しください。

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a004

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、または
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a005

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:



モバイル コネクタが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、または
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しく下さい。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しく下さい。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a007

モバイル コネクタ制御 ボックスの温度が高い モバイル コネクタの温度を下げてから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a008

充電不可 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。



トラブルシューティングのアラート

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a009

充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a010

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱 冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクターにしっかり差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクター制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



UMC_a011

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクタは、充電ハンドルが車両にしっかりと接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクタによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクタの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物がないことを確認してください(必要に応じてフラッシュライトを使用)。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクタ ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどこも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#)を参照してください。

UMC_a012

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクタは有効な制御パイロット信号を生成または維持できないことを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクタによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクタの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物がないことを確認してください(必要に応じてフラッシュライトを使用)。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクタ ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどこも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 182](#) を参照してください。

UMC_a013

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#) を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a014

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。



- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a015

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a016

モバイル コネクタ制御ボックス高温 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。



トラブルシューティングのアラート

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a017

充電速度が低下 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクタの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクタのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a018

充電電流減少 - ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクタが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクタの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクタ ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクタの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクタまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



UMC_a019

モバイル コネクタからアダプターまでの接続部が加熱 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電電流が削減されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクタの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクタの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。

ごみ/異物をすべて取り除くことをお勧めします。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクタに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクタまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 167](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

VCBATT_a180

電力システムの電力減少 車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

車両がパーキング レンジにあるときまたは最初に起動したときにアラートがある場合、ドライブを開始するために十分な電力がない可能性がある場合があります。個々の車両アラートはその状態を示すためにあるのかも知れません。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCBATT_a182

サービスを予約し低電圧バッテリーを交換する バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は Tesla モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。独立系サービス プロバイダーの選択は、車両の構成やお住いの場所に基づいて異なる可能性があります。

低電圧バッテリーに十分な電力がないために、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、[車両に電力供給がない場合 ページ 223](#) の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#) をご参照ください。

VCBATT_a191

電力システムの電力減少 車はシャットダウン中

このアラートの意味:

低電圧バッテリーは、ドライブまたはドライブの継続に必要な電力を供給することができません。車両をシャットダウンして、ドライブ以外の重要な機能に使用するためのエネルギーを節約します。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- 直ちに安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

このアラートが発生した場合、電気系は車両の全ての機能をサポートするために必要な電圧を維持できません。車両の多くの機能が作動しなくなる可能性があります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からフロント ドアを開ける ページ 31](#) を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

VCFRONT_a192

電気系はすべての機能をサポートすることができない 機能をオフにしてエネルギーを節約する

このアラートの意味:

電気系はすべての車両の機能をサポートすることはできません。車両は必須ではない機能をシャットダウンして必須機能のためのエネルギーを保持します。

このアラートが出たときに走行している場合、不意に車両がシャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能は使用できない可能性があり、これにはシート ヒーター、キャビン環境コントロール、および車両内のエンターテインメントが含まれます。これは、車両が必須機能（ヘッドライト、ウィンドウ/ドア、ハザード ランプおよびフロント トランク（フランク）の操作機能 など）に対して十分な電力を維持するための予測される挙動です。



車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からフロント ドアを開ける ページ 31](#)を参照してください。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCBATT_a220

電気系はすべての機能をサポートすることができないサービスの予約

このアラートの意味:

電圧の低下したバッテリーは、ドライブするためまたはドライブを継続するために必要な電気の支援を提供することができません。

車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。できるだけ早く、安全を確かめて車両を停めてください。

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。そうすることで、整備が完了するまでの間、運転以外の重要機能に対して、車両が十分な電力を保持することが可能になります。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCBATT_a402

電気系バックアップ電力利用不能 アイドリング中車両はより多くのエネルギーを消費します

このアラートの意味:

電気系のバックアップ電源である低電圧バッテリーを利用できません。または車両のすべての機能をサポートするために必要な電圧を提供できません。

一次電力源である高電圧バッテリー システムは車両がアイドリング状態であっても、車両の機能をサポートし続けます。高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 180](#)を参照してください。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

また、運転中以外に、車両が普段よりも多くのエネルギーを消費していることや、充電後に通常予測するよりも短い予測航続距離が車両に表示されていることに気付くことがあります。このアラートが発生した場合、これは車両の通常の挙動であり、バックアップ電源を回復するまでこの状態を継続します。

一次電源に影響を及ぼす問題によって、車両が突然シャットダウンする可能性があります。

対応策:

必須ではない機能の使用を制限するか、やらないようにするを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

できるだけ早急にサービスを予約し、電気系のバックアップ電源のサービス予約をして、電気系のバックアップ電源が回復するようにすることを推奨します。



トラブルシューティングのアラート

VCBATT_a496

車両はシャットダウンの準備中 安全を確かめて停車してください

このアラートの意味:

電気系はドライブのためのまたはドライブを継続するための十分なサポートを提供できません。車両は、ドライブ以外の重要な機能のためのエネルギーを確保するためにシャットダウンする準備をしています。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- できるだけ早く、安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[ドア ページ 31](#) を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCSEC_a221

タイヤの空気圧が推奨値以下 空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPMS)は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20% 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 ページ 195 を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケータ ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後は解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。



同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195](#) を参照してください。

VCSEC_a228

タイヤの空気圧が低すぎます 安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の1つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、Tesla ロードサイドアシスタンス オプション (出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引) をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 224](#) をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 [ページ 195](#) を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が 30 psi であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケータ ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 195](#) を参照してください。

文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「オーナーズマニュアル」の順にタッチしてオーナーズ マニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

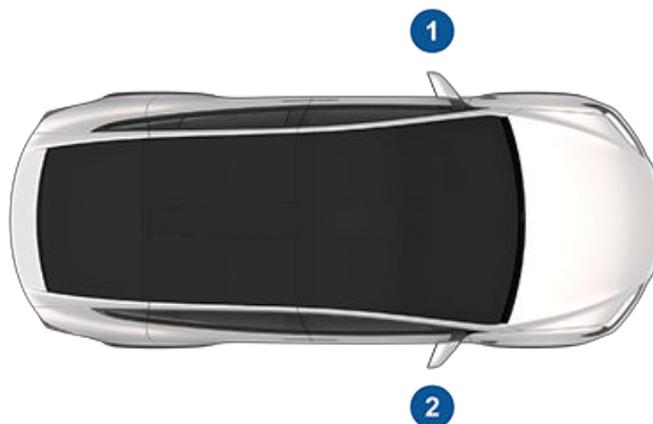
ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、[機能の使用可否に関する声明 ページ 284](#) を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.com までメールにてお願いいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2024 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープンソース ソフトウェアについてはウェブサイト参照してください <http://www.tesla.com/opensource>。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平 27 情使、第 74 号)。地図にデータに関する所有権 (以下に掲げるものを含むがそれに限定されない) は、Increment P Corporation (IPC) が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp ([免責事項 ページ 285](#) 参照)。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



TESLA



TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER



MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

CYBERTRUCK



T E S L A

本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



機能の使用可否に関する声明

Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「ソフトウェアの優先設定」>「詳細設定」でも設定できます。詳細情報については、[ソフトウェアアップデート ページ 191](#) を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。



車両テレマティクス

Model X は、モーター、オートパイロット コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用しますがこれらに限定されません。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。Tesla の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model X の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- Tesla の弁護目的で使用された場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の Model X から、分析データ、道路セグメントデータ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために Tesla に送信されることがあります。Tesla 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を Tesla による製品とサービスの改善に役立てることができます。Tesla は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共有しますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることはなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信

されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることはなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは Tesla に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

注: ただし、本文書に記載されているように、Model X は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません (例えば特定日時に Model X が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません)。

品質管理

オドメーターの表示は Model X の納車時に若干の数値 (数 km) を示していることがあります。これは、Model X の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

サウンド ライブラリ

「無料サウンド ライブラリ」(装備されている場合)

無料のサウンド エフェクト サイトです。

ライセンス: Attribution 4.0 International (CC BY 4.0)。あなたは、商用または非商用目的のマルチメディア プロジェクトに、サウンド エフェクトを使用することを無料かつロイヤリティフリーで許可されています。

<http://www.freesoundlibrary.com>

地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (Map Data) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- Increment P Corporation (IPC) とそのライセンス許諾者は、Map Data に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- IPC は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない Map Data に関する一切の保証をいたしません。IPC は、Map Data の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- Map Data は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。
- Map Data は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998 年 4 月 2 日	小田原市指令第 52 号
岐阜県養老町	2000 年 3 月 13 日	平成 12 年 養建第 1902 号
愛知県知多市	2000 年 5 月 16 日	平 10.近公.第 34 号
和歌山県貴志川市	2001 年 3 月 13 日	平成 12 年度 知都発第 170 号
福岡県隠岐町	2004 年 3 月 3 日	15 大木建第 734 号
長野県堀金町	2005 年 3 月 1 日	16 堀第 5417 号
滋賀県東近江市	2006 年 2 月 28 日	東開第 111 号
群馬県伊香保町	2005 年 7 月 14 日	伊建農発 229 号
Tokyo Digital Map Corporation	2007 年 2 月 8 日	18 東デ共 041 号 ※契約番号
東京都	2007 年 2 月 7 日	18 都市基交第 478 号
岡山県津山市	2006 年 2 月 17 日	平成 17 年津山市使用承認第 5 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 15 日	指令宇都第 13 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 31 日	指令宇都第 14 号
山口県周防大島町	2006 年 5 月 12 日	周防建設第 56 号
香川県東かがわ市	2006 年 5 月 2 日	18 建第 107 号
愛媛県東温市	2006 年 5 月 16 日	H18 東温都第 174 号
宮城県	2006 年 9 月 19 日	林振第 350 号
宮城県	2007 年 2 月 28 日	林振第 611 号
秋田県	2007 年 3 月 7 日	指令水緑-1258
山形県	2006 年 12 月 6 日	森第 18-10 号
新潟県長岡市	2006 年 3 月 28 日	長都政第 477 号
山梨県	2007 年 3 月 1 日	森整第 1561 号
長野県	2007 年 2 月 14 日	18 森政第 5-5 号
島根県	2006 年 11 月 24 日	森第 1286 号
島根県	2007 年 2 月 27 日	森第 1736 号
広島県	2007 年 2 月 15 日	林振第 115 号



組織	承認日	承認番号
徳島県	2007年1月30日	林振第484号
佐賀県	2006年10月4日	森整第010634号
長崎県	2006年10月6日	18林第492号
熊本県	2007年2月14日	森整第993号
熊本県	2007年3月7日	森整第1079号
大分県	2006年12月5日	林18-1
大分県	2007年3月7日	林18-2
宮崎県	2006年12月8日	使18-1号
宮崎県	2007年3月8日	使18-3号
鹿児島県	2006年11月17日	平18林振第360号
鹿児島県知覧町	2006年5月26日	知耕第590号
茨城県	2007年8月8日	林政19-482号
秋田県	2006年11月30日	指令水緑-947
山梨県笛吹市	2007年12月13日	笛まち第12-25号
岐阜県	2008年3月24日	情企第590号
高知県	2007年2月14日	18高森推第568号
鹿児島県	2008年1月16日	平19林振第404号
北海道小樽市	2009年2月18日	平21樽港事第33号
静岡県	2009年3月3日	平成21年森計第477号
鹿児島県	2007年3月9日	平18林振第497号
山形県東根市	2009年5月27日	東建収第8号
北海道幕別町	2010年7月14日	H22幕都計第185号
国土地理院	2010年9月28日	国地企調第180号
鹿児島県	2007年8月6日	平19林振第246号
愛知県田原市	2011年4月22日	23田街第55号
国土地理院	2012年6月21日	平24情使、第199号-63号
国土地理院	2014年5月16日	平26情使、第74号-63号
国土地理院	2014年7月1日	平26情使、第163号-63号
国土地理院	2014年8月4日	国地企調第155号

- Map Dataに含まれる交通規制データは2014年9月現在のものです。かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、Map Dataの使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。

Tesla に連絡する

お客様の Model X に関する詳細を見るには、<http://www.tesla.com> に進んでお客様の Tesla アカウントにログインするか、アカウントをお持ちでない場合は新規でサインアップしてください。

Model X に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。対象地域の番号の検索には、<http://www.tesla.com> に進んで、連絡先情報を表示してください。



FCC 認証および ISED 認証

コンポーネント	製造元	モデル	動作周波数 (MHz)	FCC ID	IC
B ピラー エンドポイント	Tesla	1607773	13.56 2400~2483.5 6000~8500	2AEIM-1607773	20098-1607773
セキュリティ コントローラー	Tesla	1614280	2400-2483.5	2AEIM-1614280	20098-1614280
フェイスア エンドポイント	Tesla	1613851	2400~2483.5 6000~8500	2AEIM-1613851	20098-1613851
フェイスア エンドポイント	Tesla	1733130	2400~2483.5 6000~8500 315 または 433.9	2AEIM-1733130	20098-1733130
キー フォブ	Tesla	1614285	2400~2483.5 6000~8500	2AEIM-1614285	20098-1614285
TPMS	Tesla	1472547G	2400-2483.5	2AEIM-1472547G	20098-1472547G
タイヤ、Michelin PSEV Summer T0	Michelin	1620245-00-A 1620246-00-A	2400~2483.5	FI5TMSAF02	5056ATMSAF02
タイヤ、Pirelli SZero A/S	Pirelli	1620243-00-A 1620244-00-A	2400~2483.5	2ANX7CPSN1	24121-CPSN1
タイヤ、Michelin Sport EV	Michelin	1620245-* 1620246-*	2400-2483.5	FI5TMSAF02 FI5TMSAL01	5056A-TMSAF02 5056A-TMSAL01
レーダー	Tesla	1541584	76000~77000	2AEIM-1541584	20098-1541584
Homelink (装備されている場合)	Gentex	ADHL5C	286-440	NZLADHL5C	4112A-ADHL5C
CarPC	Tesla	1960600	--	XMR2020AG525RGL YZP-ATC5CPC001	10224A-2020AG525R 7414C-ATC5CPC001
ワイヤレス充電器	Tesla	WC4	127.72 KHz 13.56 2400~2483.5	2AEIM-WC4	20098-WC4
BT USB ハブ	Tesla	1642783	2400-2483.5	2AEIM-1642783	20098-1642783
キャビン内レーダー*	Tesla	1616631	60000~64000	2AEIM-1616631	20098-1616631
ワイヤレス充電器	Tesla	WC3	127.72 KHz	2AEIM-WC3	20098-WC3

*キャビン内レーダーは工場取り付けだけに限定されています。

上記装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。



認証適合性

操作には以下の2つの条件が適用されます。(1) 本装置は、有害な干渉を引き起こさないこと、(2) 本装置が妨害を引き起こすものも含め、全ての干渉を受信すること。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

放射線被ばくに関する声明

本製品は、低電力消費のワイヤレス電力伝送に関する、FCC/ISED 無線周波数暴露規則に準拠しています。無線周波数暴露制限は制御されていない環境のために定められており、本マニュアルに記載されている目的の操作を安全に行うためのものです。また、無線周波数暴露のコンプライアンスに関しては、利用者の身体から 20 cm 以上離すか、可能な場合にはデバイスを最も低出力にすることで実証されたものです。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé.

Déclaration d'exposition aux radiations

Le produit est conforme à l'exposition RF ISED pour le transfert de puissance sans fil de consommateurs de faible puissance. La limite d'exposition RF fixée pour un environnement non contrôlé est sans danger pour le fonctionnement prévu tel que décrit dans ce manuel. L'exposition RF supplémentaire que la conformité a été démontrée à 20cm et plus de séparation du corps de l'utilisateur ou de mettre l'appareil à la puissance de sortie inférieure si une telle fonction est disponible.

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合（本装置のスイッチのオンオフで判断可能）、以下の方法の1つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- サポートが必要な場合には、販売業者または経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。

 **注意:** 本装置およびそのアンテナは、他のアンテナや送信機のそばに設置したり、近くで動作させたりしないでください。

EU



車両には異なるタイプの無線装置が取り付けられています。この無線装置の製造会社は、上記の RF モジュールが、指令 2014/53/EU の必須要件およびその他の関連条項に対して評価されていることを宣言しています。適合宣言の全文は以下の URL にアクセスして閲覧できます。 <https://www.tesla.com/eu-doc>。



日本

冷媒

タイプ	地球温暖化係数 (GWP)	製造元	モデル	フルオロカーボンの量/割合±受け入れ可能範囲 (グラム)	目標値	目標年
R-1234	GWP=1	Tesla, Inc.	Model X (2023/6/1 以降)	ヒートポンプ使用時 1020±20	GWP=1	2023



索引

記号

エネルギー: [15](#), [97](#)

回生ブレーキの効果: [97](#)

航続距離情報: [15](#)

温度: [15](#), [86](#), [157](#), [180](#)

外部: [15](#)

車内、調整: [157](#)

暖房装備: [86](#)

バッテリー (高電圧)、限界: [180](#)

エクステリア: [3](#), [201](#), [203](#), [204](#)

概要: [3](#)

クリーニング: [201](#)

自動車用カバー: [204](#)

つや出し、補修塗り、修理: [203](#)

インストゥルメントパネル: [15](#), [203](#)

概要: [15](#)

クリーニング: [203](#)

ドライバー: [106](#)

プロフィール: [106](#)

範囲: [15](#), [97](#), [189](#)

回生ブレーキ: [97](#)

インストゥルメントパネルに表示: [15](#)

最大限に伸ばす運転のヒント: [189](#)

ゲーミングコントローラー: [175](#)

安全情報: [50](#), [73](#)

エアバッグ: [73](#)

シートベルト: [50](#)

引き上げ: [207](#)

運転中: [83](#)

始動: [83](#)

過給: [186](#)

アイドル手数料: [186](#)

混雑時料金: [186](#)

従量制プラン: [186](#)

説明: [186](#)

機能の使用可否: [284](#)

緊急ブレーキ操作: [145](#)

緊急車線逸脱防止: [142](#)

高さ調整 (サスペンション) : [207](#)

無効化 (ジャッキモード) : [207](#)

高電圧: [178](#), [194](#), [217](#)

安全性: [194](#)

コンポーネント: [178](#)

バッテリーの仕様: [217](#)

仕様: [215](#), [217](#)

高電圧バッテリー: [217](#)

サスペンション: [217](#)

サブシステム: [215](#)

ステアリング: [215](#)

タイヤ: [217](#)

低電圧バッテリー: [217](#)

トランスミッション: [215](#)

ブレーキ: [215](#)

ホイール: [217](#)

モーター: [215](#)

自動緊急ブレーキ: [146](#)

自動車線変更: [123](#)

車線逸脱防止: [142](#)

充電: [182](#), [183](#)

充電ステータス: [183](#)

充電設定: [183](#)

スケジューリング: [183](#)

手順: [182](#)

充電中: [178](#), [179](#)

公共充電ステーション: [179](#)

コンポーネントおよび機器: [178](#)

出発予定時刻: [188](#)

使用: [188](#)

商標: [282](#)

衝突回避アシスト: [145](#)

障害物検知走行モード: [145](#)

制限速度警報: [148](#)

正面衝突警告: [145](#)

絶対速度制限: [148](#)

相対速度制限: [148](#)

側面衝突警告: [142](#)

速度制限との差: [148](#)

著作権: [282](#)

電話: [25](#), [79](#), [81](#)

アプリ: [81](#)

受話: [81](#)

接続中: [79](#)

通話中オプション: [81](#)

通話の履歴: [79](#)

認証された電話機: [25](#)

発話: [81](#)

ペアリング: [79](#)

連絡先のインポート: [79](#)

動かしている: [189](#)

航続距離を最大限に伸ばすヒント: [189](#)

保守: [193](#), [194](#), [195](#), [201](#), [205](#), [206](#)

ウォッシュ液、補充: [205](#)

ウォッシュ液噴出口、清掃: [206](#)

クリーニング: [201](#)

タイヤ: [195](#)

定期サービス: [193](#)

定期的なチェック: [194](#)

フルード交換間隔: [194](#)

毎月のチェック: [193](#)



毎日のチェック: [193](#)
ワイパー ブレードの交換: [205](#)
歩行者保護: [109](#)
隣接する車線の走行速度: [123](#)
連絡先: [225](#)
ロードサイドアシスタンス: [225](#)

数字

2 列目シート: [45](#)
3 列目シートへのアクセス: [45, 46](#)

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) : [96](#)

B

Bluetooth: [79, 81, 175](#)
一般情報: [79, 81](#)
デバイス、オーディオ ファイルの再生: [175](#)
電話、ペアリングと利用: [79](#)

C

CCS (コンボ): [179](#)
CHAdemo: [179](#)

I

i-Size - お子さまの安全: [51](#)
ISOFIX - お子さまの安全: [51](#)

J

J1772: [179](#)

P

PIN: [107](#)

R

RFID トランスポンダー: [208](#)

T

Teslacam: [152, 154](#)
Tesla プロフィール: [106](#)
TPMAM: [211](#)
TPMLM: [211](#)
TPMS: [198](#)
概要: [198](#)

U

USB デバイス、接続: [12](#)
USB フラッシュドライブ: [150, 152, 154](#)
USB ポート、コンソール: [12](#)

W

Wi-Fi への接続: [78](#)
Wi-Fi への接続: [78](#)

あ

アーケード: [175](#)
アクセサリ、電源ソケットへの差し込み: [13](#)
アクセサリ キャリア: [113](#)
アクティブ ロード ノイズ リダクション: [13](#)
アクティブボンネット: [109](#)
アプリ: [7](#)
アラーム: [150, 154](#)
アンチロック ブレーキ (ABS) : [96](#)

い

イージーエントリー ボタン: [45, 46](#)
イージーエントリー、ドライバーのプロフィール: [106](#)
インテリア: [5, 157, 202](#)
温度コントロール: [157](#)
概要: [5](#)
クリーニング: [202](#)
イベントデータ記録: [285](#)

う

ウィンカー、ライト: [93](#)
ウインド ウォッシャー液、補充: [205](#)
ウェブ会議: [82](#)
ウォール コネクタ: [179](#)
ウォッシャー、使用: [95](#)
ウォッシャー液、補充: [205](#)
ウォッシャー液噴出口、清掃: [206](#)
運転席調整: [43](#)

え

エアコンを ON のままにする: [159](#)
エアバッグ (位置) : [68](#)
エア フィルター: [162](#)
エアロ カバー: [197](#)
エネルギー アプリ: [190](#)
エネルギー使用予測 (ナビゲーション) : [171](#)

お

追い越し加速: [123](#)
往復にかかるエネルギー (ナビゲーション) : [171](#)
往復にかかる予想エネルギーの常時表示: [171](#)
オーディオ: [173, 175](#)
音量調節: [173](#)
設定: [173](#)
ファイルの再生: [173, 175](#)

オートステアリング: [123](#)
オートチルト: [88](#)
オートナビゲーション: [167](#)
 ナビゲーション: [167](#)
オートパーキング: [131](#)
オートパーキングを使用した駐車: [131](#)
オートパイロット: [121](#), [123](#), [131](#), [142](#), [145](#), [148](#)
 オートステアリング: [123](#)
 オートパーキング: [131](#)
 スピードアシスト: [148](#)
 トラフィックアウェア クルーズコントロール: [123](#)
 概要: [121](#)
 自動緊急ブレーキ: [145](#)
 衝突回避アシスト: [145](#)
 制限速度警報: [148](#)
 正面衝突警告: [145](#)
 側面衝突警告: [142](#)
 速度制限内で走行: [148](#)
 追い越し加速: [123](#)
オートパイロット コンポーネント: [121](#)
オートパイロット ナビ走行: [123](#)
オートブレーキホールド: [103](#)
オートホールド: [88](#)
オーナー情報について: [282](#)
オールシーズン タイヤ: [199](#)
お気に入り (ナビゲーション) : [167](#)
お気に入り (メディアプレイヤー) : [175](#)
お楽しみ: [175](#)
オドメーター: [110](#)
オフピーク充電: [188](#)
おもちゃ箱: [175](#)
音声コマンド: [21](#)
オンライン ルート案内: [171](#)
音量調節 (メディア): [173](#)
音量調節: [7](#)

か

カーゴエリア: [38](#)
カード: [25](#)
カーペット、クリーニング: [203](#)
回生ブレーキ: [97](#)
改造: [208](#)
荷重限度: [211](#)
加熱: [157](#)
カバー (シート) : [47](#)
カメラ、後ろ向き: [111](#)
貨物量情報: [213](#)
カラーライザー: [175](#)
カラオケ): [175](#)
カレンダー: [81](#)

換気: [162](#)
寒冷環境におけるベストプラクティス: [164](#)
寒冷地設定: [164](#)

き

キー: [25](#), [28](#), [29](#)
 概要: [25](#)
 キー カードと電話キーの削除: [28](#)
 キー カードと電話キーの追加: [28](#)
 バッテリーの交換: [29](#)
 リストの表示: [28](#)
キー FCC および IC 認証: [289](#)
キーカード: [25](#)
技術的に許容される最大積載質量: [211](#)
技術的に許容される軸上の最大質量: [211](#)
機能、新しいものをダウンロード: [191](#)
キャビン エア フィルター: [162](#)
キャンプ: [159](#)
緊急灯: [94](#)
緊急時に内部からドアを開く: [229](#)
勤務先位置: [169](#)

く

空気循環: [157](#)
空気分散: [157](#)
空調: [157](#)
空調コントロール: [157](#)
クリーニング: [201](#)
クルーズコントロール: [123](#)
車に何がついてるって?: [175](#)
グローブボックス、開く: [42](#)
グローブボックス PIN: [151](#)

け

警告用フラッシャー: [94](#)
携帯電話アプリ: [81](#)
けん引: [220](#), [225](#), [227](#)
けん引、指示: [220](#)
けん引、輸送: [220](#)
けん引ガイドライン: [117](#)
けん引能力: [114](#)
けん引ヒッチ、接続: [118](#)
けん引ヒッチ、切断: [119](#)
けん引モード: [115](#)
けん引用トレーラーブレーキ: [116](#)

こ

公共充電ステーション: [179](#)
降車後オートロック機能: [34](#)
工場出荷デフォルト、復元: [11](#)



工場出荷時リセット: 11

後方カメラ: 111

コートハンガー、リア: 42

個人情報、消去: 11

コンソール: 42

コンソール、低電圧電源ソケット: 13

コンディショニング: 188

さ

サービスの予約: 75

最近の使用履歴（ナビゲーション）: 167

最近の履歴（メディアプレーヤー）: 175

最低地上高（車両）: 212, 213

サイドカメラ: 111

坂道、で停止する: 103

サスペンション: 99

サスペンション、エア: 99

サスペンション、減衰: 99

サスペンション、車高自動上昇: 99

サスペンションの仕様: 217

座席位置、運転: 43

サマータイヤ: 199

サンバイザー: 36

3列目シート（折りたたみと引き上げ）: 46

し

シート: 157

ヒーター: 157

シート、フロントおよびリア: 43

シート調整: 43

シートヒーター: 157

シートベルト: 48, 49, 203

概要: 48

クリーニング: 203

衝突した場合: 49

妊娠中の女性が着用するとき: 49

プリテンショナー: 49

自宅位置: 169

自転車キャリア: 113

始動: 83

自動車用カバー: 204

自動ワイパー: 95

シフト変更: 89

車高、エアサスペンション: 99

車高調整、エアサスペンション: 99

車載カメラ: 149

車体の修理: 208

ジャッキアップ: 207

ジャッキモード: 207

車内温度コントロール: 157

車内車載カメラ: 149

車両識別番号（VIN）ラベル: 210

車両識別ラベル: 210

車両積載量: 211

車両に名前を付ける: 11

車両のオーバーハング寸法: 212

車両の名前を変更する: 11

車両のライト: 92

車輪止め: 222

ジャンプスタート: 223, 225, 227

充電ステーション、地図に表示: 167

充電ポイント、検索: 170

充電ポート: 182

充電ポート手動リリース: 186

充電ポートライト: 183

充電ポートリリースケーブル: 186

充電予約: 188

瞬間値: 190

仕様、エクステリア: 212

仕様（車両インテリア）: 213

仕様および寸法: 212

消去とリセット: 11

乗車後カレンダーを表示: 81

消費量チャート: 190

ショートカット: 8, 9

タッチスクリーンの再起動: 9

マイアプリに追加: 8

暑熱環境におけるベストプラクティス: 166

所有権の変更: 11

侵入検出: 150

す

水没車両: 230

スーパーチャージャー、地図に表示: 167

Zoom: 82

スケジューリング: 188

スタッドレスタイヤ: 199

スタビリティコントロール: 104

スタンバイ: 154

ステアリング、自動: 123

ステアリングの仕様: 215

スピードアシスト: 148

スマートフォン: 25

認証された電話機: 25

寸法（車両）: 212

寸法（車両インテリア）: 213

寸法（車両エクステリア）: 212

せ

整備データ記録: 285

セキュリティ設定: 150
設定、消去: 11
セルフレベリング: 99
洗車: 201
洗車モード: 201
セントリーモード: 154

そ

走行後オートロック: 34
ソフトウェアアップデート: 191
ソフトウェアのアップデート優先設定: 191
ソフトウェアの再インストール: 191
ソフトウェアリセット: 11

た

タイダウンストラップ: 222
タイヤ: 195, 196, 199, 200, 217, 218
 圧力、表示: 195
 オールシーズン: 199
 空気圧、チェック方法: 195
 交換: 196
 サマー: 199
 仕様: 217
 スタッドレス: 199
 タイヤセンサーの交換: 199
 タイヤのマーキング: 218
 チェーン: 200
 点検と保守: 195
 バランス調整: 196
 ホイール設定: 195
 ローテーション: 196
タイヤ空気圧、けん引時: 115
タイヤ空気圧、チェック: 195
タイヤ空気圧、表示: 195
タイヤ情報ラベル: 211
タイヤのノイズ: 200
タイヤのローテーション: 196
タイヤ空気圧監視システム: 198
 概要: 198
ダッシュカム: 152
ダッシュボードの概要: 5
タッチスクリーン: 7, 8, 9, 191, 203
 概要: 7
 クリーニング: 203
 再起動: 9
 ショートカットを追加: 8
 ソフトウェアアップデート: 191
 停止: 9
 マイアプリをカスタマイズ: 8
 無反応: 9

メイン: 7
リア: 7
表示設定: 7
タッチスクリーンの再起動: 83

ち

チェーン: 200
地図データ、所有権表示: 286
地図の更新: 172
地図の向き: 167
チャイルドロック: 35
 リアウィンドウスイッチをロックする: 35
チャイルド安全シート、拘束システム: 51
チャイルドシート安全システム: 51
駐車、けん引時: 117
調整、ランバー: 43

つ

追跡無効: 167
通気口、調整: 162

て

定員: 211
定期サービス: 193
低電圧電源ソケット: 13
データ共有: 285
データ記録: 285
適合宣言: 289
デバイス: 175
 Bluetooth、オーディオファイルの再生: 175
テレマティクス: 285
電気式パーキングブレーキ: 97
電源なしでフードを開く: 223
電源のオン/オフ: 83
電力切れ: 225, 227
電話キー: 25, 28
 キーの削除: 28
 キーの追加: 28
電話充電器、誘導式: 12
電話充電器、ワイヤレス: 12

と

ドア: 31, 34, 229
 内側から開ける: 229
 チャイルドロック: 34
 電力がない状態で開く: 229
 内部ロックとロック解除: 34
 パーキング時のロック解除: 34
 ロック: 31
 ロック解除: 31



ドア シール: 203
 クリーニング: 203
ドア ラベル: 211
ドア機能: 34
 降車後オートロック機能: 34
読書灯、リア: 42
ドッグ: 159
ドライバーアシスト: 121
ドライブ: 91
ドライブ モード: 89
ドライブ用 PIN: 151
トラクションコントロール: 104
ドラッグ ストリップ モード: 105
トラフィックアウェア クルーズコントロール: 123
トランク、フロント: 40
トランク、リア: 37
トランスポンダー、取り付け: 208
トランスミッションの仕様: 215
トリップ メーター: 110
トリップ チャート: 190
トリップ プランナー: 172
トルクの仕様: 215
トレーラーのけん引: 113

に

ニュートラル: 91
認証 (CE) : 289
認証 (FCC) : 289
認証 (IC) : 289
認証 (NCC) : 289

の

納車走行距離: 285
納車後の走行距離: 285

は

パーキング: 91
パーキング アシスト: 101
パーキング時のロック解除: 34
パーキング ブレーキ: 97
ハザード: 94
ハザードライト: 94
バッテリー (キー)、交換: 29
バッテリー (高電圧): 180, 217
 温度限界: 180
 仕様: 217
バッテリー (低電圧) : 180, 217
 完全放電: 180
 仕様: 217
ハブ キャップ: 197

バレーモード: 107
パワー: 97
 回生ブレーキの効果: 97
パワーウィンドウ: 35, 209
パワーサイクリング: 83

ひ

ビデオ クリップ: 152
ビデオ通話: 82
表示設定: 7

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート: 191
ファンの速度、内部: 157
ブースターシート、お子さまの安全: 51
ブームボックス: 175, 176
部品の交換: 208
ブラインドスポットカメラ: 142
ブラインドスポット衝突警告: 142
ブラインドスポット衝突警告チャイム: 142
フラッシャー、ハザード: 94
フラッシュ ドライブ: 152, 154
フルード: 194
 交換間隔: 194
ブレーキをかける: 96, 146, 215
 概要: 96
 緊急時自動作動: 146
 仕様: 215
フロア マット: 204
フロントトランク: 40, 226
 電力がない状態で開く: 226

へ

平均値: 190
ヘッドライト、ハイビーム: 92, 93
便利な検索機能: 167

ほ

ホイール: 196, 197, 217
 アライメント: 196
 エアロカバー、取り外しと取り付け: 197
 交換: 196
 仕様: 217
 トルク: 217
 ラグ ナット カバー、取り外しと取り付け: 197
法定プレート: 211
ホーム: 7
 画面: 7
 ボタン: 7
ホーン: 86

歩行者警告: [112](#)

ボディ 補修塗り: [203](#)

ボディの補修塗り: [203](#)

ボンネット: [40](#), [226](#)

電力がない状態で開く: [226](#)

ま

マイ アプリ: [8](#)

マイク、ノイズ リダクション: [13](#)

マット: [204](#)

み

ミラー: [88](#)

む

無線周波数コンプライアンス: [289](#)

め

メディア: [173](#), [175](#)

設定: [173](#)

ソース、表示および非表示: [173](#)

も

モーターの仕様: [215](#)

モバイル アプリ: [75](#)

モバイルアプリアクセス: [75](#)

モバイルコネクタ: [179](#), [182](#)

使用: [182](#)

説明: [179](#)

ゆ

輸送: [220](#)

輸送モード: [221](#)

ら

ライト、インテリア: [92](#)

ライト、エクステリア: [92](#)

ライト、ハザード: [94](#)

ライト、フォグ: [92](#)

ライト、ルーム (マップ) : [92](#)

ライブカメラの表示: [154](#)

ラグ ナット カバー: [197](#)

ラジオ: [173](#), [175](#)

ラベル: [211](#)

タイヤ情報: [211](#)

法定プレート: [211](#)

り

リアシートへのアクセス: [45](#), [46](#)

リア ビュー カメラ: [111](#)

リアウィンドウ スイッチ、ロックする: [35](#)

リバース: [91](#)

リフトゲート: [37](#), [38](#)

開放時の高さ調整: [38](#)

開く: [37](#)

料金徴収システム トランスポンダー、取り付け: [208](#)

リリース ノート: [192](#)

る

ルート変更: [171](#)

れ

レーンアシスト: [142](#)

レンジプランナー: [189](#)

ろ

ロードサイドアシスタンス: [225](#)

録画: [152](#), [154](#)

ロケーション追跡: [167](#)

ロック: [31](#)

ロック解除: [31](#)

わ

ワイパー、使用: [95](#)

ワイパー ブレード、交換: [205](#)

TESLA

掲載日: 2024/12/13